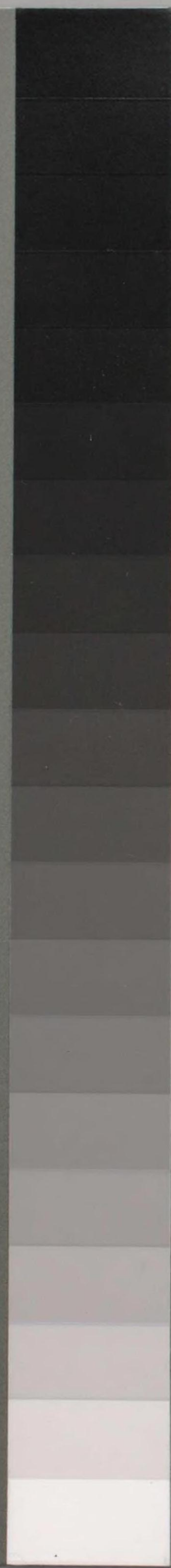


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

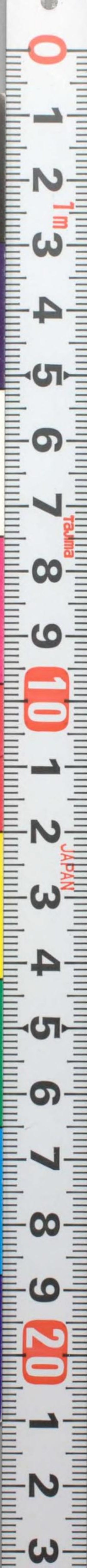
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

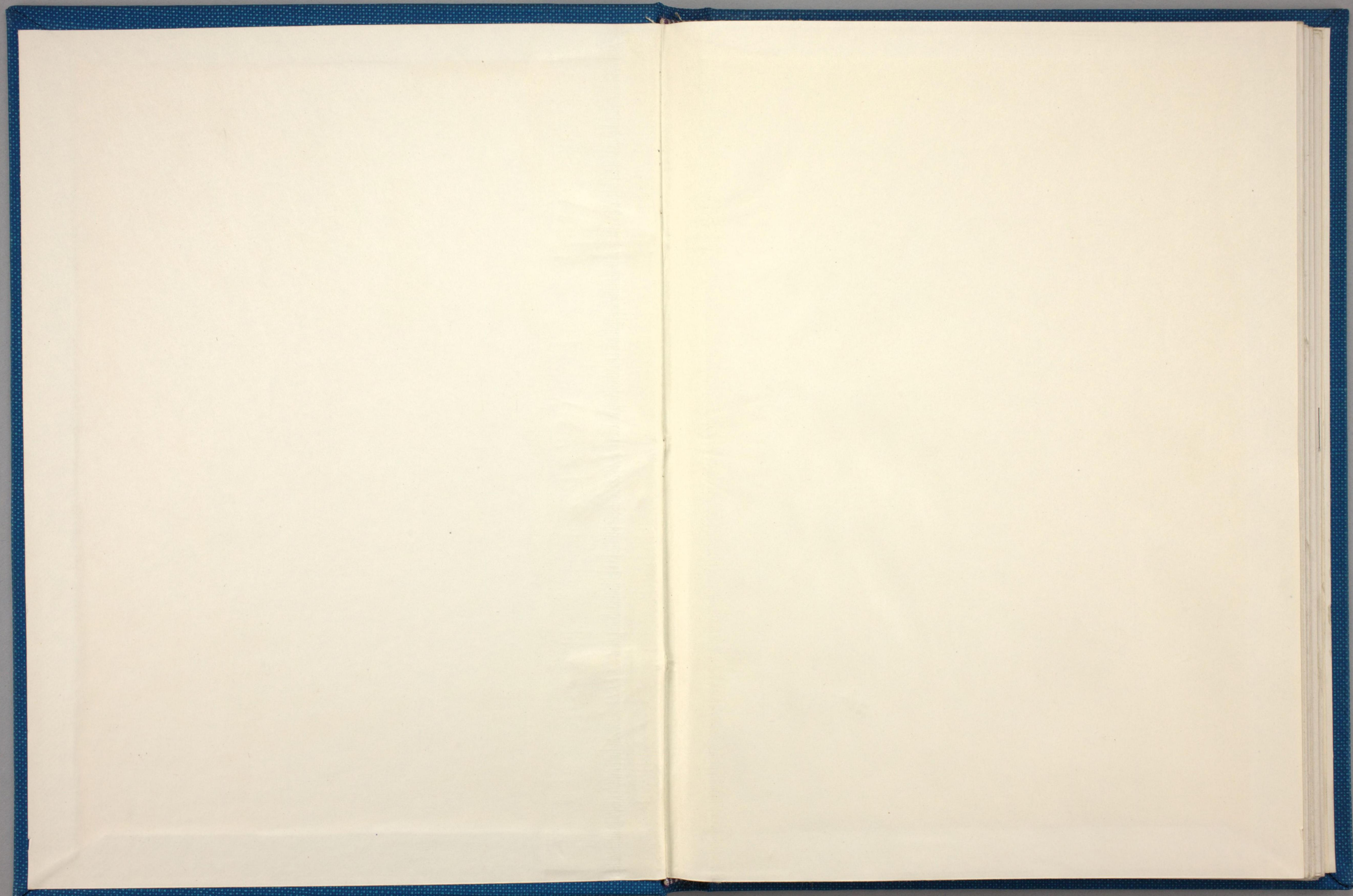
Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



12





I-100



快
報
中
事

小川晴暘

日本文化園説

製本

54
板

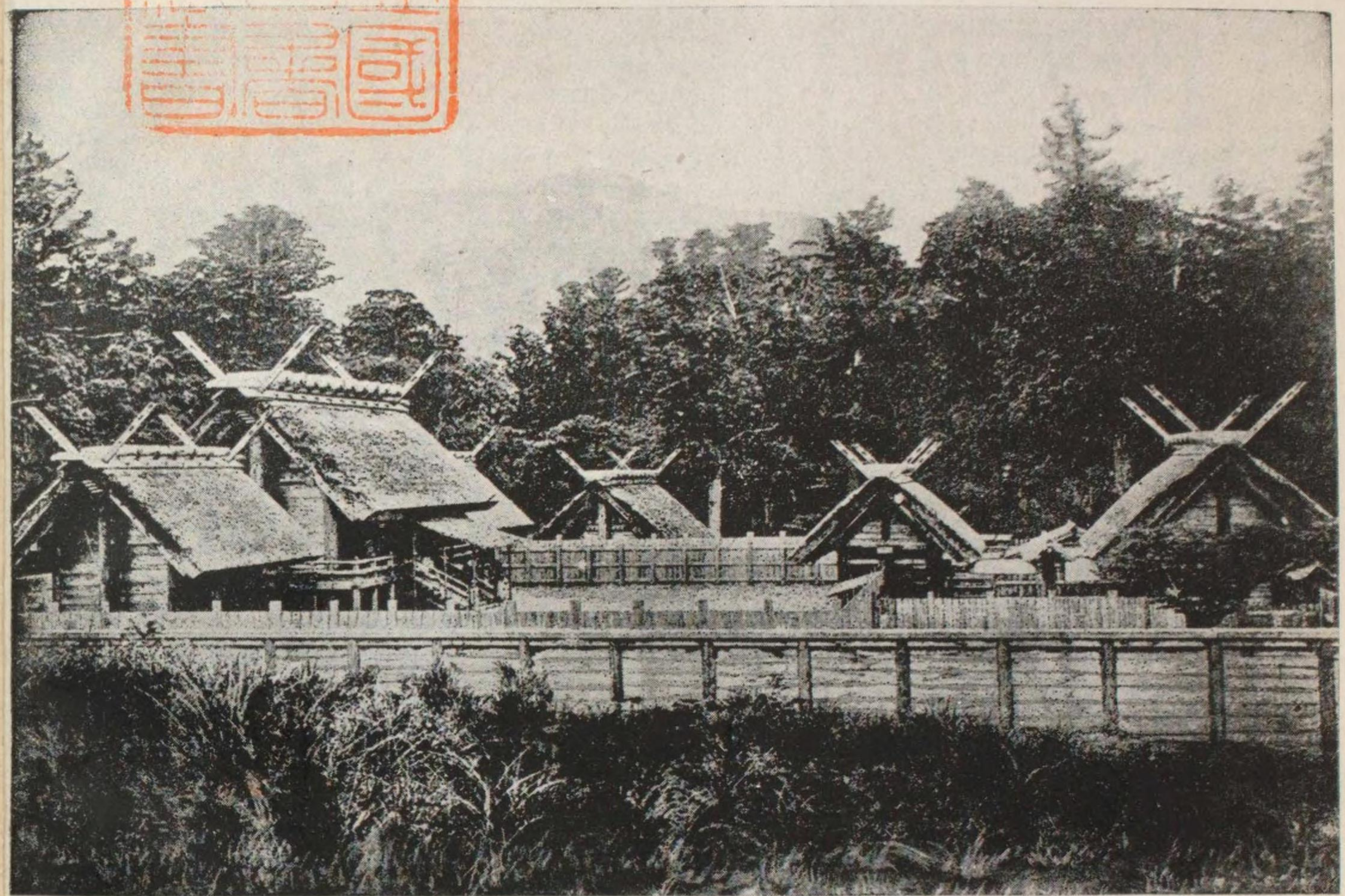


247243

210.1
0264n



神代・大和朝 一(上世1)



伊勢神宮 三重縣宇治山田市(現在の神宮は第五十九回の造營)



出雲大社本殿
島根縣展川郡杵築町

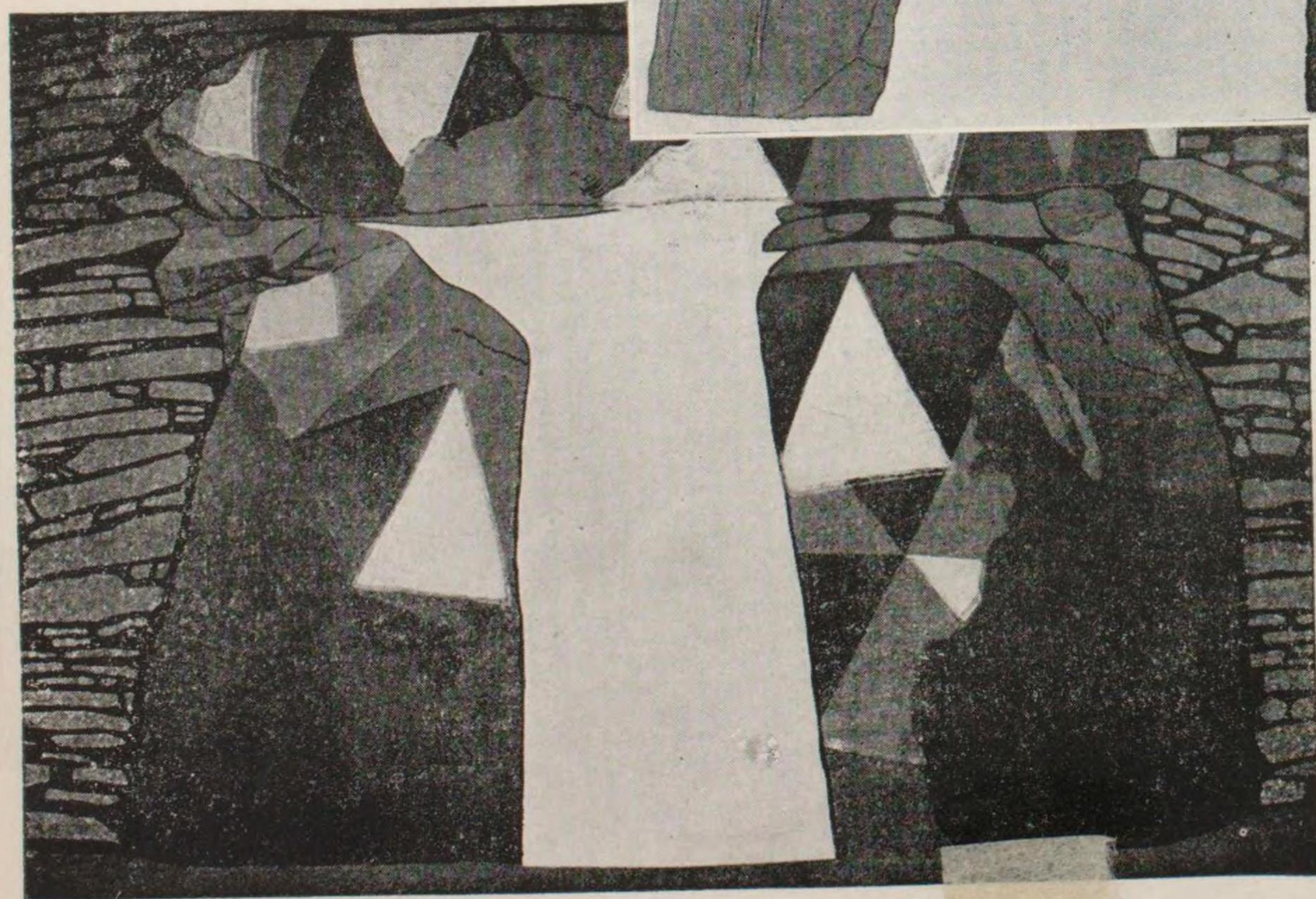
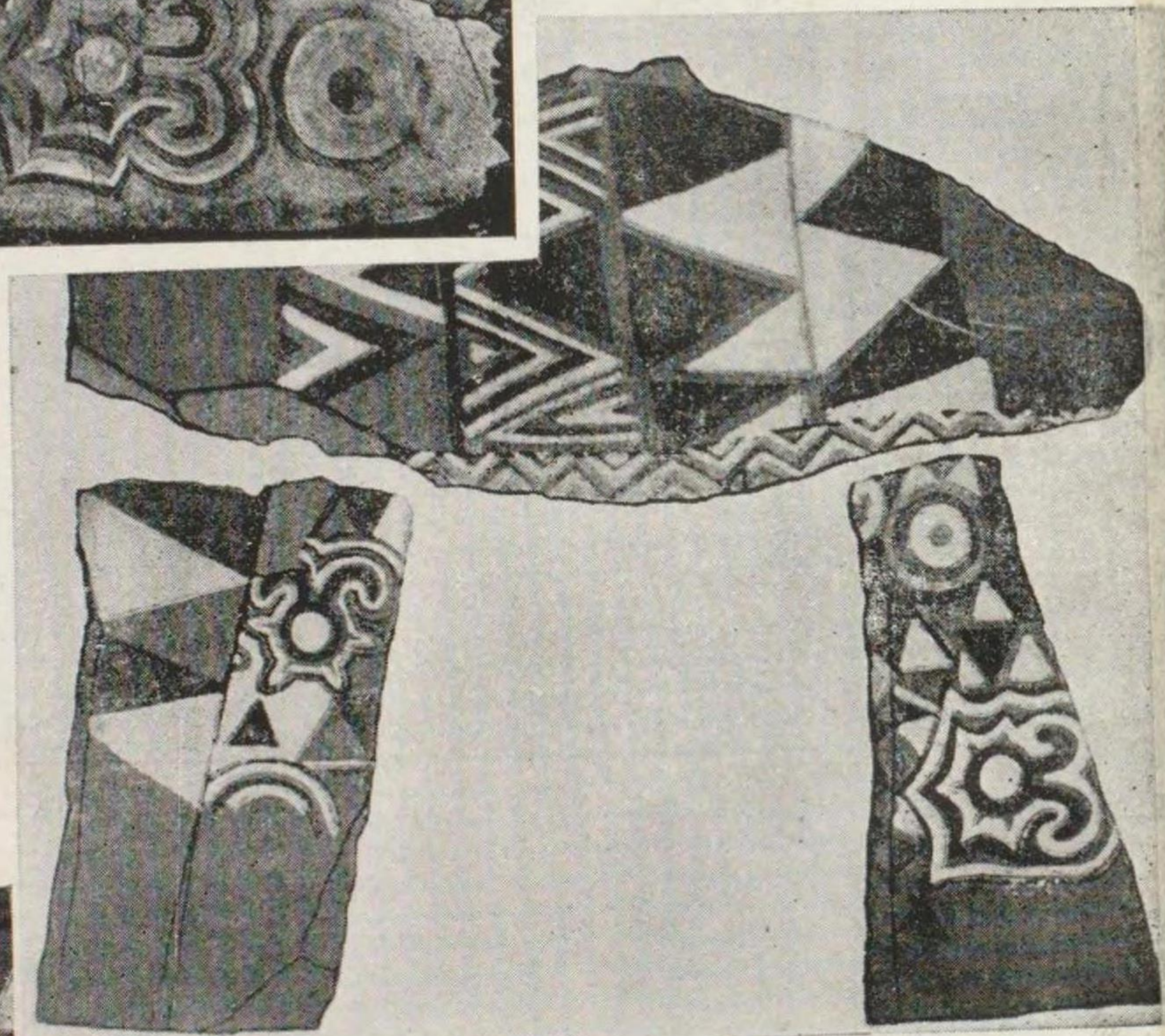
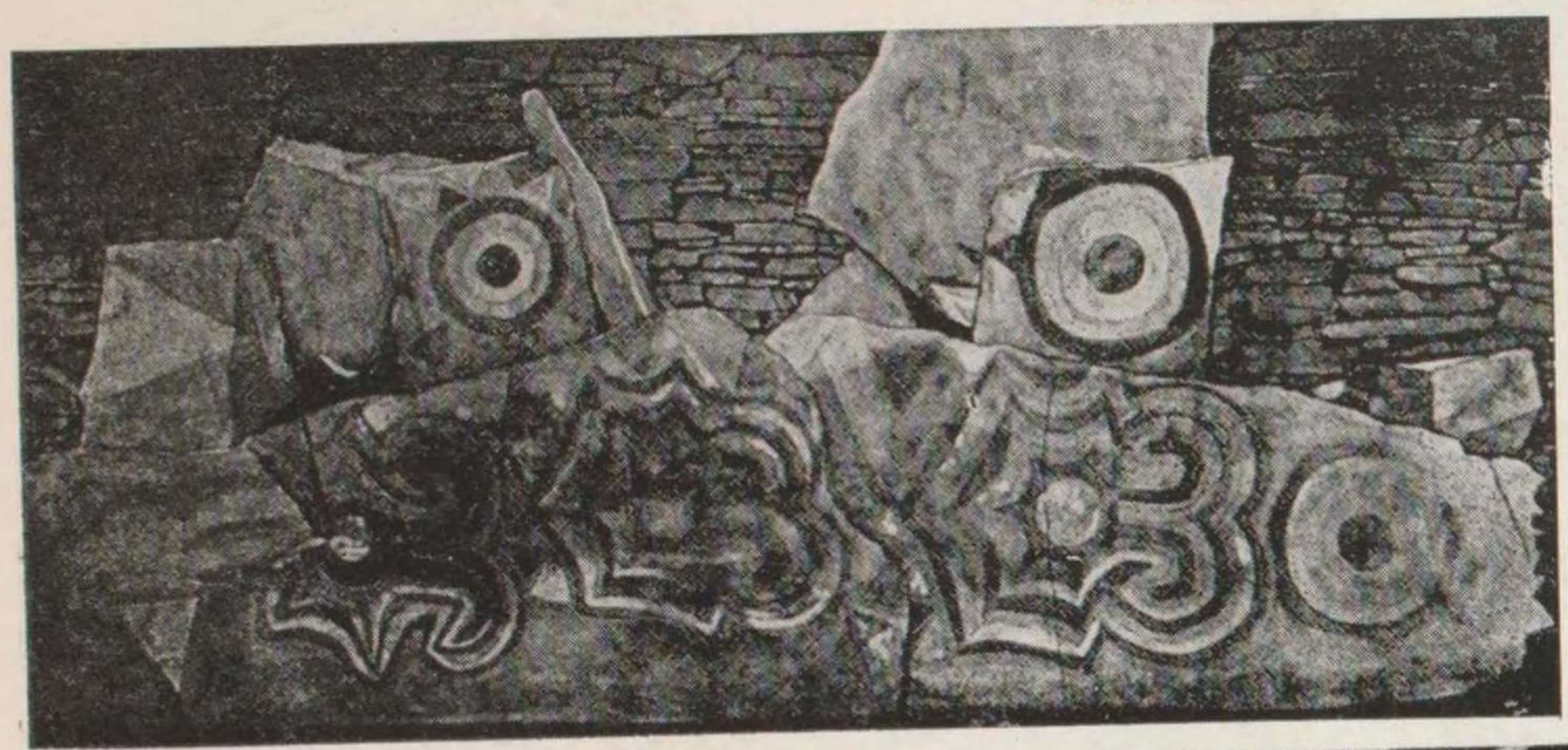
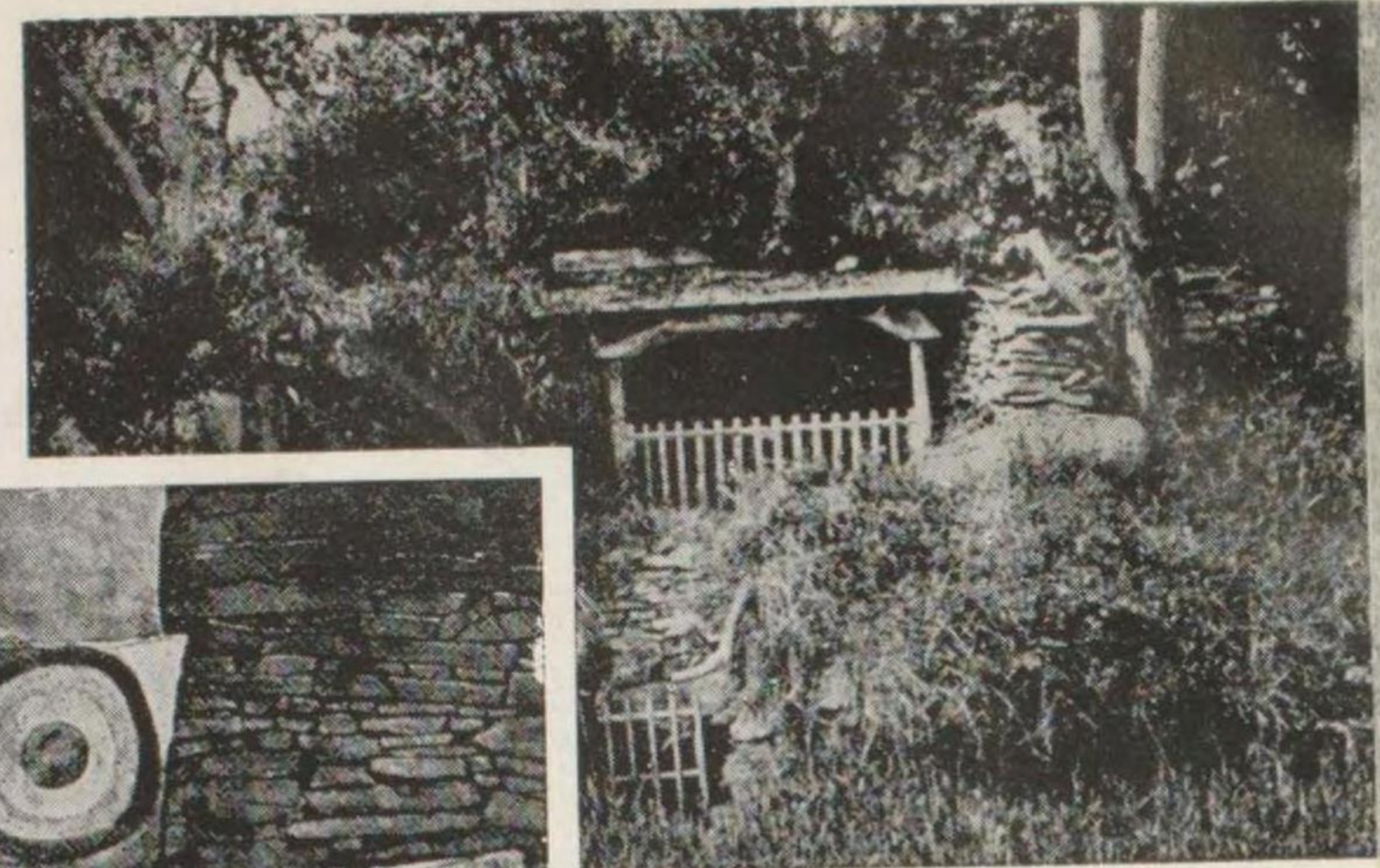


住吉神社本殿
大阪市住吉區

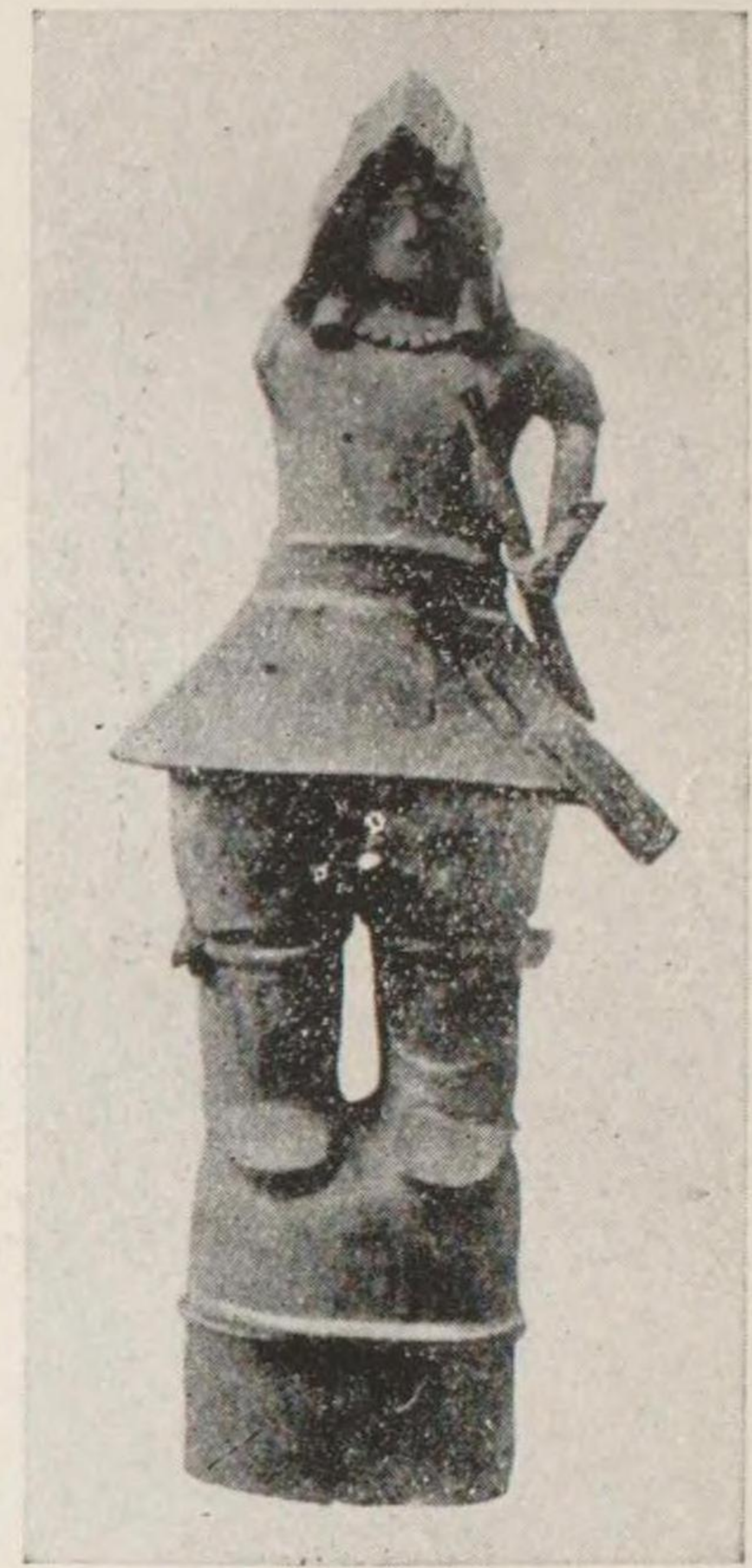
247243

釜尾古貴及石室裝飾文様三種

肥後國飽託郡西里村



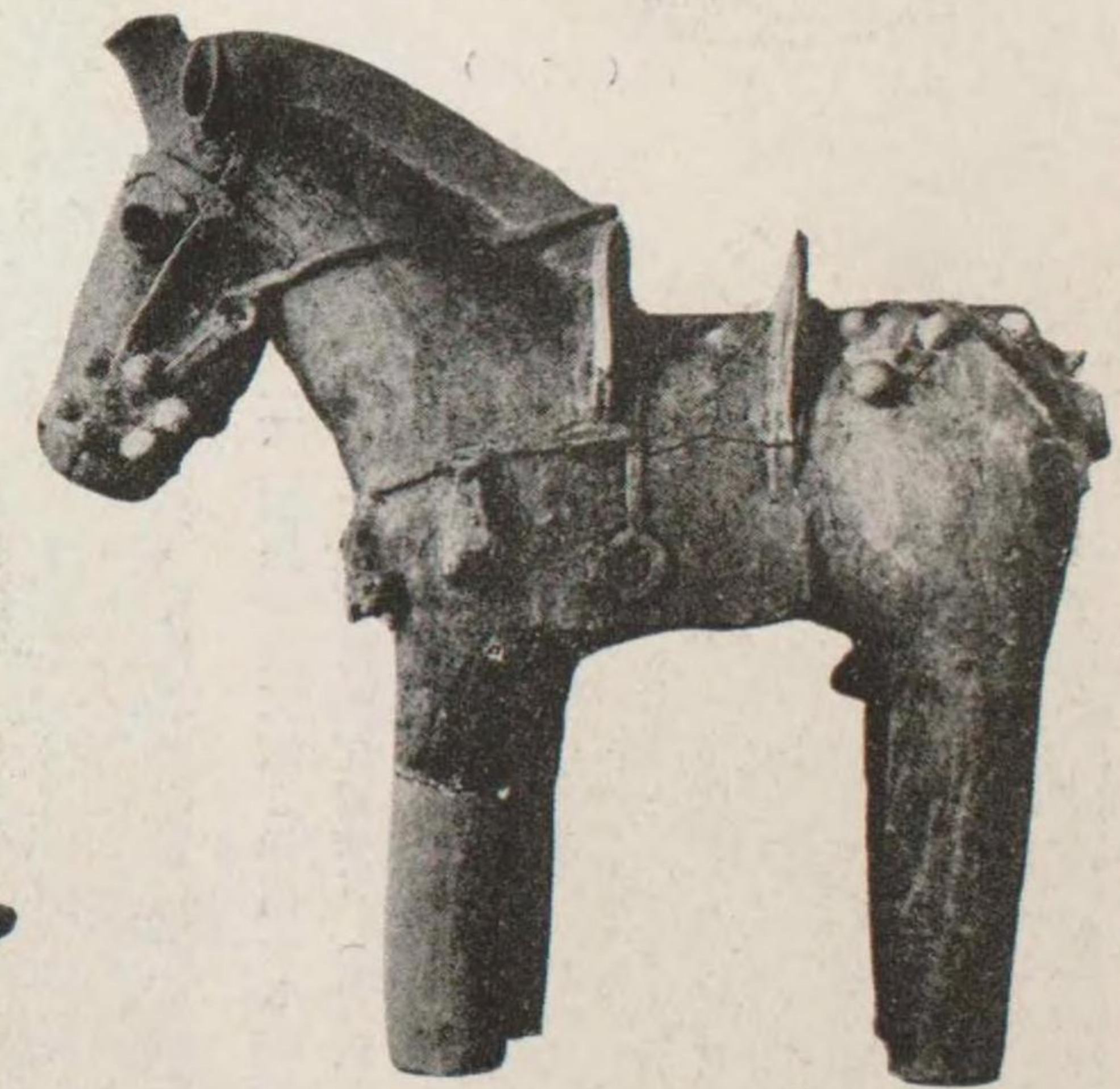
(二) 女子埴輪土偶
(60.0cm) (東大 人類學教室藏)
下野國河内郡雀宮村菅蒲塚發見



(一) 武装埴輪土偶
(117.3cm.) 下野國安蘇郡犬伏町大字犬伏發見 (東博藏)

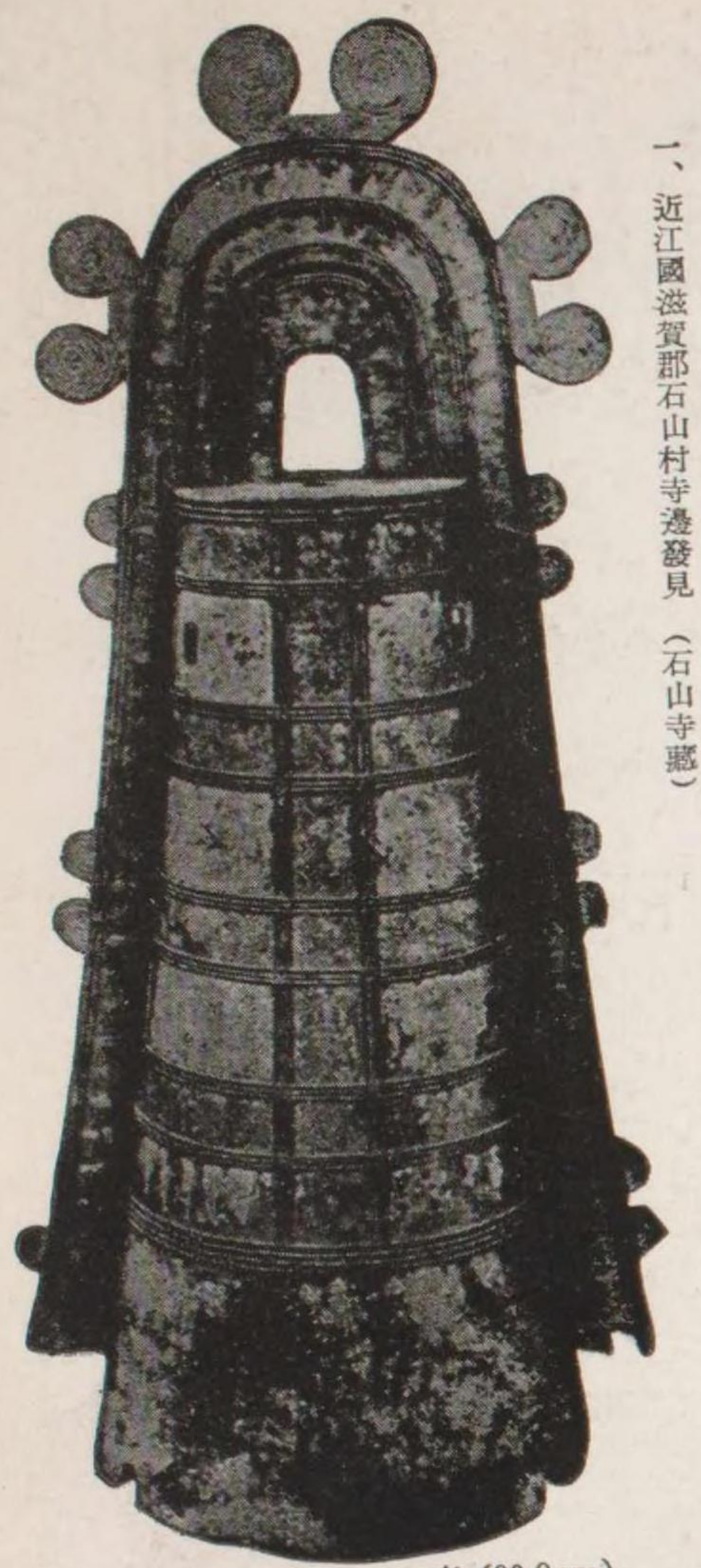


(四) 埴製家形 (47.9cm)
奈良縣磯城郡城島村大字外山 (東博藏)



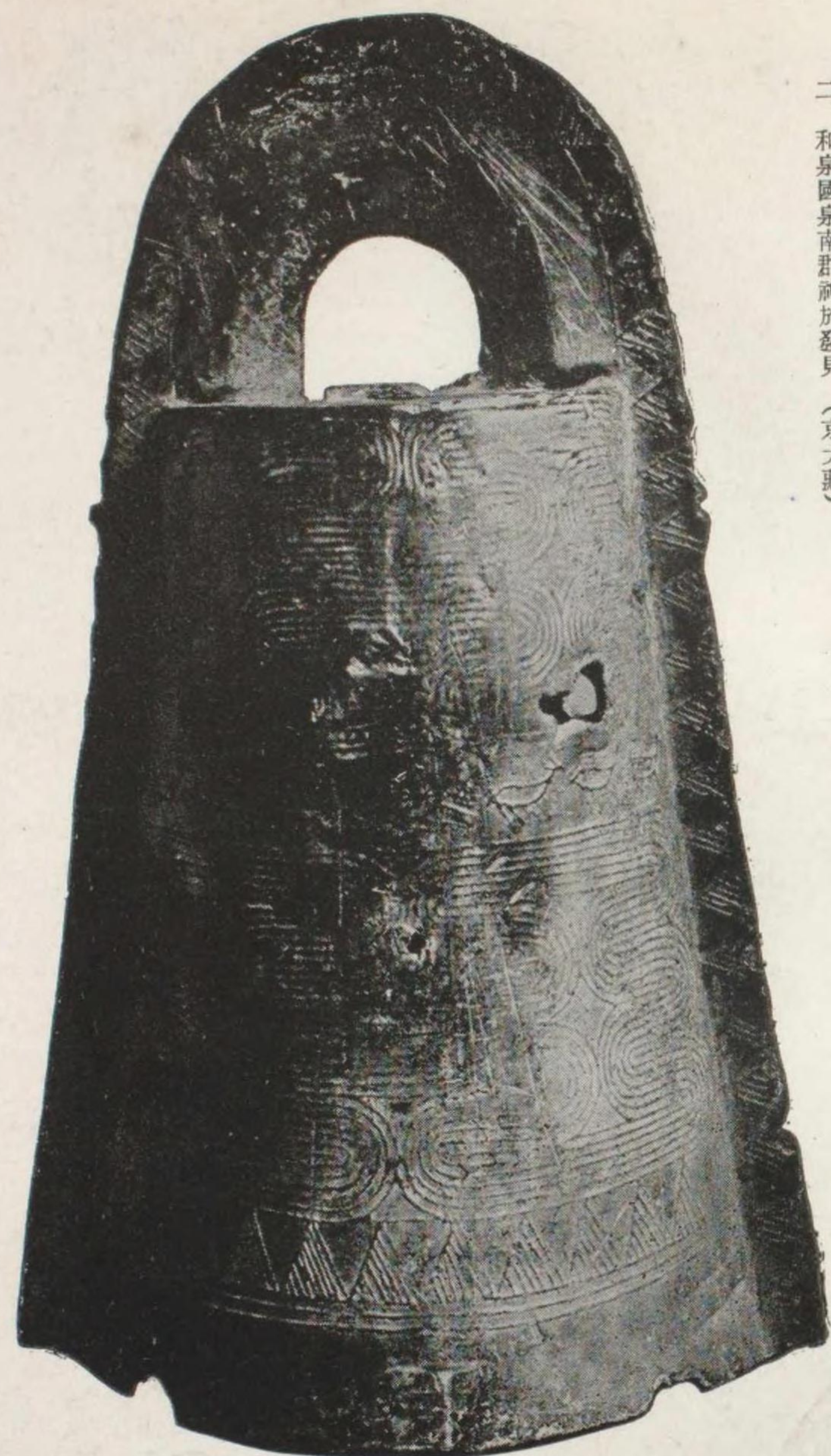
(三) 埴輪馬
武藏國北埼玉郡上中條村發見 (東博藏)

(87.9cm)

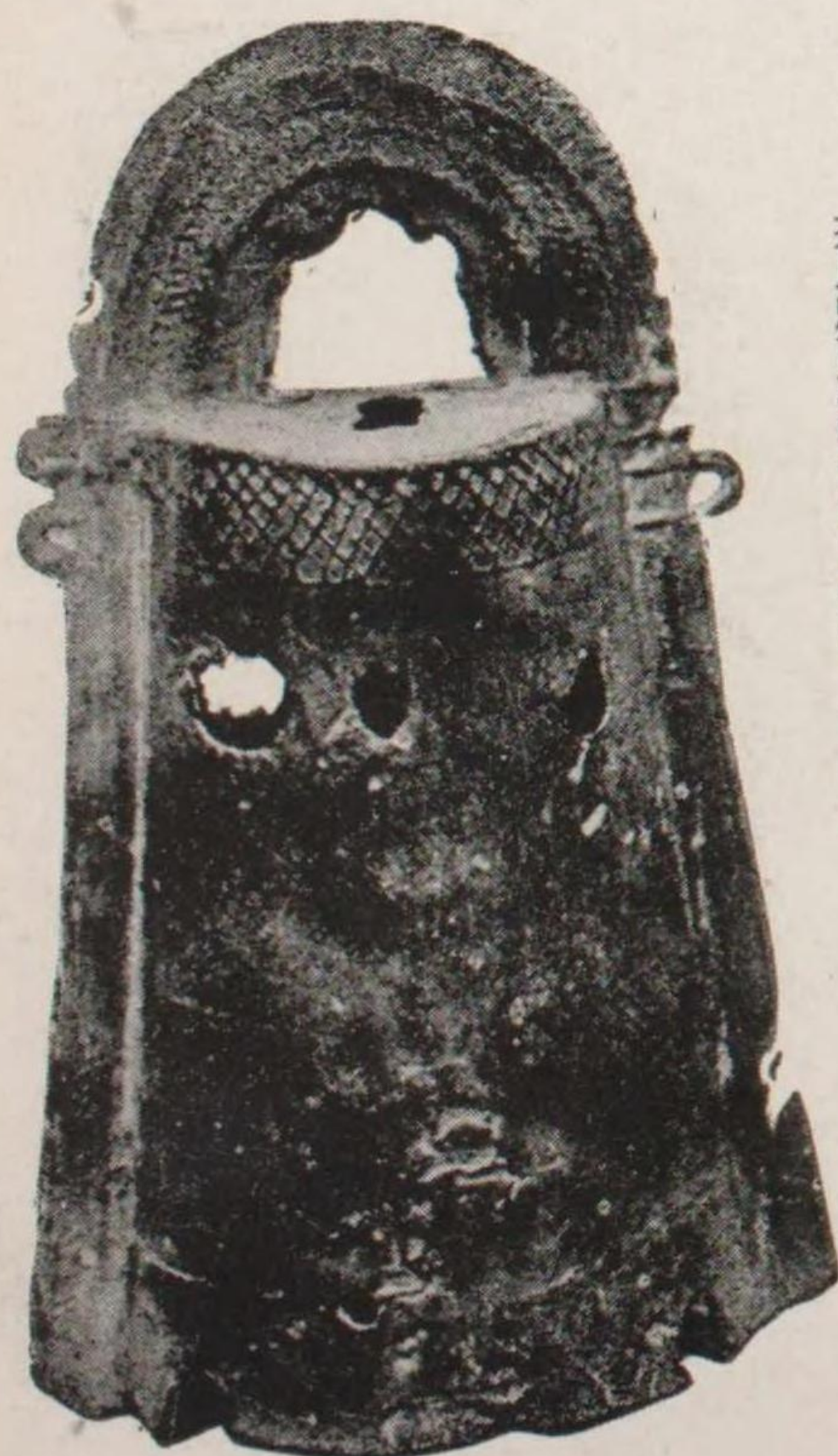


一、近江國滋賀郡石山村寺邊發見 (石山寺懸)

高(90.9cm)

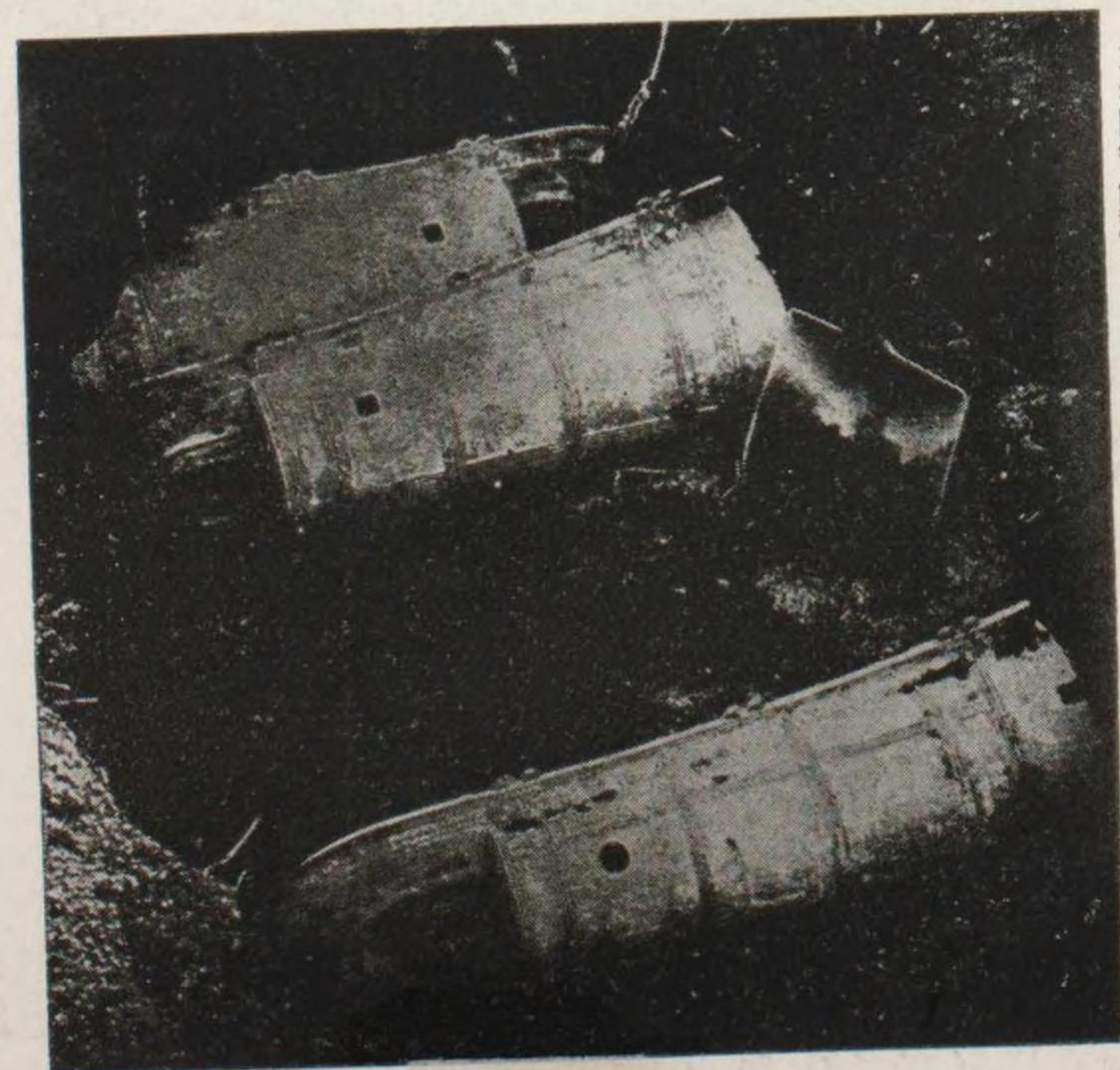


二、和泉國泉南郡神於發見 (京大懸)



三、細線鋸齒文鏡と伴出せる銅鐸
奈良縣南葛城郡吐田郷村 (東博懸)

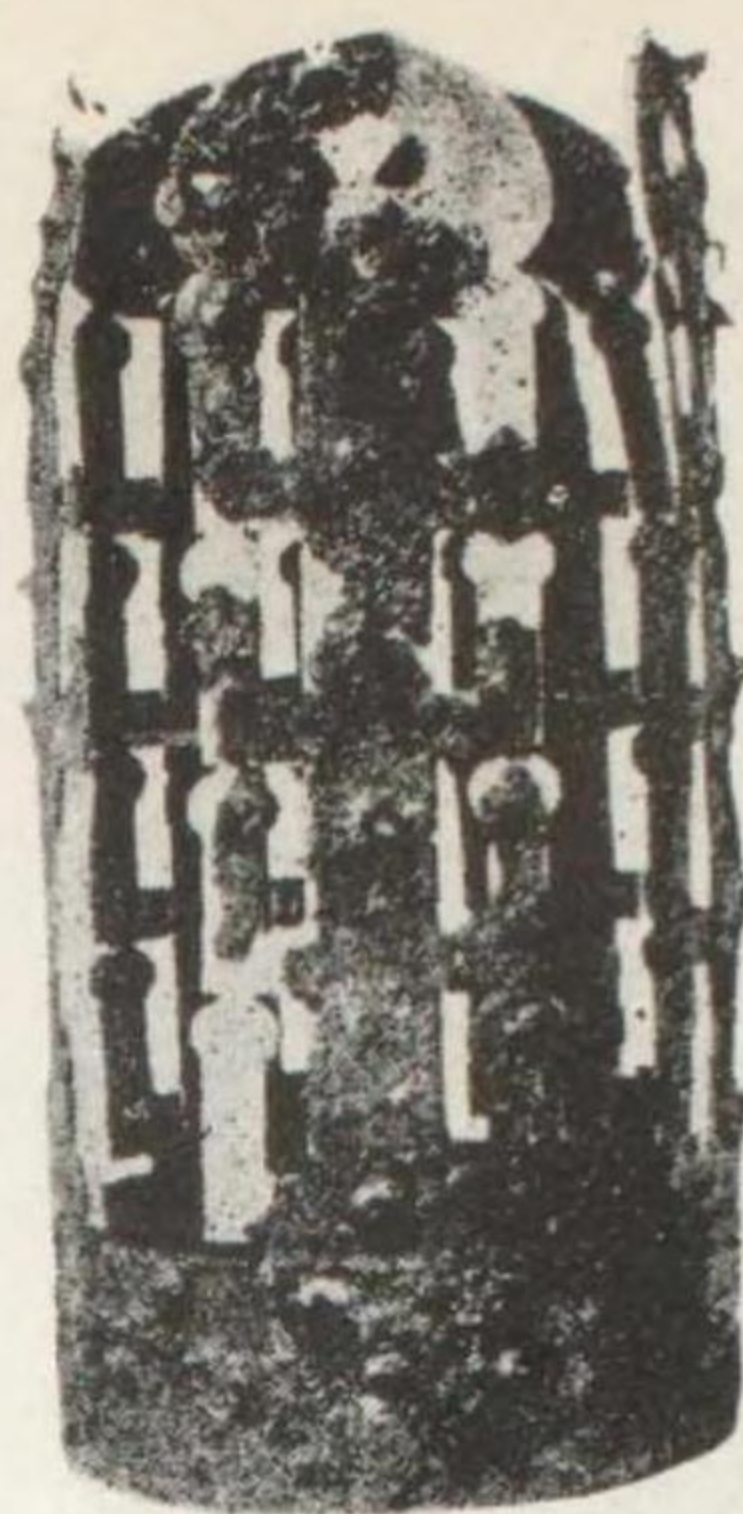
(高23cm 巾12.1cm)



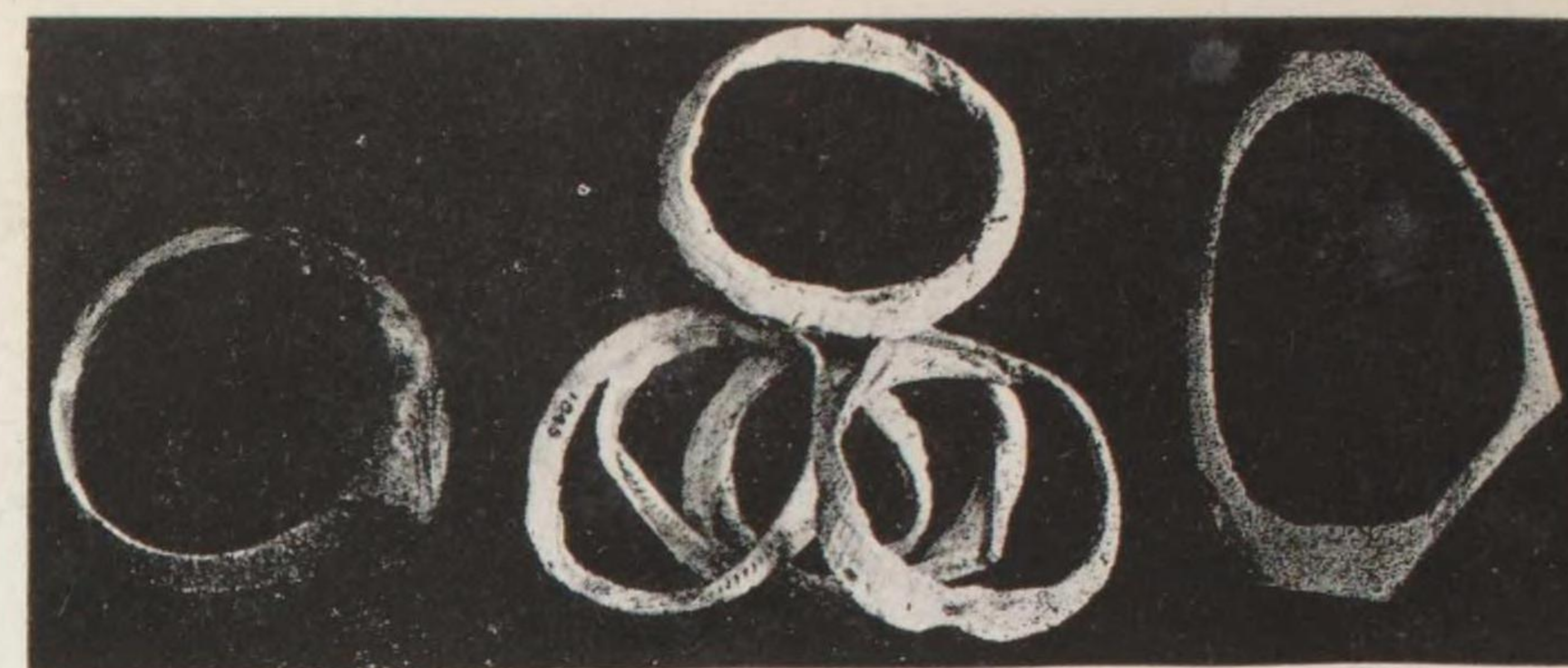
三河國寶飯郡小坂井村大字伊奈發見

四、銅鐸埋存複原 各鐸 (75.7cm前後)

大字山王字三代古墳 (東博懸)
金銅製冠 (36.3cm) 上野國佐波郡上陽村



環頭大刀



石製腕輪
筑後豐前内發見

貝製腕輪
千葉縣千葉郡余山發見

貝製腕輪(テンクニシ)
神戸夢野發見



圓頭大刀



勾玉及管玉類
奈良縣石上神宮禁足地發見

日向國西諸縣郡真幸村大字島ノ内發見
衝角付冑



(長徑 25.5cm)

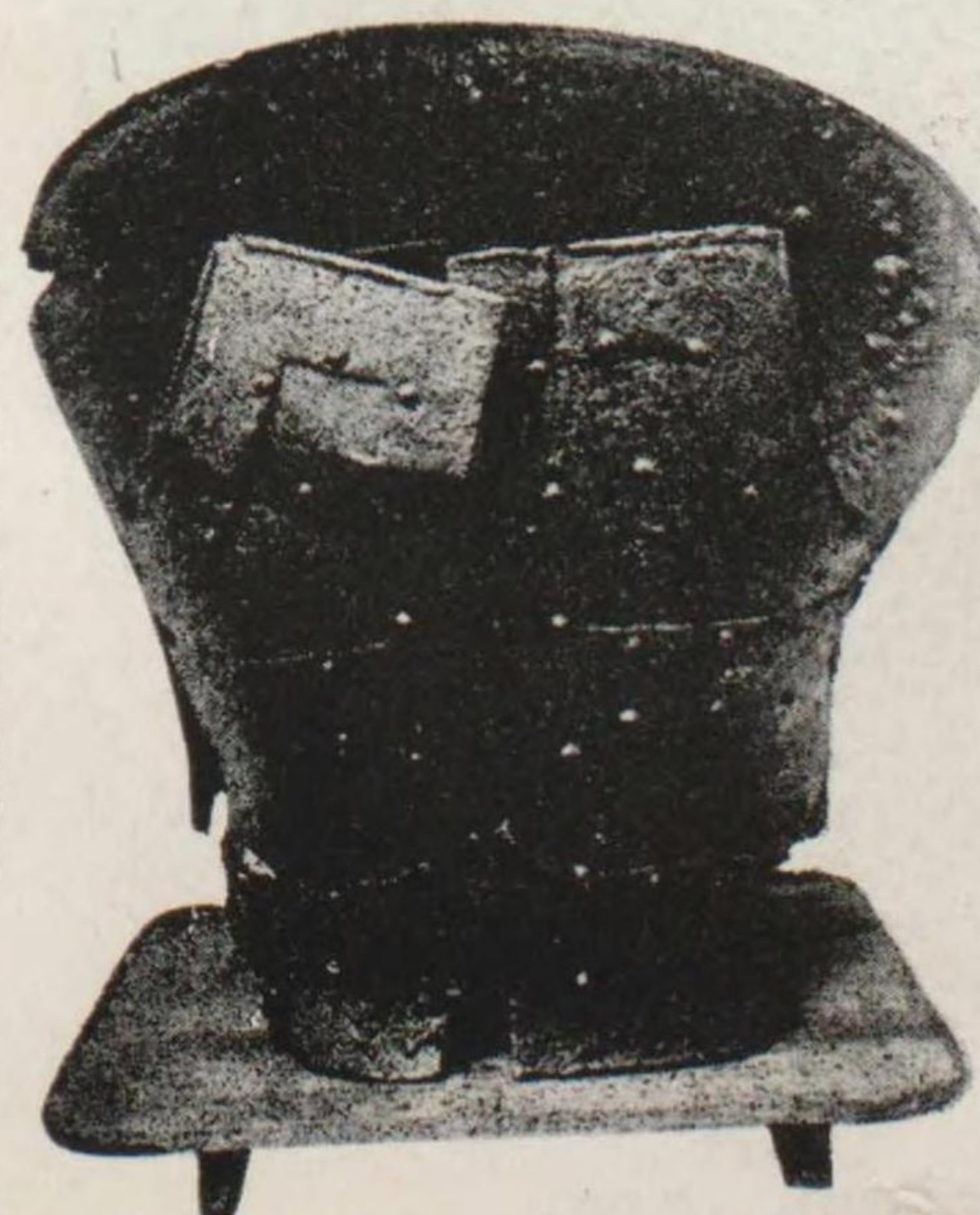


石鏃



銅鏃

短甲



(47cm)



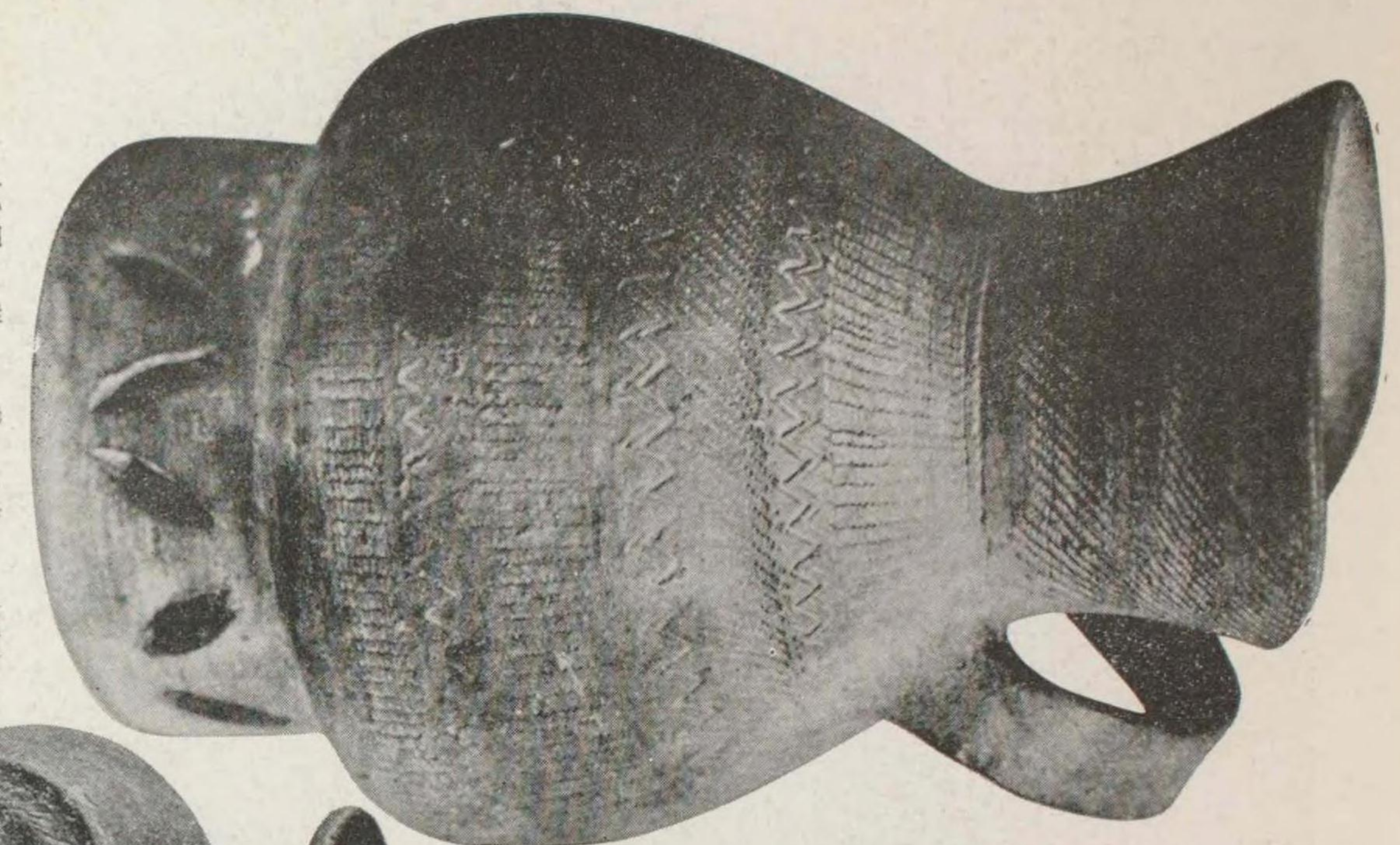
磨製有柄石劍



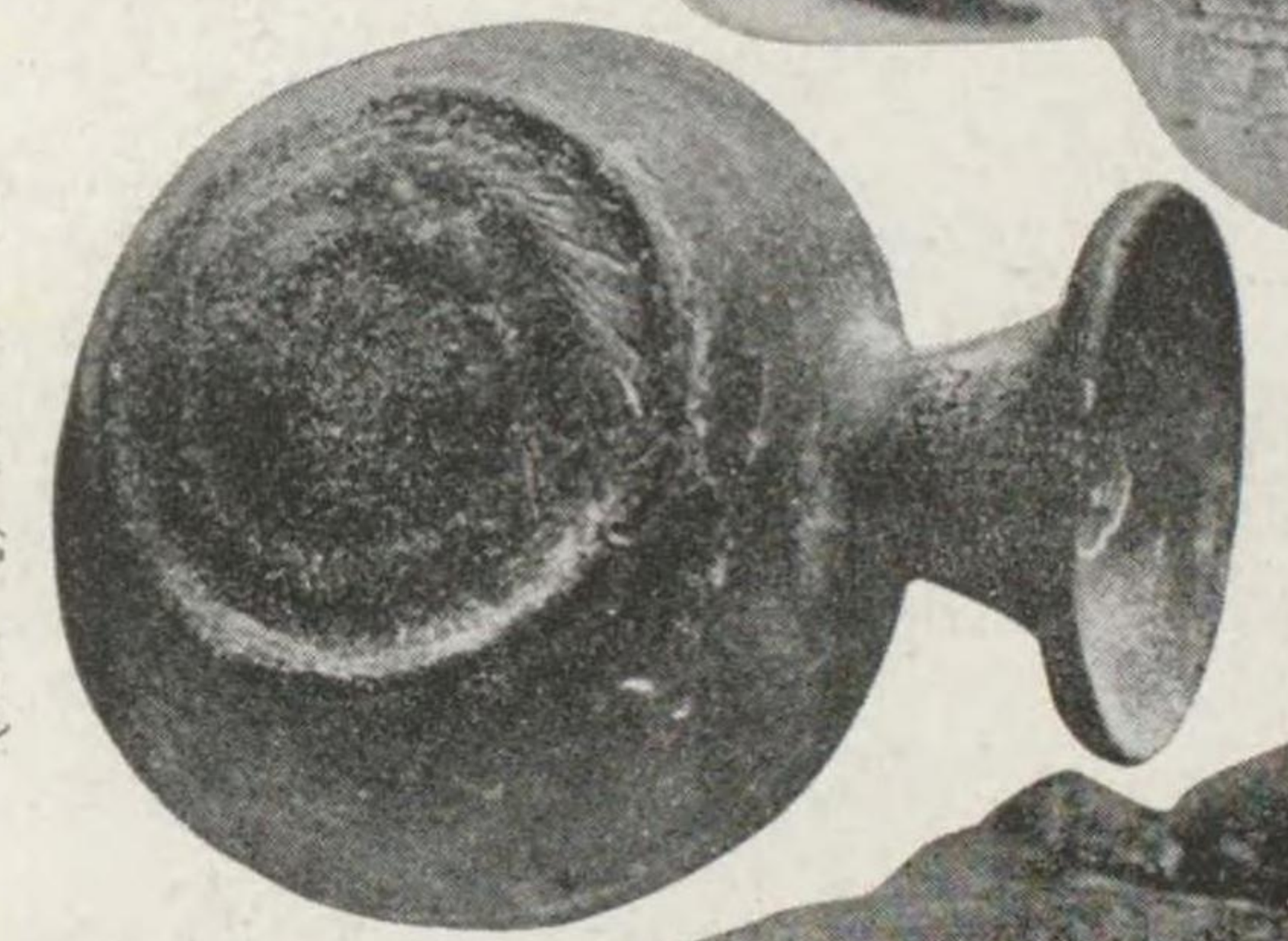
狭
クリ
ス形
銅
劍



廣鋒銅劍



二、大和國山部郡 鑊 (高 44.4cm)



三、提瓶 (11.0cm)
山屋國造 彦部有智 越村
荒牧爾穴發見 (京大藏)



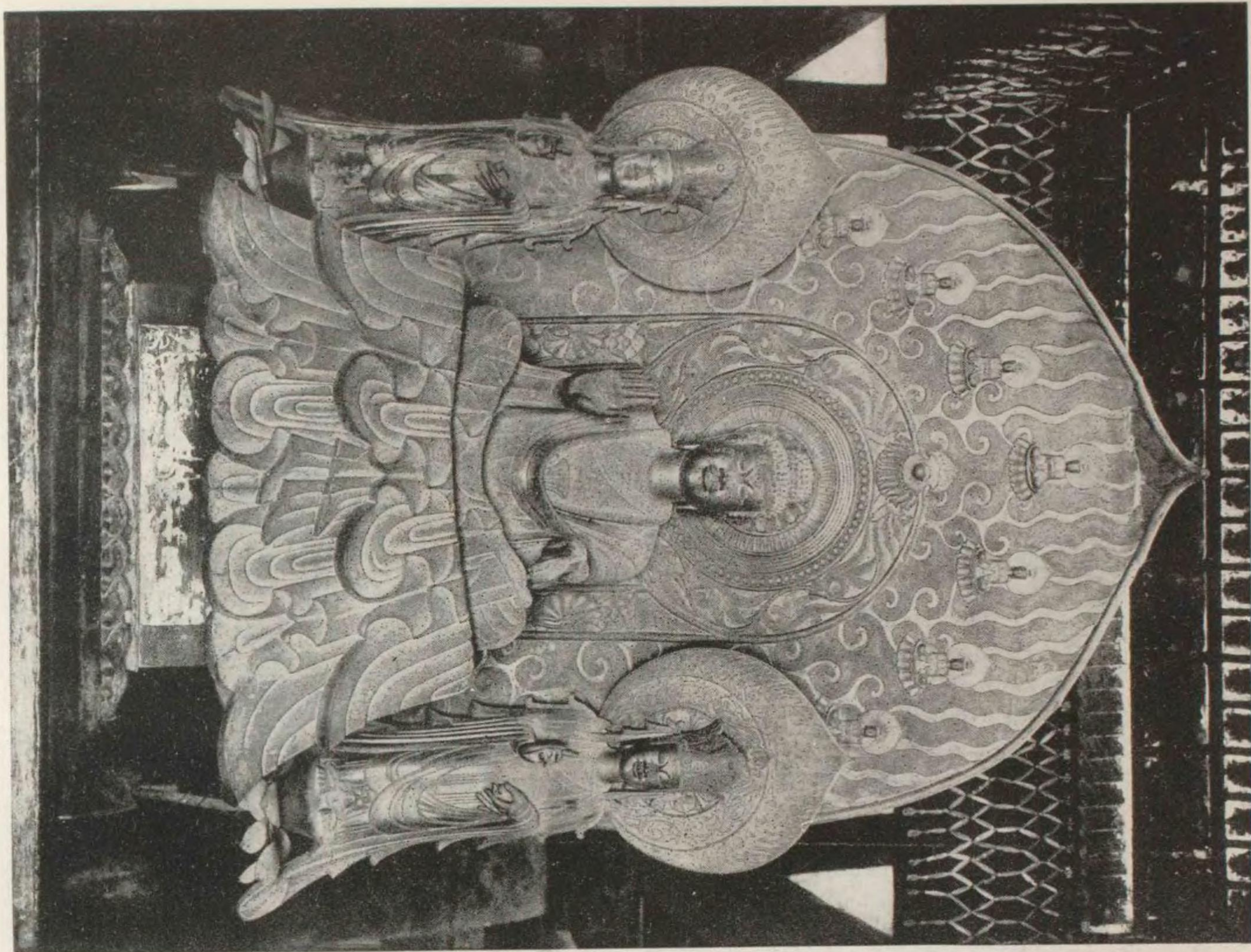
一、土瓶形 土器 (高 22.7cm)
常陸國那賀郡高田村大字地蔵發見 (續傳平氏藏)



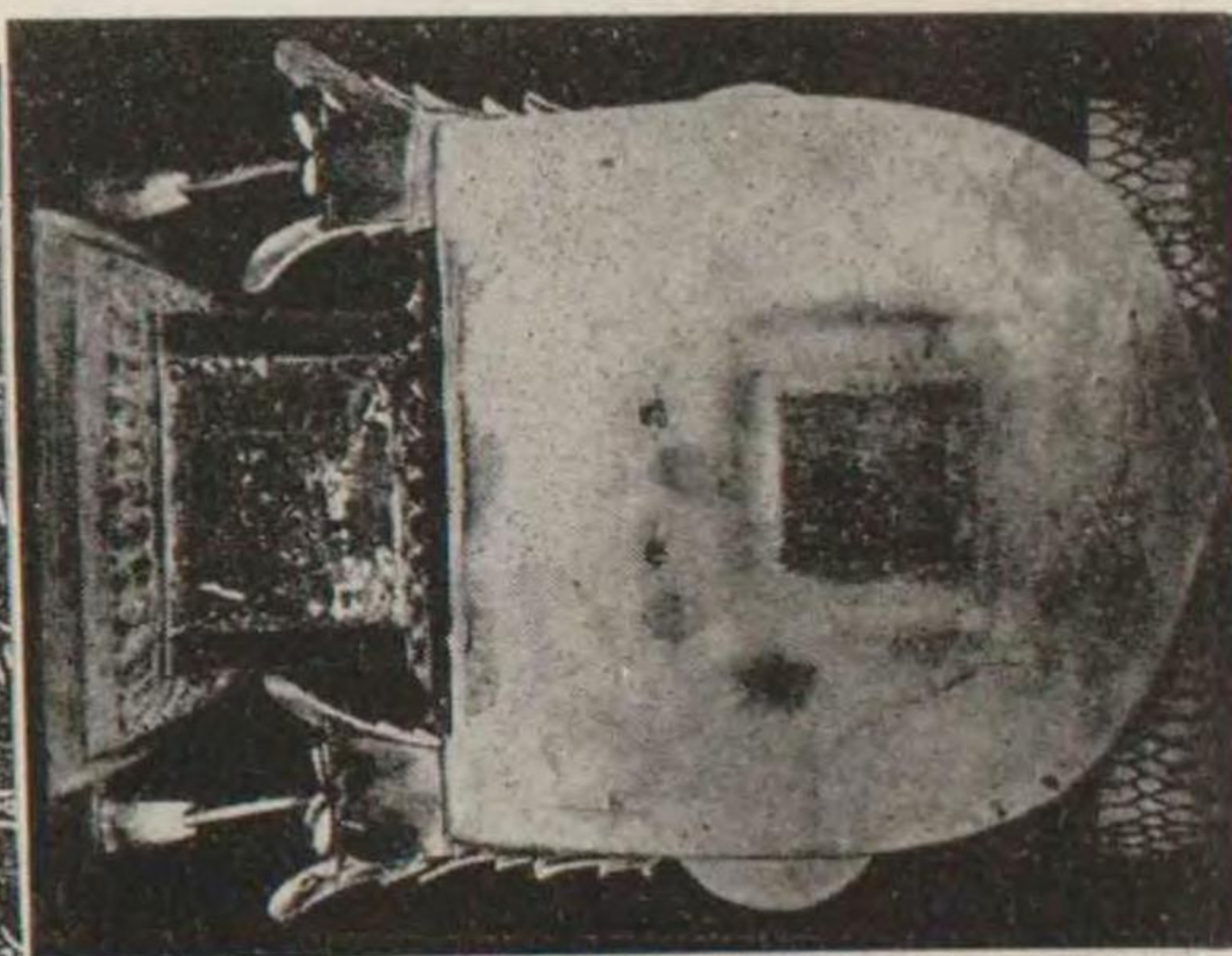
一、四種の建築を現せる銅鏡 (徑 22.9cm)
奈良縣北葛城郡佐味田寶塚發見 (諸陵寮藏)



二、五鈴鏡 (徑 13.6cm) 尾張國東春日井郡志段味村古墳發見 (京大藏)



本尊佛身坐高 86.5cm 釋迦三尊像 法隆寺金堂



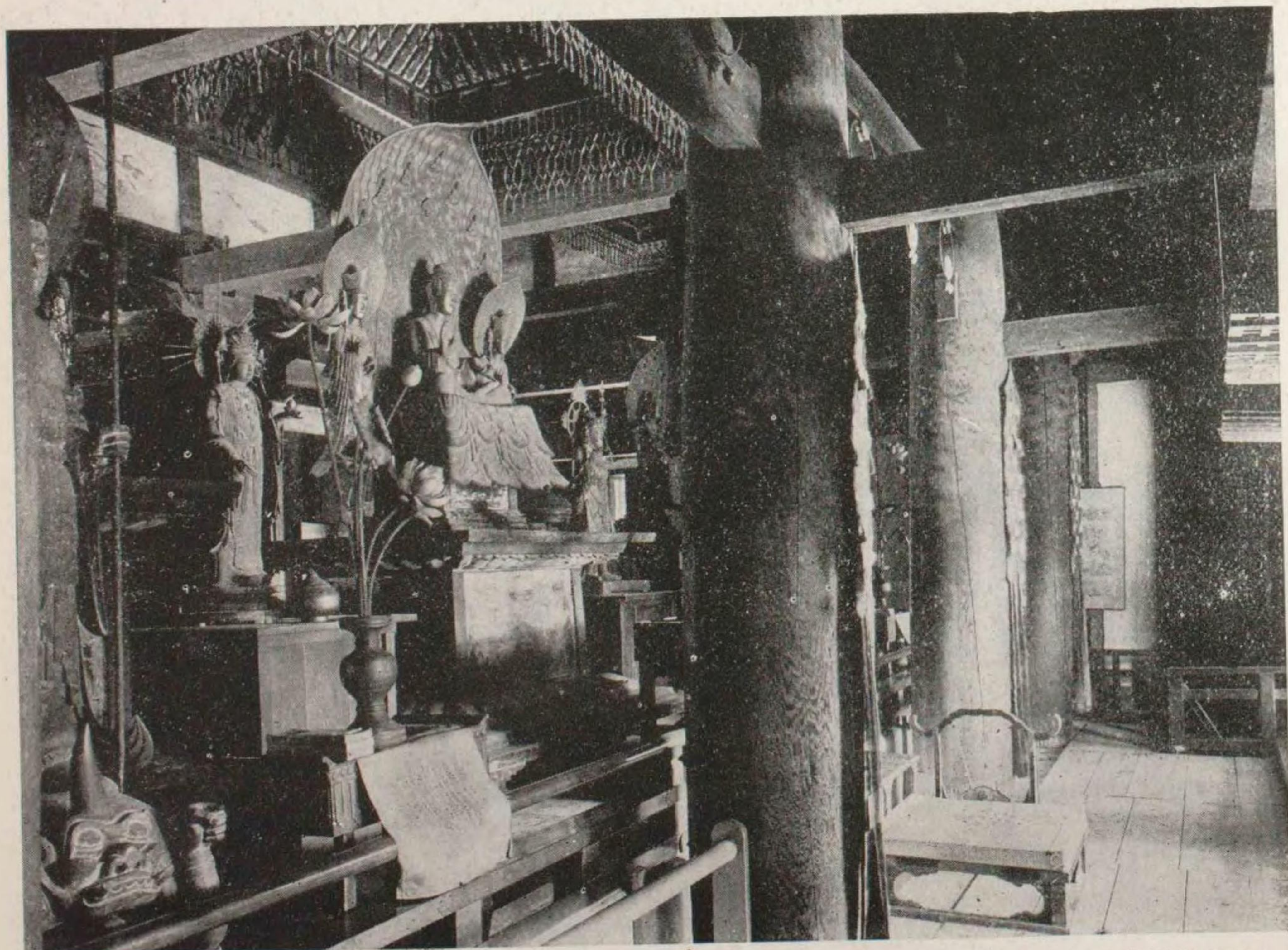
釋迦三尊像背面及其の銘文

法興元世一十歲次辛巳十二月鬼
前太后多明手二月廿二日宮法
皇批而申念十食五后何以勞亦並
著於亦時王后王子等及興諸臣深
懷越矣若相終傾仰似三爾首造持
像尺寸玉身察此節力轉病延壽安
任世間若匙定業以并世者往於帝
士早采妙果二月廿一日於面王后
身法二信身像牙像存及在女嚴
果念誠得脫苦縛
鞅首止利佛師造

法隆寺西院伽藍全景



奈良縣生駒郡



法隆寺金堂内正面全景

藥師如來像

釋迦三尊像

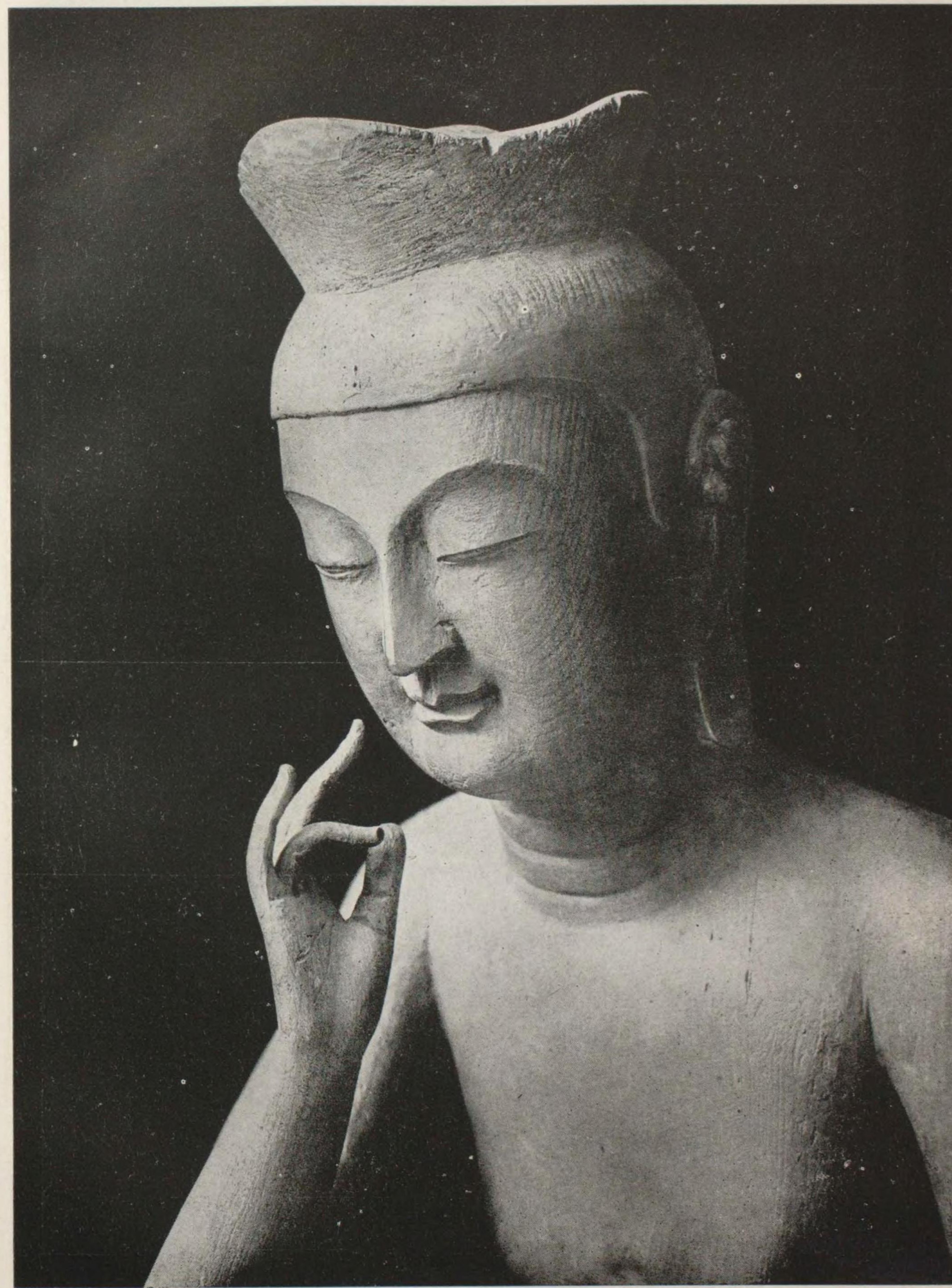
持國天像



百濟觀音像 法隆寺寶藏館
木彫乾漆彩色 像高 209.2cm



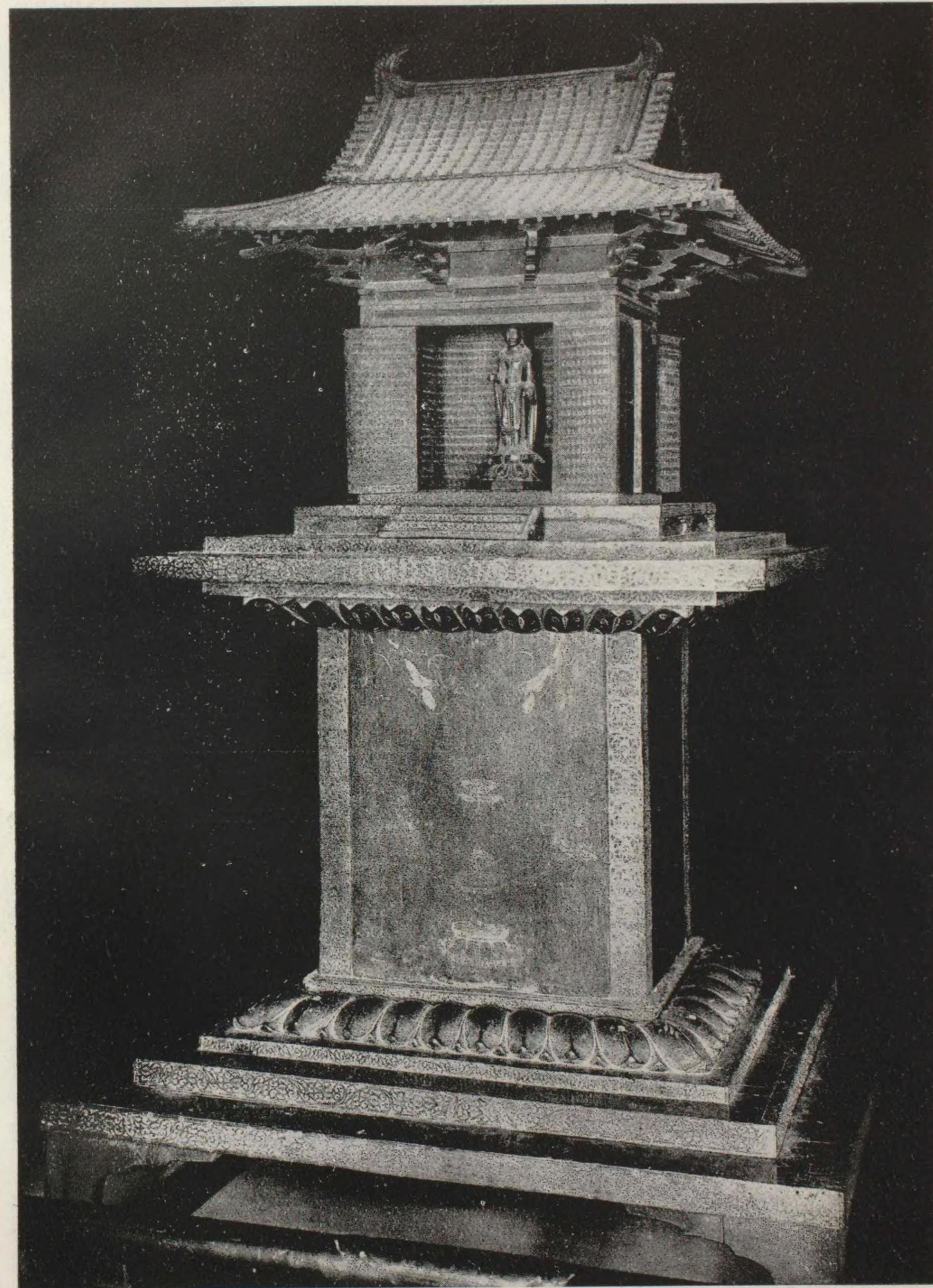
多聞天像 法隆寺金堂
木彫彩色 像高 134.5cm 光背裏銘 藥師德保云*



彌勒菩薩思惟像 楠木造 高四尺七寸 廣隆寺靈寶館



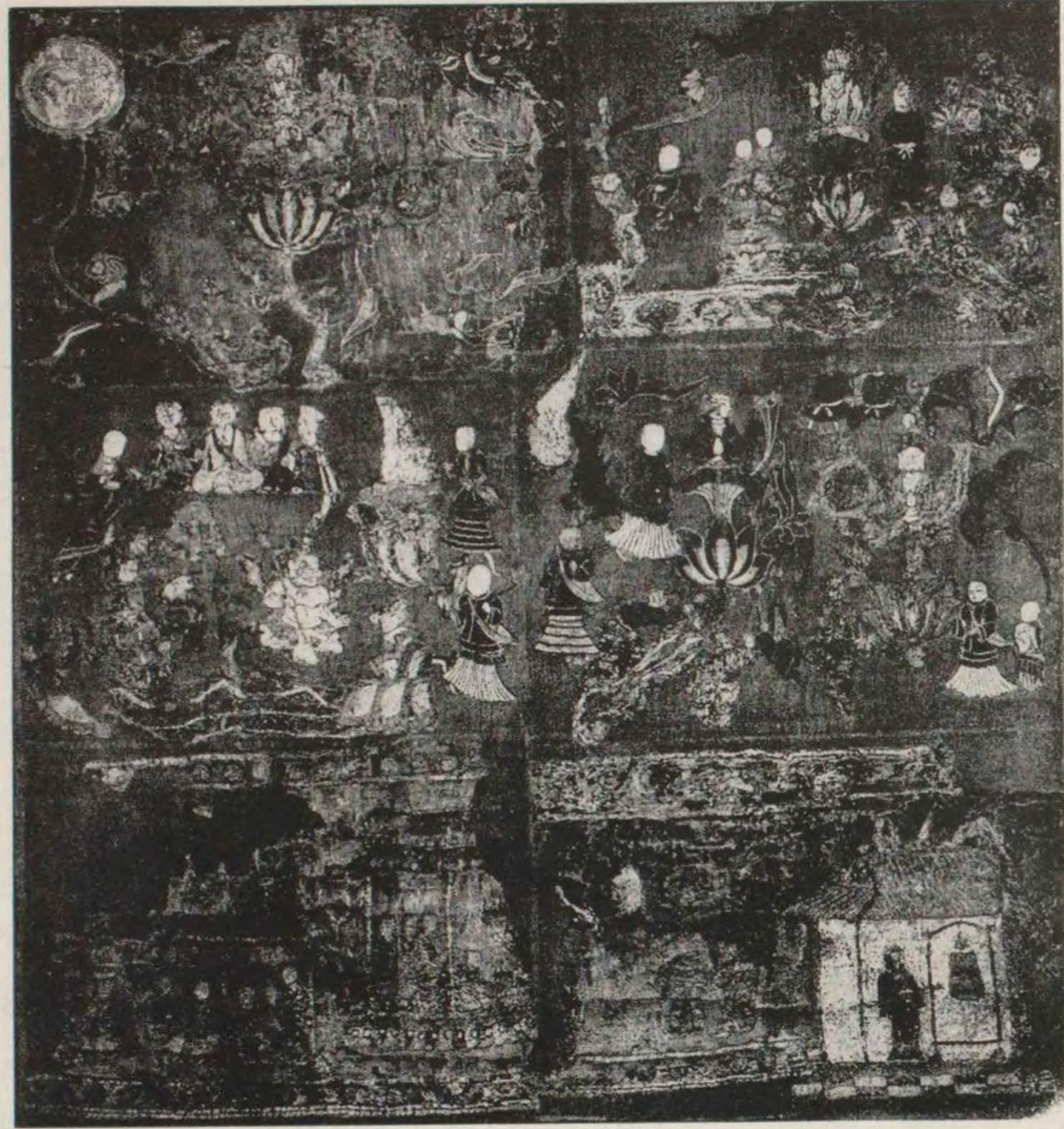
玉蟲厨子須彌座左側面漆繪 捨身飼虎圖
地色は栗色透明 繪は黄、朱、茶、緑、白の五色漆(密陀繪設は膜)



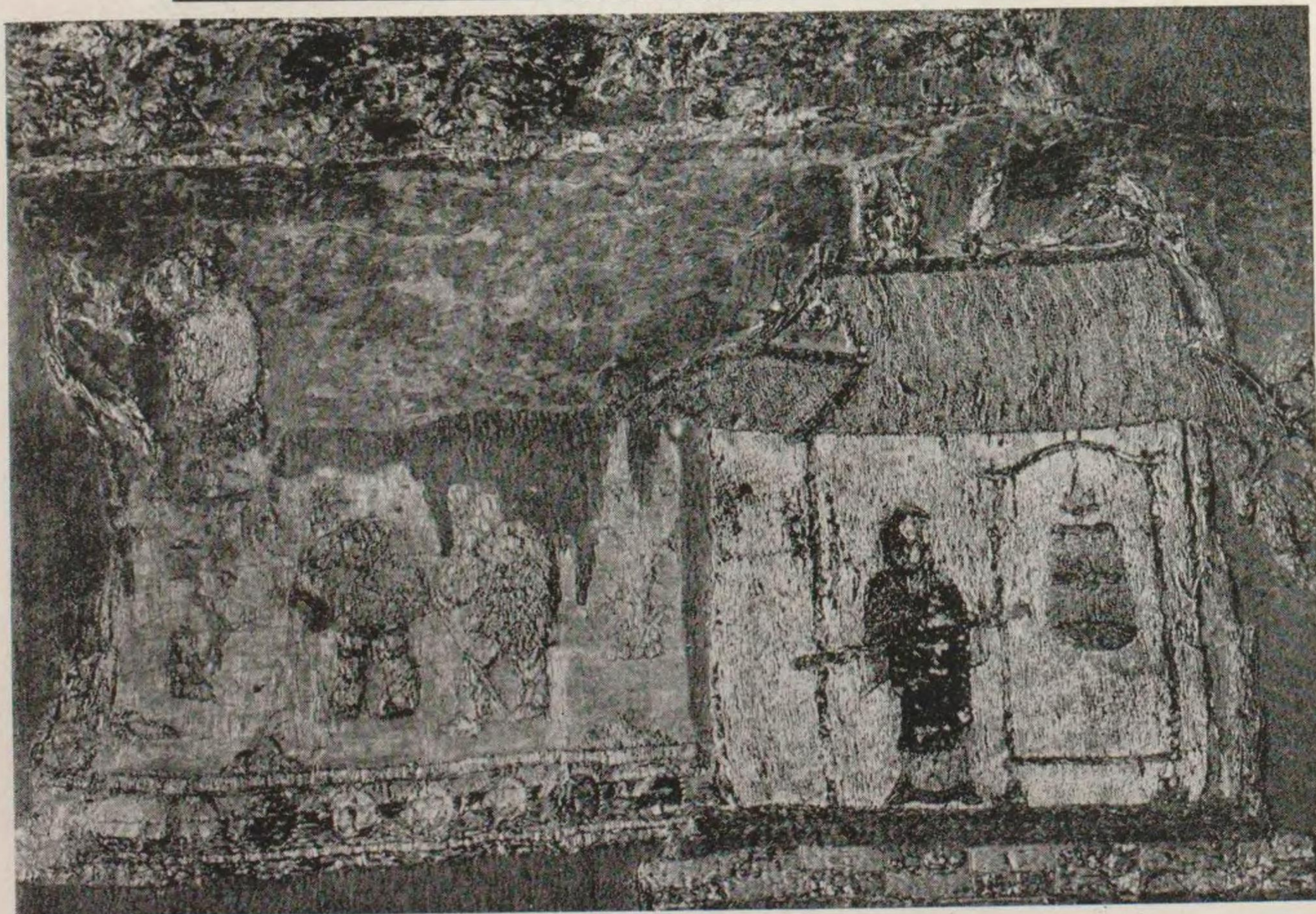
玉蟲厨子 總高233cm 法隆寺 寶藏館

木造 漆塗漆繪 透影金銅金具玉虫羽根敷 宮殿内部打出金銅板 須彌座正面舍利供養圖 右側施身開儀圖
左側面捨身飼虎圖 背面須彌山圖 宮殿屏外側正面二天兩側菩薩圖 背面多寶塔圖

天壽國曼荼羅繪

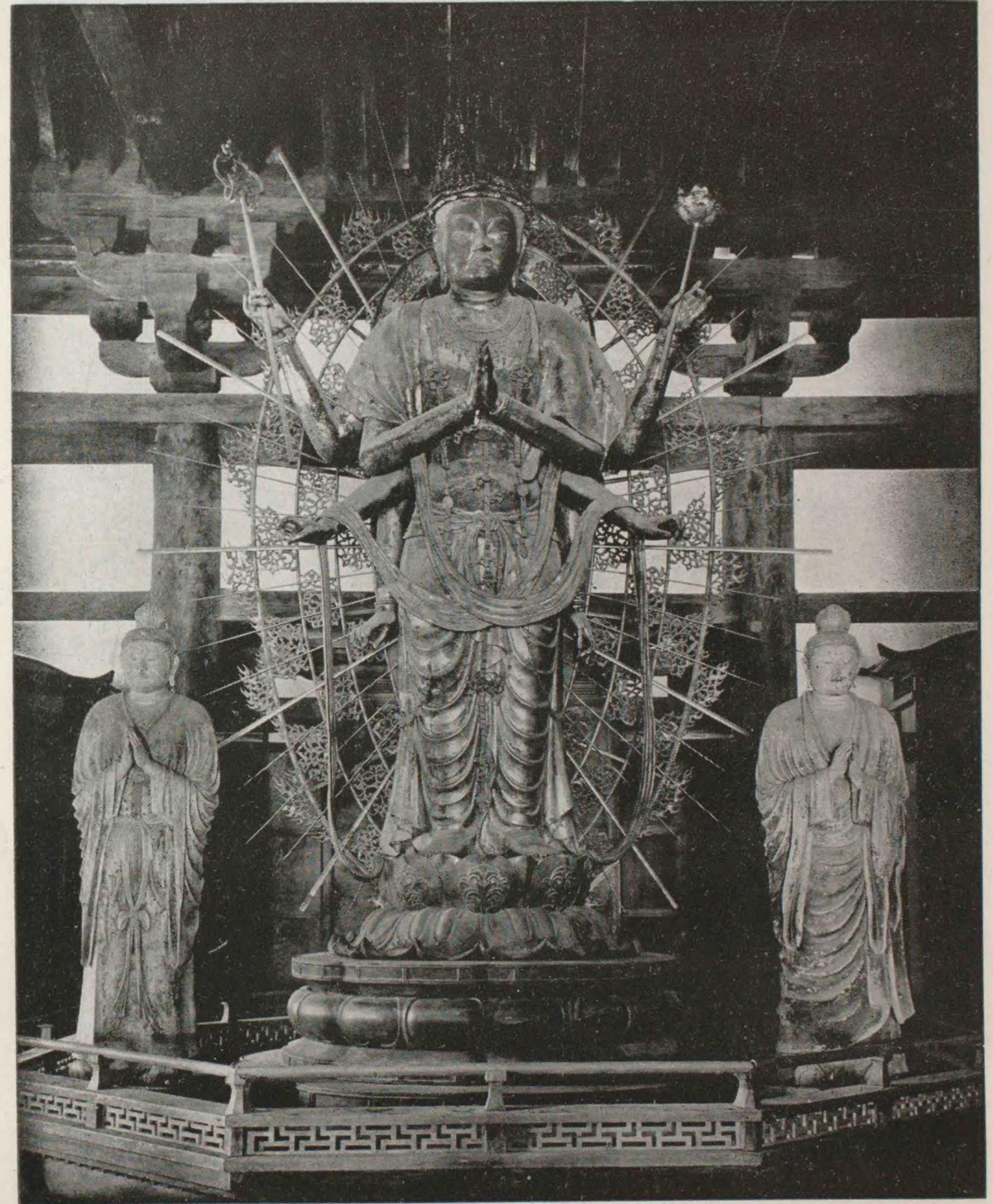


向つて右下細部
鐘樓



中宮寺

上は現存の全幅 88.5×82.7cm



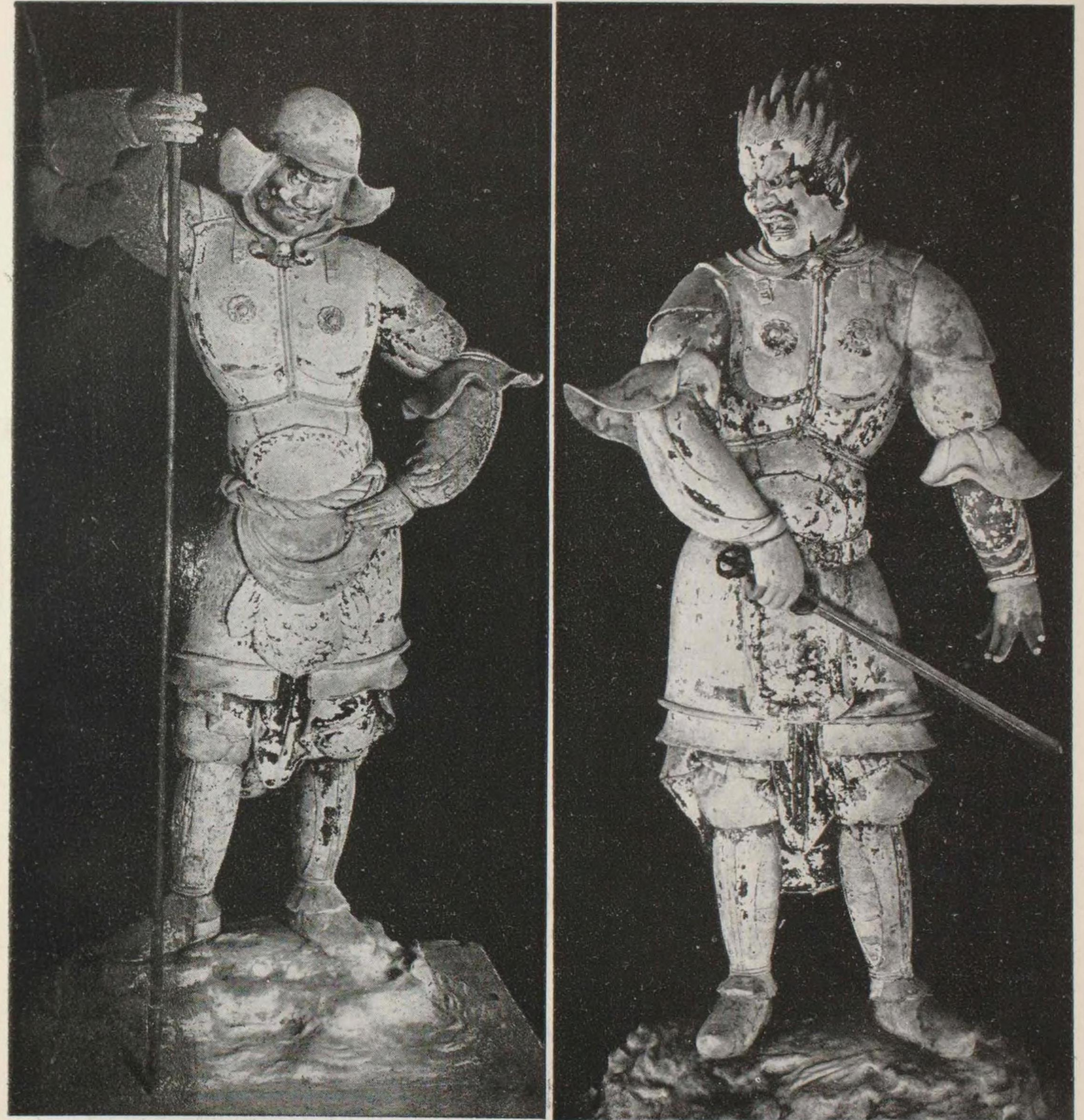
不空罽索観音・日光・月光像 奈良市 東大寺法華堂(三月堂)

不空罽索観音像 乾漆造漆箔 像高 360cm

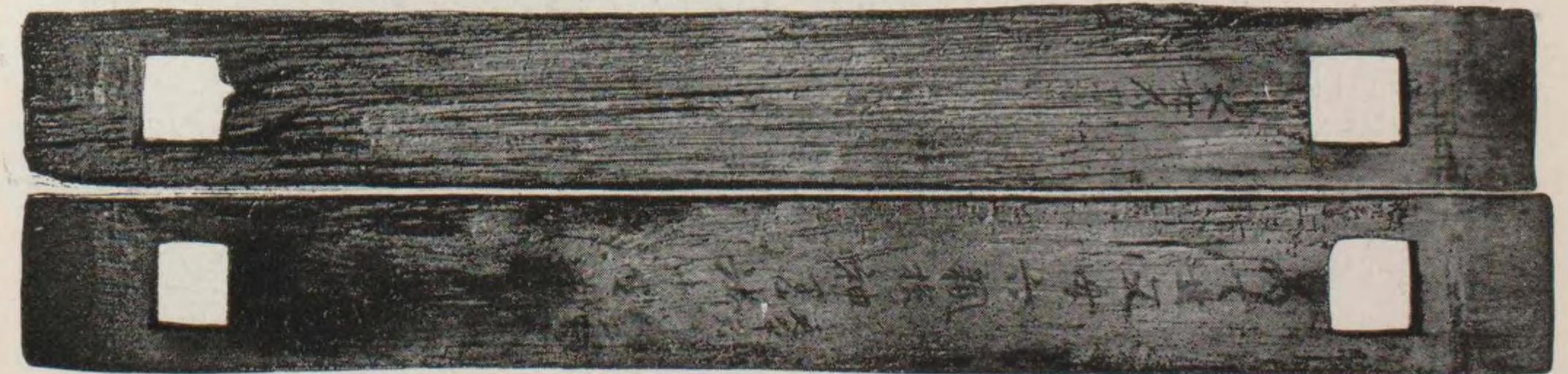
不空罽索観音は密教六観音の一つであつて、菩薩大悲の罽索を以て群生を利濟して空しからしめずといふ意味から、斯く名付けられてゐる。本像は我國最古の不空罽索観音像であり、天平彫刻の代表的な遺像である。



不空羅索觀音像 寶冠とお顔
寶冠 銀造 珠玉飾 徑約 48.5cm 高 57.6cm
東大寺 法華堂



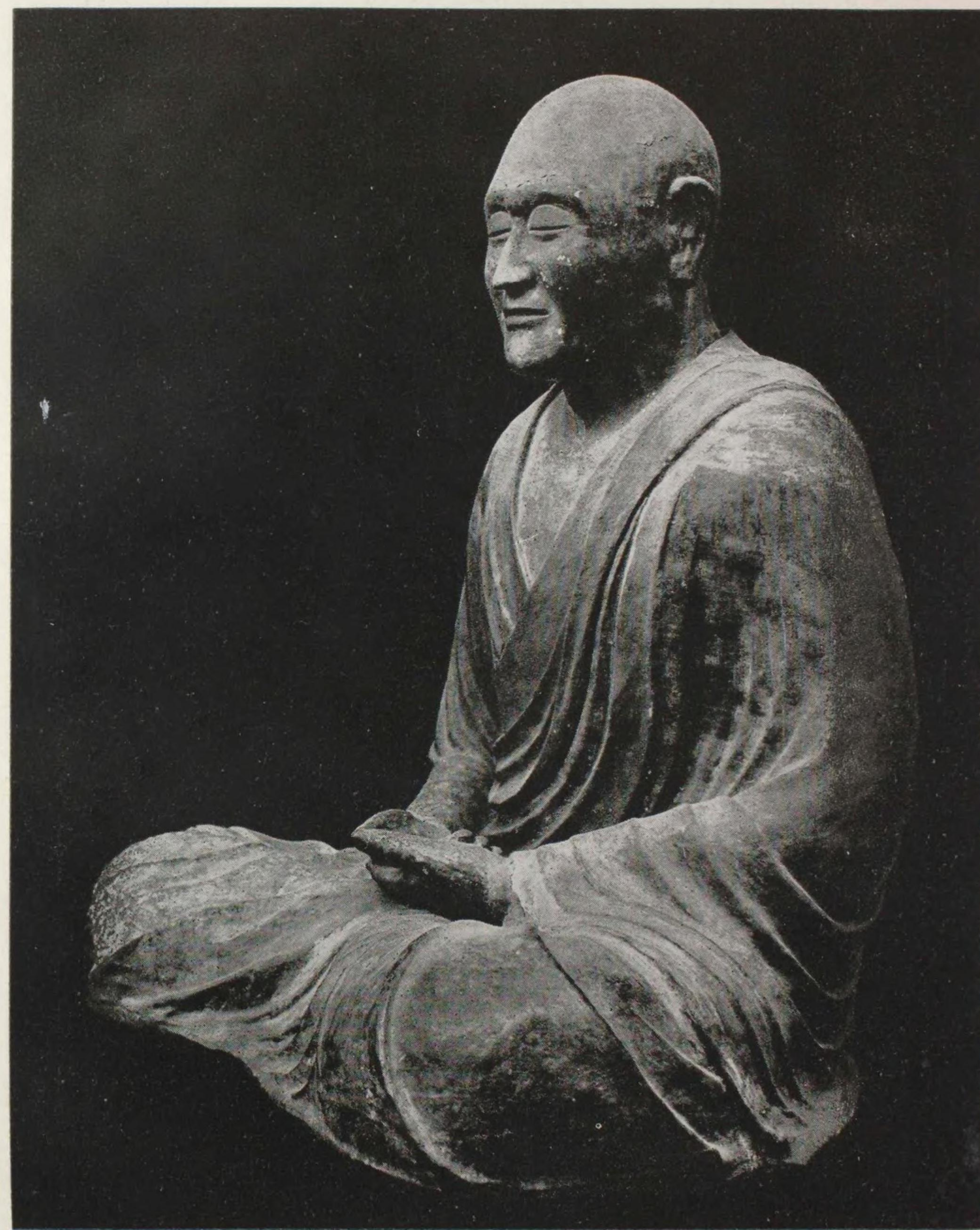
安底羅大將像 像高 157cm
伐折羅大將像 像高 167cm
十二神將像二軀 塑造彩色 奈良市 新藥師寺



臺座銘 新藥師寺十二神將 因達羅大將 臺座横木



東大寺 銅造燈籠火舍扉細部 音聲菩薩及獅子



鑑真和上像 脱乾漆造彩色 像高80.3cm

唐招提寺開山堂



西方阿彌陀淨土變
法隆寺金堂壁畫 第六號壁 竪 309.6cm 横 267cm

壁の一部は相當剥落して僅に線書きを認める位であるが、幸に畫面の中心部の重要な部分は壁畫中で一番よく残り、美術研究の立場からも最も讃仰されてゐる。

工藝作品或は經卷の一部としてではなく、獨立した繪畫として、この畫像が當代の代表的遺品である。吉祥天は當時美福の神として特に流行したものである。この像は當時の高貴の婦人の姿をかりて畫かれたものであり、色々な意味で非常に有名でもあり、かけがへのない貴重品である。



吉祥天像 麻地極彩色 竪 53cm 横 31.8 cm
奈良縣藥師寺 (奈良博物館出陳)



鳥毛立女屏風 六扇の内一扇
各扇高 136cm 幅56cm

面貌と手先とは胡粉地に彩色を施し、著衣樹石等に鳥毛を貼りつけたものであるが、今は剥落下繪が露はれてゐる。



双鹿草木夾纈屏風残闕
けふけち
高 149cm 幅 46cm

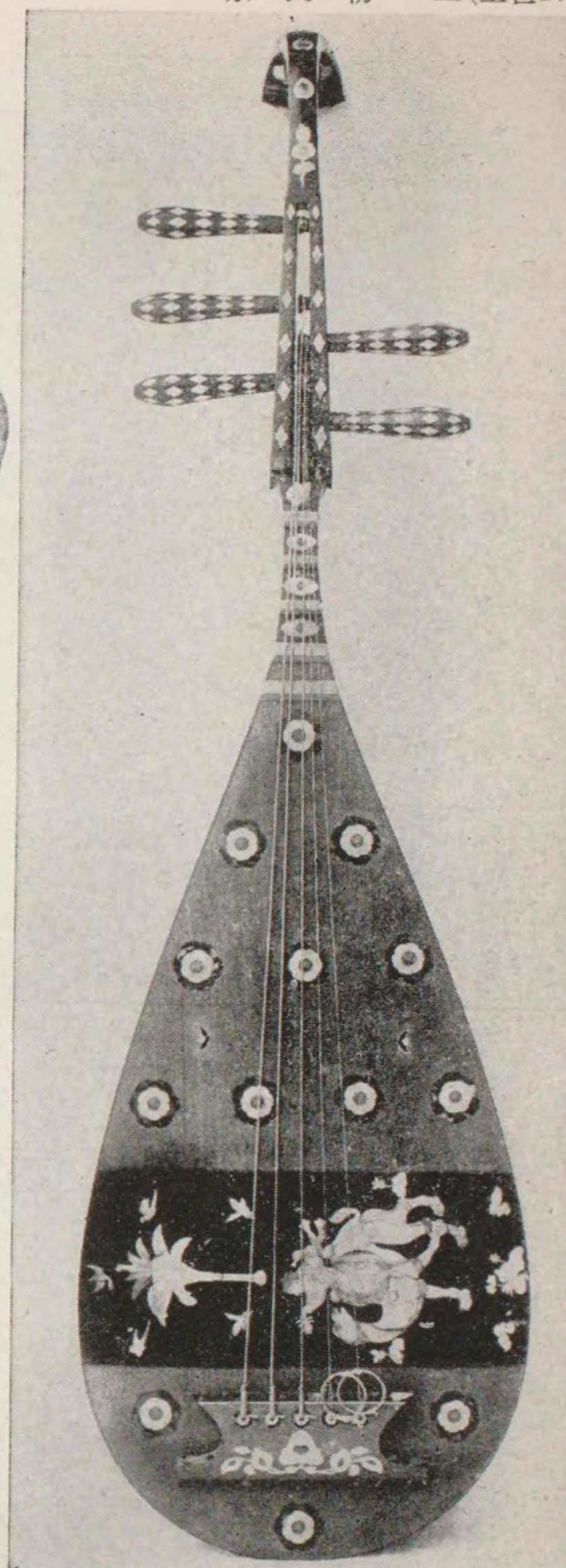
夾纈は今の板締染で、たてに二つ折りにして染めるので左右同様の文様である。



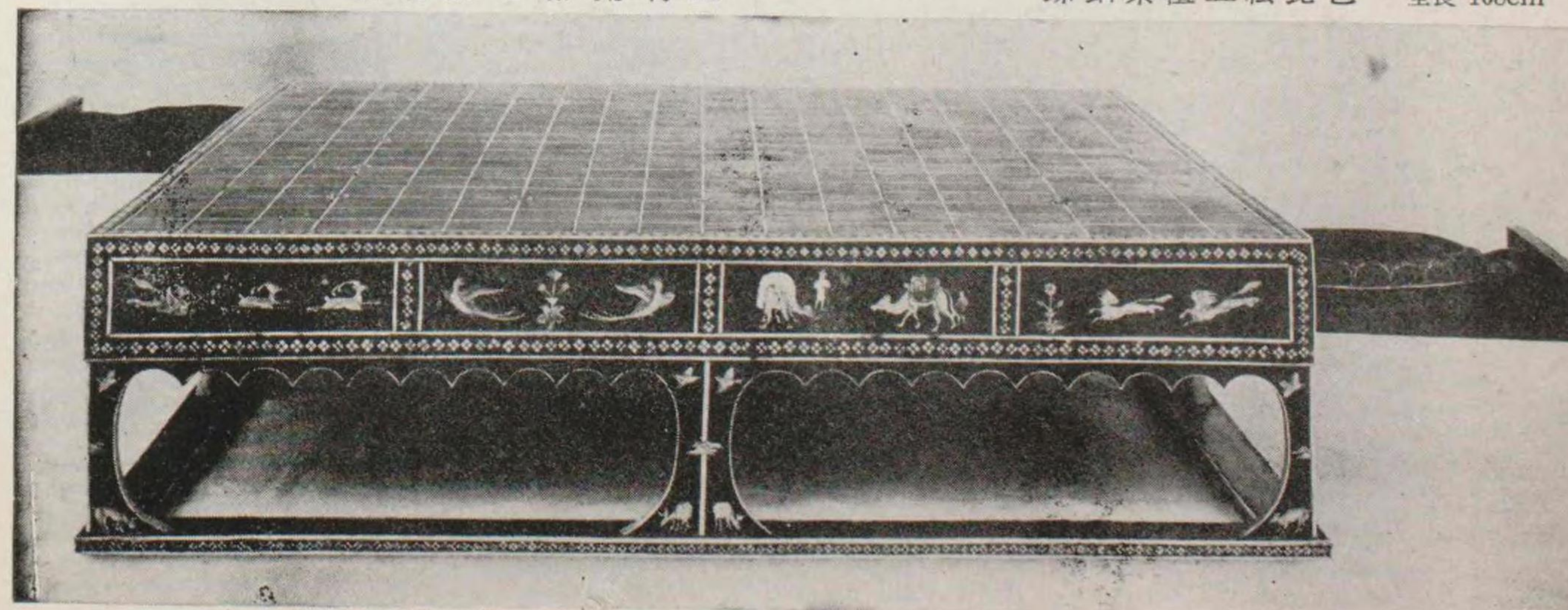
塞伎樂面 塞とは乾漆のこと 高 26.3cm
そく



白琉璃瓶と紺琉璃盃

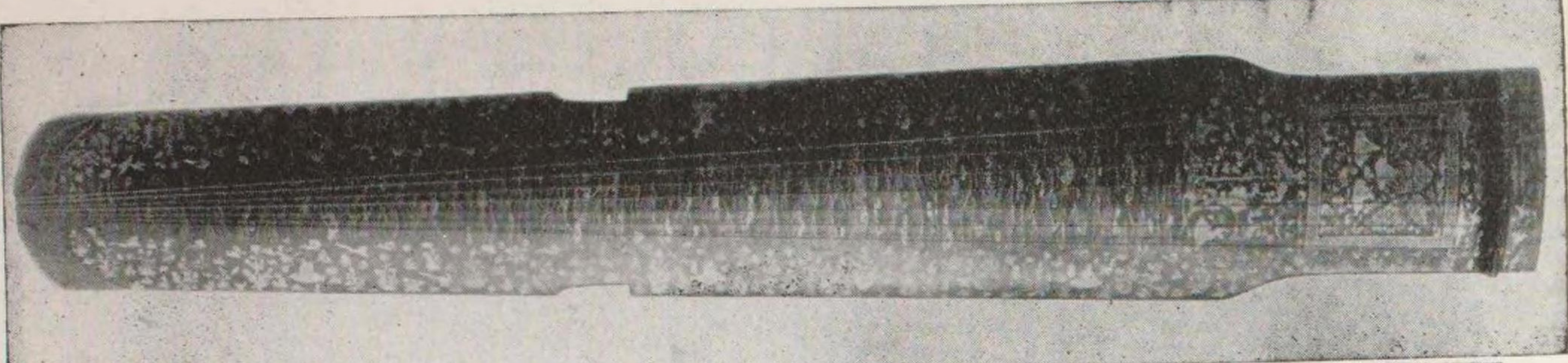


螺鈿紫檀五絃琵琶 全長 108cm

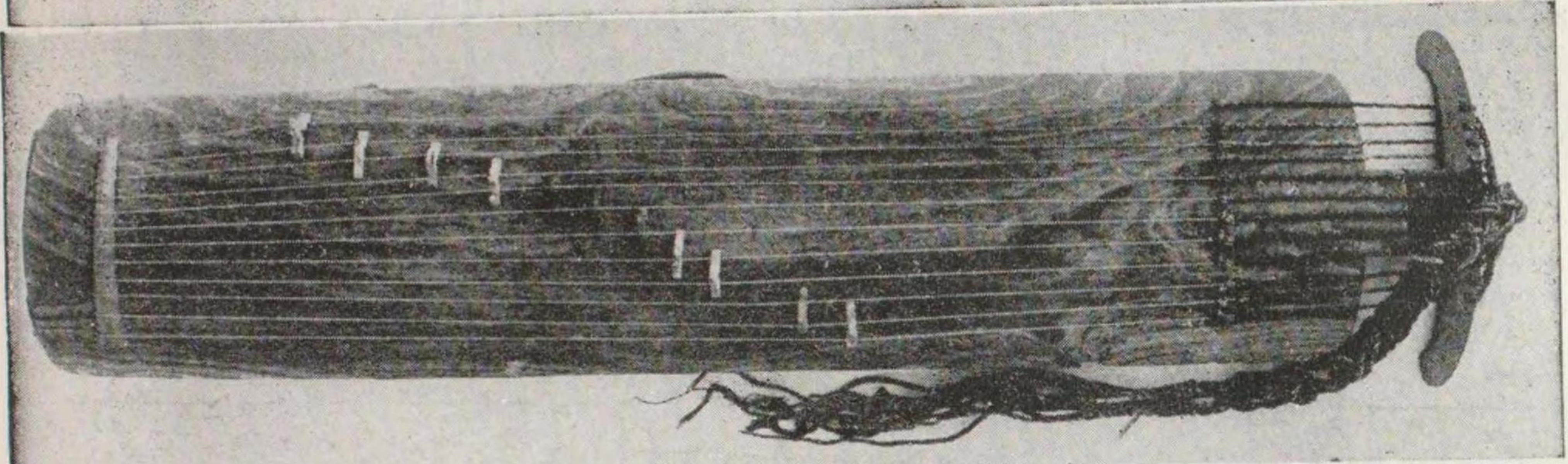


木畫紫檀茶局 縦 49.1cm 横 48.8cm 總高 12.7cm 茶局とは茶盤のこと。

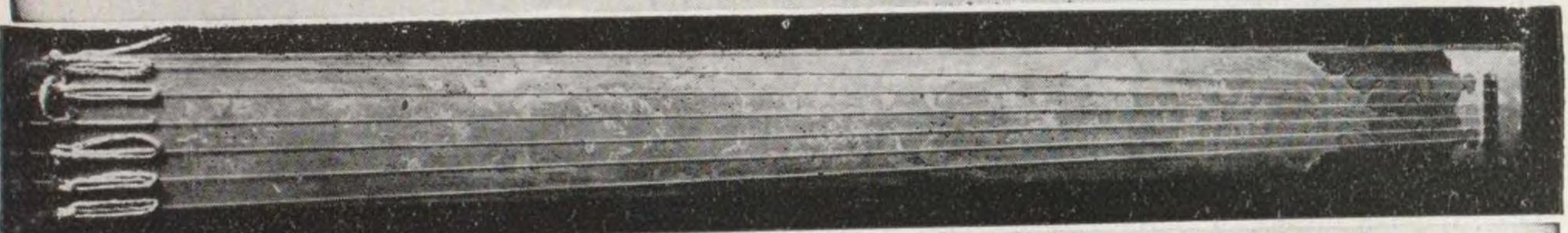
金銀平女唐琴



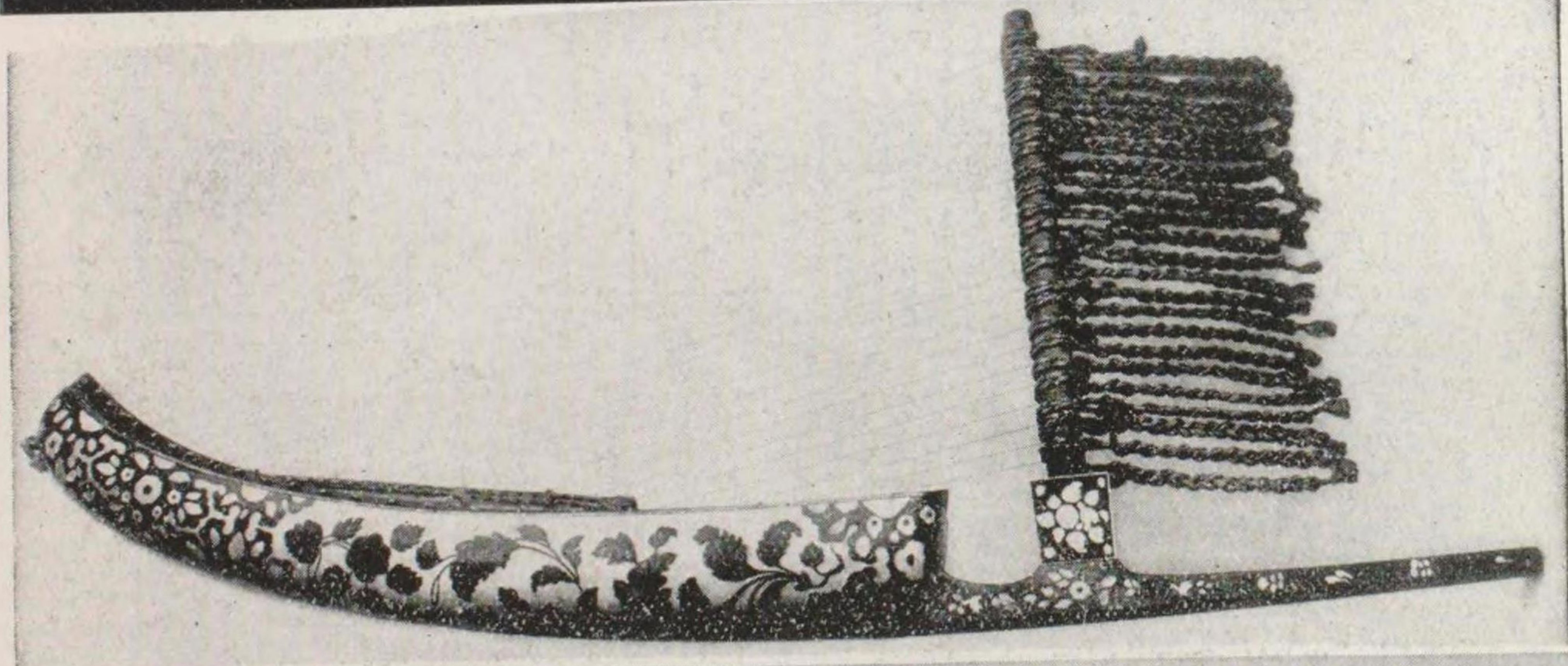
金泥繪新羅琴
全長 138cm



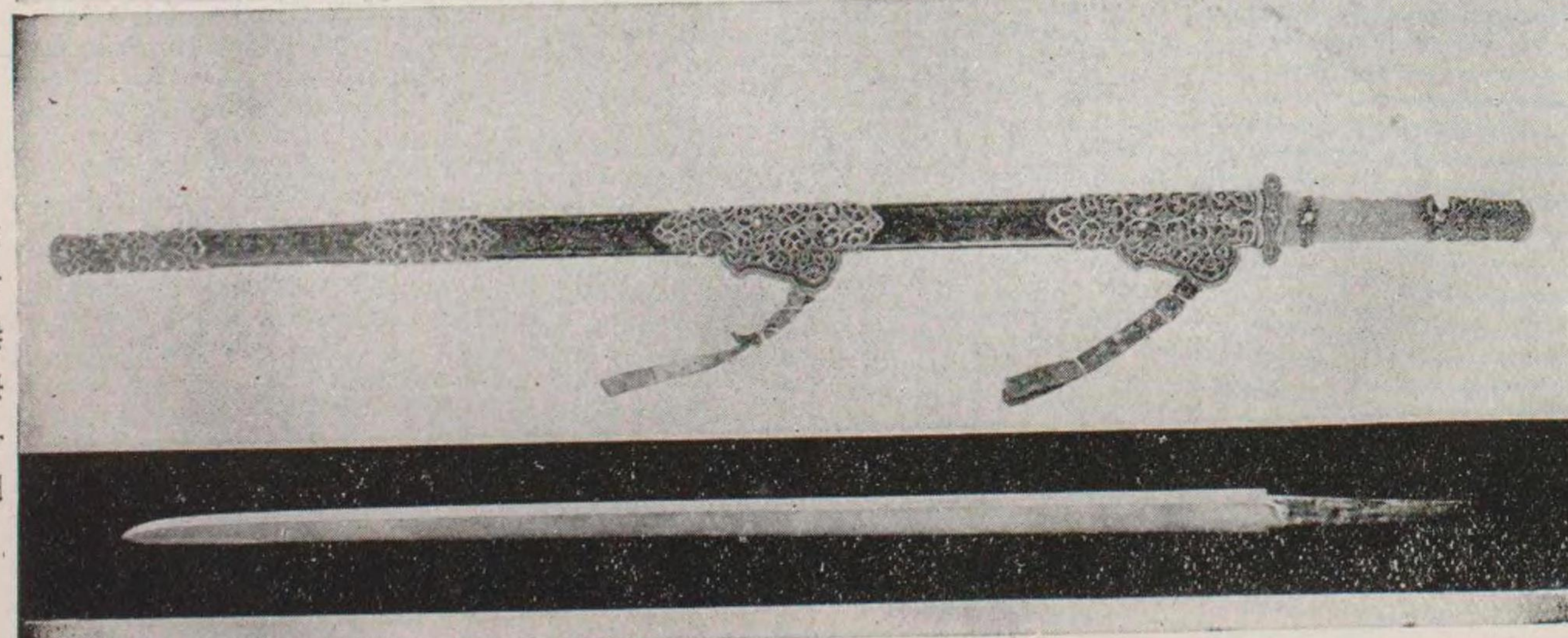
金泥繪和琴
全長 157cm



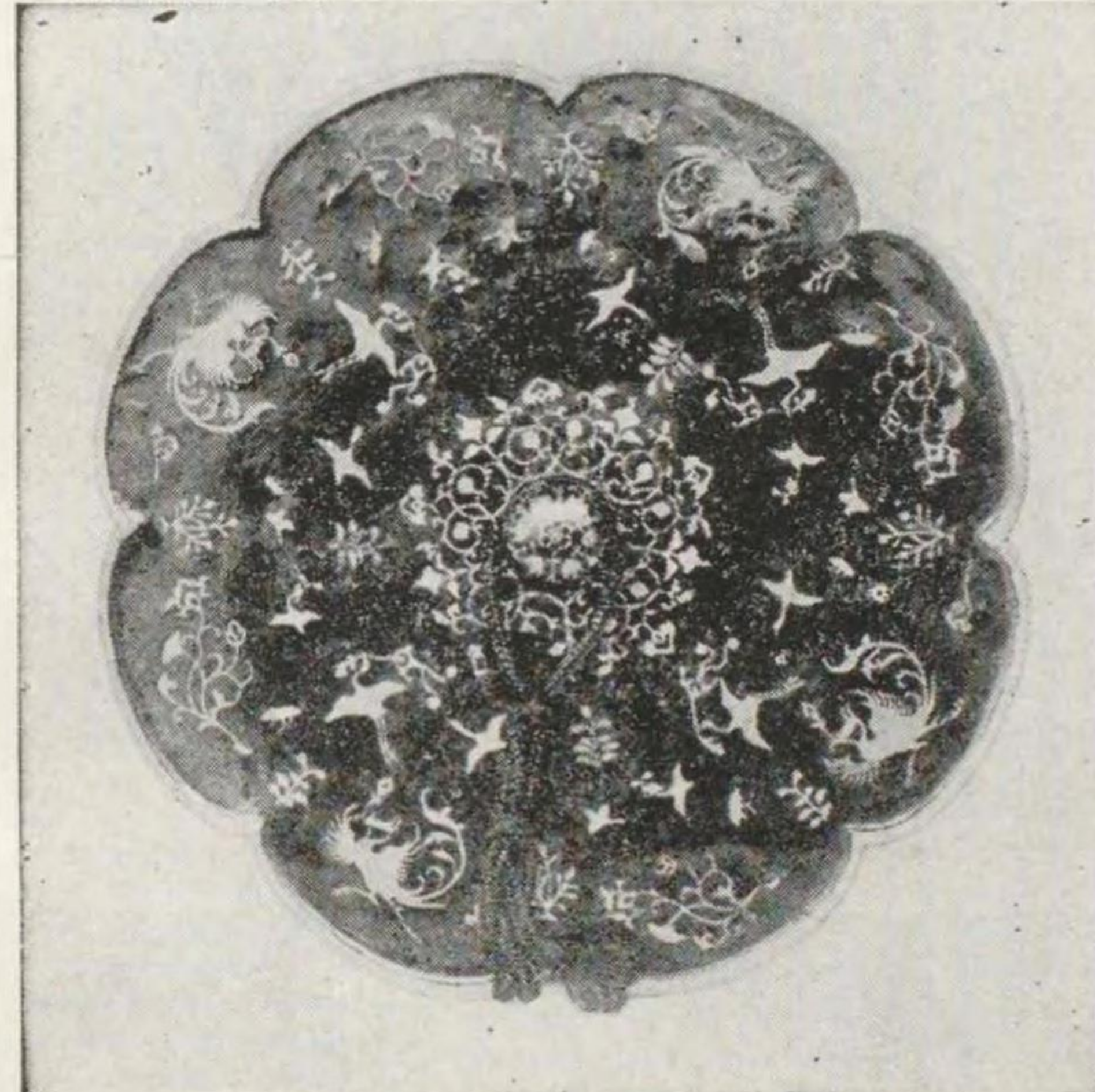
篋 (篋)
全長 181cm
巾 80cm



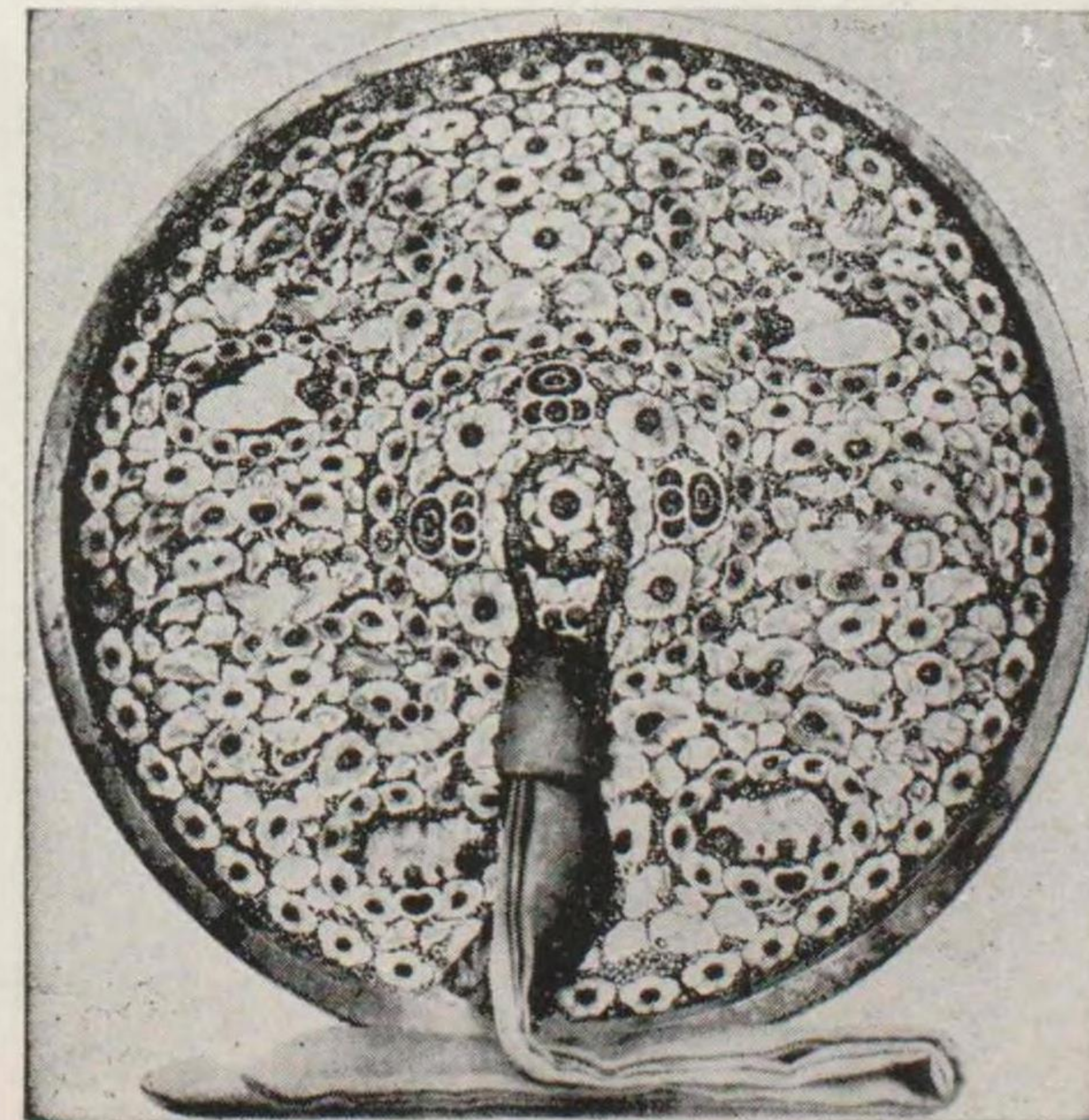
金銀細莊唐大刀
刀長 78.2cm
全長 110cm



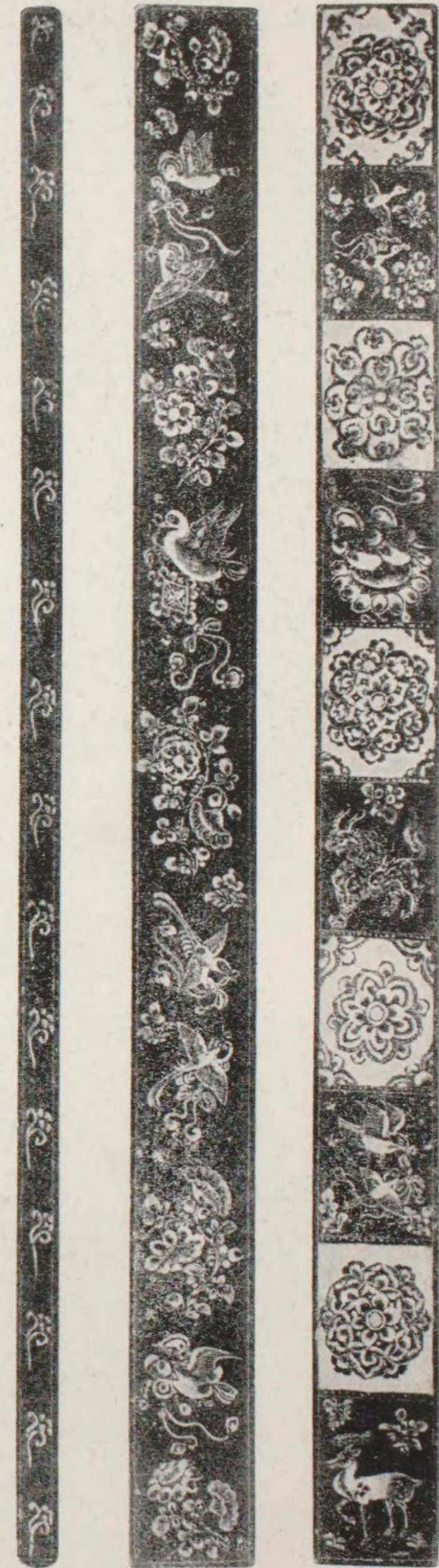
金銀山水八角鏡 徑 32cm



金銀平脫花鳥背八角鏡 徑 28.5cm

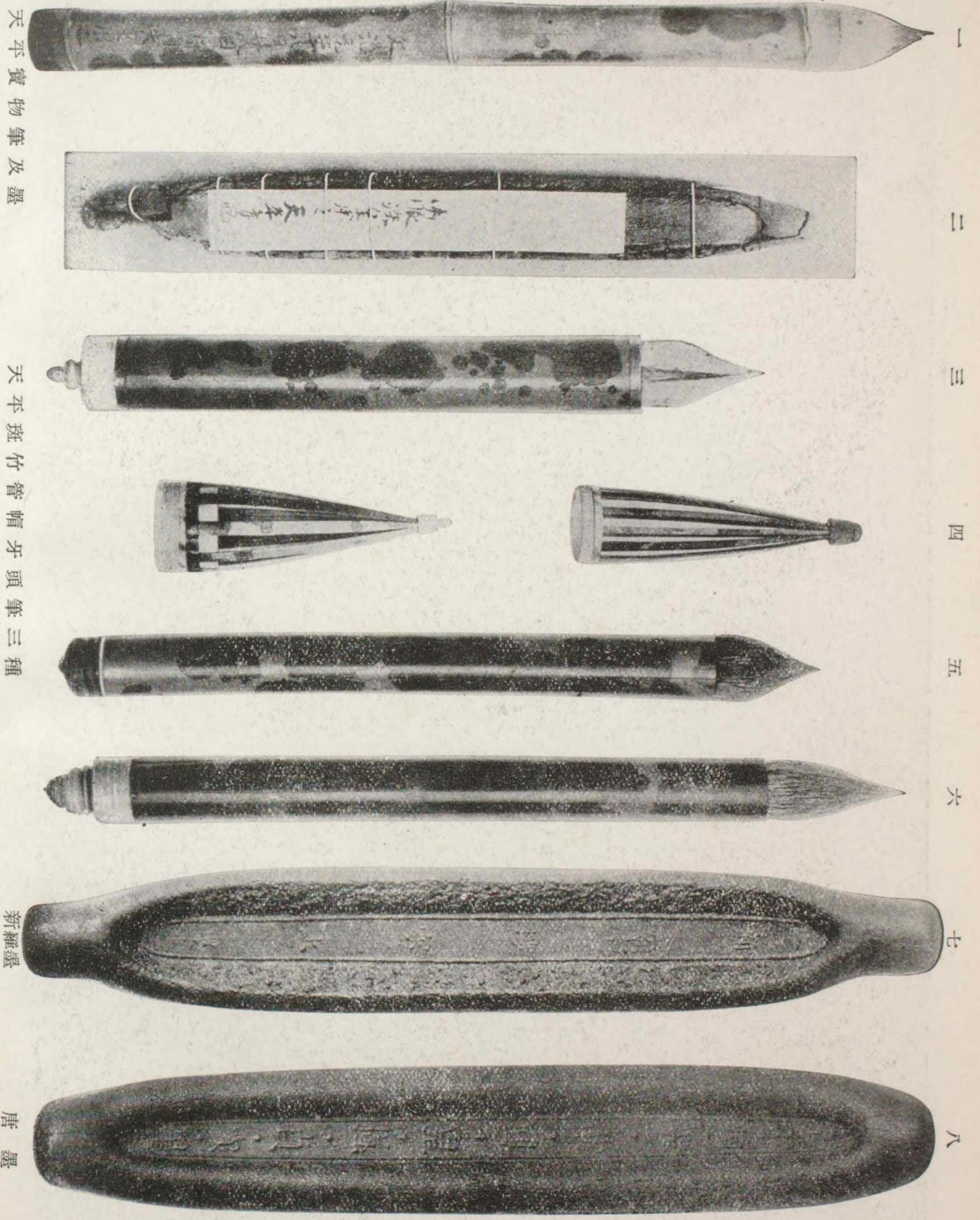


平螺鈿圓鏡 徑 40cm



綠牙撥鏤尺 表・背・側面
長 30cm 幅 23.8cm 厚 0.8cm

銘「文治元年八月廿八日開眼法皇男天平筆」



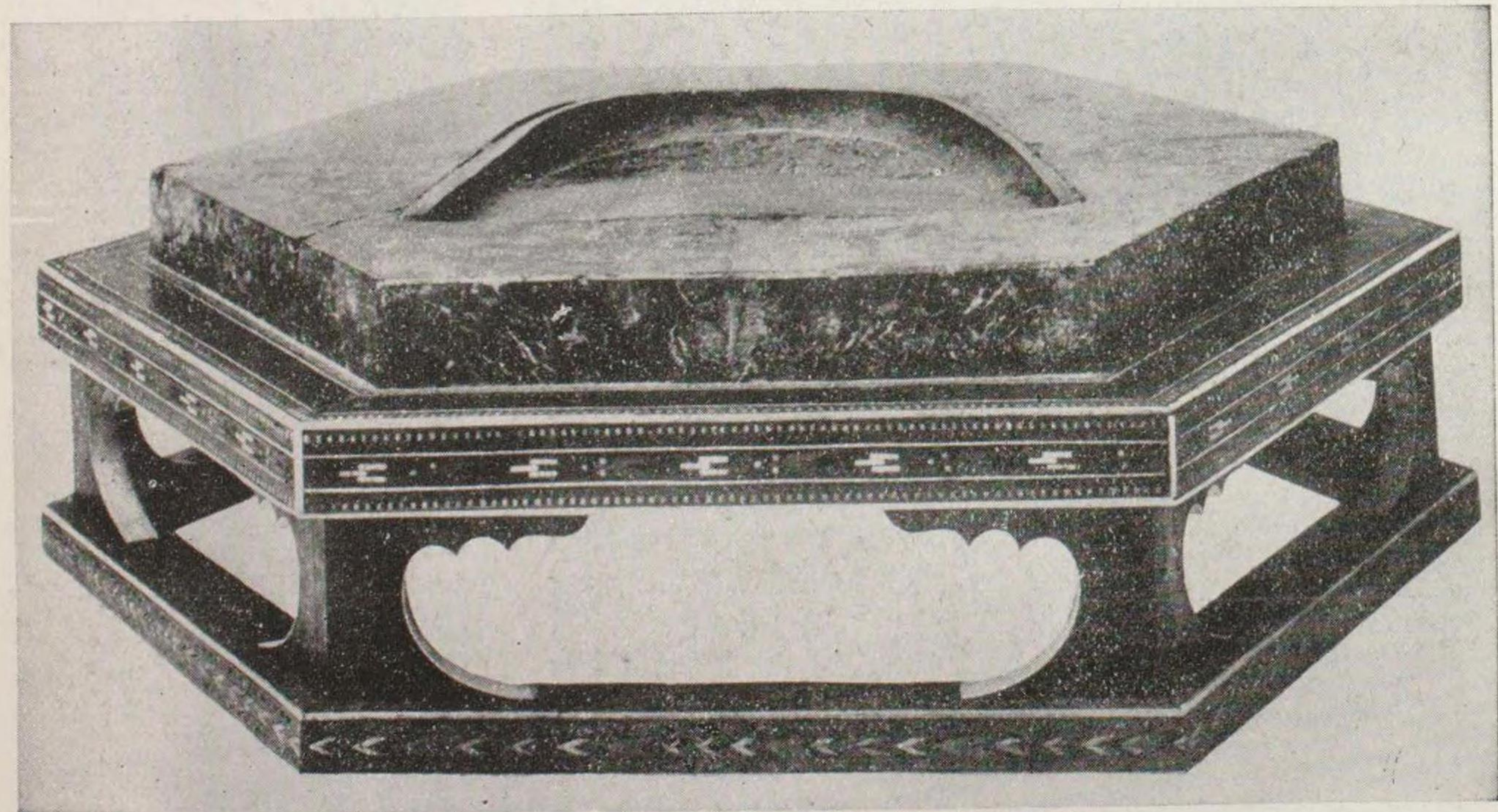
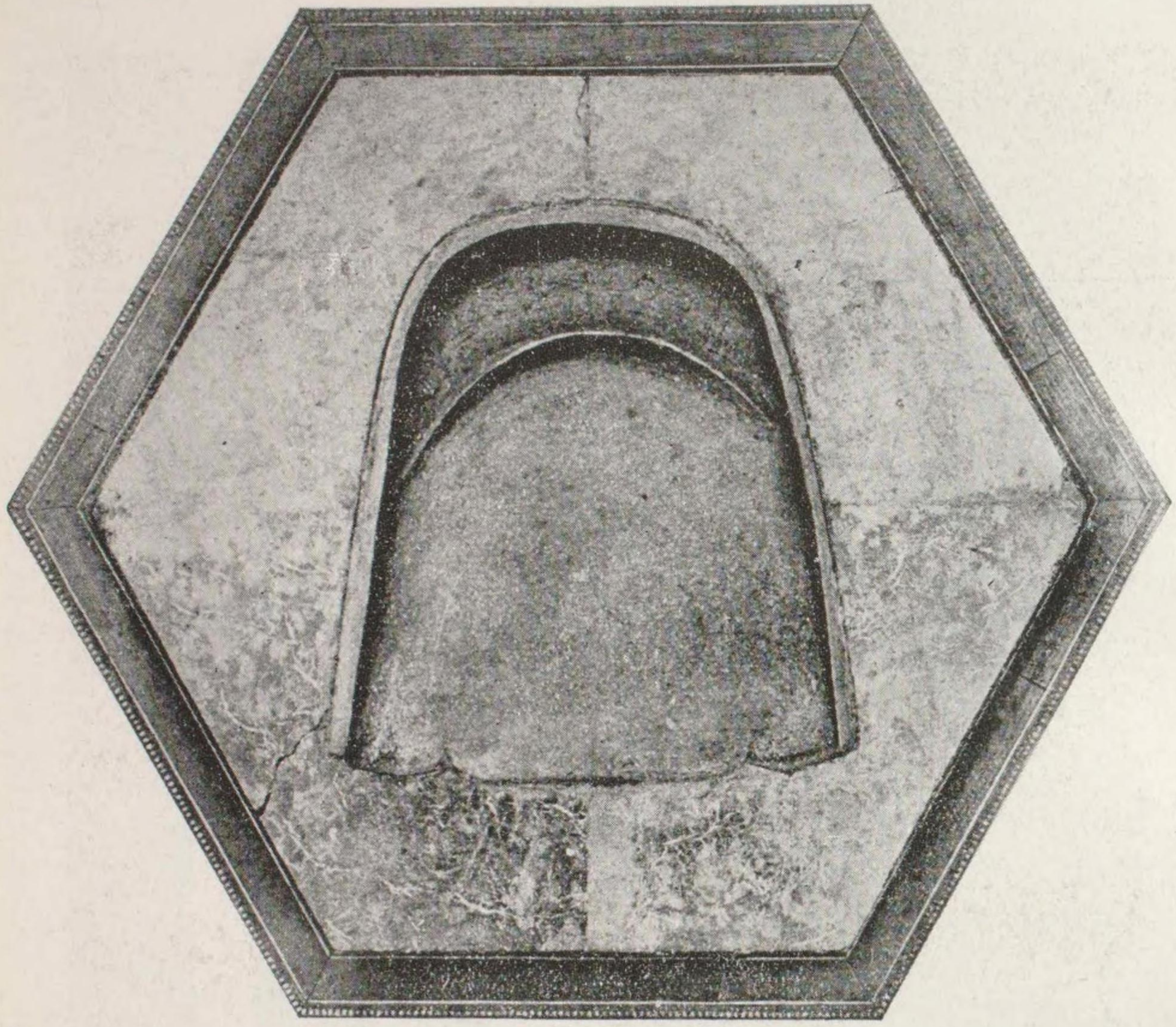
天平寶物筆及墨

天平斑竹管帽牙頭筆三種

新羅墨

唐墨

一、二は天平勝寶四年四月九日大佛開眼に用ひられたもので、その後治承四年大佛殿炎上、文治元年再修竣工の時に、後白河法皇臨幸再び用ひ給ふたものである。



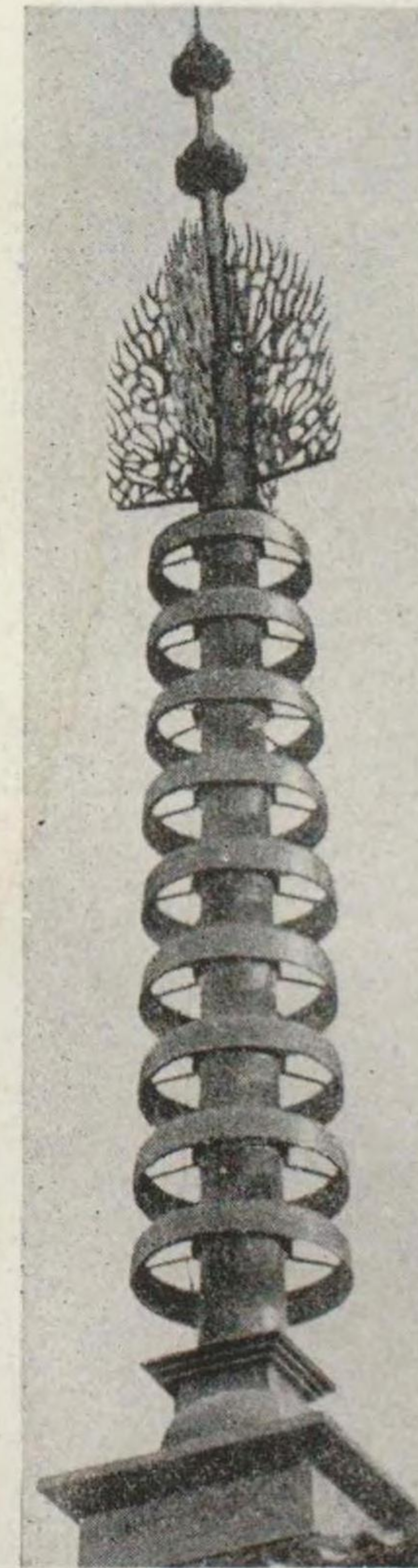
青斑石装陶硯及紫檀貼木畫床

上圖 硯五寸、深五分、風字形硯陶硯を石床に嵌込だもの。

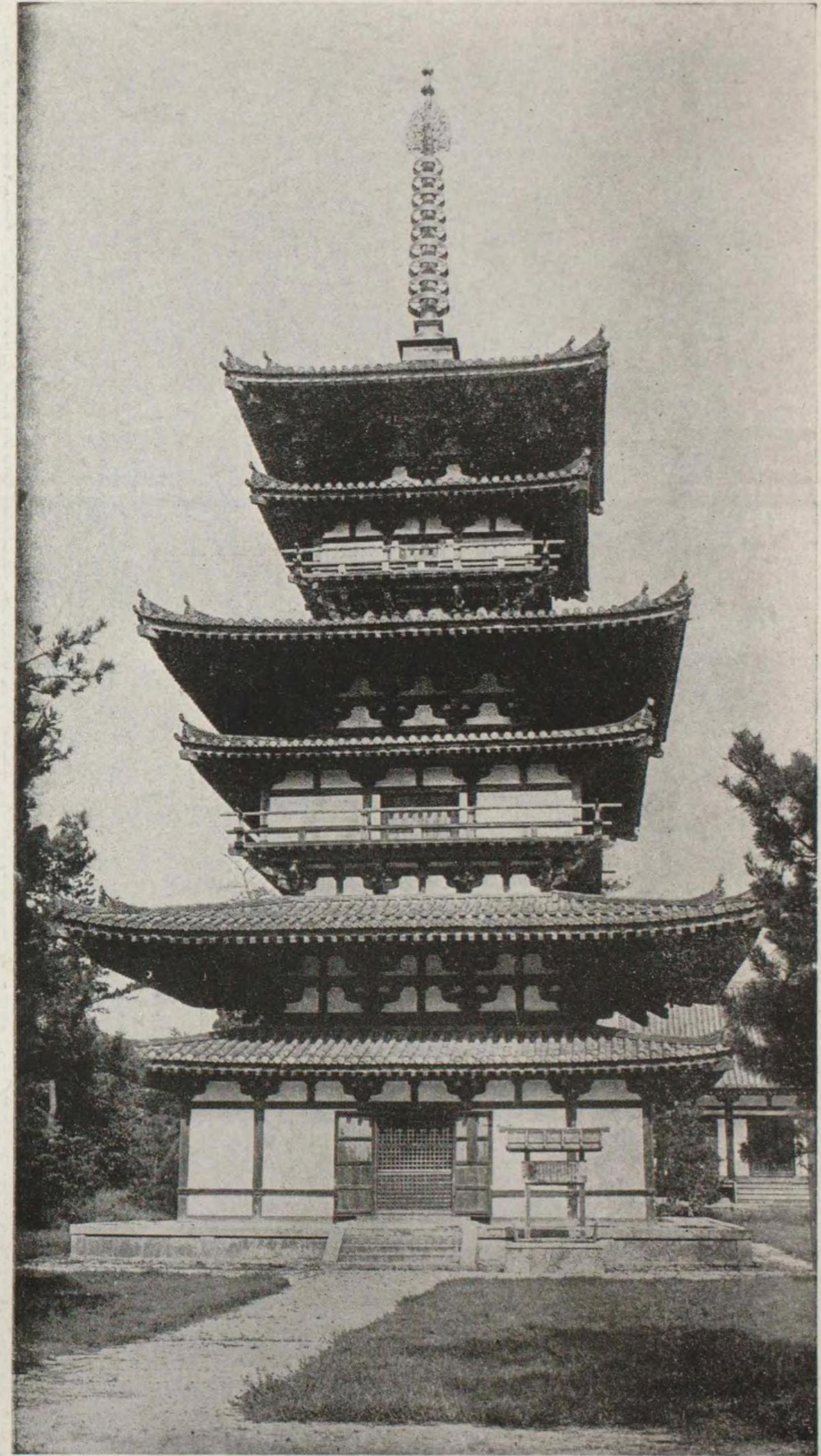
下圖 床の一邊五寸一分、高さ二寸、石床の高六分五厘、脚には白牙を貼つてある。



聖徳太子及二王子御像 傳阿佐太子筆 紙地著色 25.3 101.1cm 帝室御物



相輪及水煙



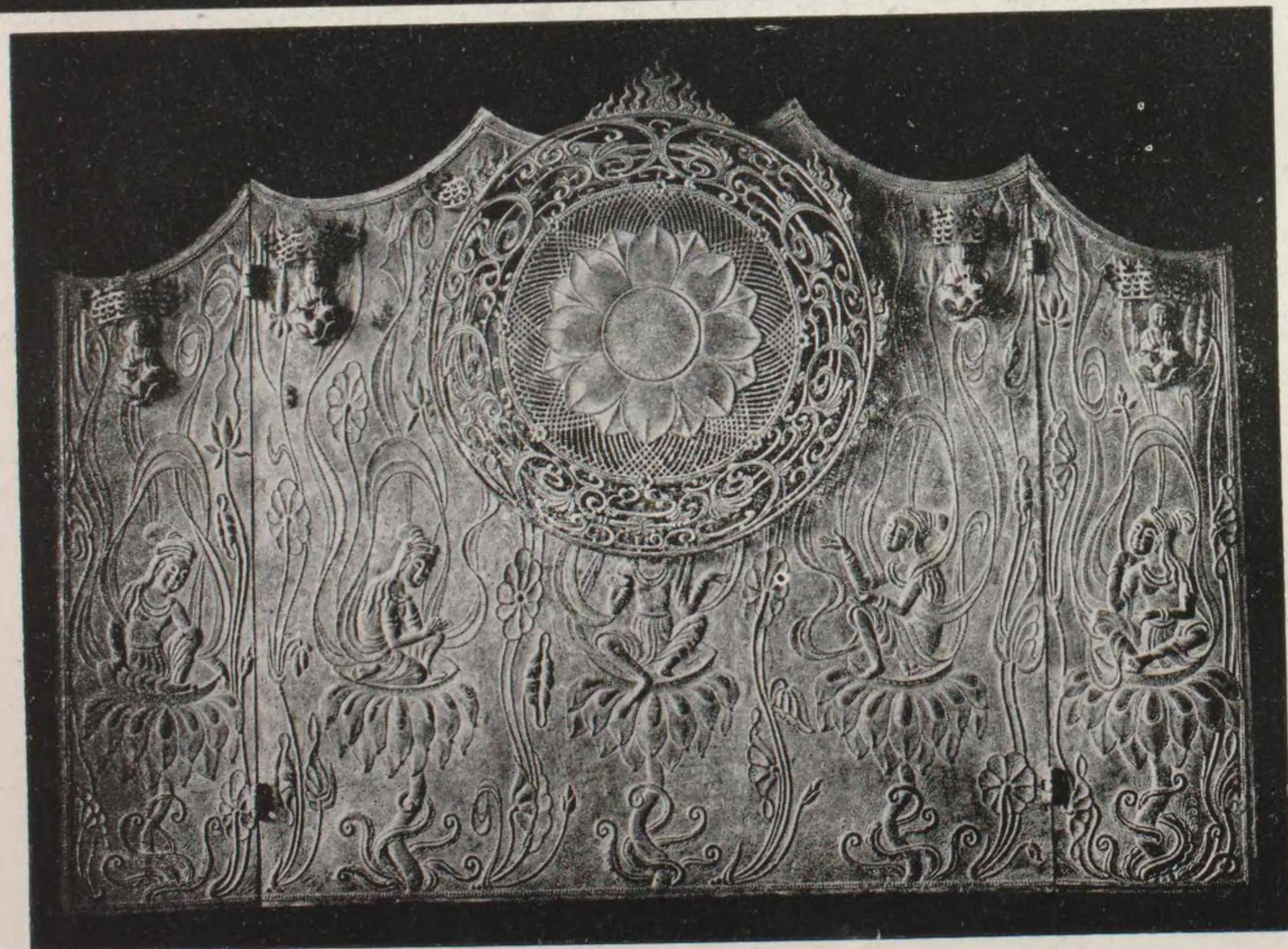
三重塔

奈良縣生駒郡部跡村 薬師寺 東塔



橘夫人念持佛 阿彌陀三尊像

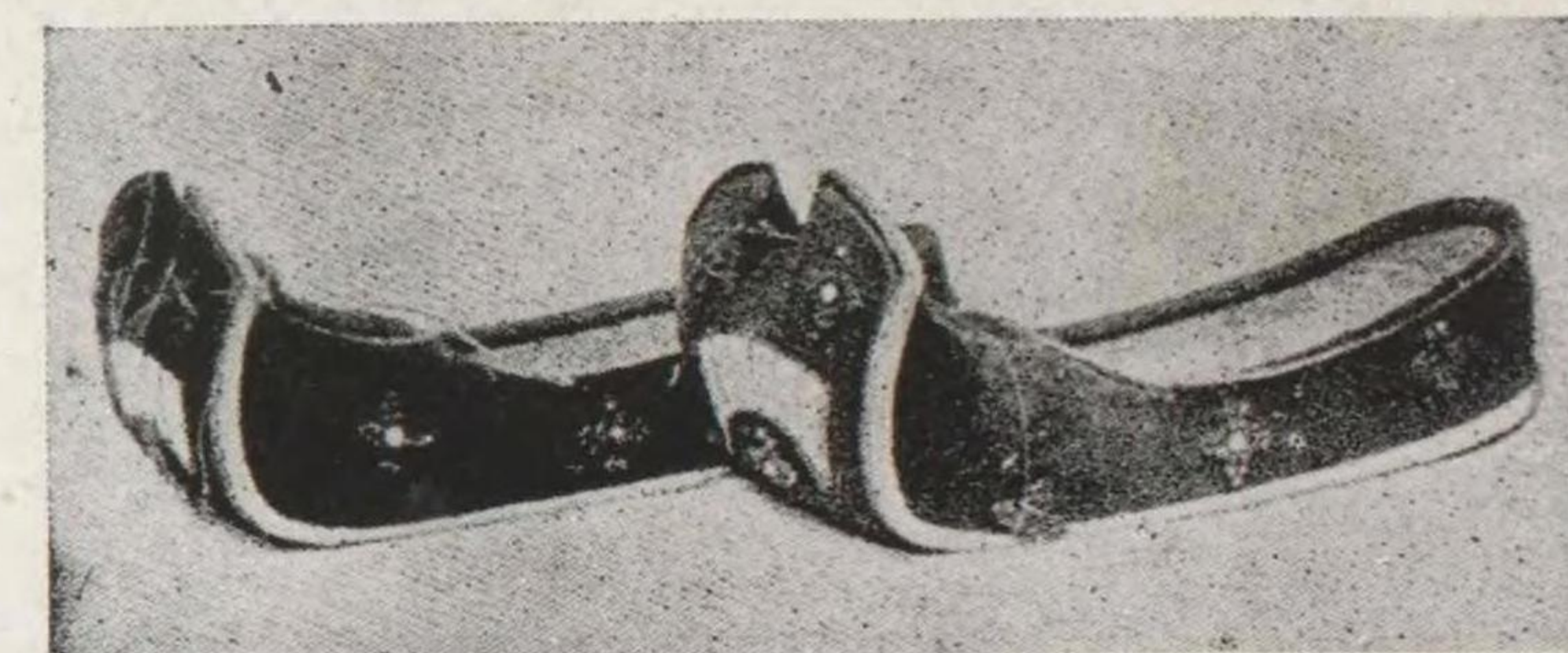
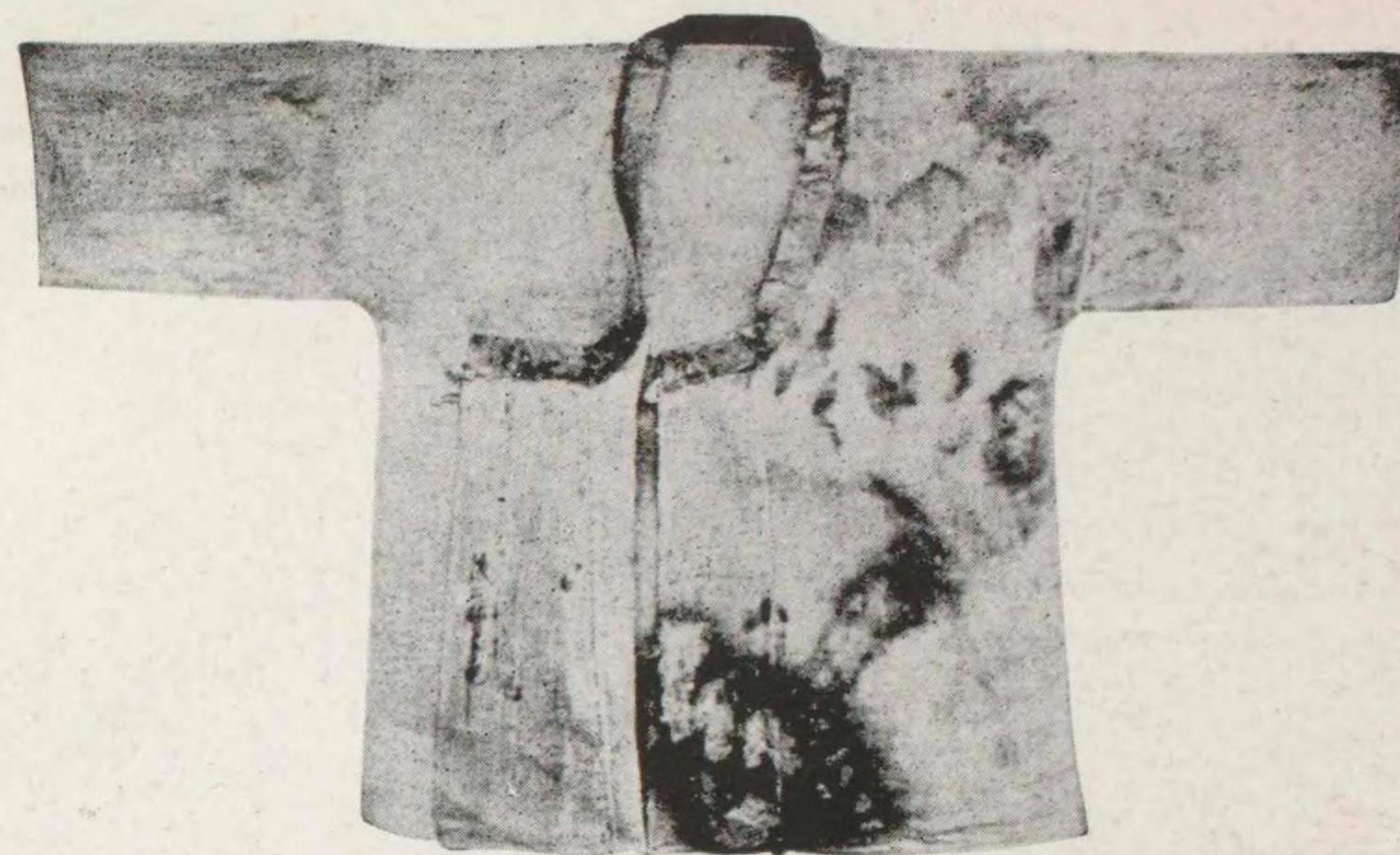
當時代中の最も標準とすべき遺例として製作の優秀と共に重んじられてゐる。光背の裝飾様式は殊に秀れ、又蓮臺下の座板には蓮池の文様が薄肉彫にされてゐる。



阿彌陀三尊光背並ニ障屏 金銅 幅 78.8cm

布製衫

長一尺七寸八分由伎一尺五十二分



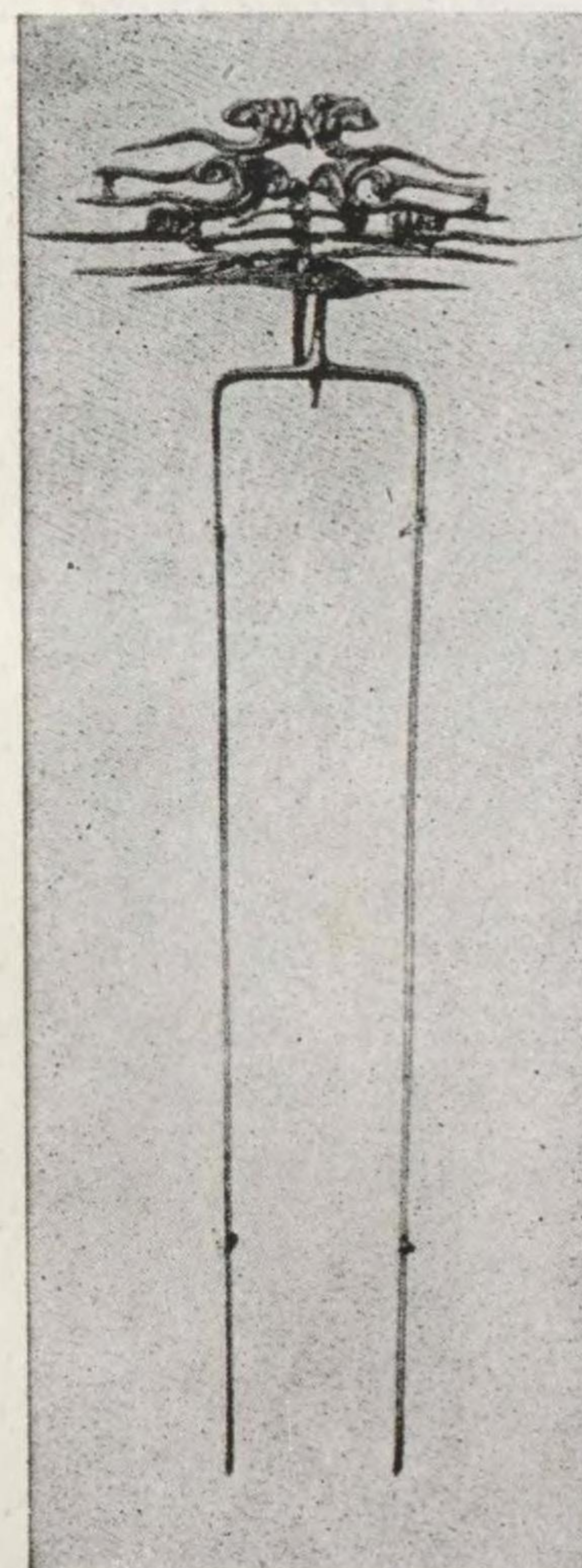
長一尺五寸

聖武天皇御所用と傳ふる御烏



長八寸八分

光明皇后御所用と傳ふる繡線鞋



奈良時代の釵



襪 (布製)

百事記上卷抄
 天照大神之亦遺焉神古余靈神壽神
 自坐天安河之上天石室名伊都之尾羽
 張神是遺焉神若思非此神者具神之子
 建瓚雷之男神此德建且具尾羽張神者
 逢塞上天安河之水而塞焉居故他神不得行

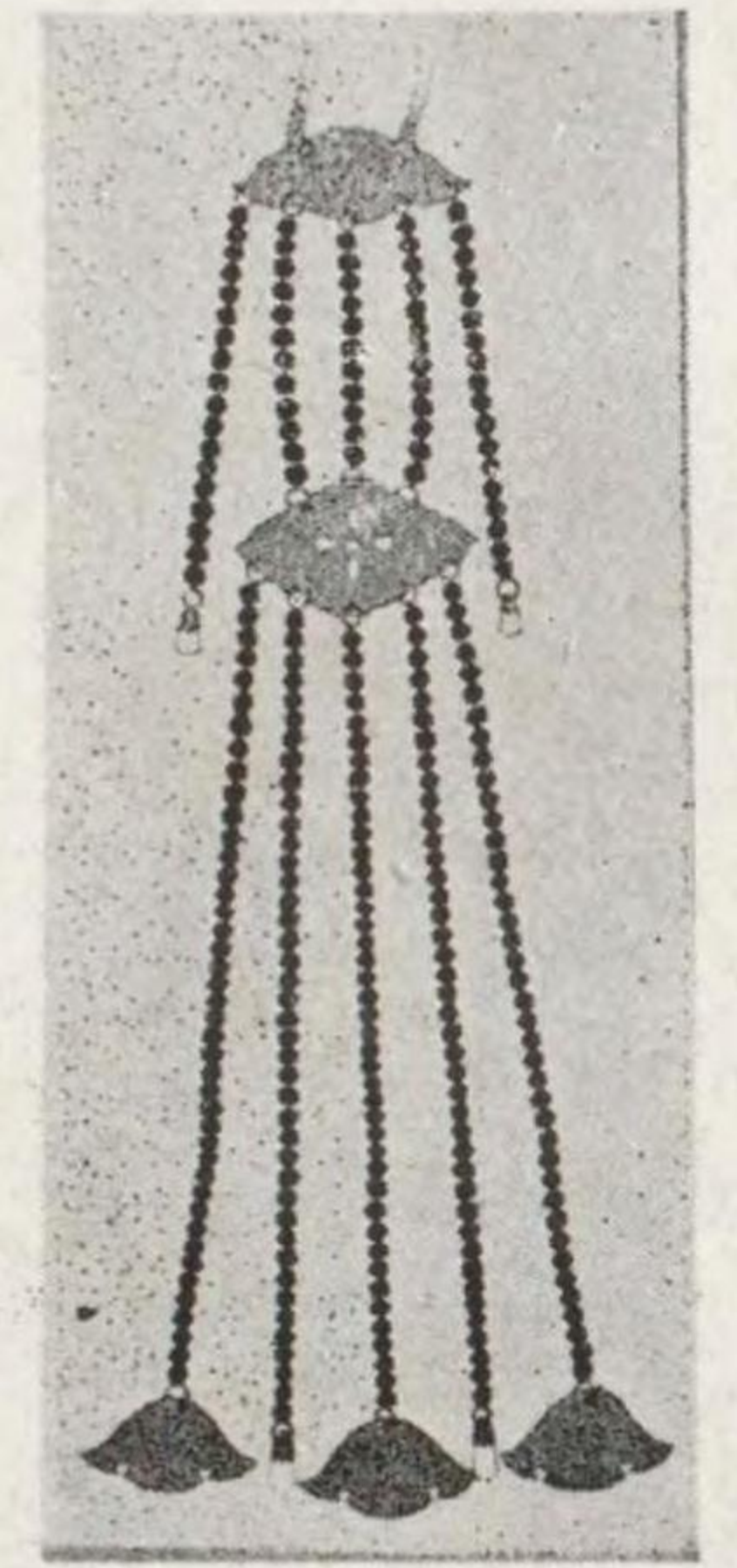
古事記

日本書紀卷第二
 神代下 是曰祇世
 天照大神之子玉彥彥勝勝速日天
 忍穗耳尊娶高皇產靈尊之女
 枳杵千千姬坐天律彥火瓊瓊杵尊
 故皇祖高皇產靈尊持鍾博靈

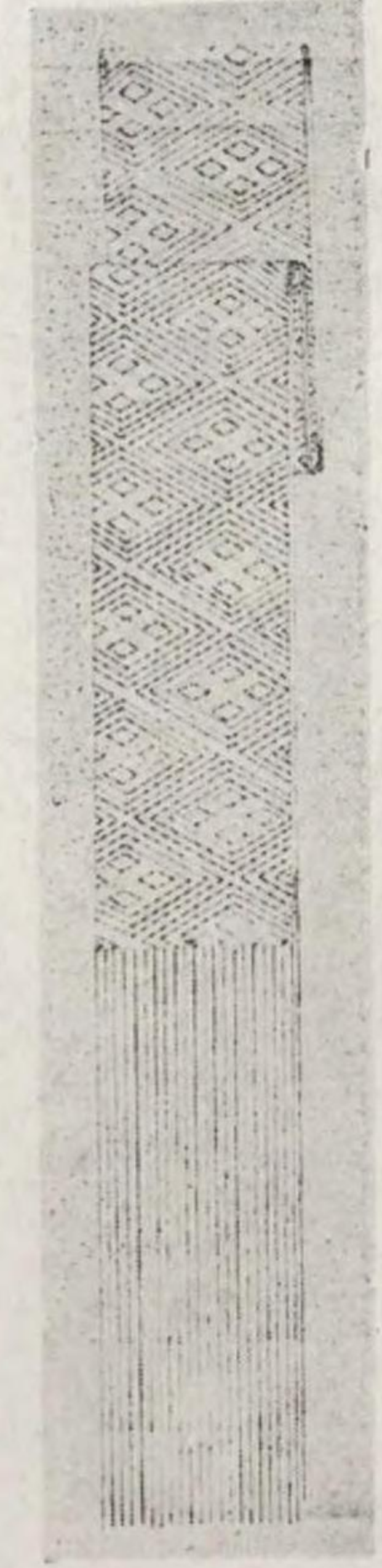
日本書紀

膳摩國風記
 望賢四方去山上至所出吾履大而
 名曰嚼古郡將之時(歷走登於此丘鳴其聲比故号
 日里此里有吐礼墓古傳此古今所以号稻墓者昔
 大帶日命誅尔南羽妹之御佩刀之八咫劍之上結尔
 八咫勾下結尔麻布欝鏡繫時嚼毛郡山直等延祖息

膳摩國風記



玉佩



綬

幘頭して衣を著た男子圖

正倉院文書に於ける戲畫



大袷

唐代服裝騎馬男子圖

正倉院御物銀鍍刻畫



唐代女子遊樂圖

正倉院御物尺八所刻



衣褶袴着用男子

中宮寺天壽國曼荼羅

梵王之請法輪方始開有緣登聖地无業受凡胎无際同如性待果離塵埃迷荒那太久愛飲无明杯還林去莫戀色貪財
 早還林還林真實好白馬遣還帝車還歸憂惱具多充寶教座葉敷茅草麻麦用支持安神八

聖武天皇御筆 辰翰雜集

竪九寸一分、長卷にして卷首を開く、天平三年九月八日寫了の奥書あり

樂毅論

夏侯泰初

世人以樂毅不時拔管即墨為劣是以叙而論之

夫求古賢之意宜以大者遠者先之必迂迴

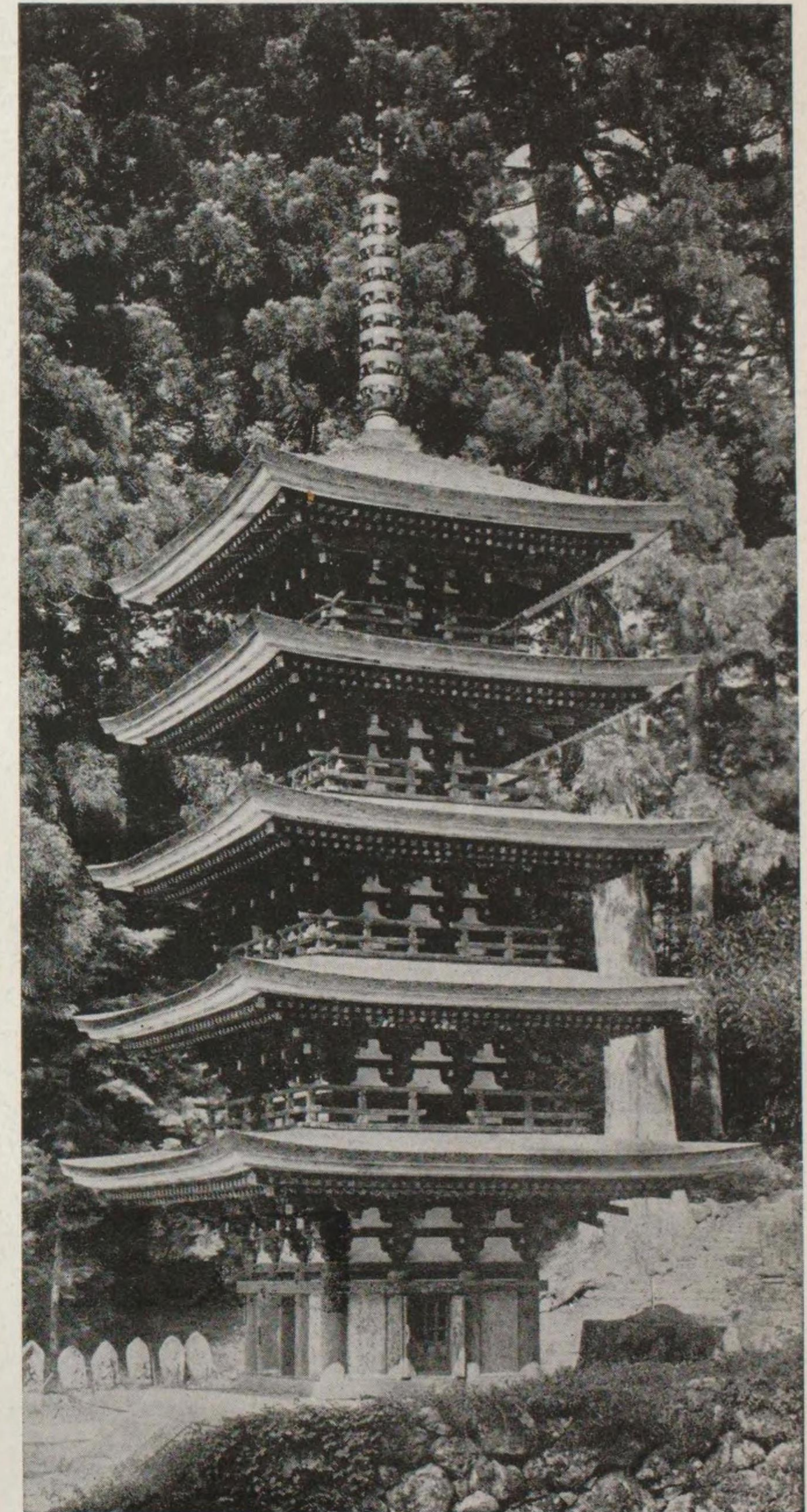
光明皇后御筆 樂毅論

竪幅八寸三分五厘文面紙、横長二尺八寸紙面に細き界線あり



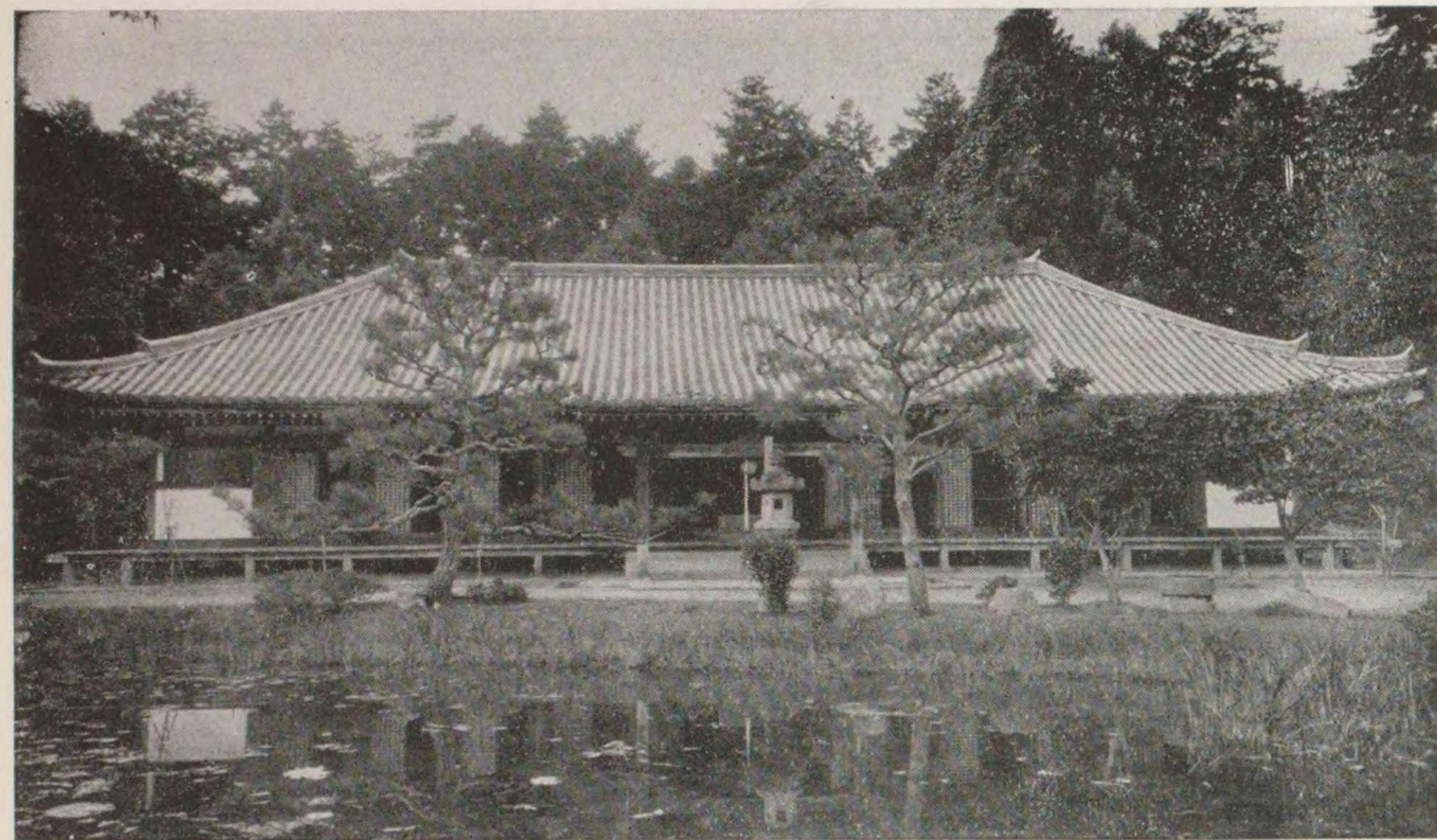
相輪

(高十五尺四寸)



室生寺五重塔

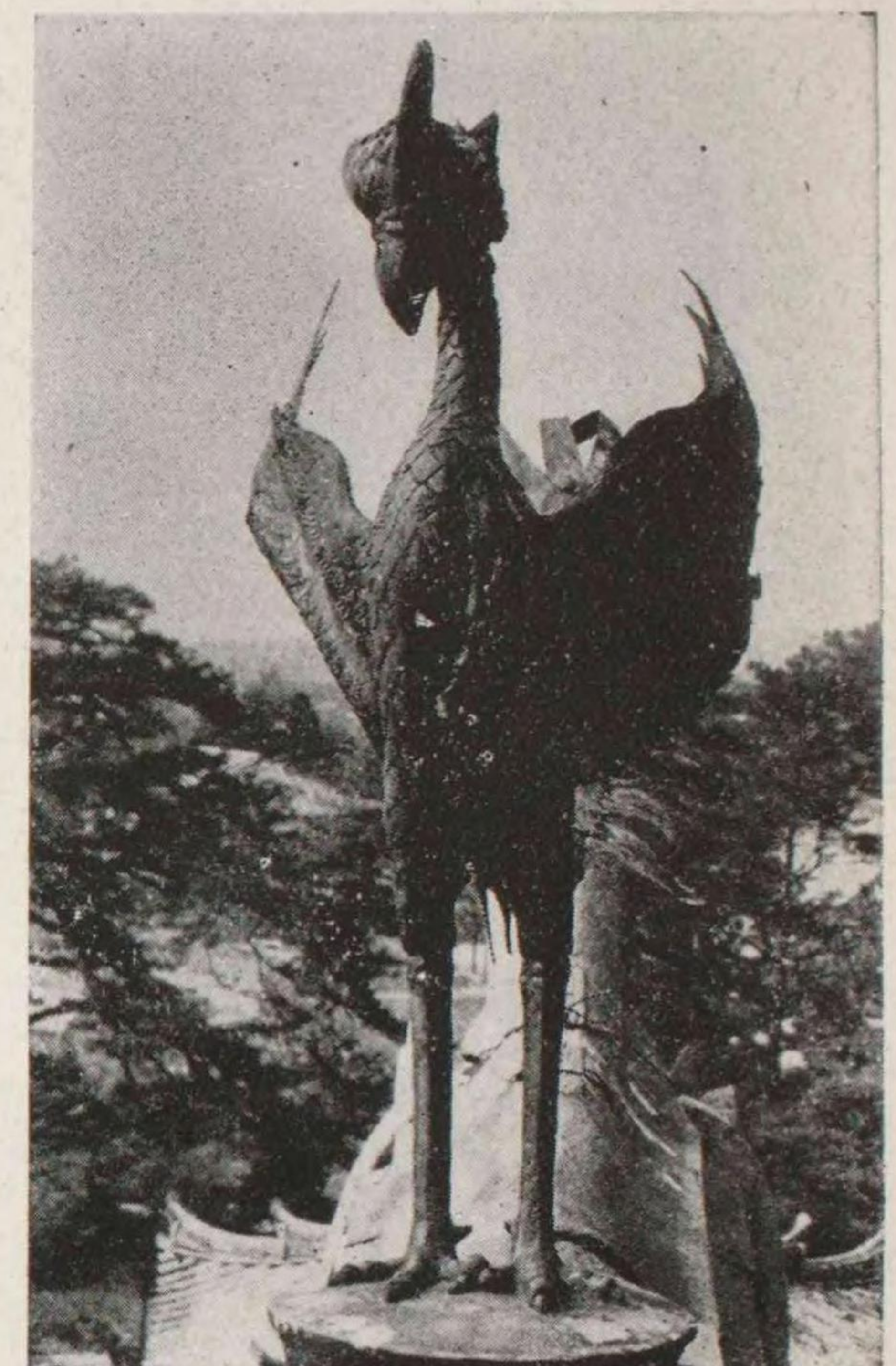
方三間(八尺二寸)總高五十三尺四寸



京都府 淨瑠璃寺 本堂 桁行十一間梁間四間 四注造 本瓦葺



同上 内陣



平等院 鳳凰堂 東北より見た前景及中堂屋上の鳳凰



釋迦如來像 木彫像高 三尺六寸二分
室彌勒堂



神功皇后神像 木造彩色 像高一尺一寸九分
奈良縣奈良郡

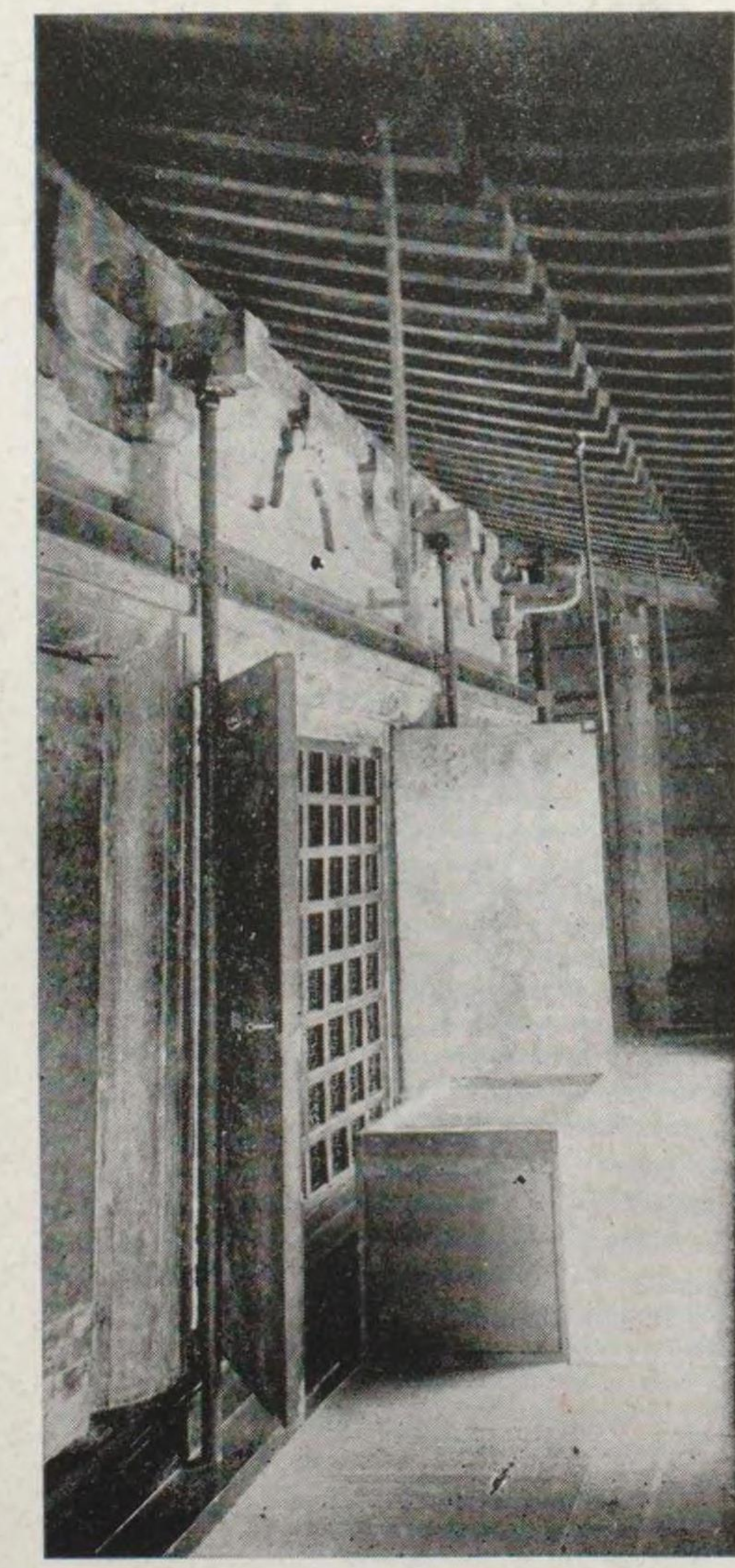


岩手縣 中尊寺金色堂覆堂

方三間の金色堂はこの内部にあつて、覆堂は鎌倉時代にその保護のために建てたもの。



同上 内陣中央須彌壇



同上 外部正面



十一面観音像 木彫像高三尺三寸 法華寺

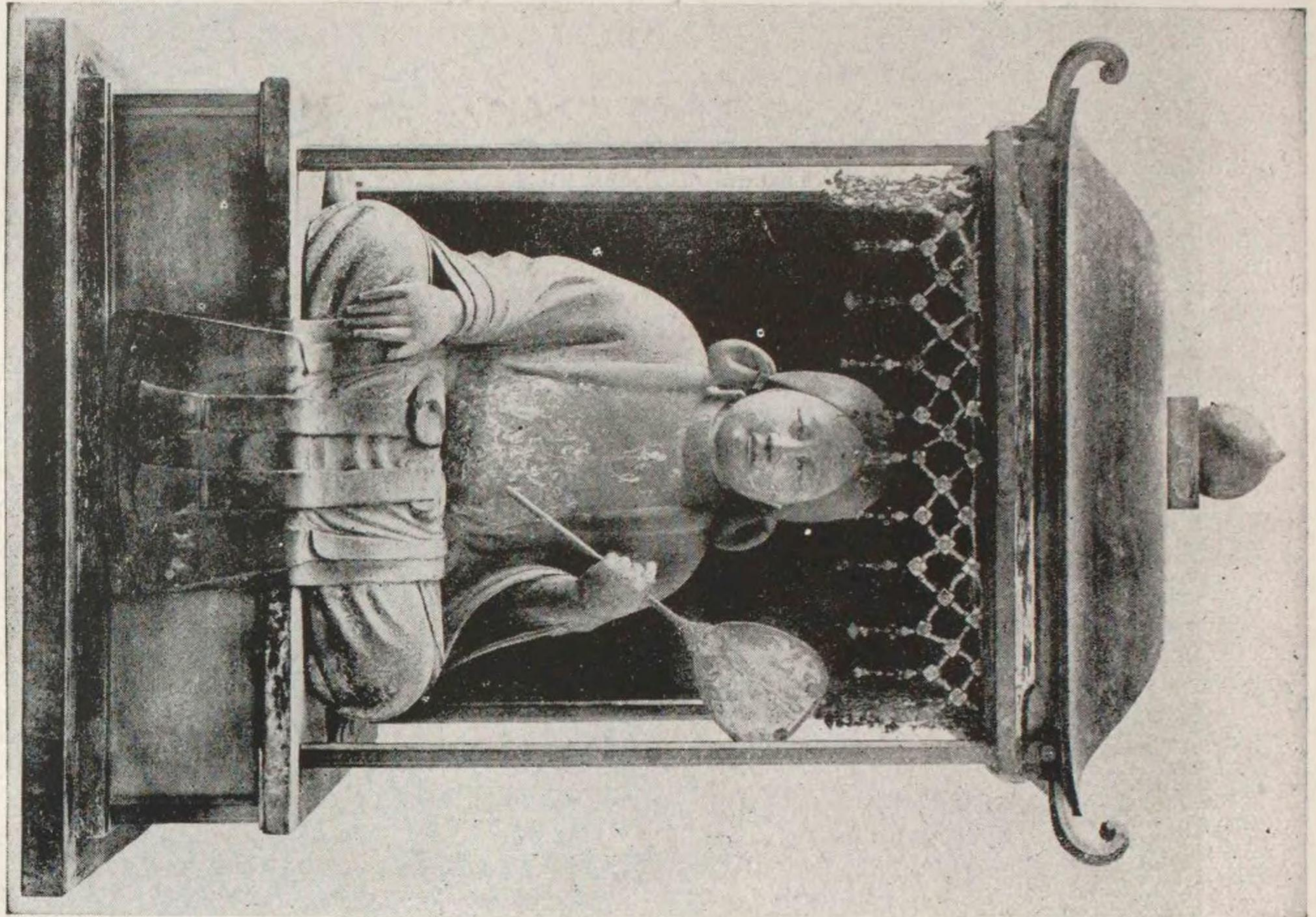


日羅像 木彫像高四尺八寸

法華寺像が当期彫刻として一般の承認を得たのは己に久しい以前であるが、廣隆寺像も亦従来の天平
説から次第に当期彫刻と認められるに至つてゐる。



如意輪観音像 木彫彩色像高三尺六寸 観心寺本堂



聖徳太子 七歳御像 木造彩色 像高一尺九寸一分
奈良縣 法隆寺 相殿

胎内産に上つて治暦風俗が彫り、装束具が彩色したことを知る



一字金輪像 木造彩色 像高二尺五寸二分 中尊寺寶藏
丸影ではなく高肉彫式になつてゐて背面がない。玉眼嵌人。



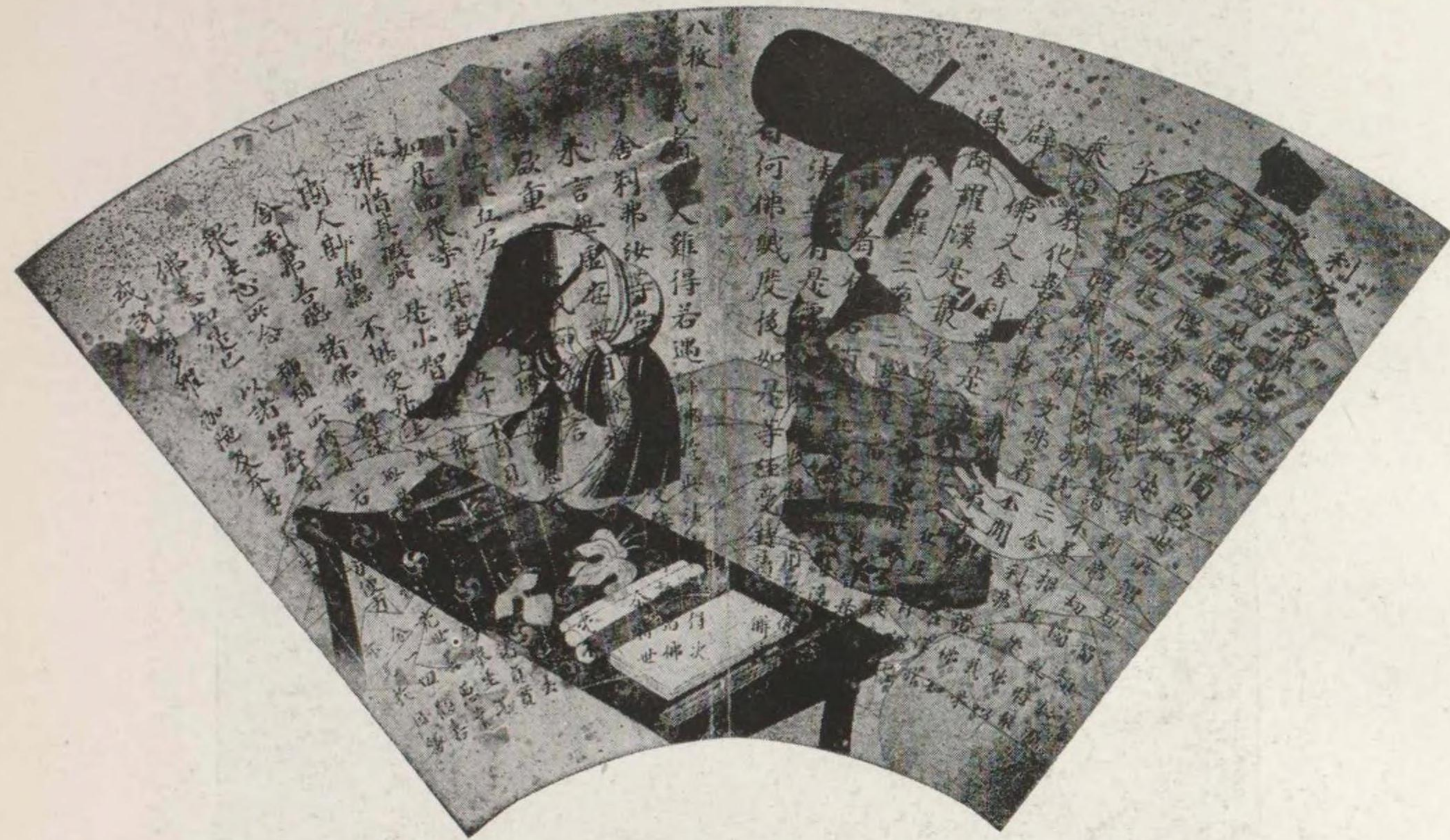
阿彌陀如來像 木造漆箔 像高九尺七寸 定朝作 京都府 平等院鳳凰堂



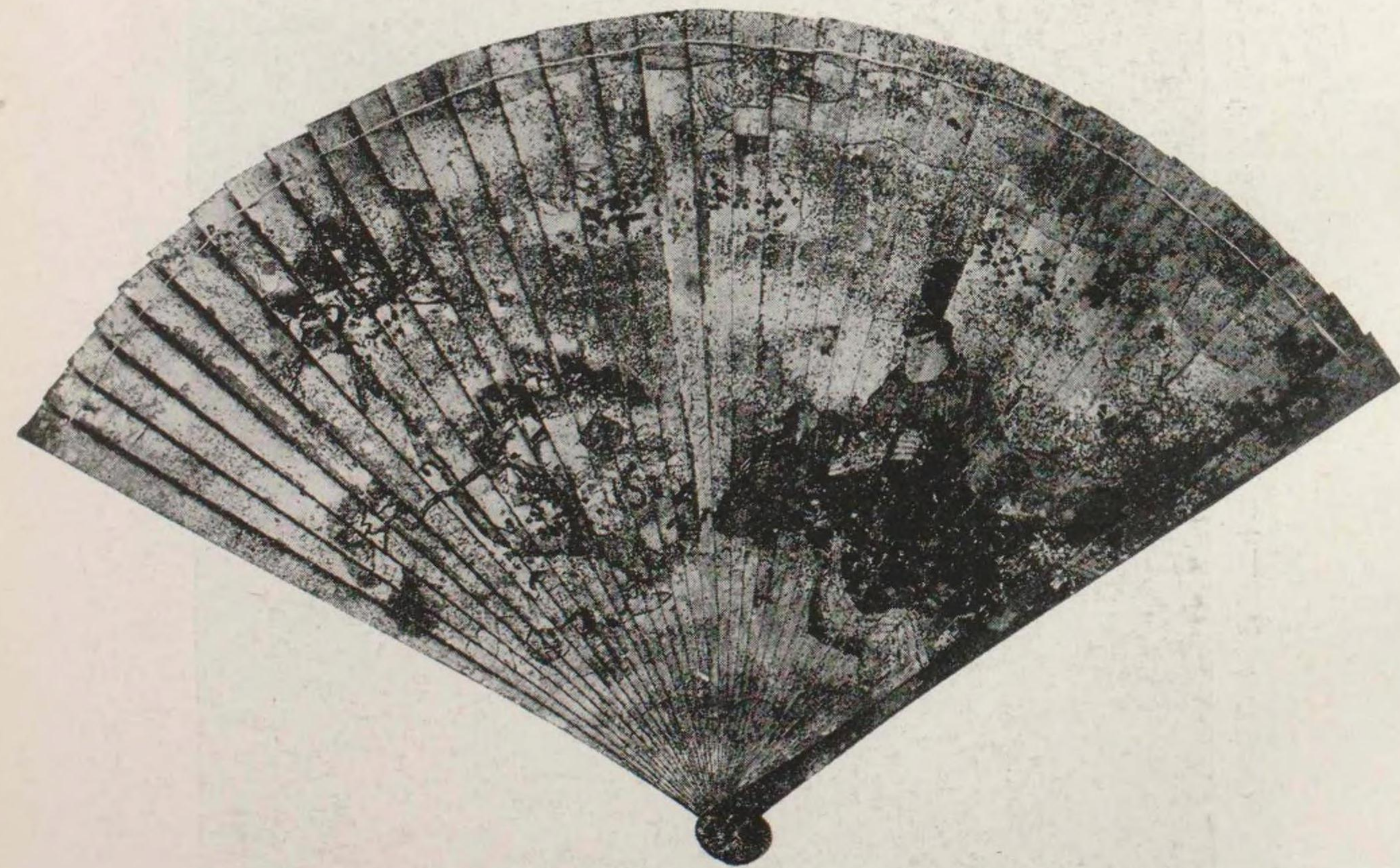
不動明王像 (赤不動) 絹本彩色 竪五尺四寸四分 幅三尺一寸六分 明王院



阿彌陀如來二十五菩薩來迎圖 絹本彩色 竪六尺九寸 横四尺四寸七分 中央六尺九寸 高野山 大圓院外二十二箇院 (靈寶館出張)

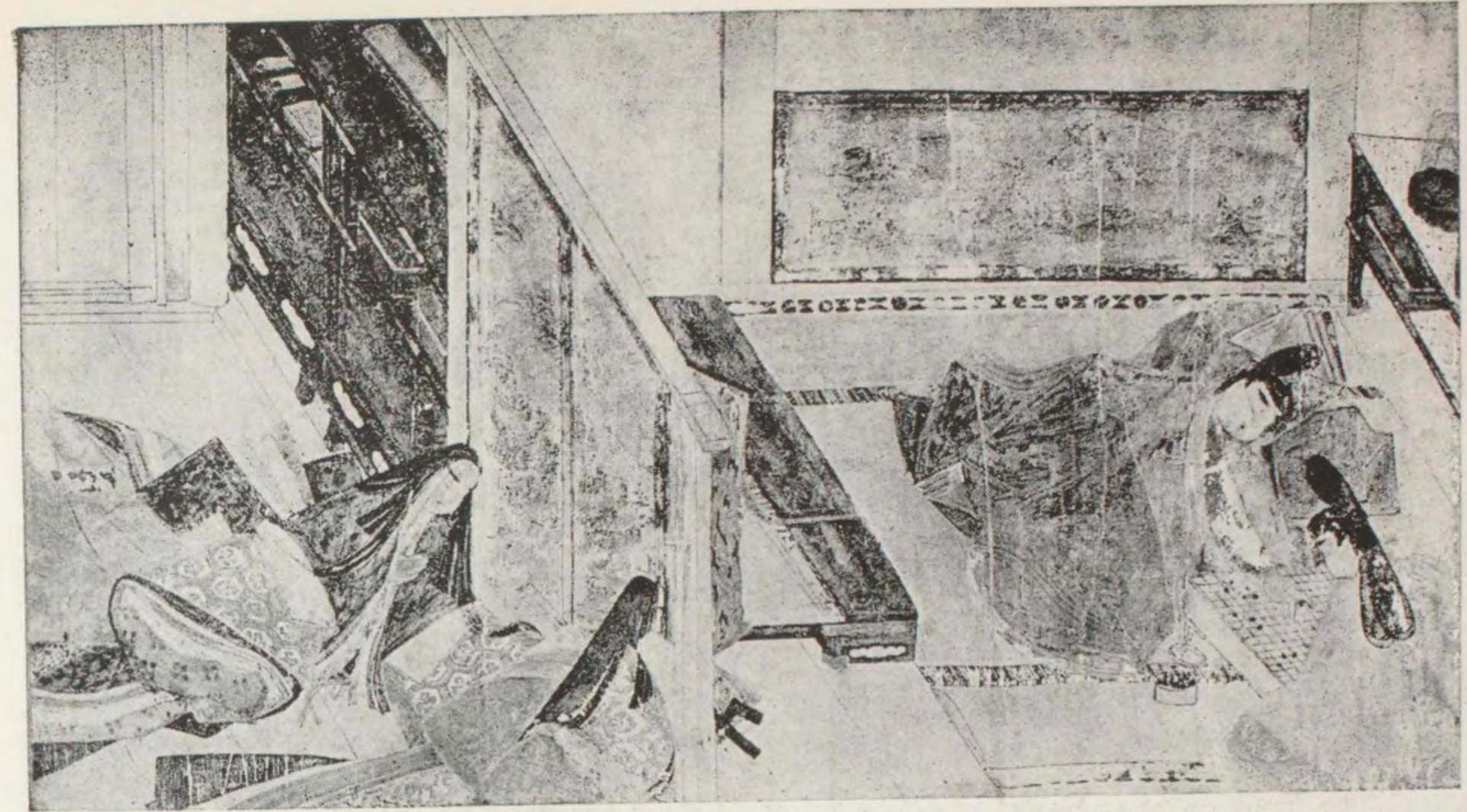


扇面法華經 紙地彩色 竪八寸四分 幅一尺六寸四分 大阪市 四天王寺



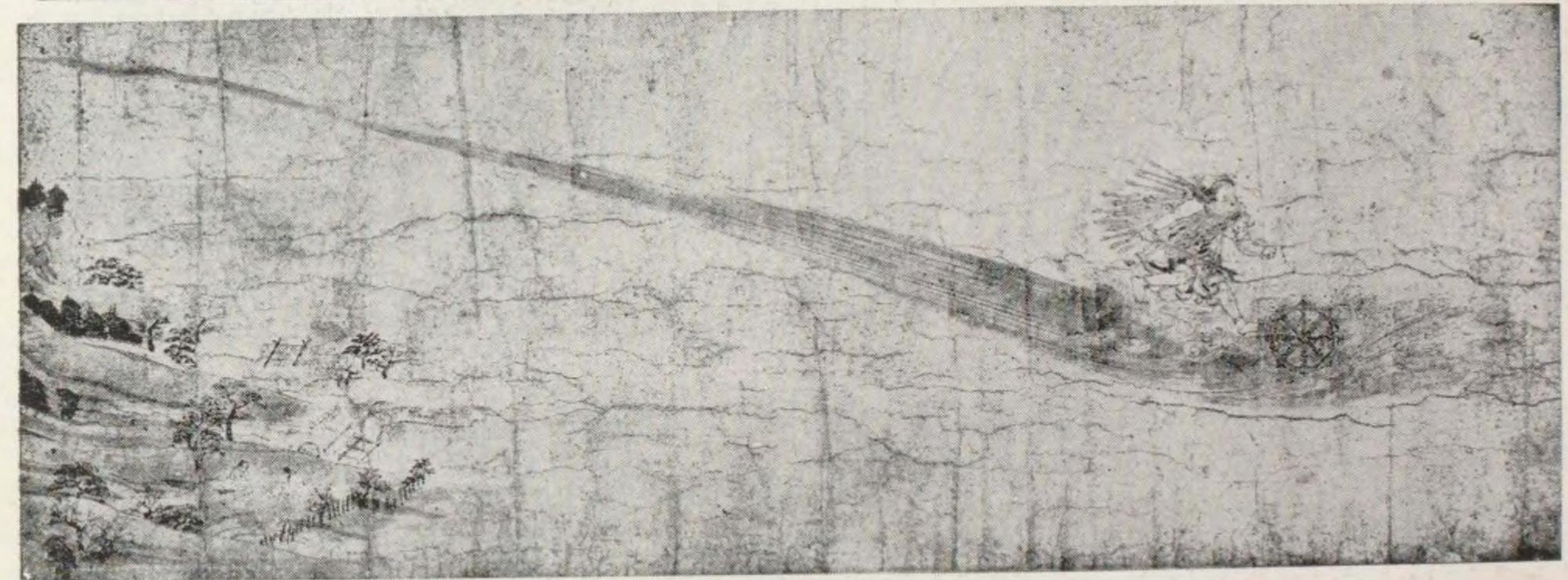
彩色檜扇 傳平氏奉納 竪一尺九分 幅七分の板三十四枚綴
廣島縣 嚴島神社 (恩賜京都博物館出陳)

源氏物語繪卷 德川義親侯藏



信貴山緣起

朝護孫子寺



戲畫卷 紙地墨繪 幅一尺 京都高山寺 (京都博物館出陳)



火天面 木造彩色 竪一尺二分
京都教王護國寺(東寺) (恩賜京都博物館出陣)



日天面 木造彩色 竪一尺七分

面裏墨書銘 應德三年十月廿日御塔供養修理

平安朝 一四(中世)

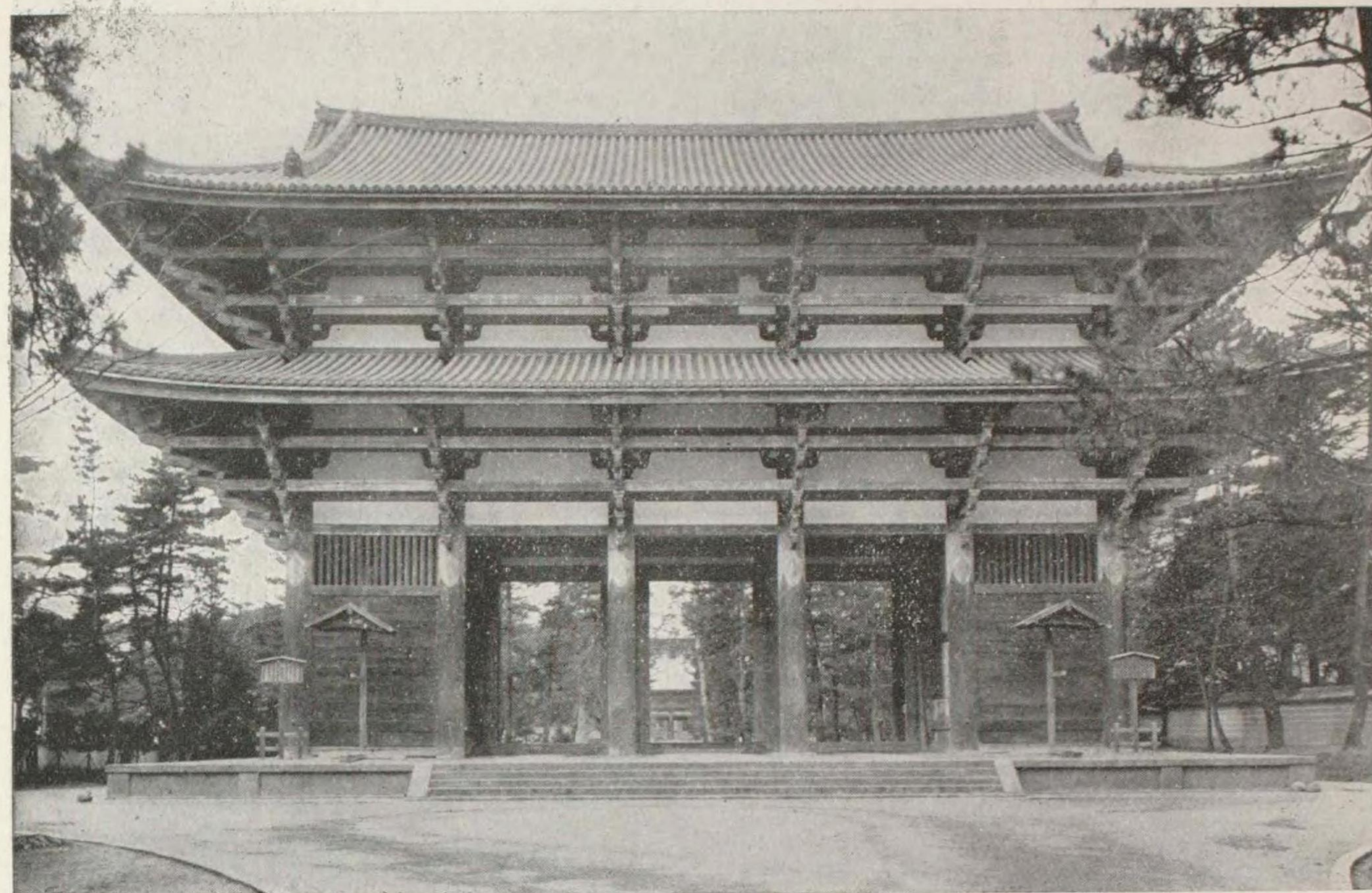


俱梨伽羅龍蒔繪經宮 (蓋表)
一尺三分 六寸三分 奈良縣 當麻寺



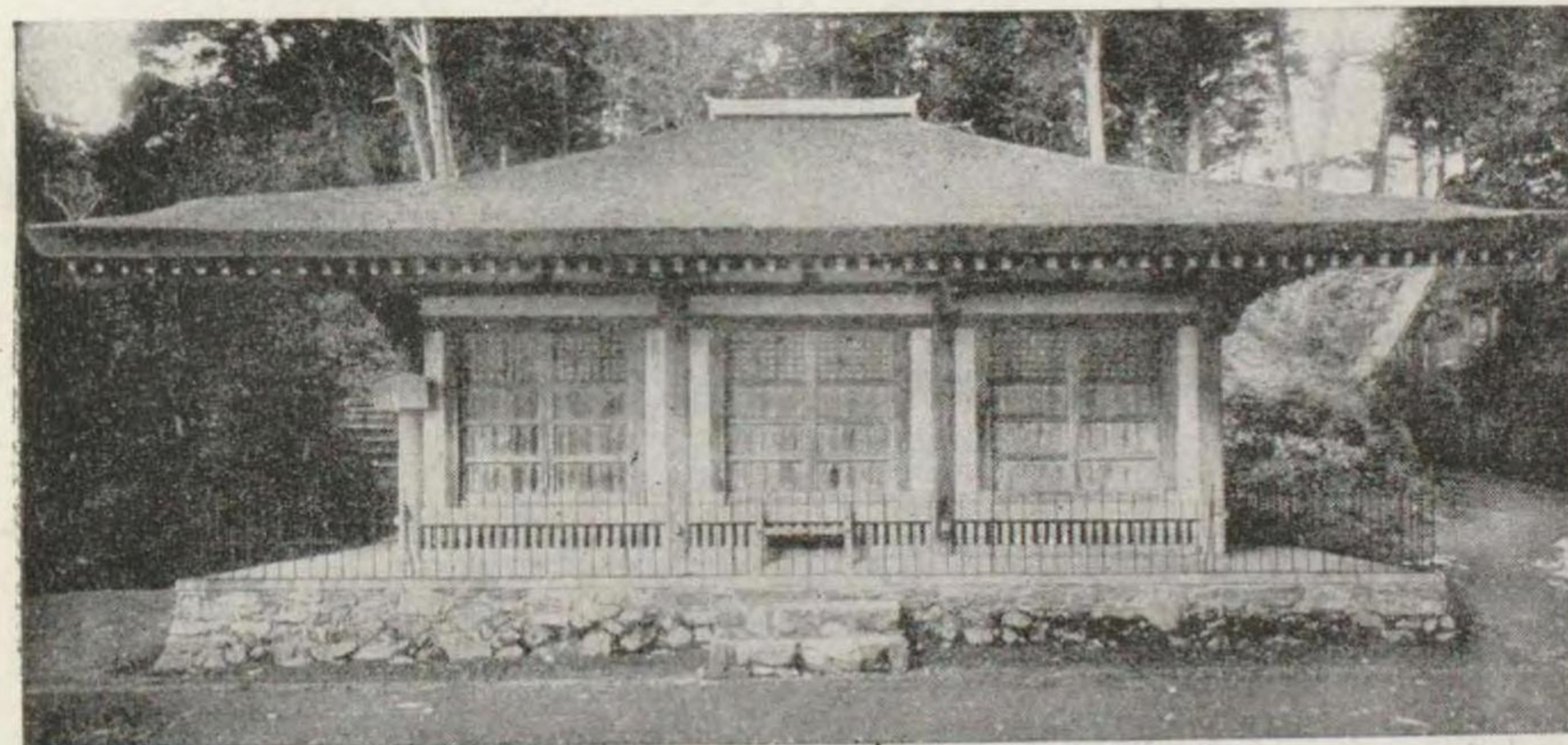
胡德樂瓶子 木造黑漆
高一尺二寸八分 奈良市 手向山神社

鎌倉時代 一(中世15)



奈良市 東大寺 南大門 元治元年上棟

天竺様建築三種及びその細部



京都市 醍醐寺 經藏



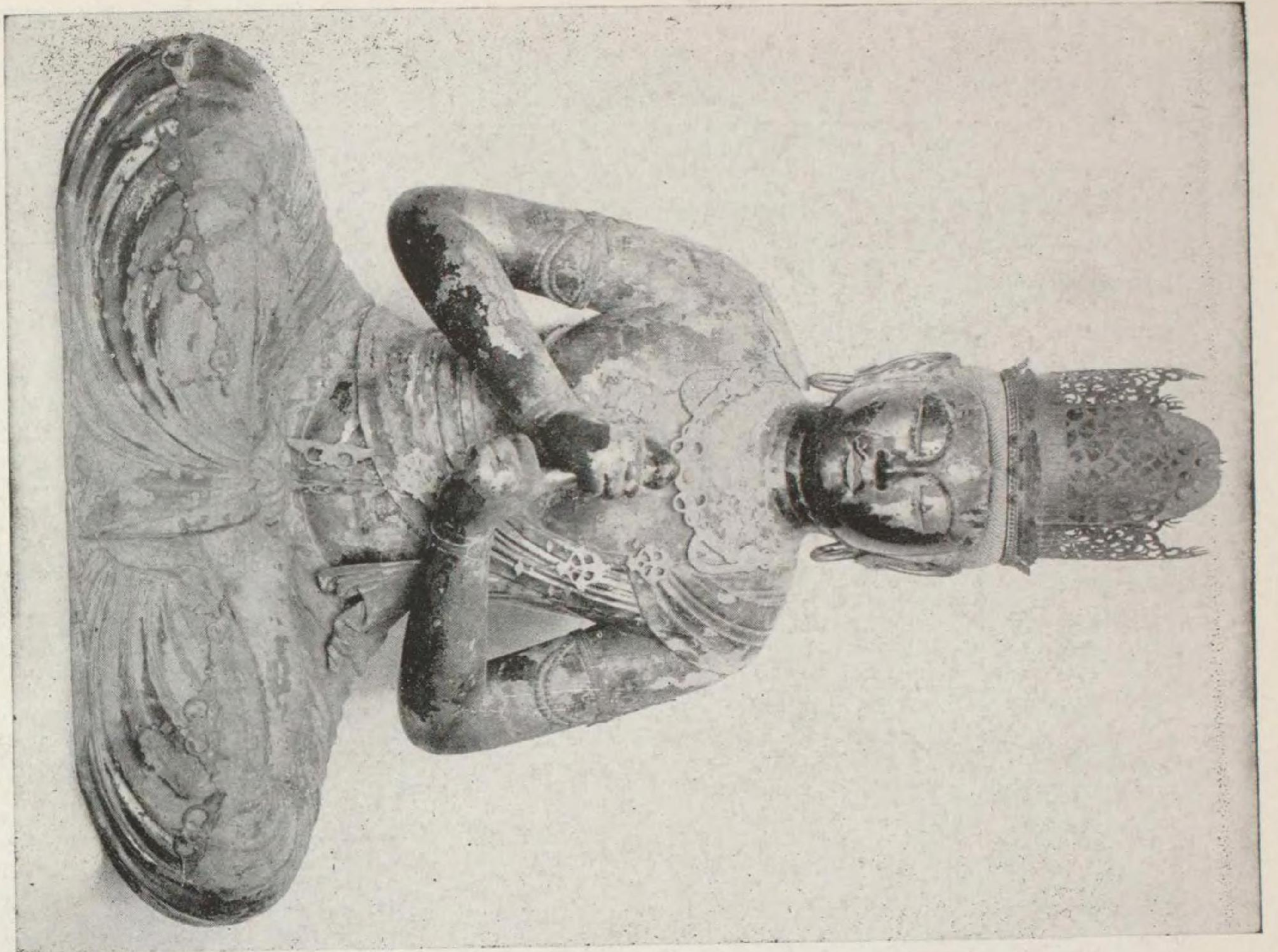
南大門細部



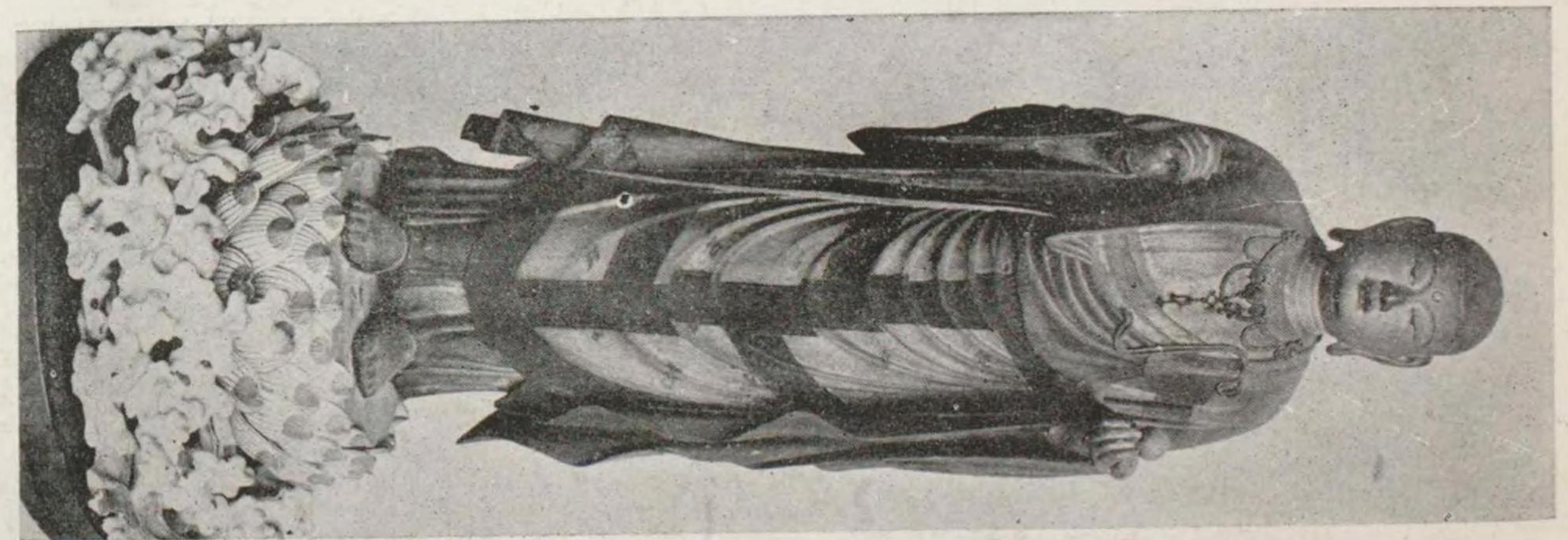
兵庫縣 淨土寺 淨土堂 建久三年創建



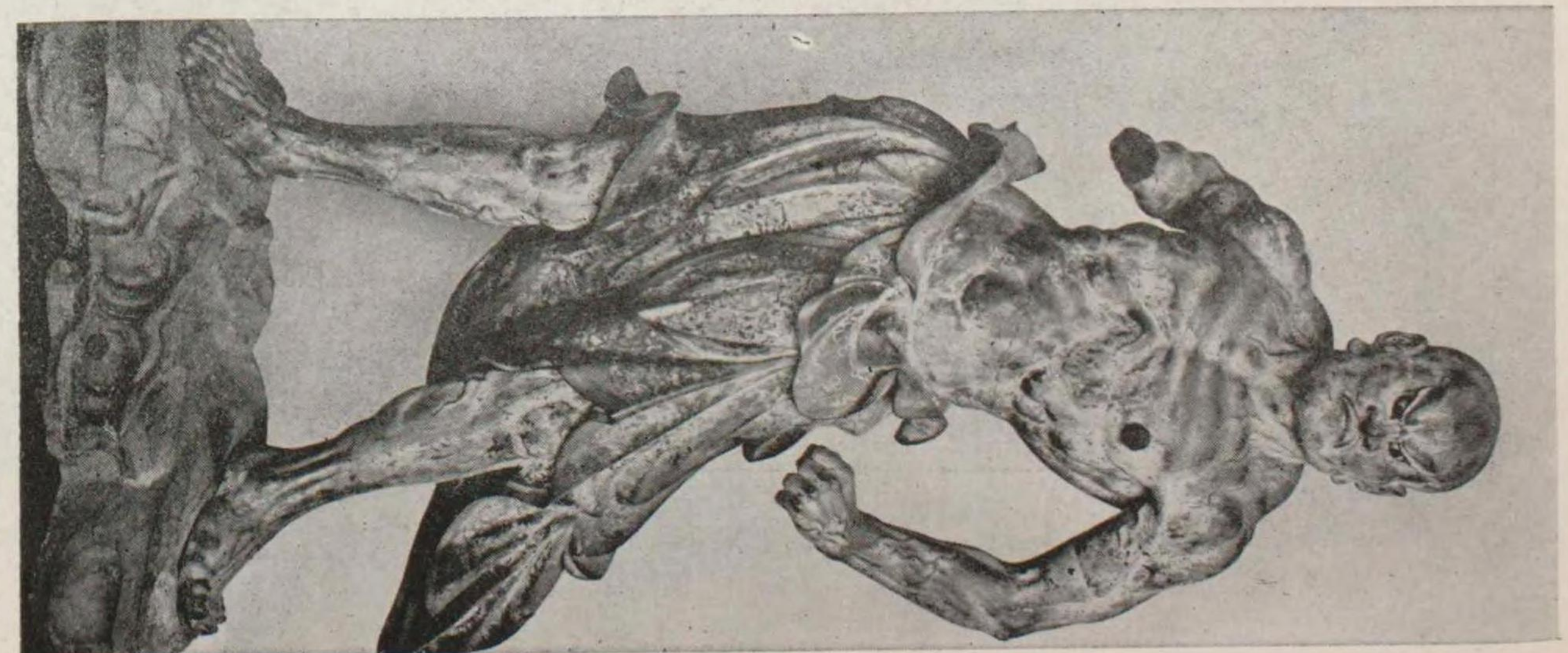
淨土寺 淨土堂細部



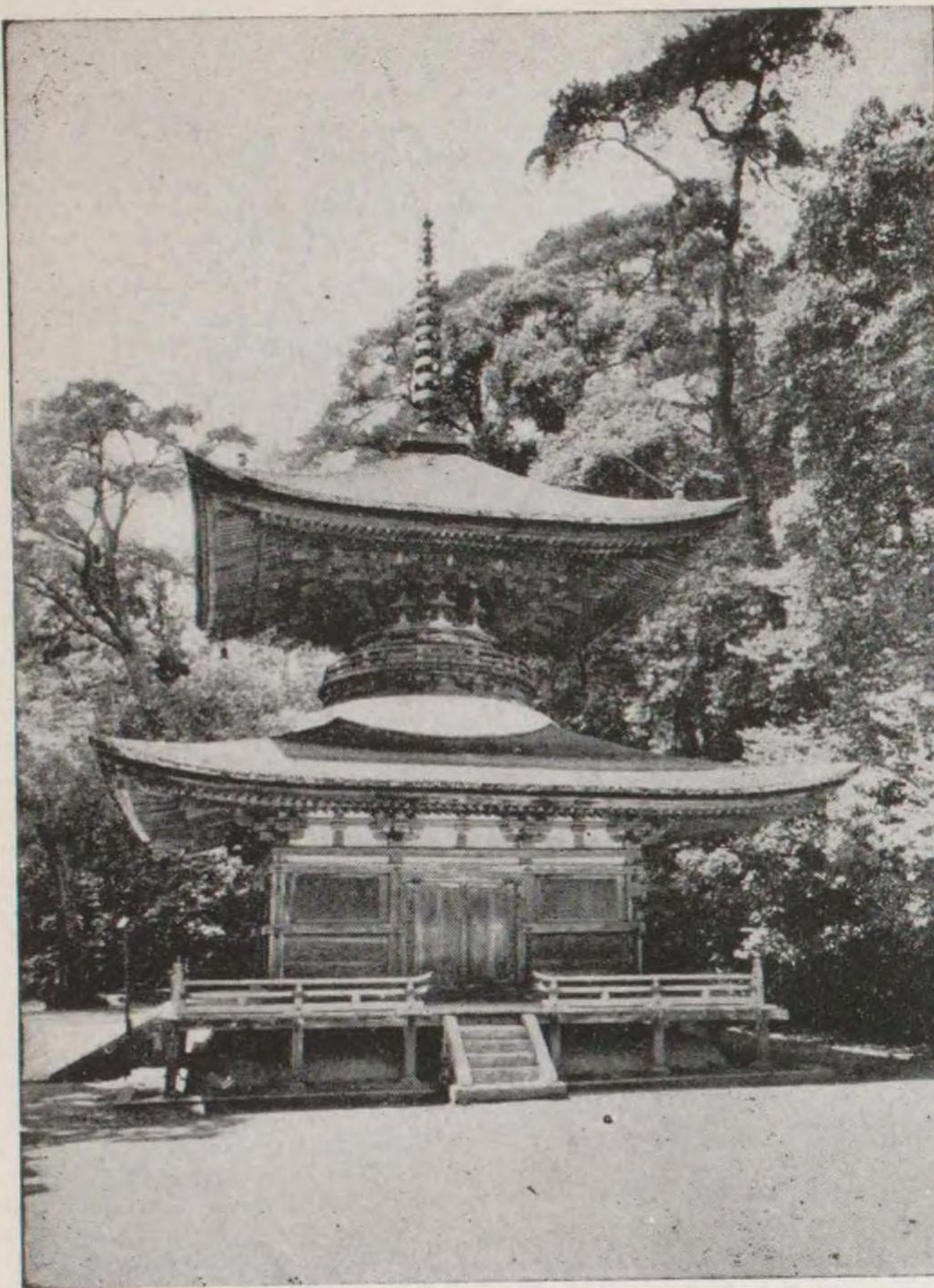
大日如来像 (金剛界) 圓成寺



地藏菩薩像 複製作 木造彩色 像高二尺九寸八分
奈良市 東大寺 (奈良博物館出陳)



金剛力士像 群形 木造彩色 像高五尺一寸三分
興福寺 (奈良博物館出陳)



滋賀縣 石山寺 多寶塔
高野山金剛三昧院の多寶塔と共に現在最古のもの。

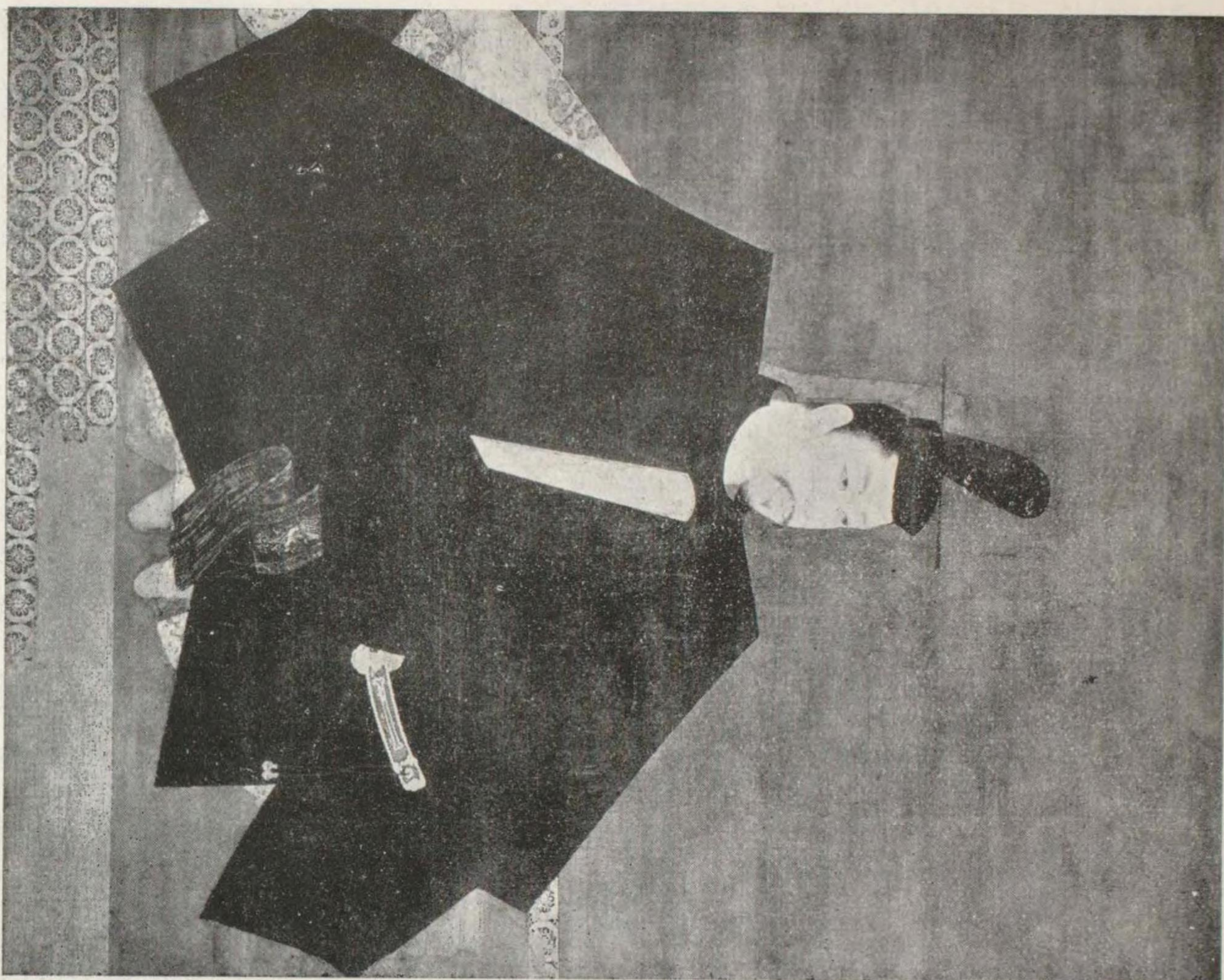


奈良市 般若寺 十三重石塔
初重に線影の四方佛がある。周囲の石佛は江戸時代。



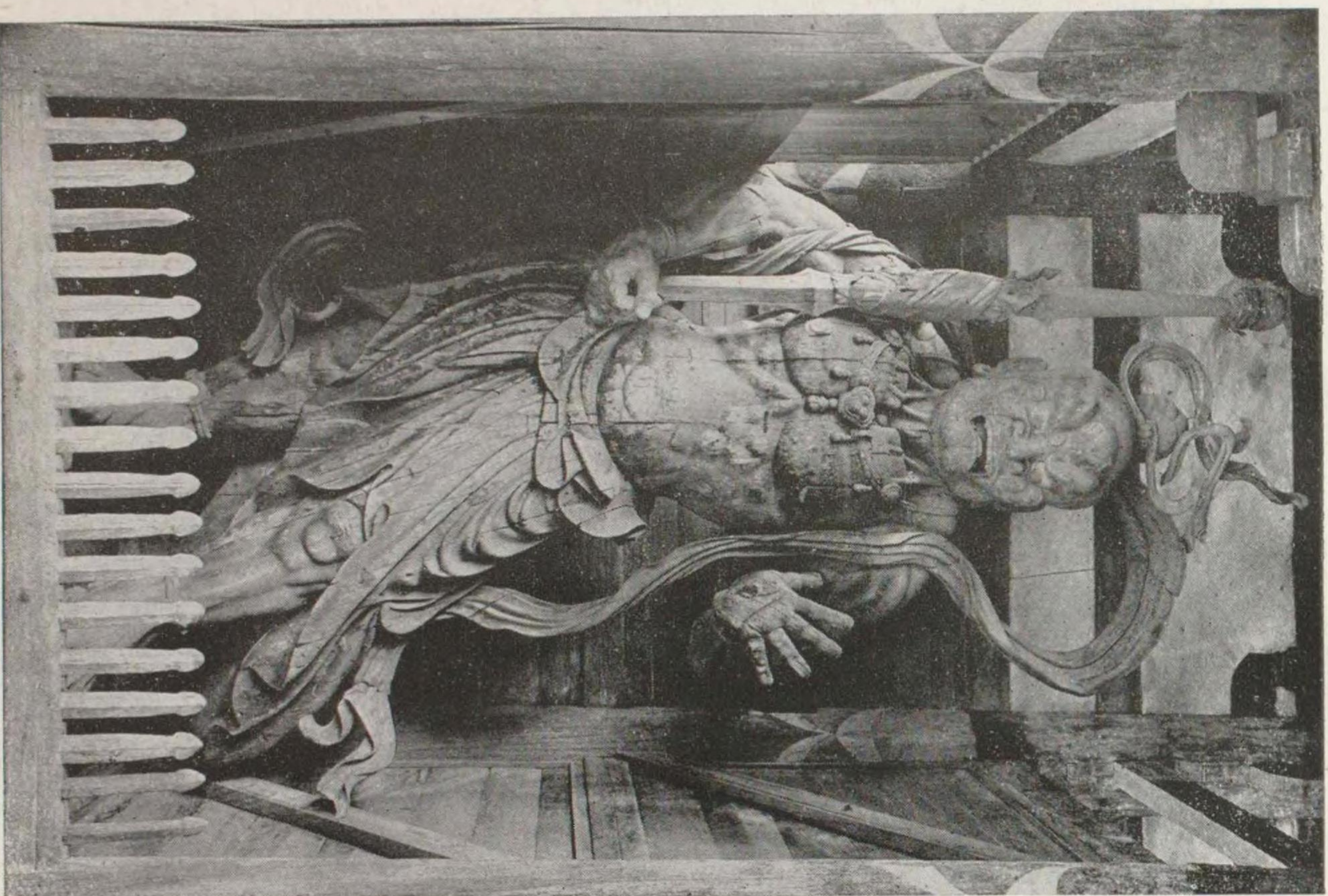
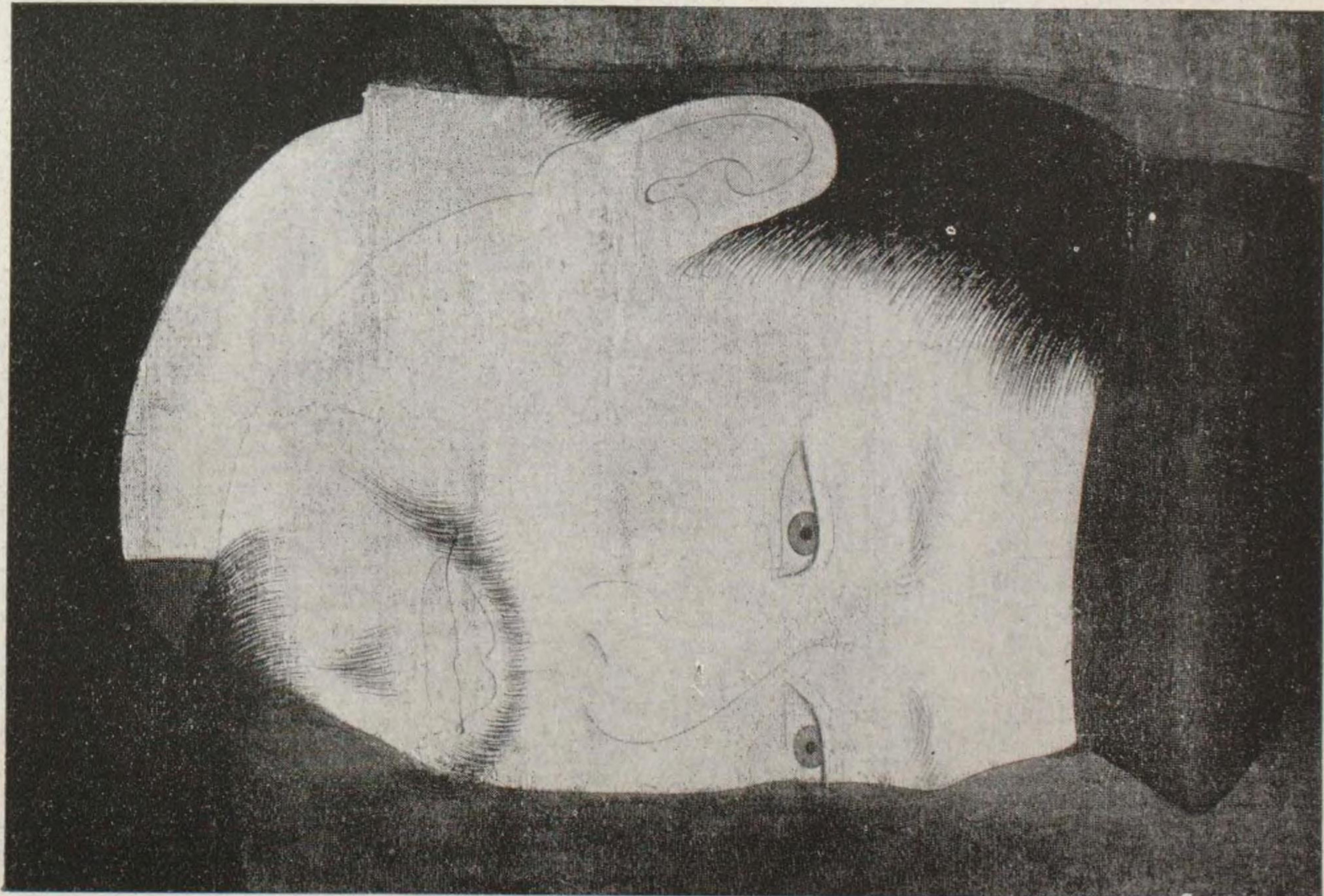
神奈川縣 圓覺寺 舍利殿 方五間重層入母屋造上層茅葺下層柿葺

鎌倉には當初此の時代の建築が澤山あつたが現在では此の舍利殿が只一つ残つてゐる。
弘安五年北條貞時建立と傳へ、唐代建築の代表的遺構である。

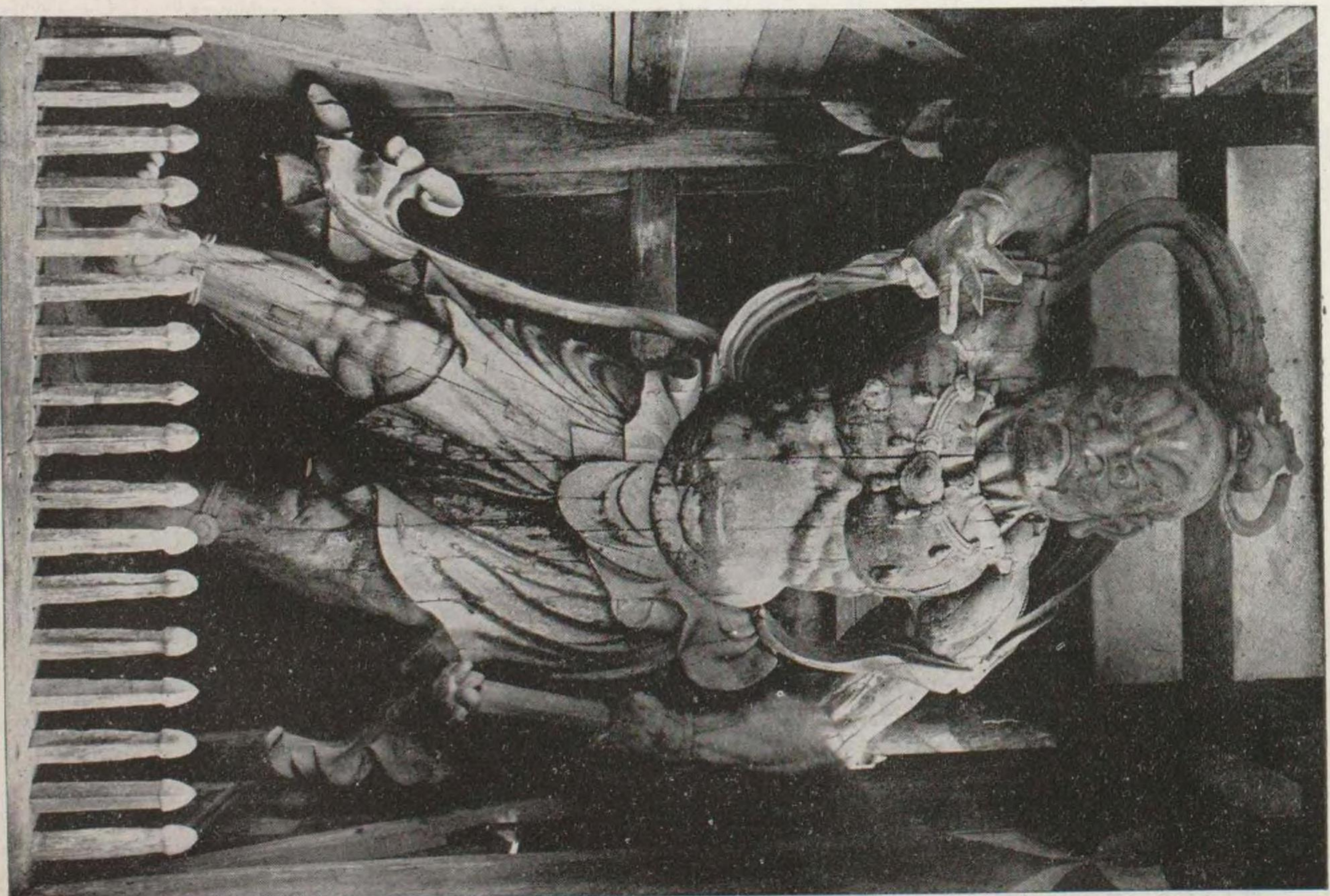


源 賴 朝 像 (全形及細出) 紺地彩色 四尺六寸×三尺六寸九分 京都市 神 護 寺 (京都博物館出陳)

この像は藤原隆信の筆であることが神護寺の古記によってわかる。隆信は當時似繪(肖像畫)の名人として有名な人であった。

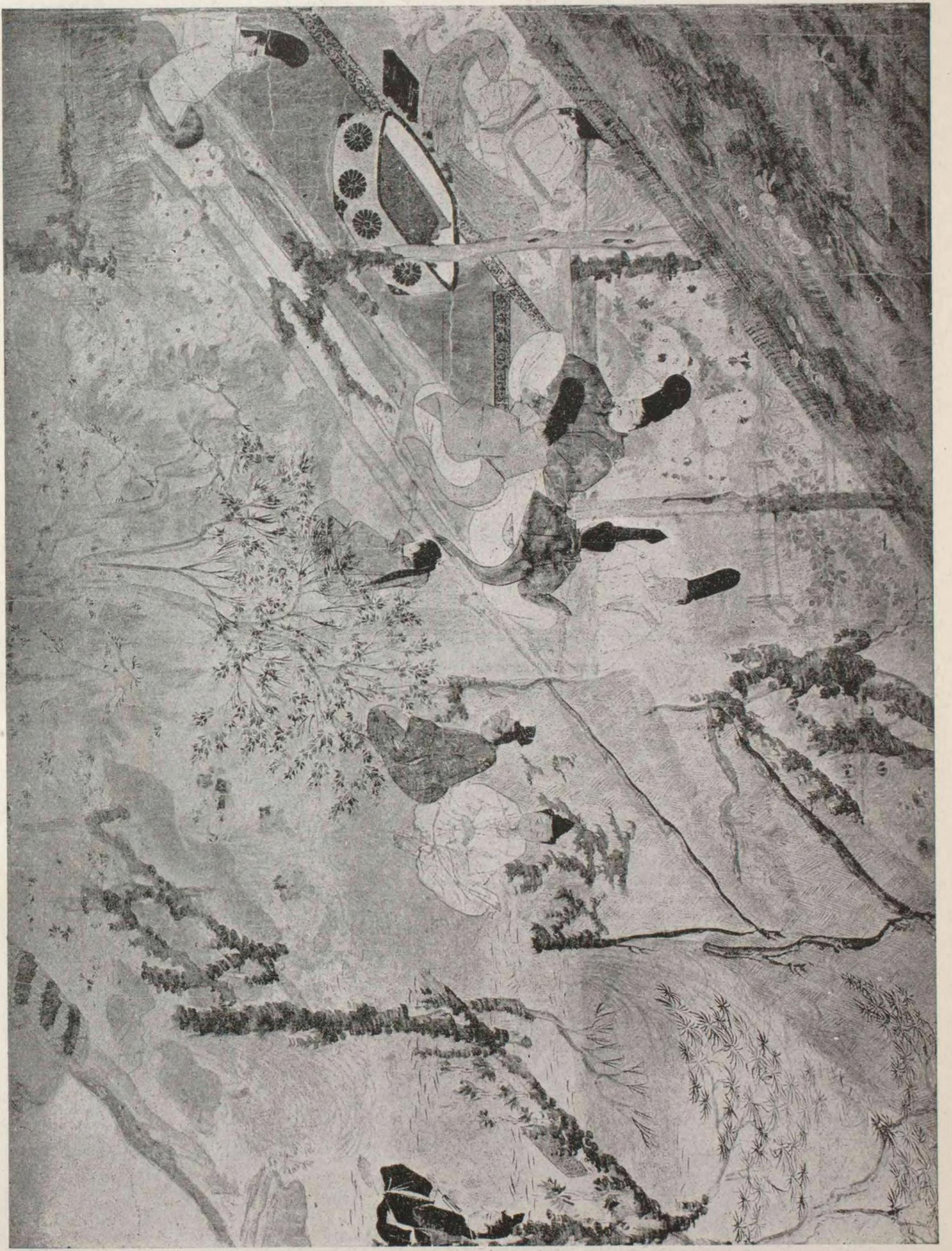


金 剛 力 士 像 阿 形
運慶及快慶作 木造彩色 像高二十六尺五寸 奈良市



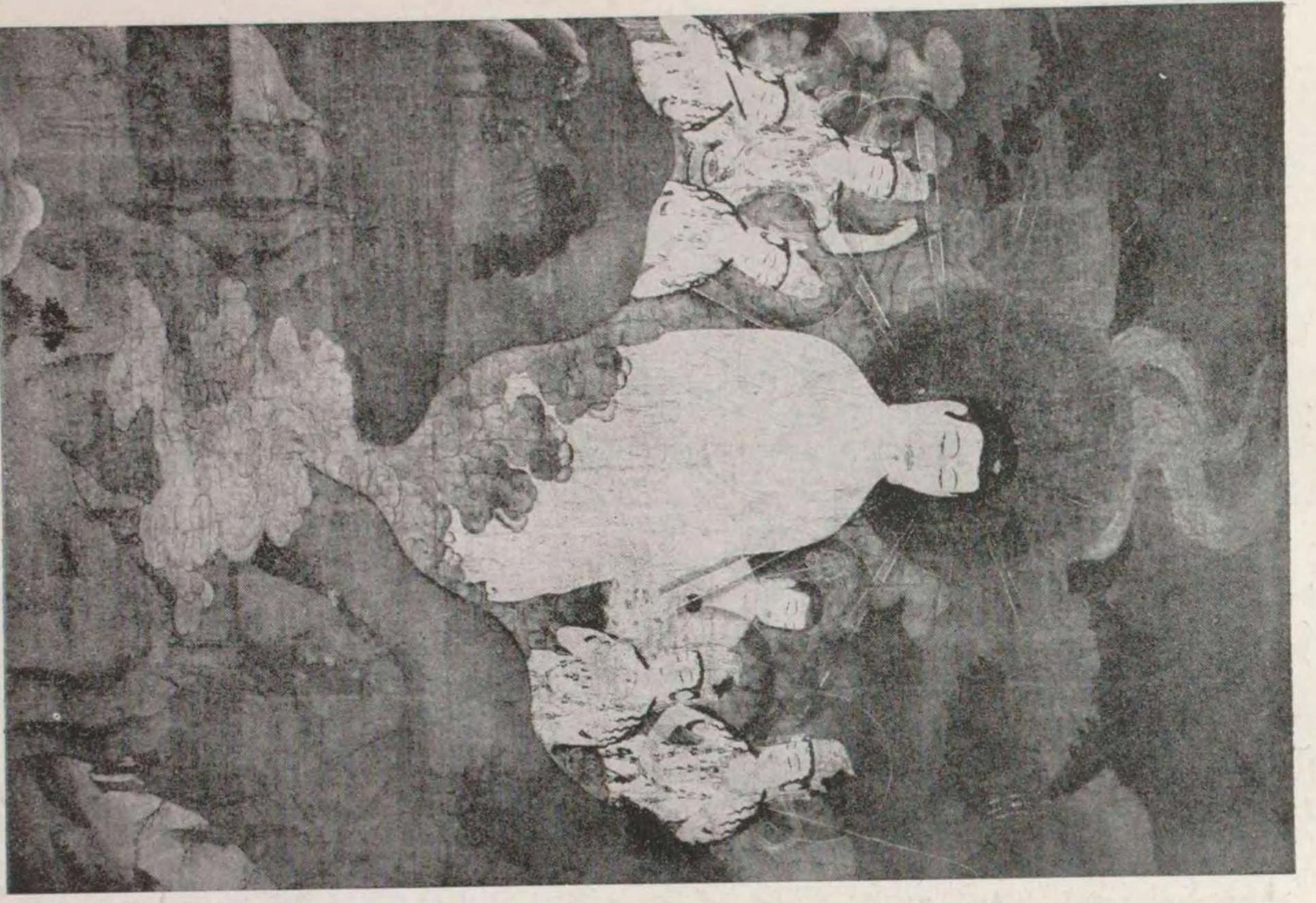
金 剛 力 士 像 呷 形
京都市 東 大 寺 南 大 門

我が國最大の仁王像で誠に驚嘆すべきものである



北野天神縁起 紙地彩色 一尺七十二分 京都市北野神社

菅原道真が筑紫の配所で感賜の御衣を拜する光景を描いたもので信實の筆に傳へられてゐる。



山越阿彌陀圖 大阪市上野家藏 絹地彩色 三尺九寸八分×二尺六寸五分



山越阿彌陀圖 京都市禪林寺(京都博物館蔵) 絹地彩色 四尺四寸五分×三尺八寸七分

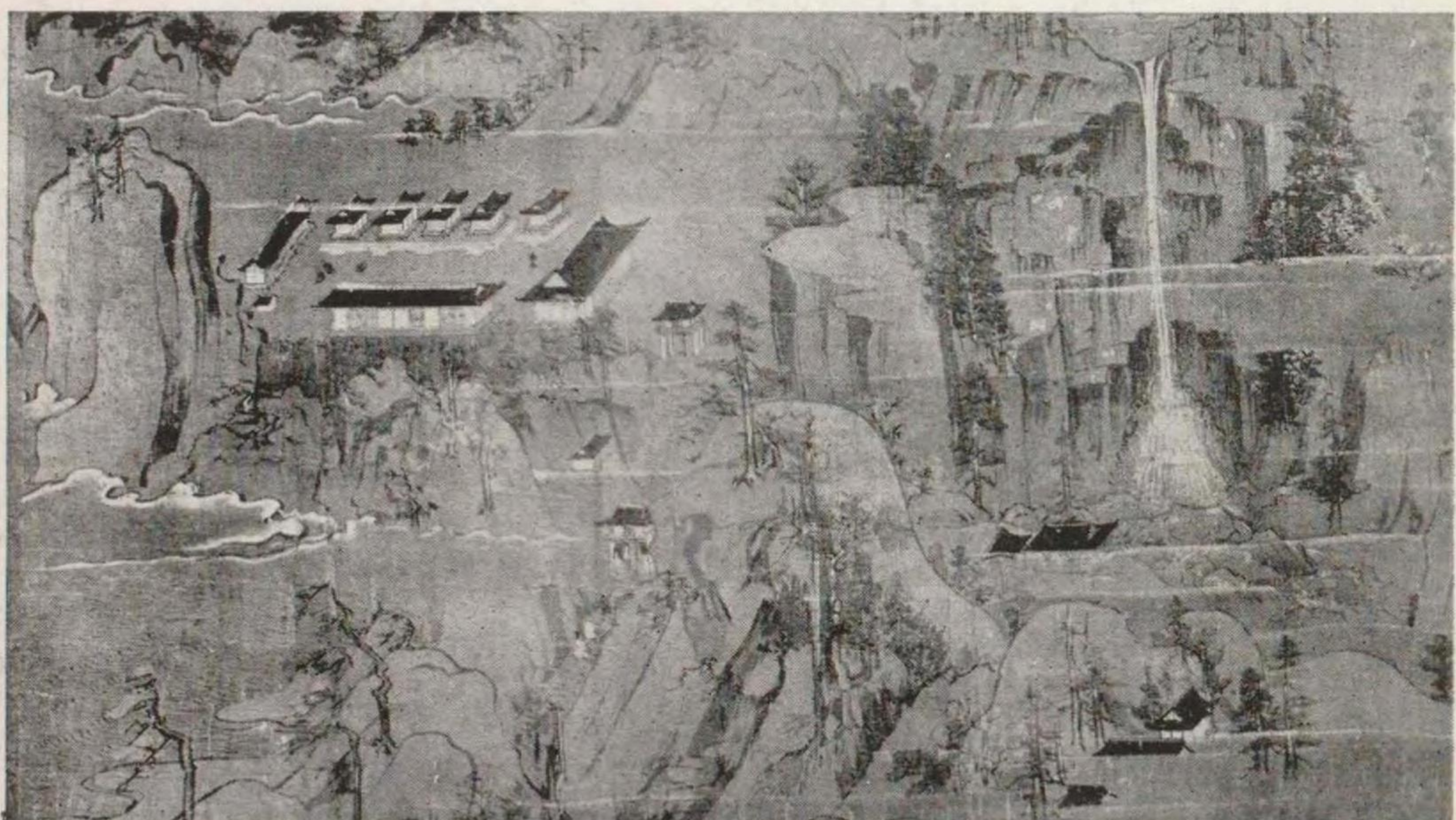
永仁六年 戊戌八月日
畫工 六角兵衛入道蓮行
筆師 鴻田氏部大夫行兼



右繪傳奥書

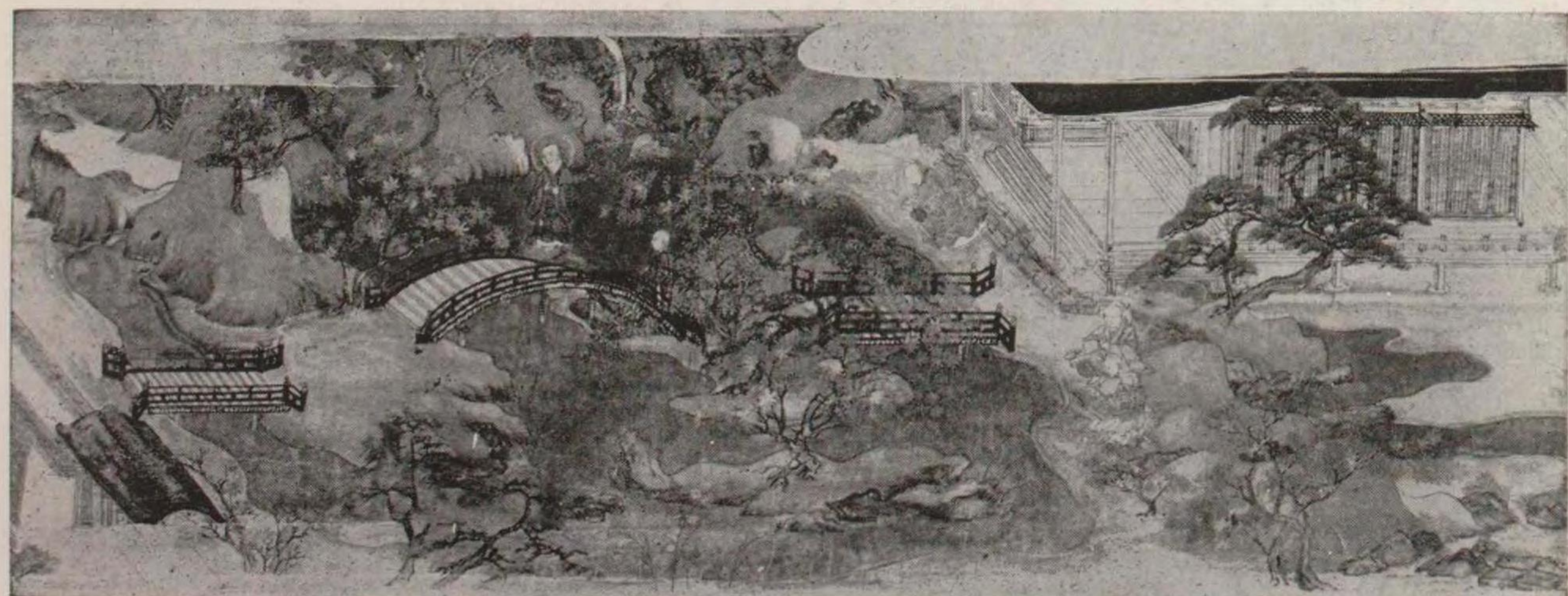
東征繪傳 紙地彩色 一尺二寸三分 奈良市 唐招提寺

西安元年 己未八月廿三日
畫工 法然上人
筆師 三木經宗御筆

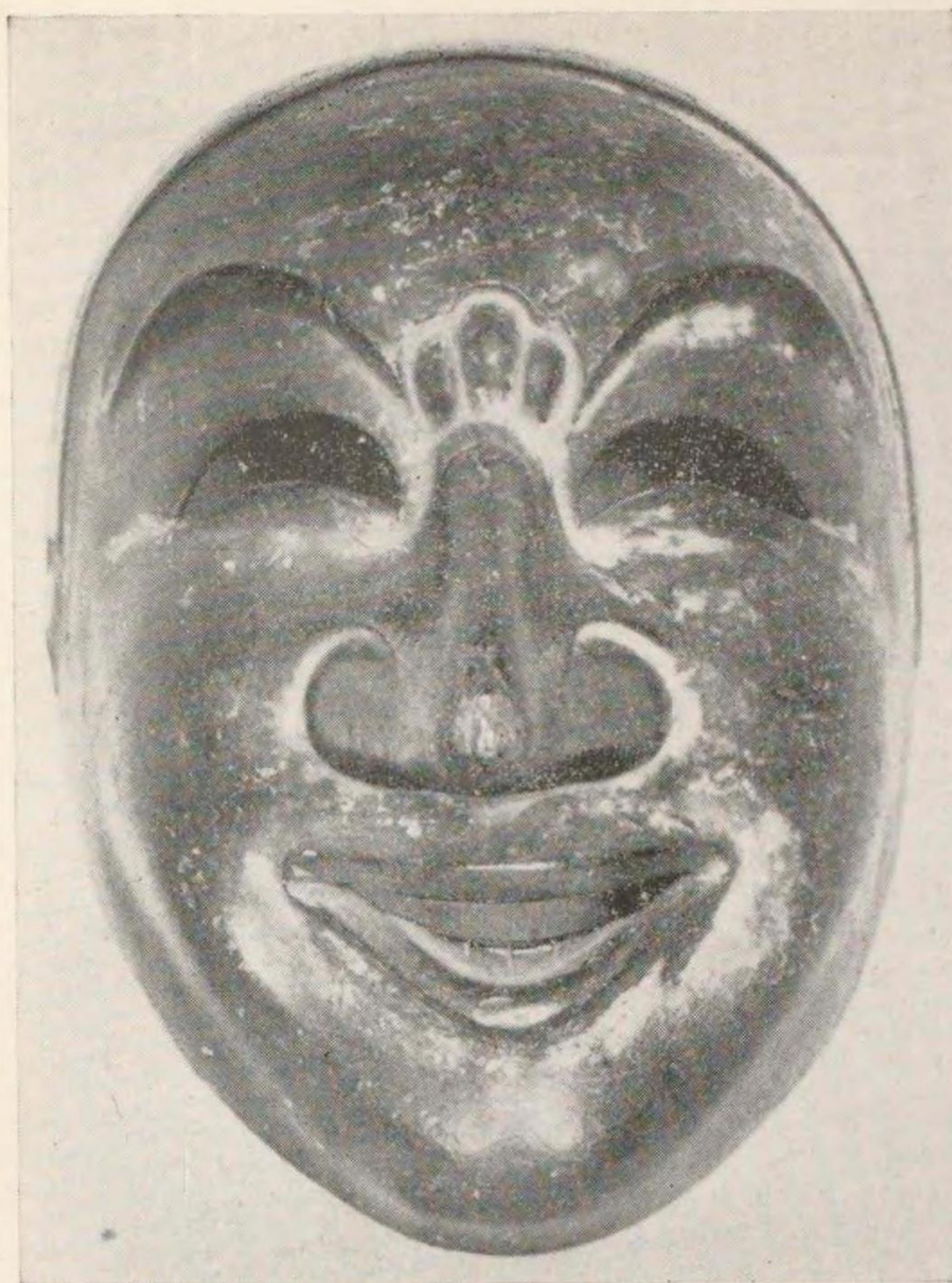


右繪傳奥書

一遍上人繪傳 絹地彩色 一尺二寸五分 京都市 歡喜光寺



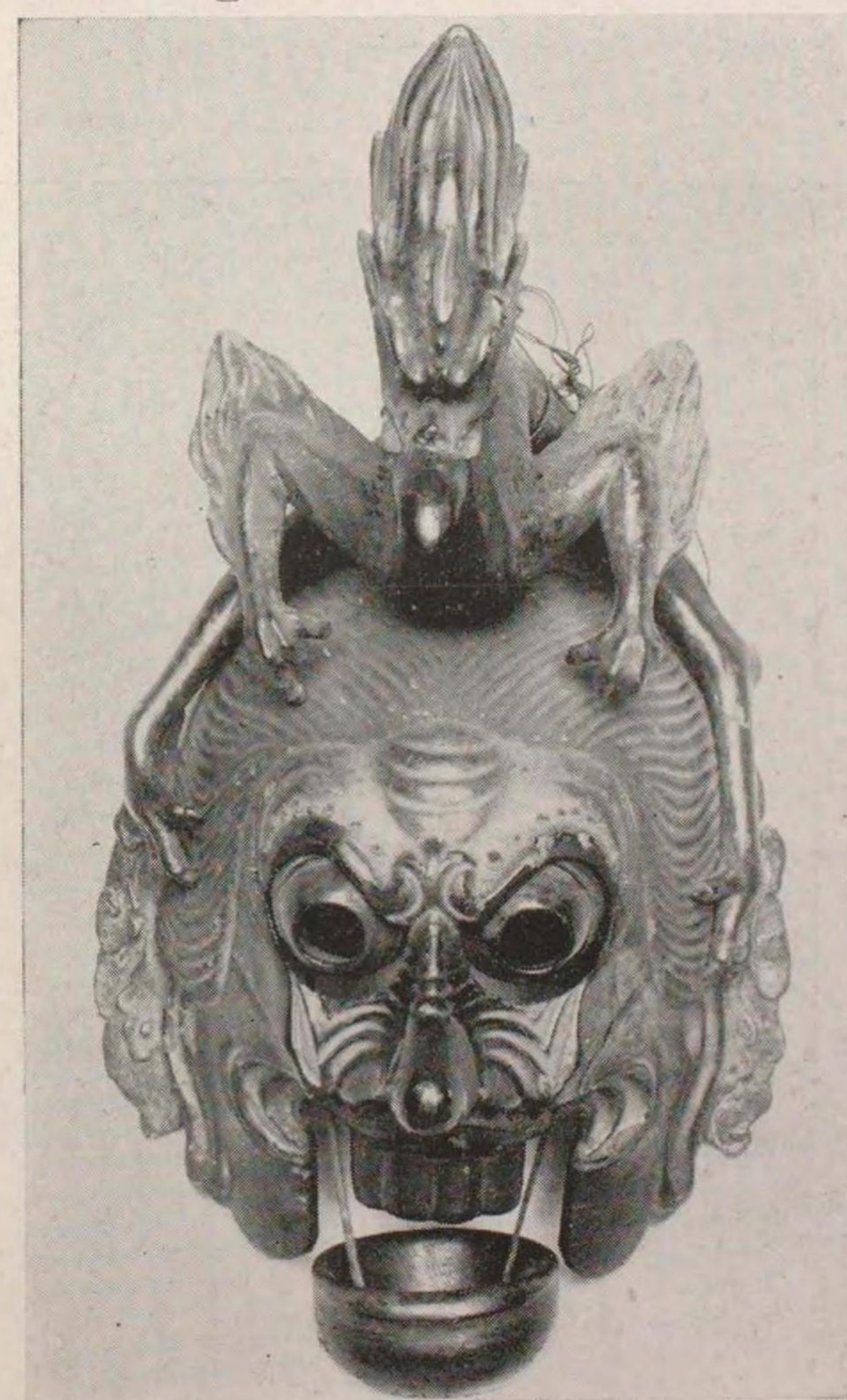
法然上人繪傳 紙地彩色 一尺九分 京都市 知恩院



舞樂 池久面 木造彩色 長七寸
銘「元曆二年二月日」春日神社



舞樂 新鳥蘇面 木造彩色 長七寸
印勝作 春日神社

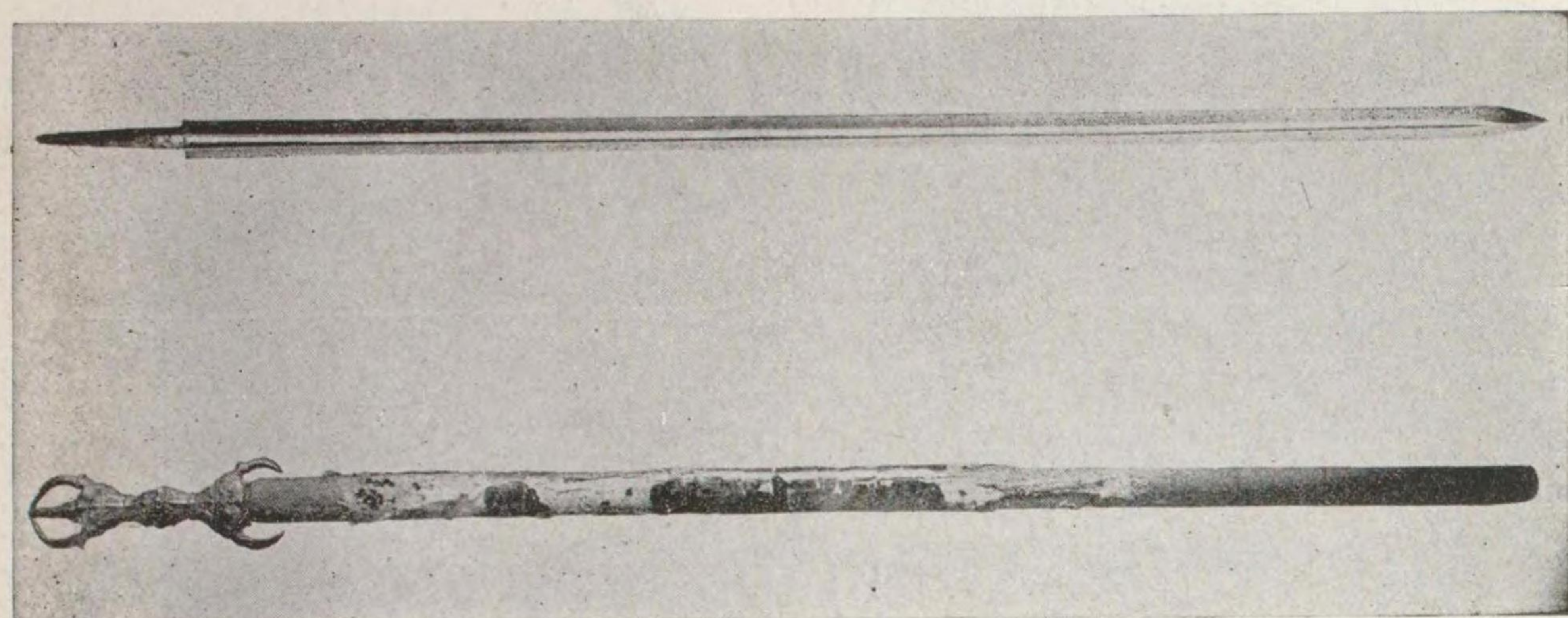


舞樂 羅陵王面 木造彩色 長一尺二寸
銘「正元元年四月廿二日」東大寺

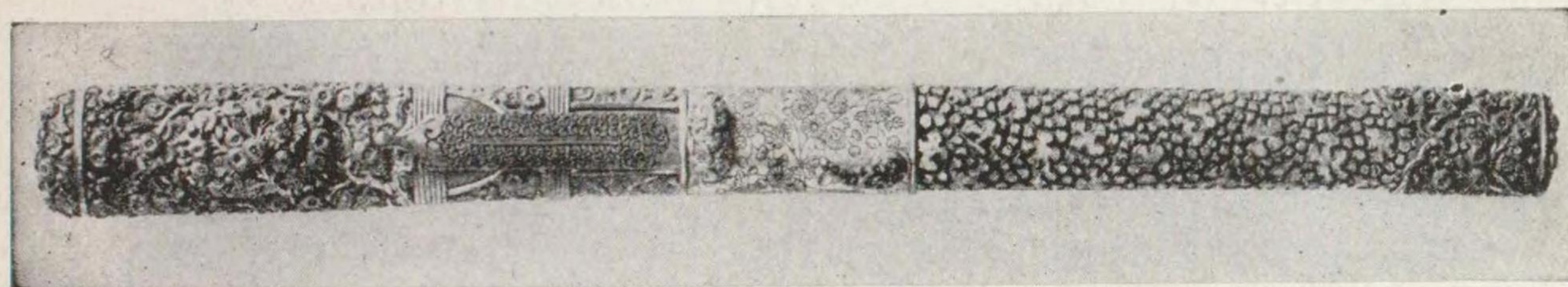


上圖 新鳥蘇面裏銘 (原寸)

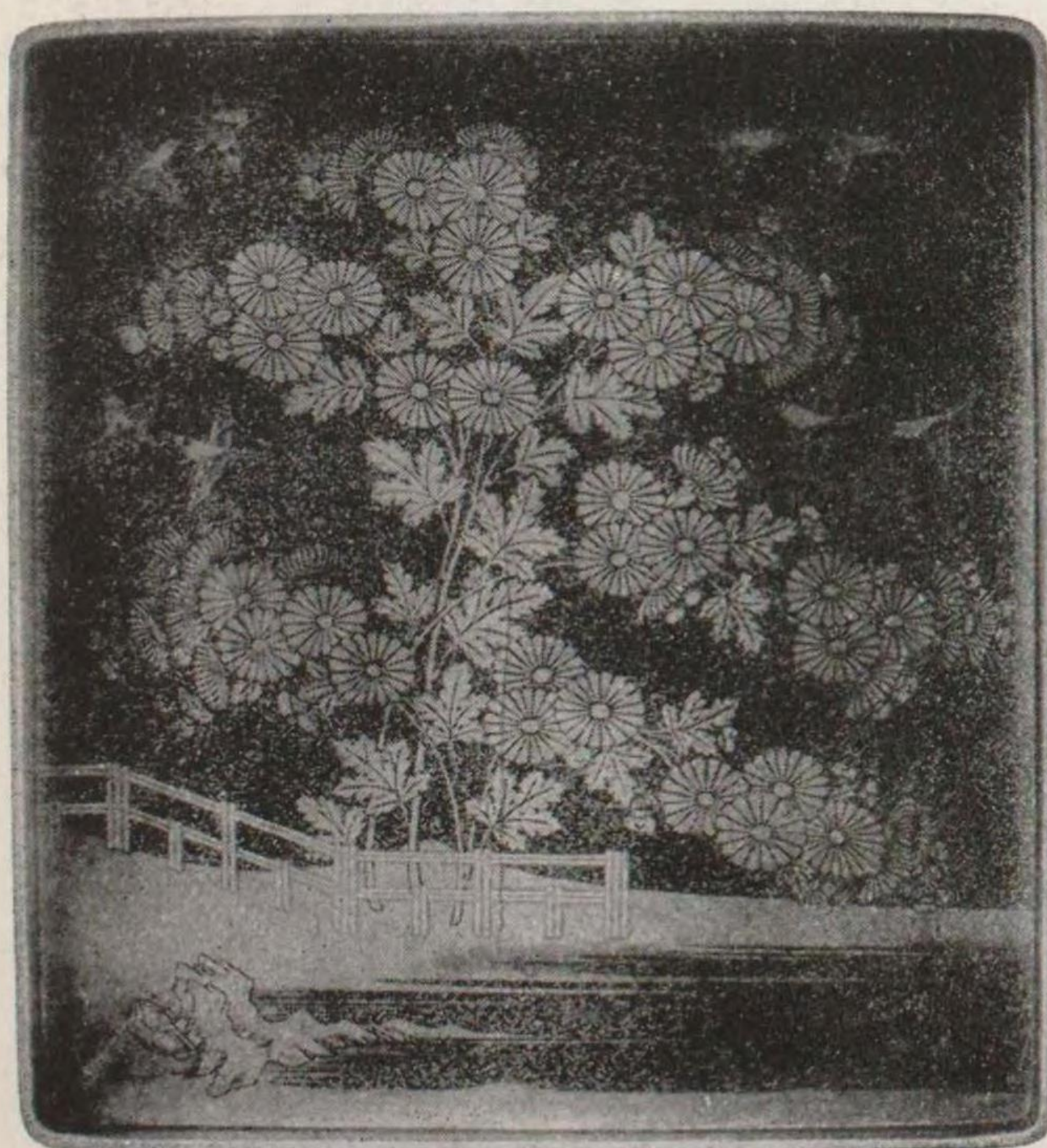
銘「元曆二年二月日」
佛師印勝 福興寺 新鳥蘇



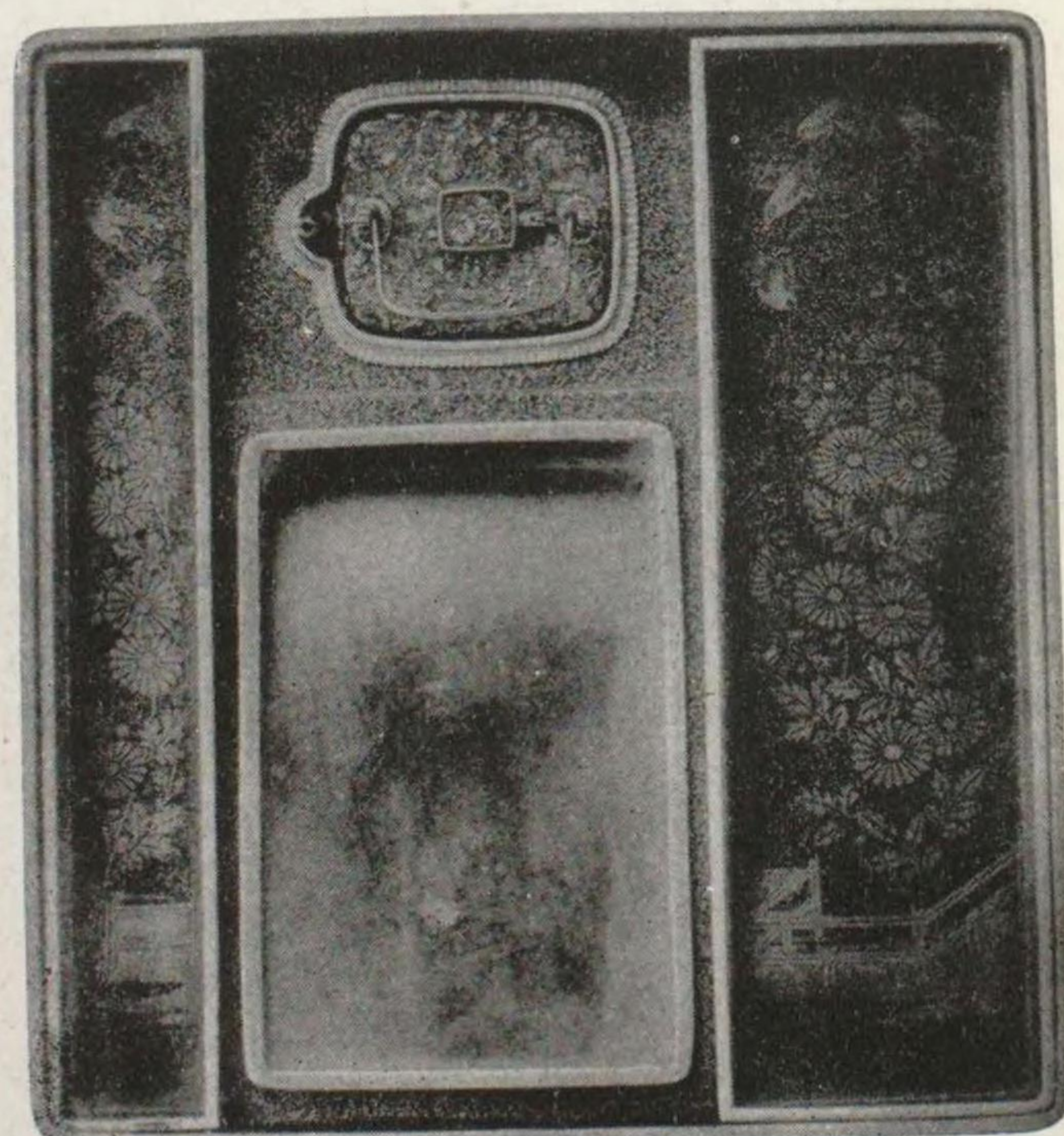
劔 全長 三尺七寸九分 京都市 鞍馬寺



短刀外装金具 拵總長 一尺三寸八分 皇室博物館藏

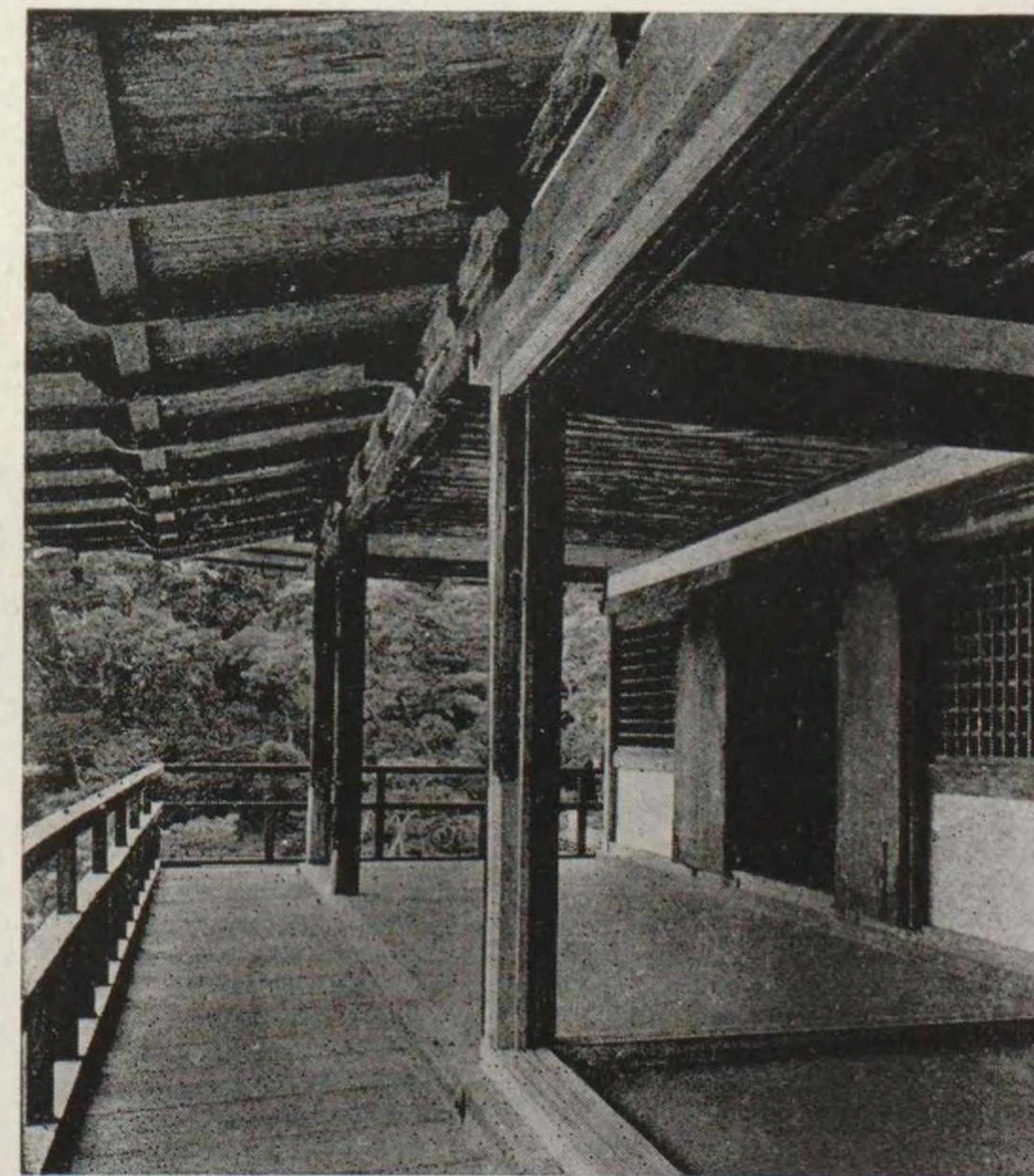


籬菊蒔繪硯箱 (身及蓋表) 八寸五分×七寸九分 神奈川縣 鶴岡八幡宮 (東京博)



京都市 鹿苑寺 金閣 三層閣 屋根上層寶形造檜皮葺

金閣初重は法水院といふ、五間四間で西に一間四方の漱清があり、初重二重は和様、三重は主に唐様である。



金閣第二重 潮音閣 細部

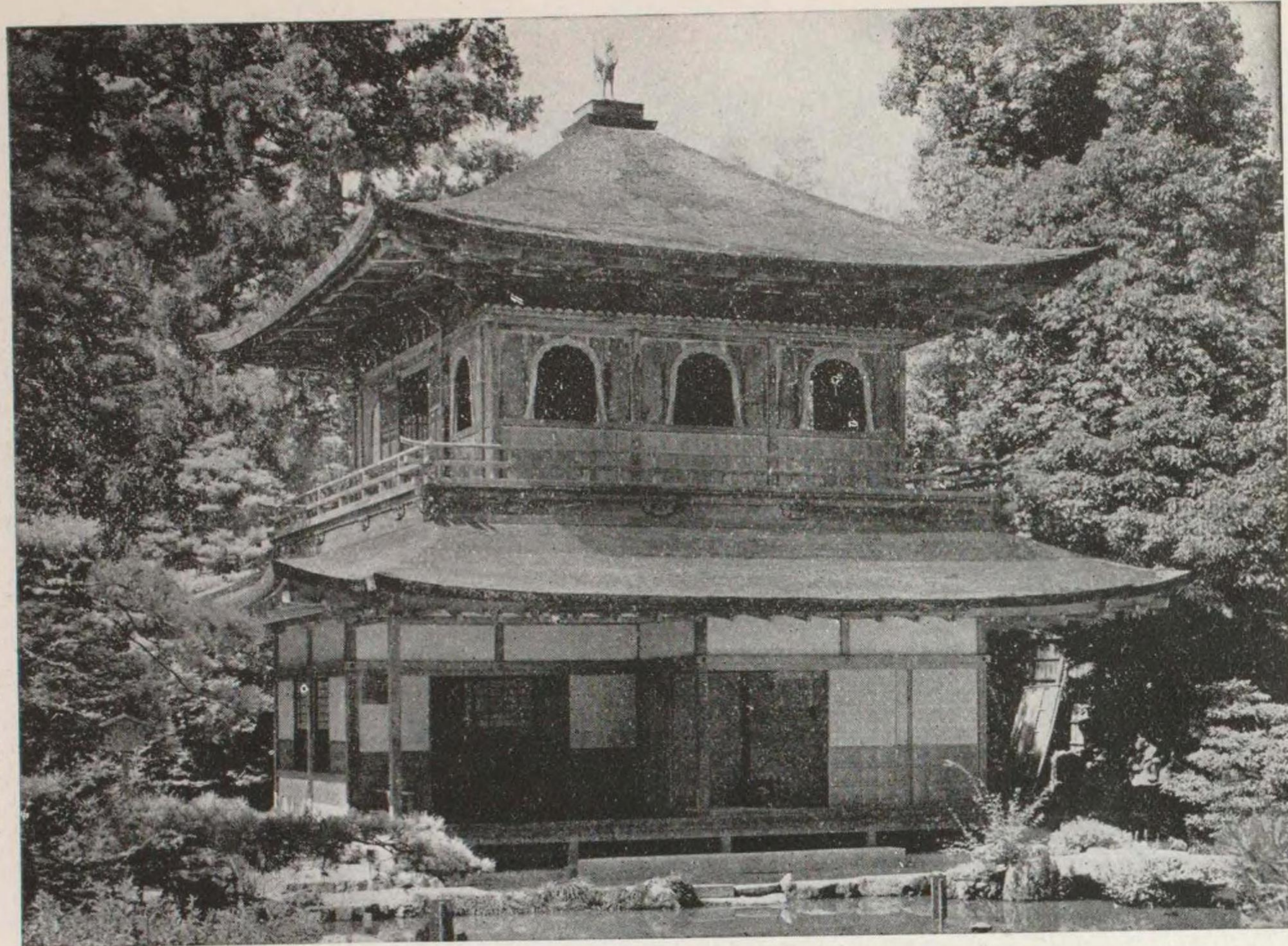
總板張天井で極彩色の装飾畫が描かれてゐる。



金閣第三重 究竟頂 細部

扉、臺座、料檼、木鼻、花頭窓、圓椽柱、三階全體に残つてゐる金箔押等に注意

構造裝飾等總て金閣に倣ふ。佛寺邸宅折衷建築の標本として貴重な遺物である。



室町時代 二(中世26)

京都市 慈照寺 銀閣 重層寶形造 柿葺



奈良縣 談山神社十三重塔 高さ四丈三尺五寸



長野縣小縣郡 安樂寺八角塔 高さ六丈一尺五寸

安樂寺八角塔は外觀四重なるも内容は三重である。三重塔に裳階をつけたものと考へる事が出来る。談山神社十三重塔は鎌足の墓所である事と木造の塔である事とで八角塔と共に比類なきものである。



不動明王像 木彫彩色 像高二尺八寸四分 奈良市 東大寺法華堂



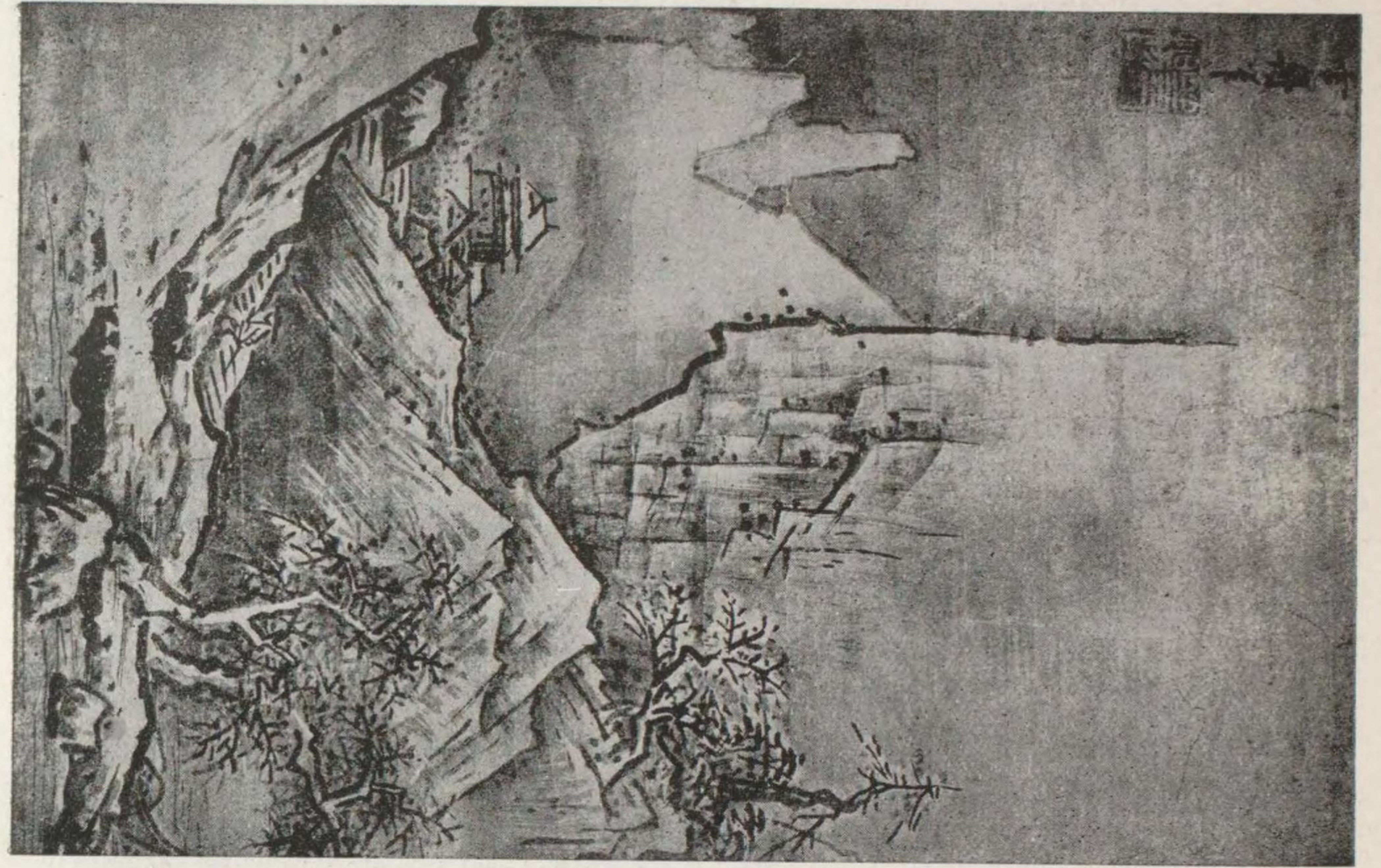
足利義滿像 木彫彩色 像高二尺五寸五分 京都市 鹿苑寺(金閣寺)



物外和尚像 木彫 像高三尺一分 東京府 普濟寺



一遍上人像 木彫 像高三尺七寸七分 愛媛縣 寶嚴寺



夏冬山水圖 墨丹紙地羅畫 一尺五寸三分 九寸七分 京都市 曼珠院(京都博物館藏)



神功皇后緣起 紙地彩色 一尺三寸五分 大阪府 譽田神社



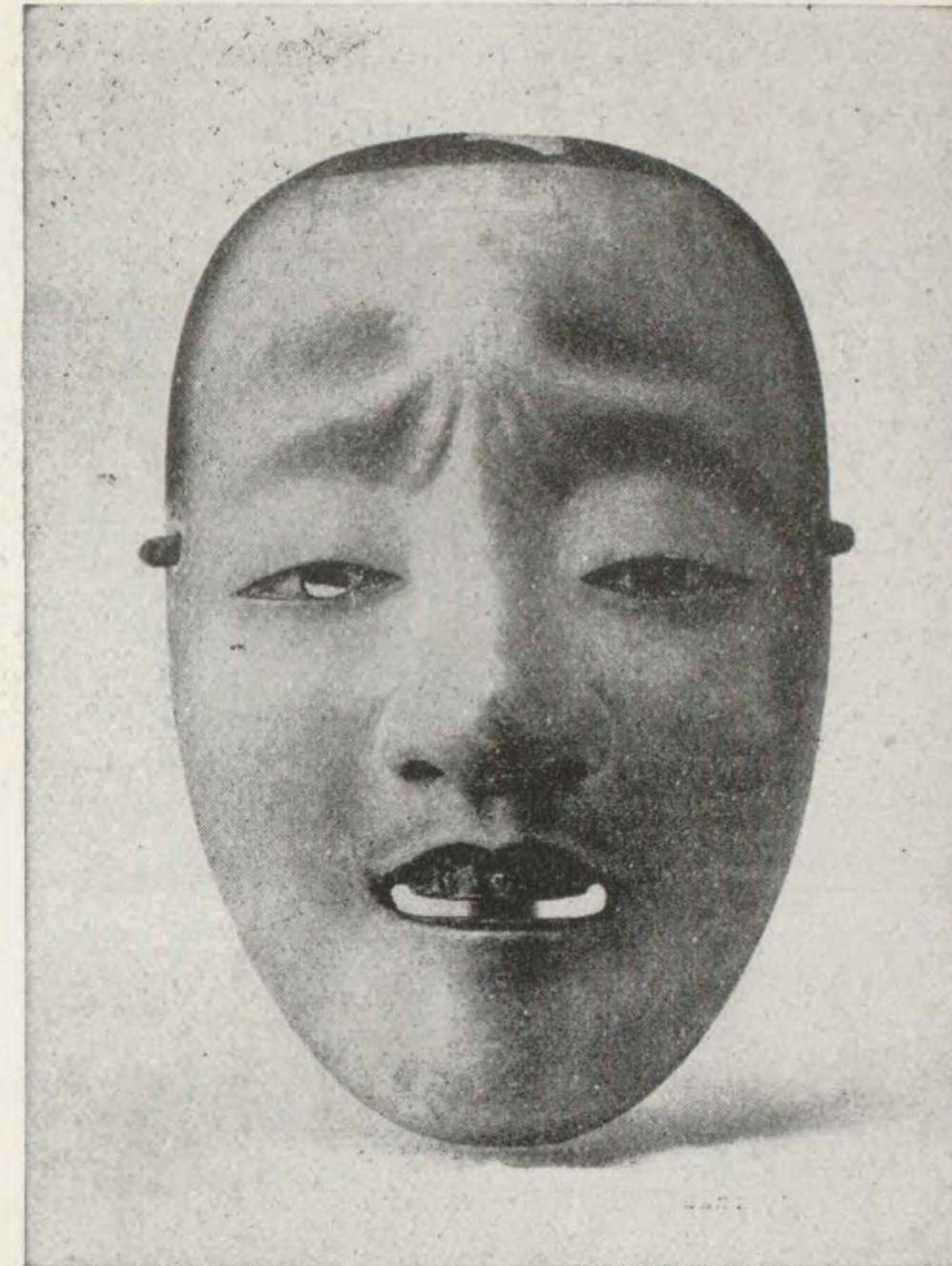
福富草紙 紙地彩色 一尺二寸 京都市 春浦庵(京都博出)



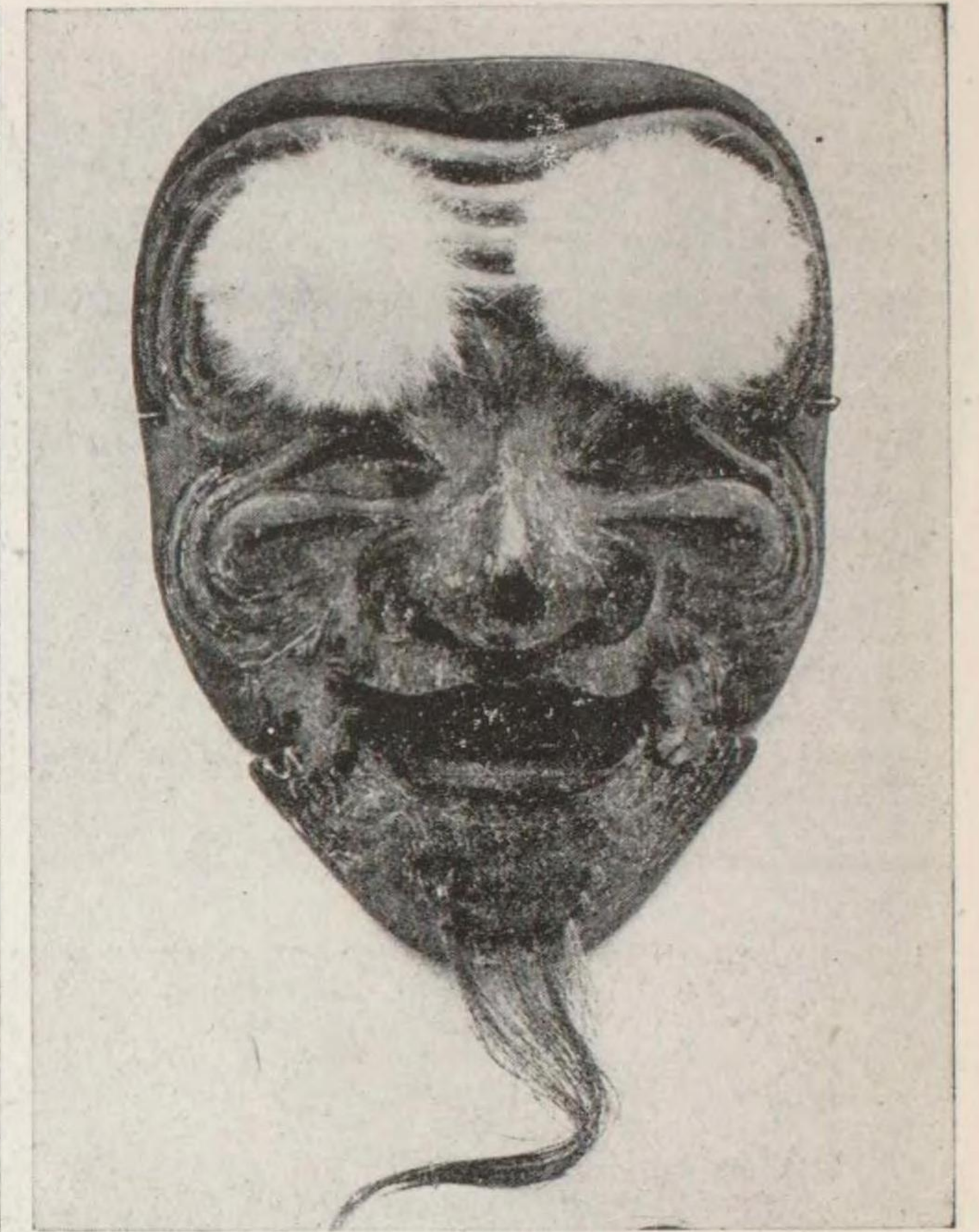
觀楓圖屏風 狩野秀楓筆 紙地彩色 整四尺九寸二分 東京市 福岡子藏



同上細部



中將面 石川瀧右衛門重政作 帝室博物館藏



翁面 日光作 京都市 金剛家藏



増髮女面 石川瀧右衛門重政作 帝室博物館藏



大癩見面 夜叉作 帝室博物館藏



銅鏡 徑七寸二分 滋賀縣 淨信寺



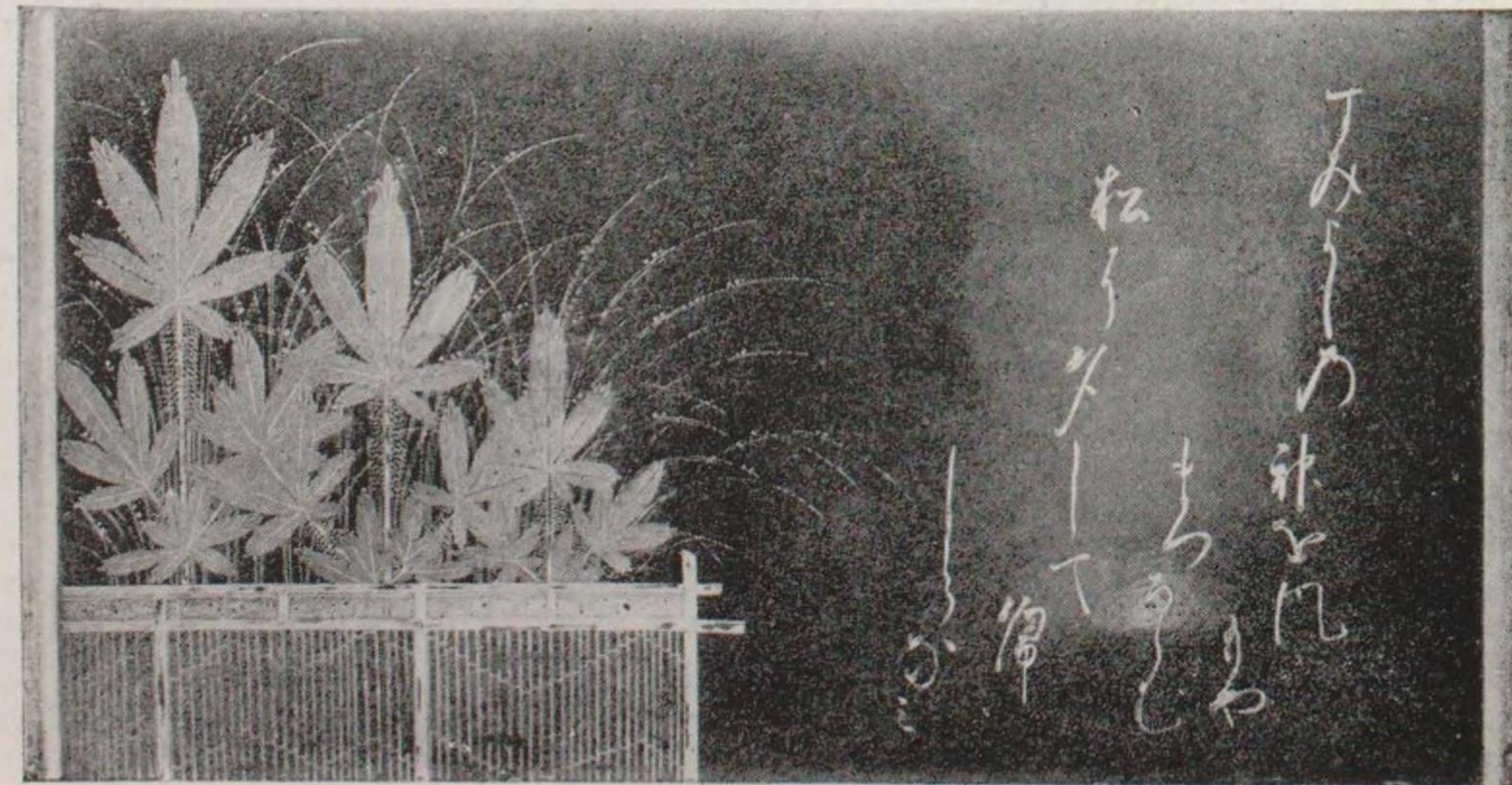
獅子牡丹蒔繪丸硯箱 徑七寸三分 帝室博物館藏



梅花形蒔繪盆 徑六寸一分 帝室博物館藏



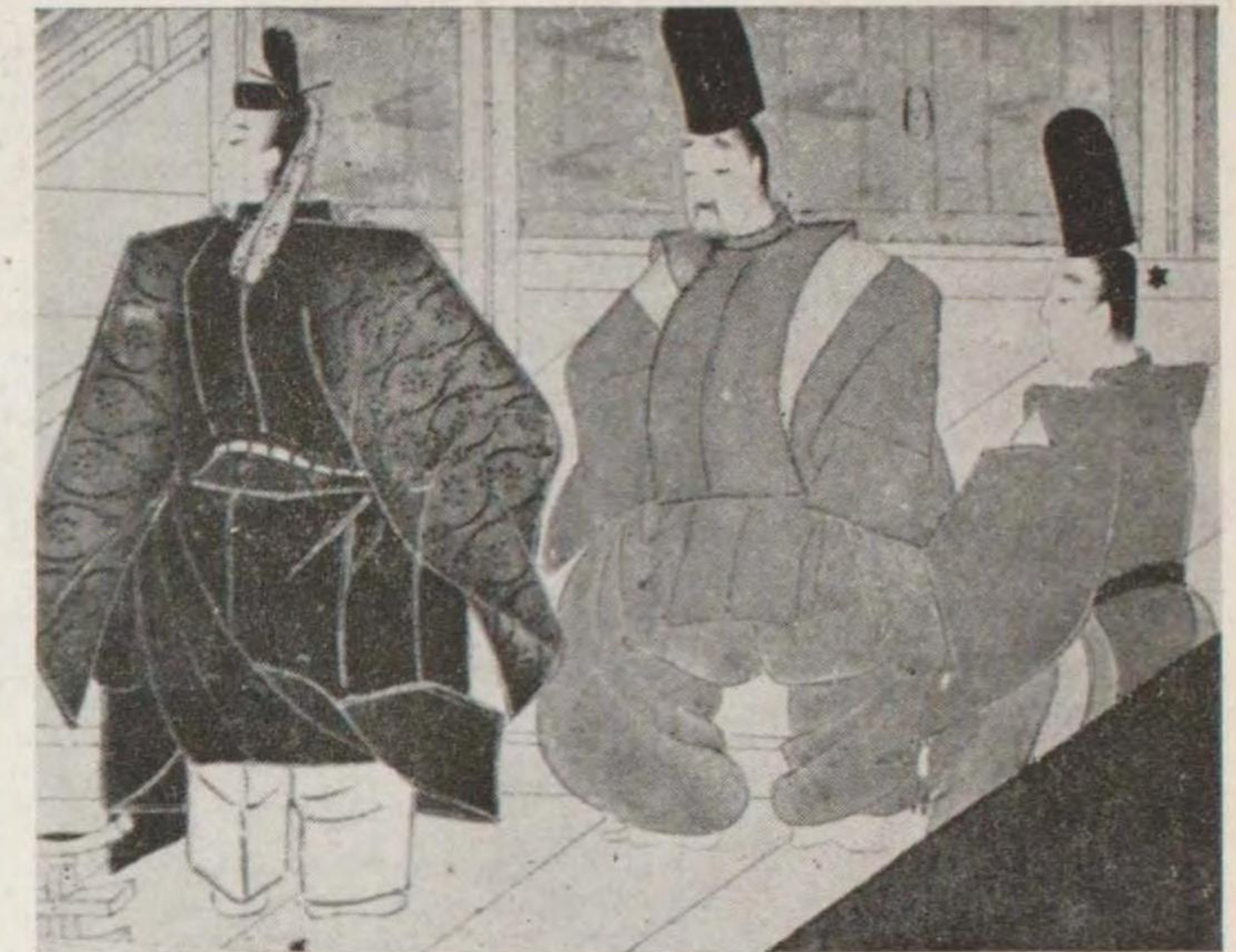
銅水瓶 九寸四分 愛媛縣 大山祇神社



住吉蒔繪文臺 一尺六分 二尺七分 帝室博物館藏



束帶姿(前) 太刀ヲ捧持ス



束帶姿(後) 狩衣姿



直衣姿(冬)



直衣姿(夏) 狩衣姿

(春日權現靈現記より)

日月本有神國也夫想之乎基之三月日神ノカニ統
 傳給ノ我國ノ成事アリ皇朝ノ具スレテナク神國
 ト云神代ハ豐葦原ノ五百秋瀛德國ト云天地開
 初ノ地名アリ天祖國常立尊陽神陰神ノサツテ統
 和ノミズタリ天照太神天孫ノ尊ヲ讓ニテ至也各六
 根ヲシテアリトナリ又ニ又八別ト云是ハ陽神陰神
 國ノ生統之方ハ鳴ナリト云ナリ又ニ又八別ト云
 ト云是ハ八別ノ中國ノ名也亦ハ八流之天御座宮
 豊秋津根谷別ト云神ノ生統ノコト大日本豊秋津別ト
 ナリ今ハ四十八國ノ方ナリ中列者ニ上ニ柳武天皇東征
 ミ代ノ皇都也ミナリ其名トナリテ録ノセ列之スレ
 邪蘇ト云ナレト云同ノコト云ハ天下ノ月ト云後ノ

神皇正統記

敵國降伏 敵國降伏
 敵國降伏 敵國降伏

敵國降伏の宸翰

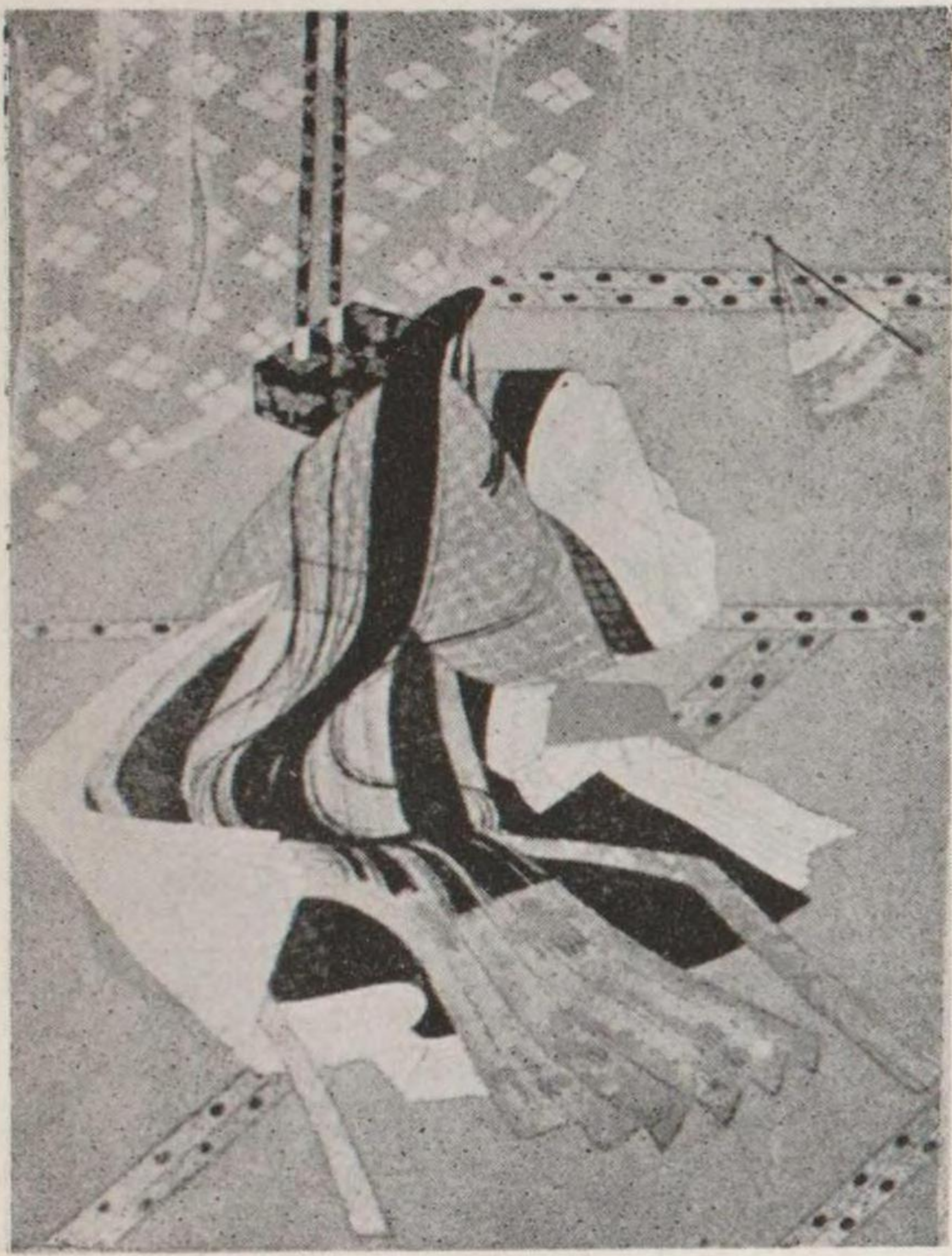


物具姿(前)



狩衣姿(前)

(春日權現靈現記より)



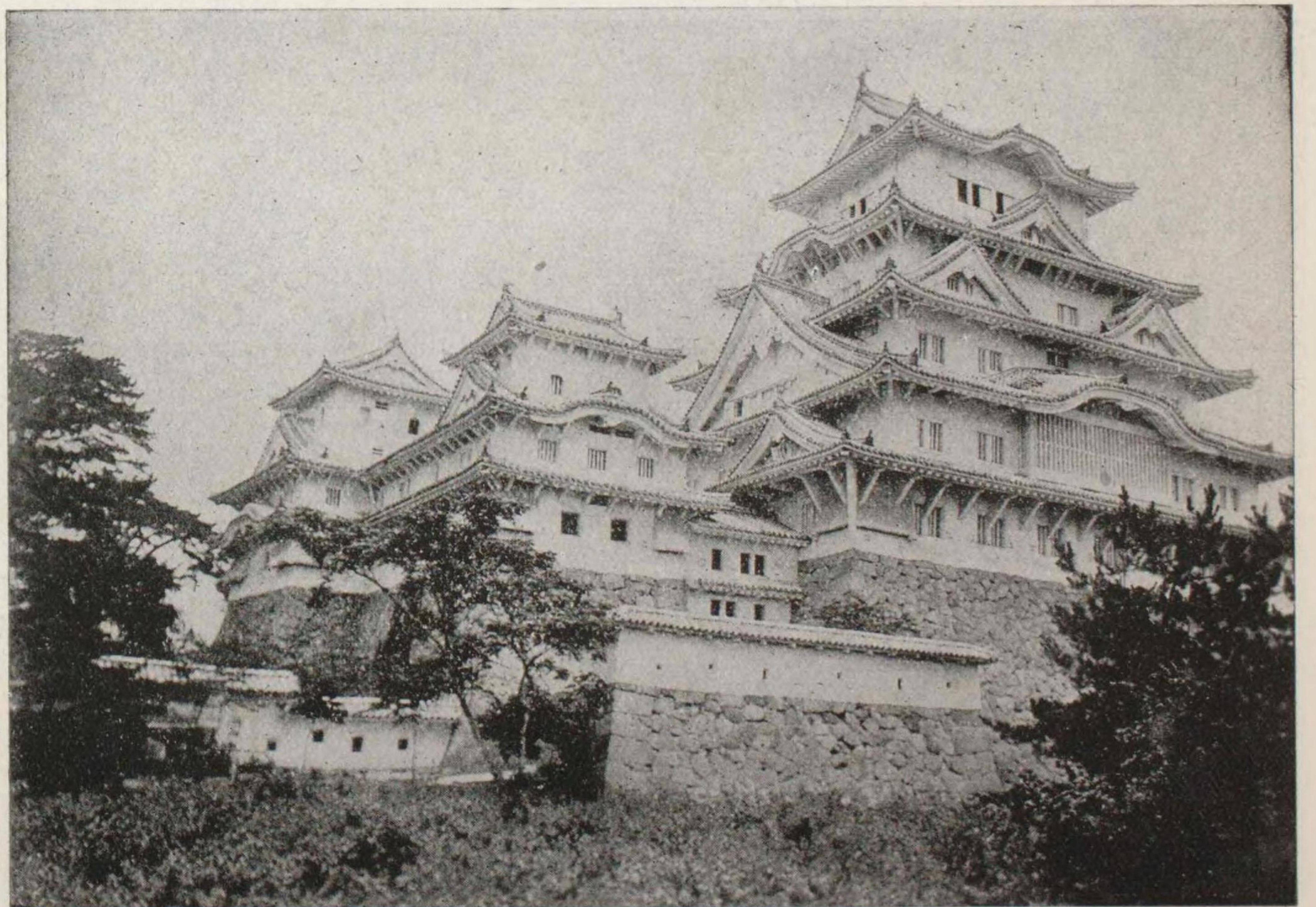
物具姿(後)



狩衣姿(後)



名古屋城天守



姫路城天守

文選卷第五十七 金澤文庫

學校字進

永祿三年六月七日 平成改朝

能化九華事變於年六十歲

義易一博百日而畢十文六

度心致赴四里五州

(二)

足利學校古文書

禮記正義卷第七十

上校安房守藤原忠實寄進

若可以觀其志焉者孝子堅節其居喪則能守其志

無志節則非堅強 禮以治之者言用禮以治居喪

義以正之者謂用義以正居喪之禮 孝子者謂孝順之

子 弟者言謂遵弟之弟 自始者謂自節之婦皆可得

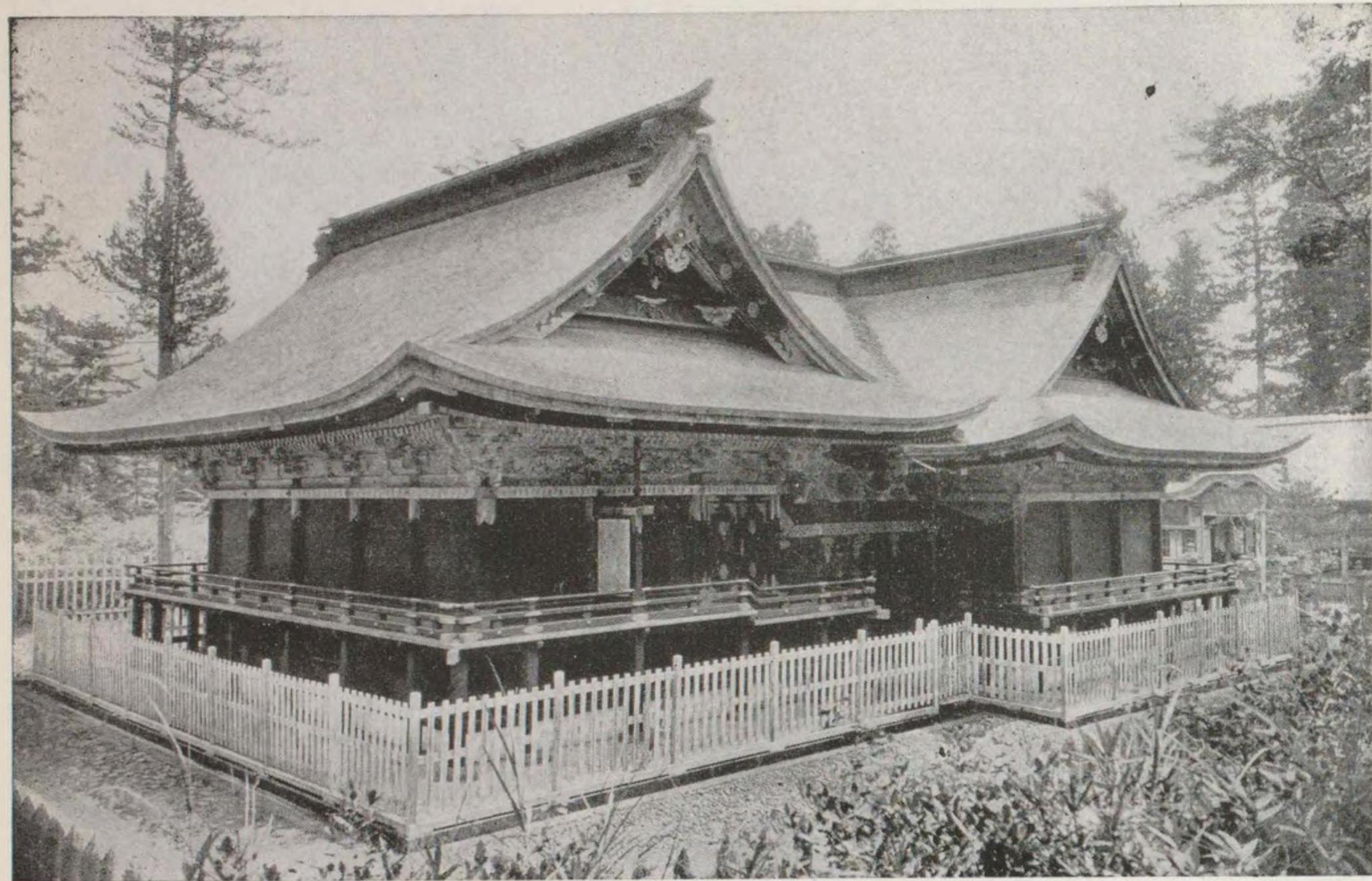
而祭焉者若能依禮合義有仁可觀其愛有理可觀其祭

有未可觀其強則足孝子若弟者謂自節之婦皆可得

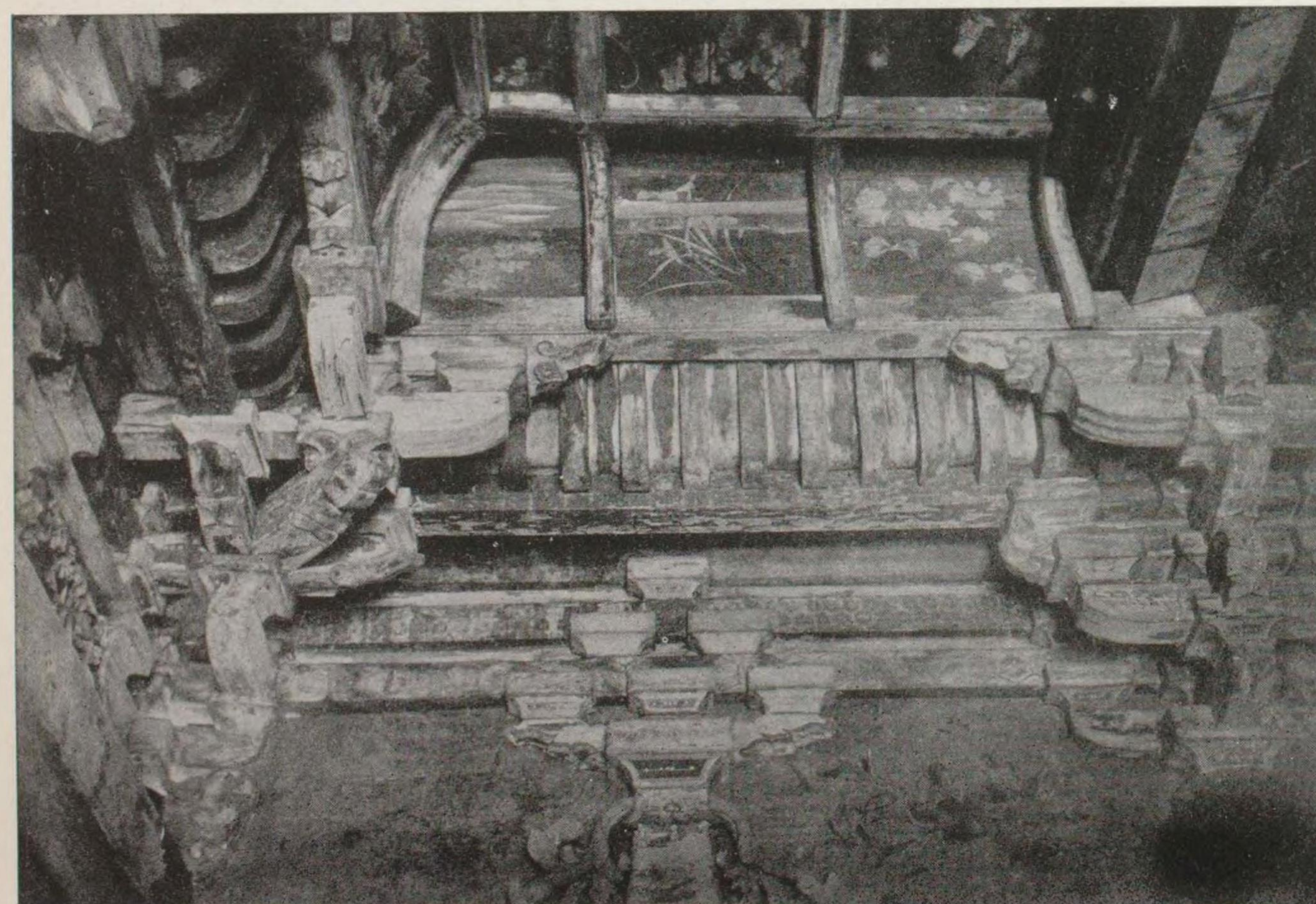
子為弟貞婦也故

云下得而祭焉也

(一)



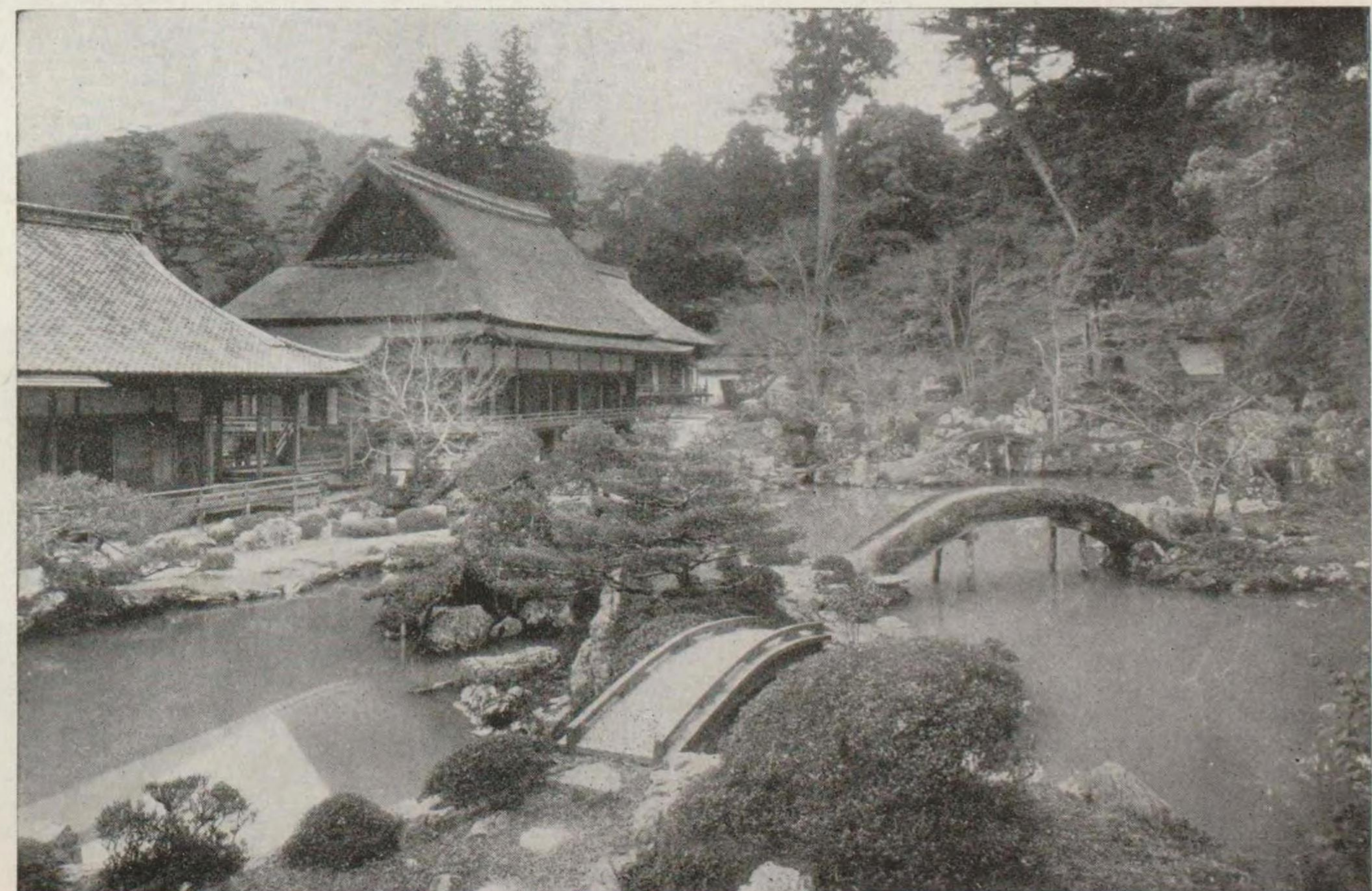
仙臺市 大崎八幡神社 本殿拜殿石ノ間を合せた所謂八棟造 屋根柿葺



同上石ノ間細部 折上天井及組物



西本願寺 飛雲閣 三層閣 書院造 屋根柿葺 聚樂第の遺構



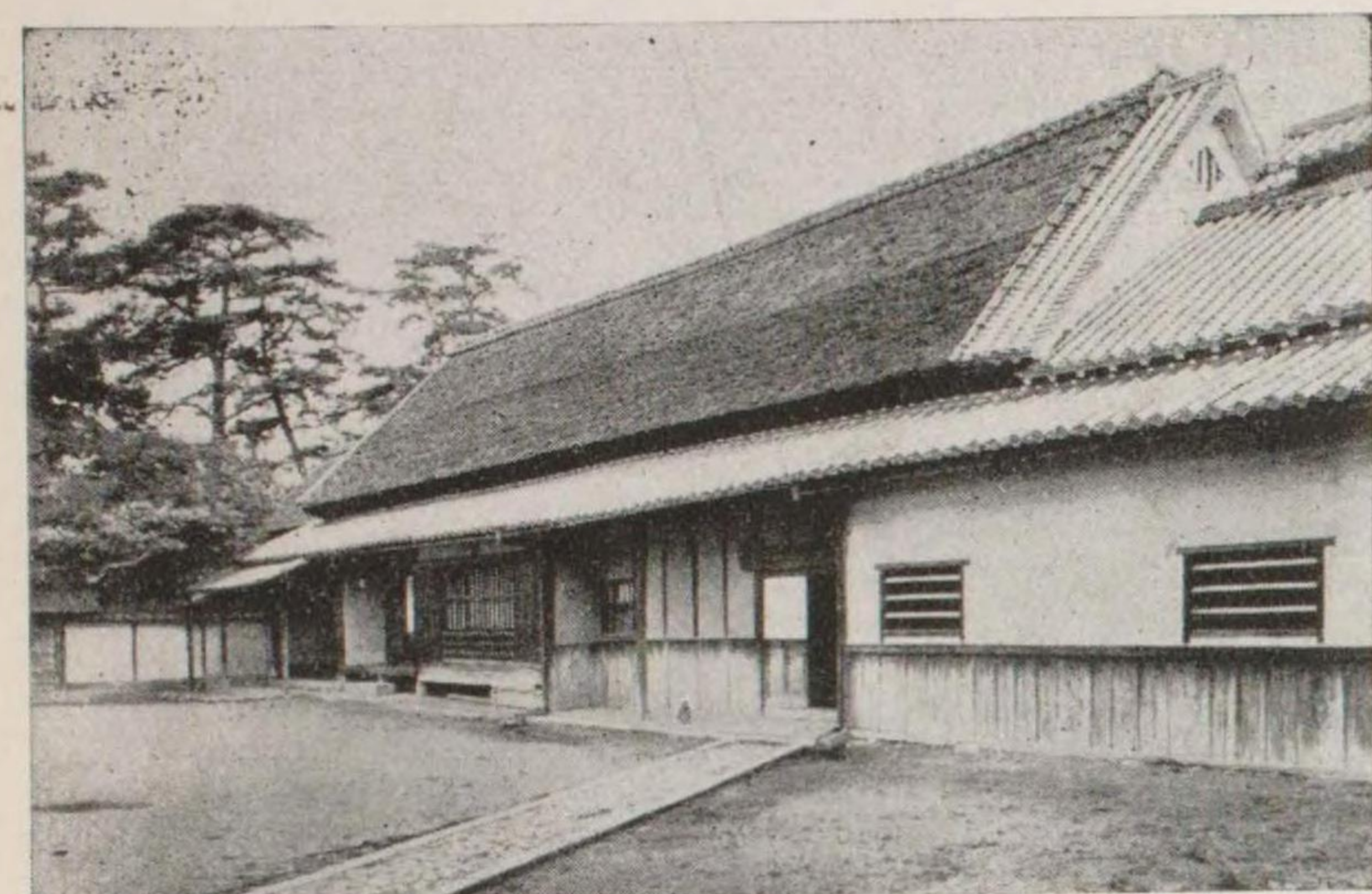
醍醐寺三寶院殿堂 向つて左より表書院 納淨觀 護摩堂 この外に宸殿庫裡などある



豊臣棄丸像 木造彩色 像高一尺八寸四分 京都市 隣華院



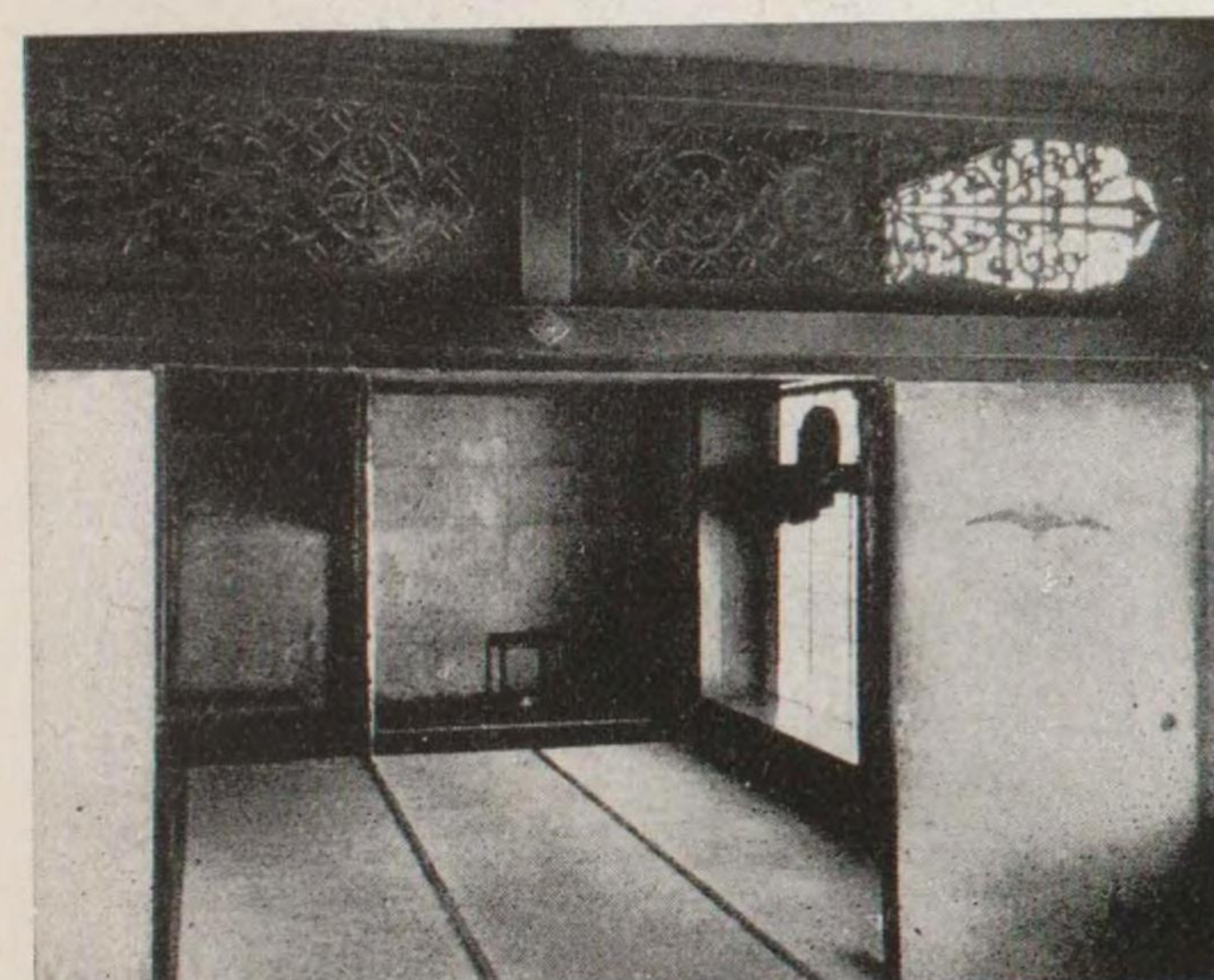
西本願寺書院浪ノ間欄間 葡萄に栗鼠の透彫



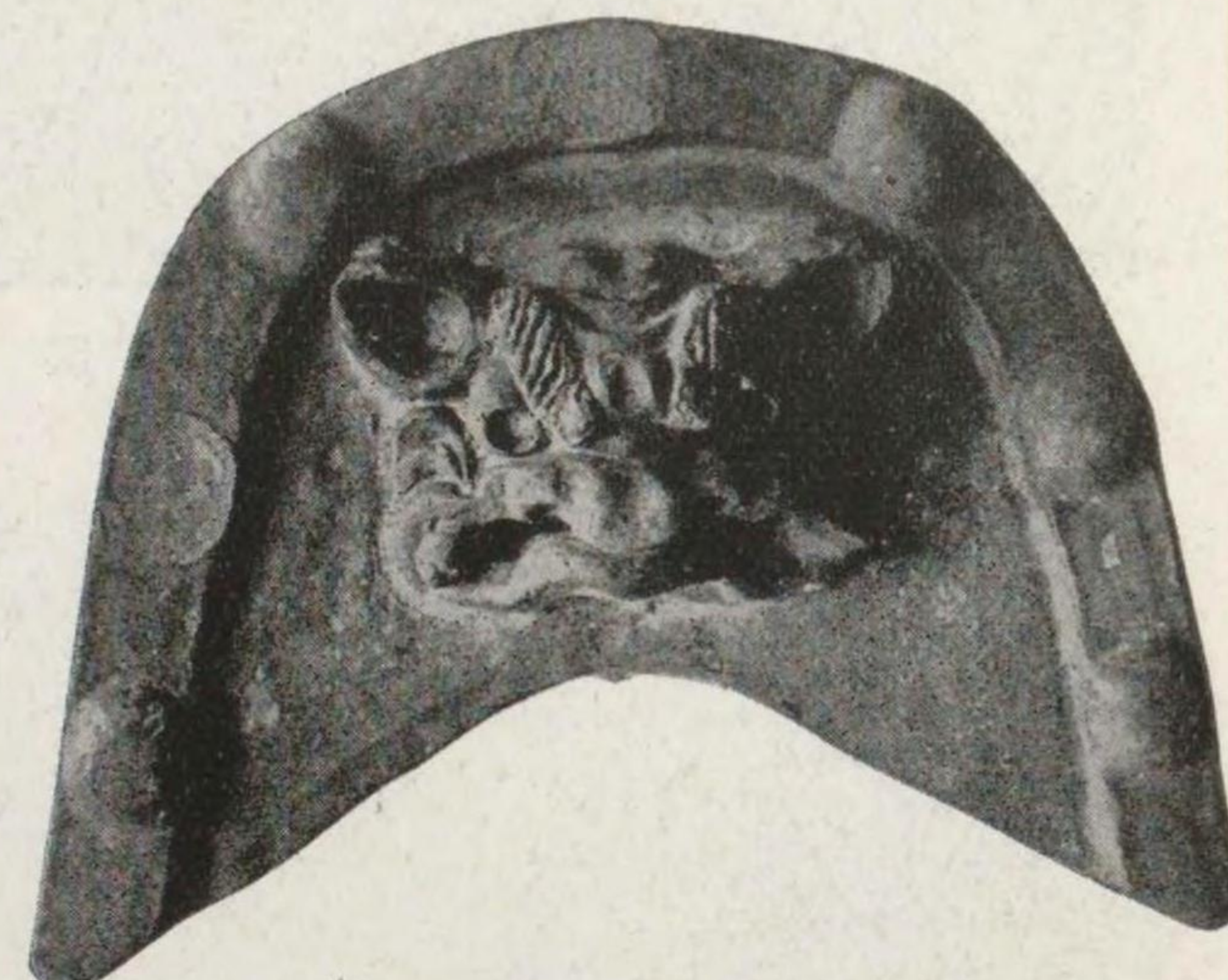
大阪府南河内郡高鷲村島泉 吉村要次郎氏邸



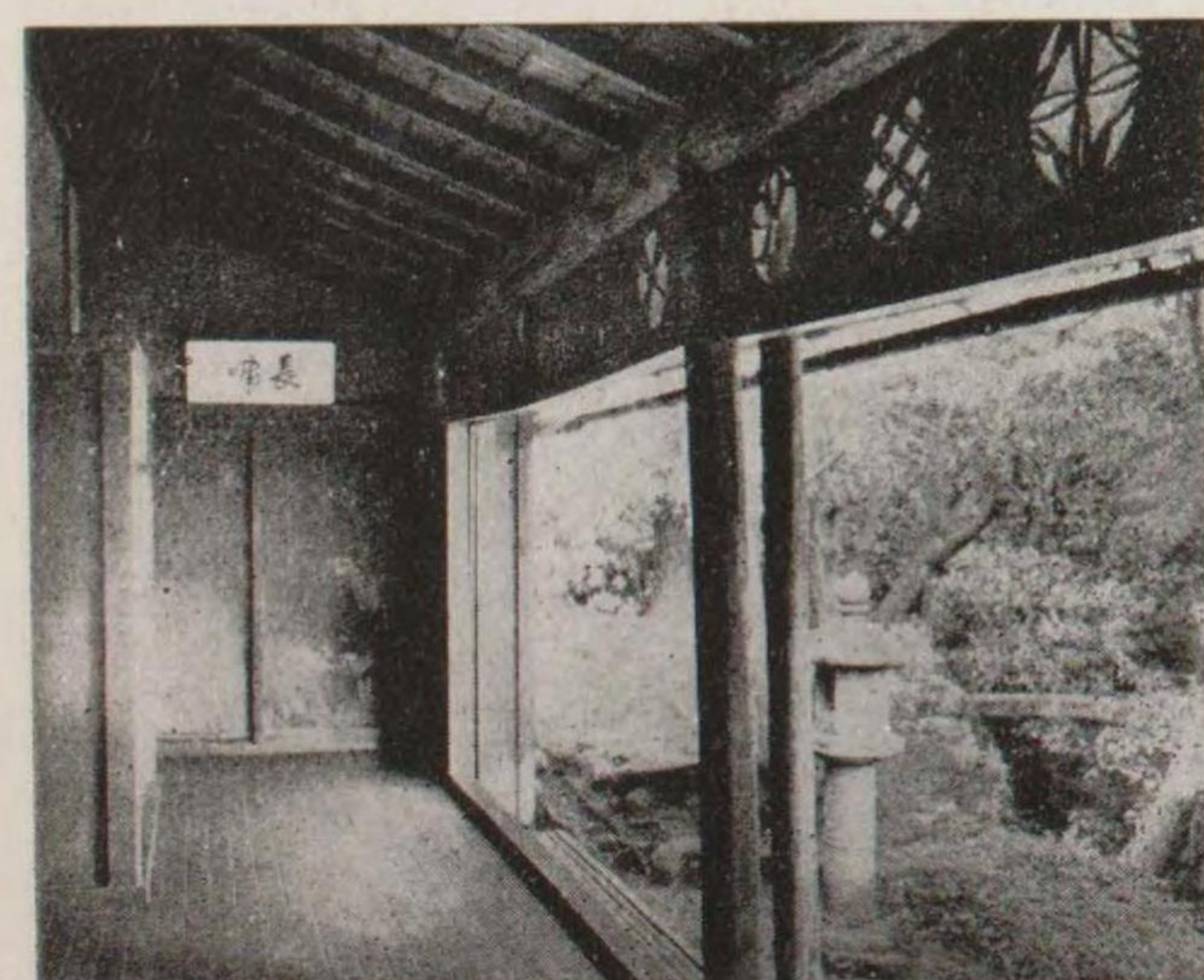
四天王寺花瓦



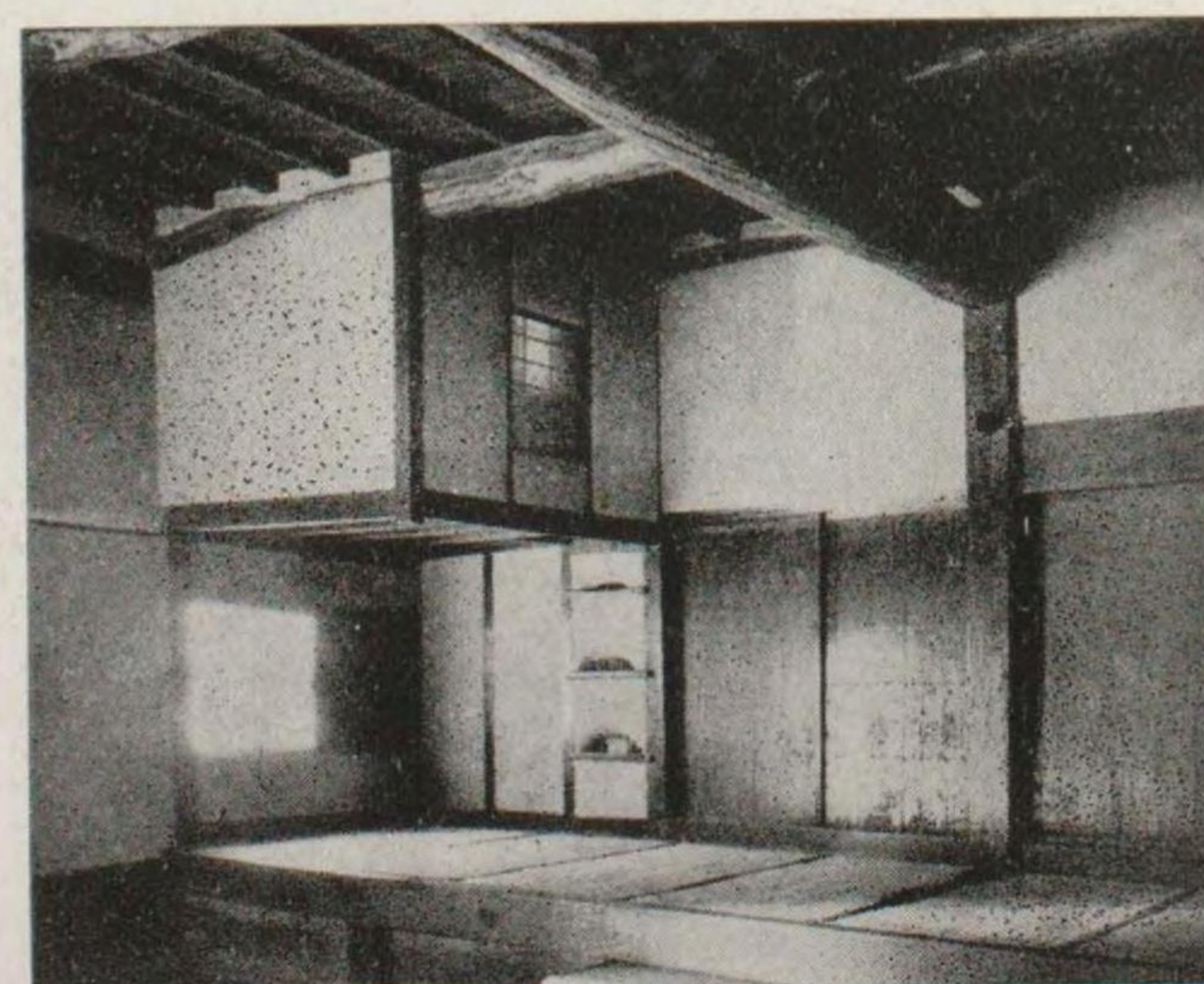
同上座敷 欄間花菱文様透彫



吉村氏邸鬼瓦



同上 椽 欄間花菱文様透彫



同上女中部屋 上方釣部屋

吉村氏邸は昭和十二年六月國寶に指定された。國寶に指定された住宅建築としては最初のものである。



豐臣秀吉像 絹地彩色 東京市 伊達伯藏
四尺三寸二分×三尺四寸二分



唐獅子圖 屏風一雙ノ内 金地彩色 狩野永徳筆 帝室御物



樞花叭叭鳥圖 紙地墨畫
狩野松榮筆 東京帝室博物館藏



猿 猿 圖

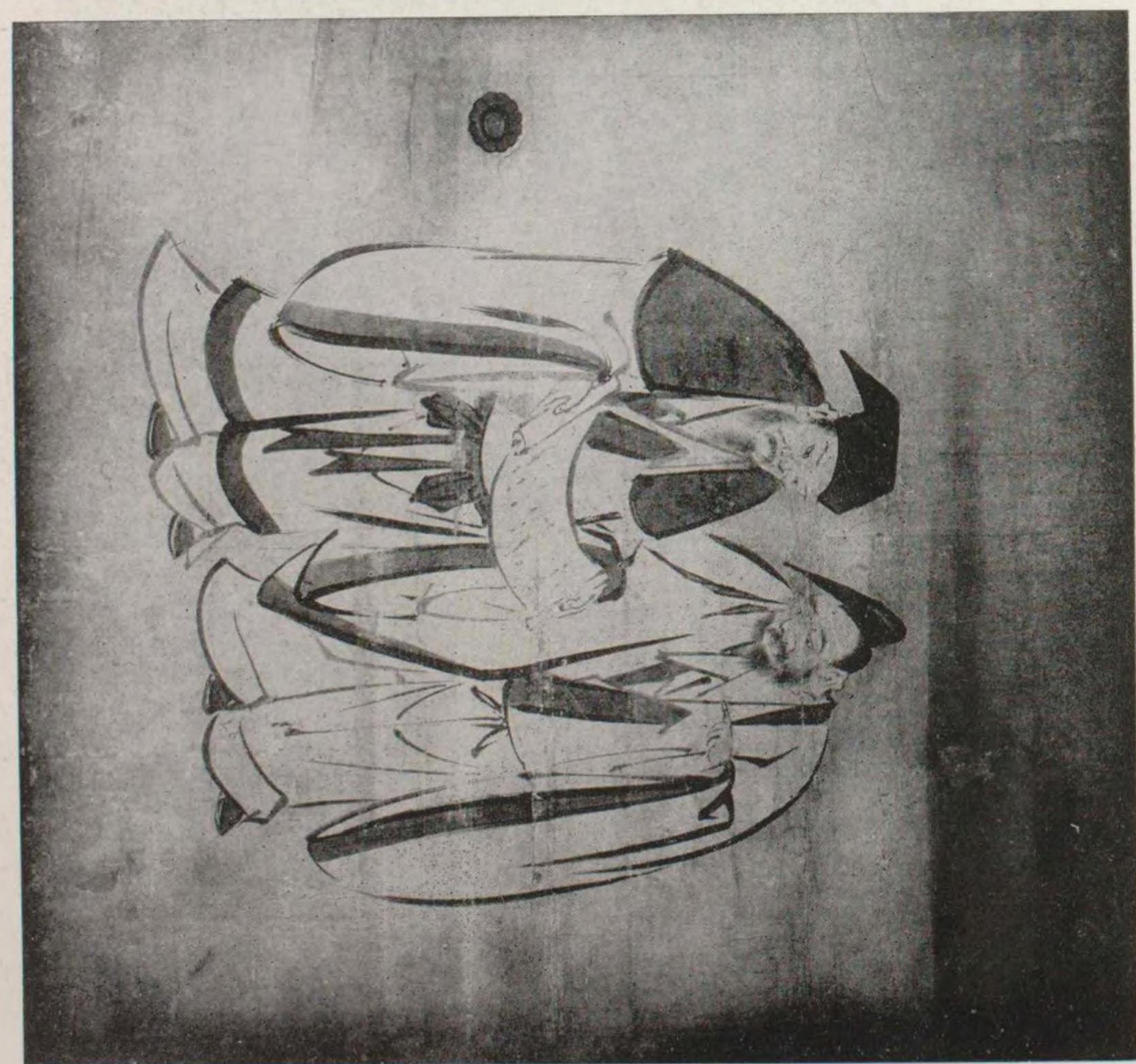
長谷川等伯筆 京都市 龍泉庵
紙地墨畫 五尺一寸二分×三尺七寸九分



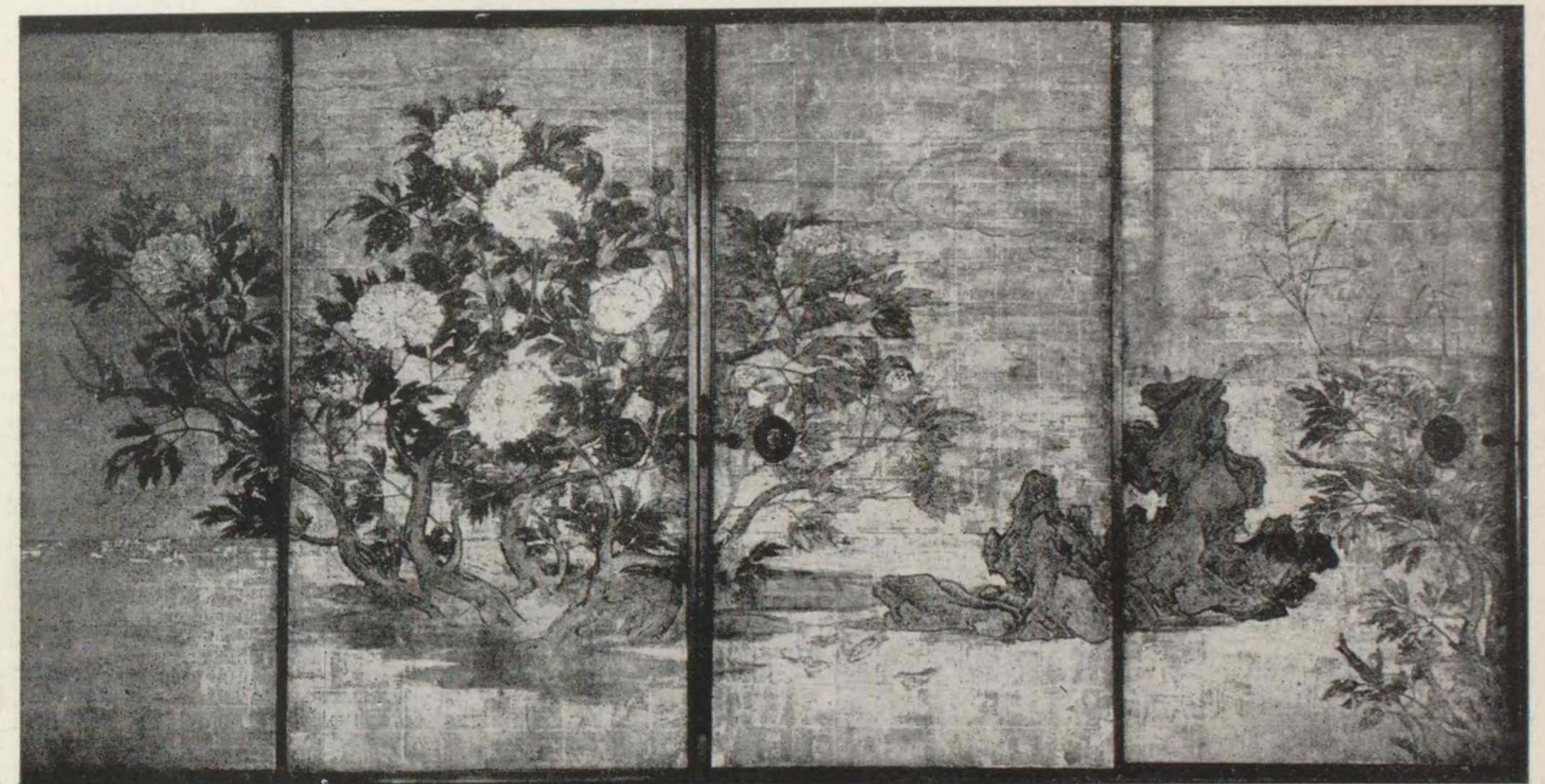
龍泉庵



竹林七賢圖 襖貼付十六面ノ内 紙地墨畫 傳海北友松筆 京都市 建仁寺



紅梅圖 襖貼付十面ノ内 金地彩色 傳狩野山樂筆 京都市 大覺寺



牡丹圖 襖貼付十八面ノ内 金地彩色 傳狩野山樂筆 京都市 大覺寺



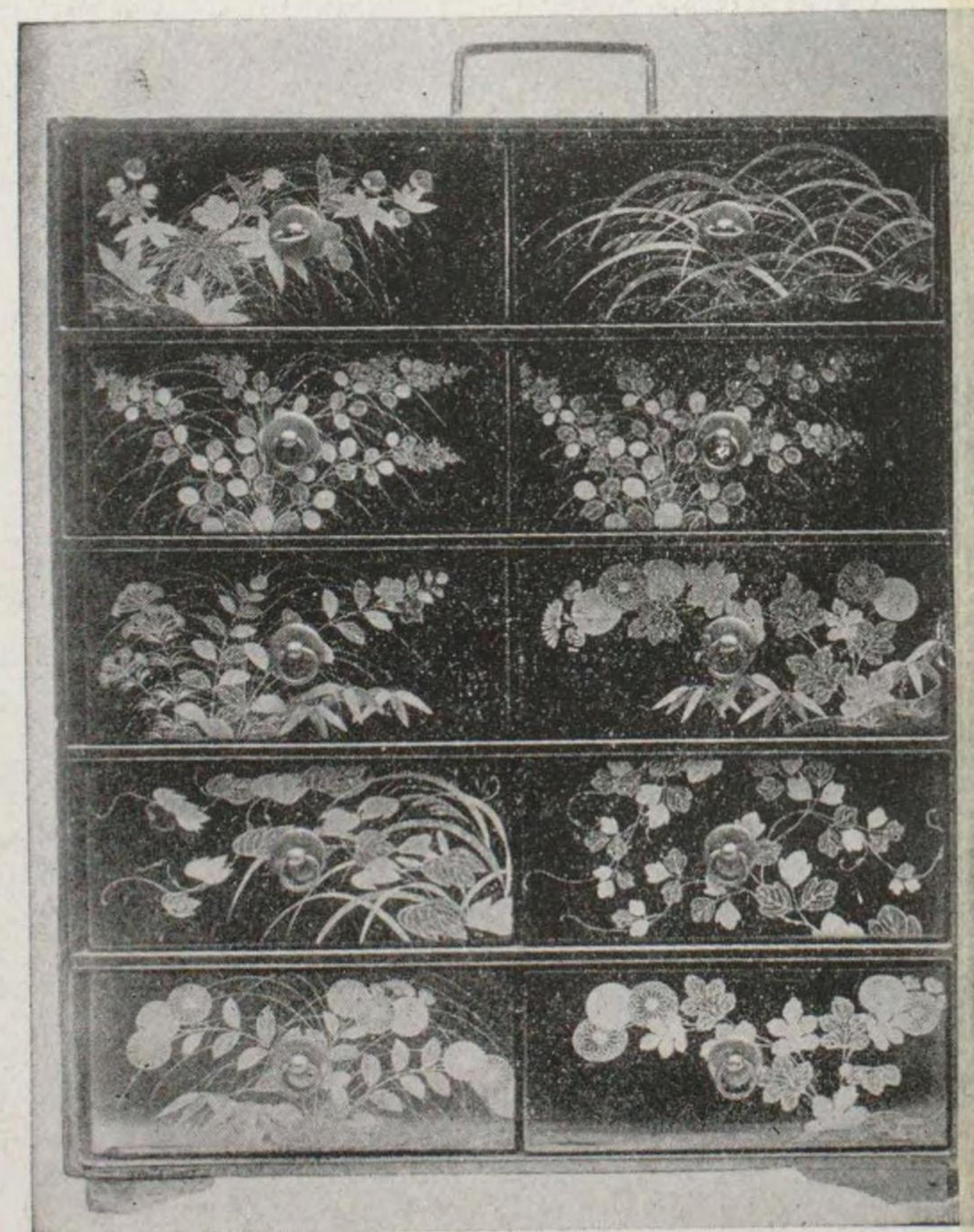
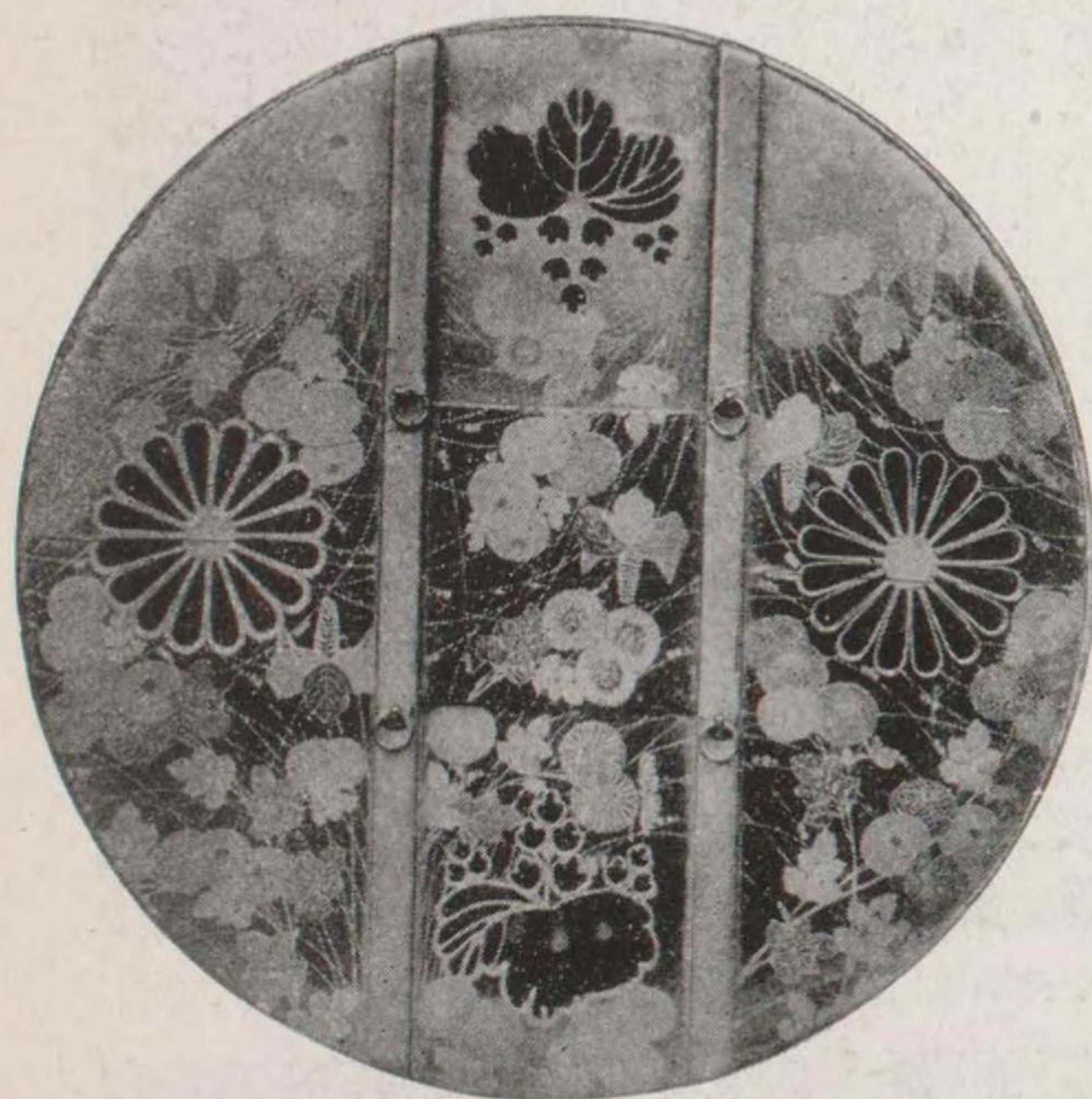
梅花禽鳥圖 襖貼付十八面ノ内 金地彩色 傳狩野山樂筆 京都市 天球院



天目臺



湯桶



歌書簞筒



提灯

秋草蒔繪調度品

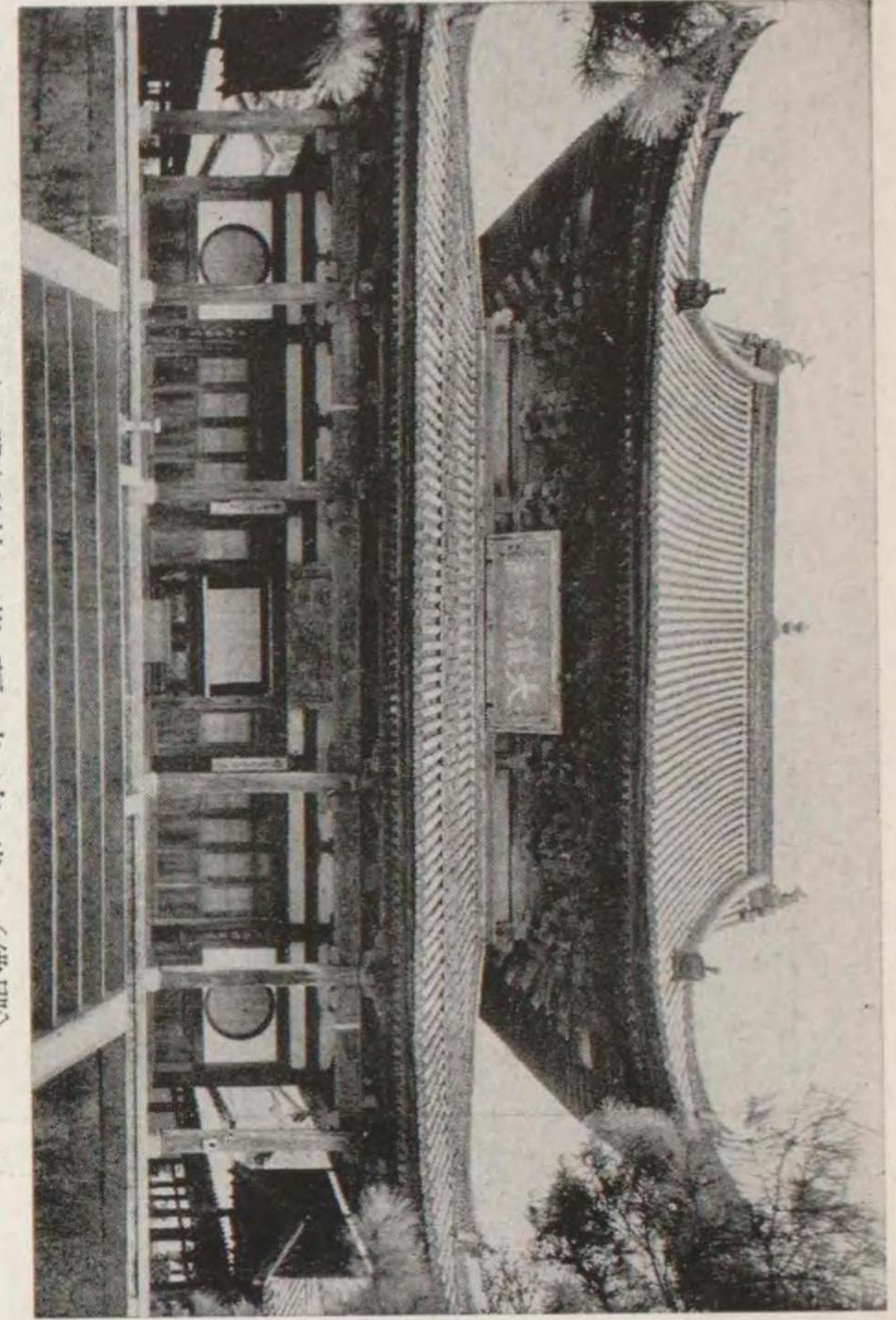
京都市 高臺寺



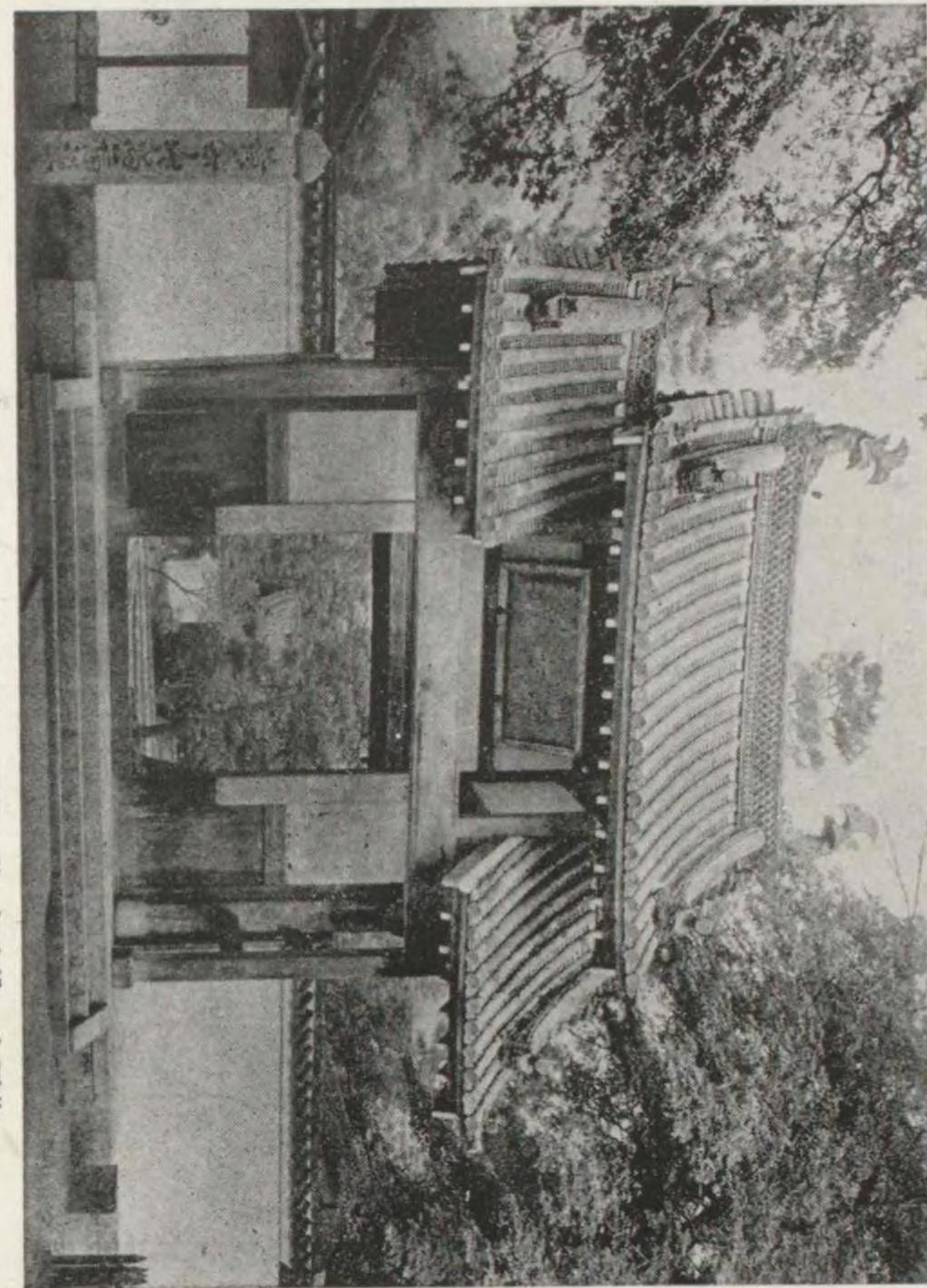
奈良市 東大寺金堂(大佛殿) 桁行七間 梁間七間 重層屋根四注造 本瓦葺 正面唐破風造銅板張



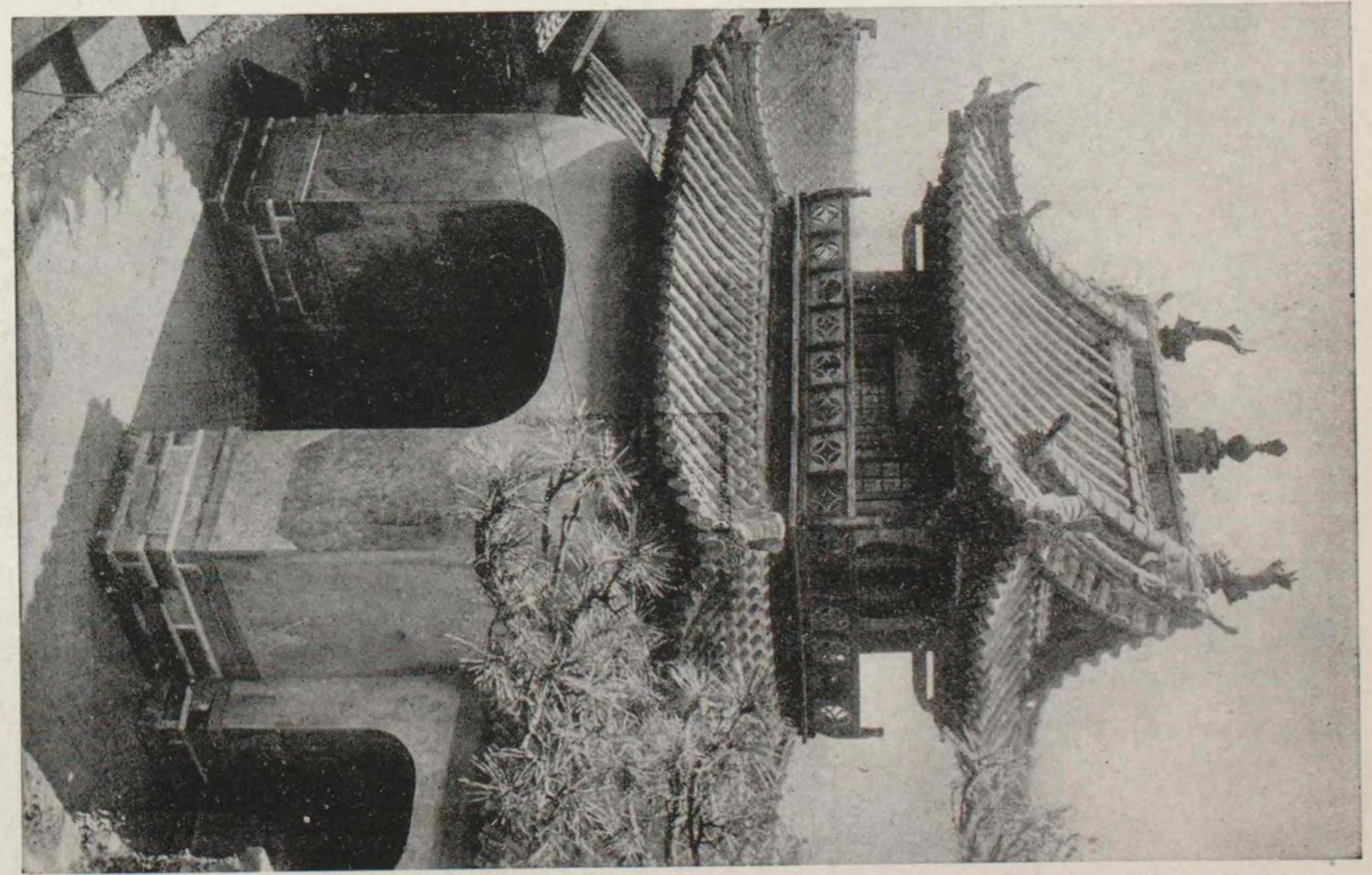
京都市 清水寺本堂 本字 桁行九間 梁間七間 屋根四注造 檜皮葺



京都府宇治郡宇治村 萬福寺本堂 (佛殿)
桁行五間 梁間六間 重層屋根入母屋造 本瓦葺

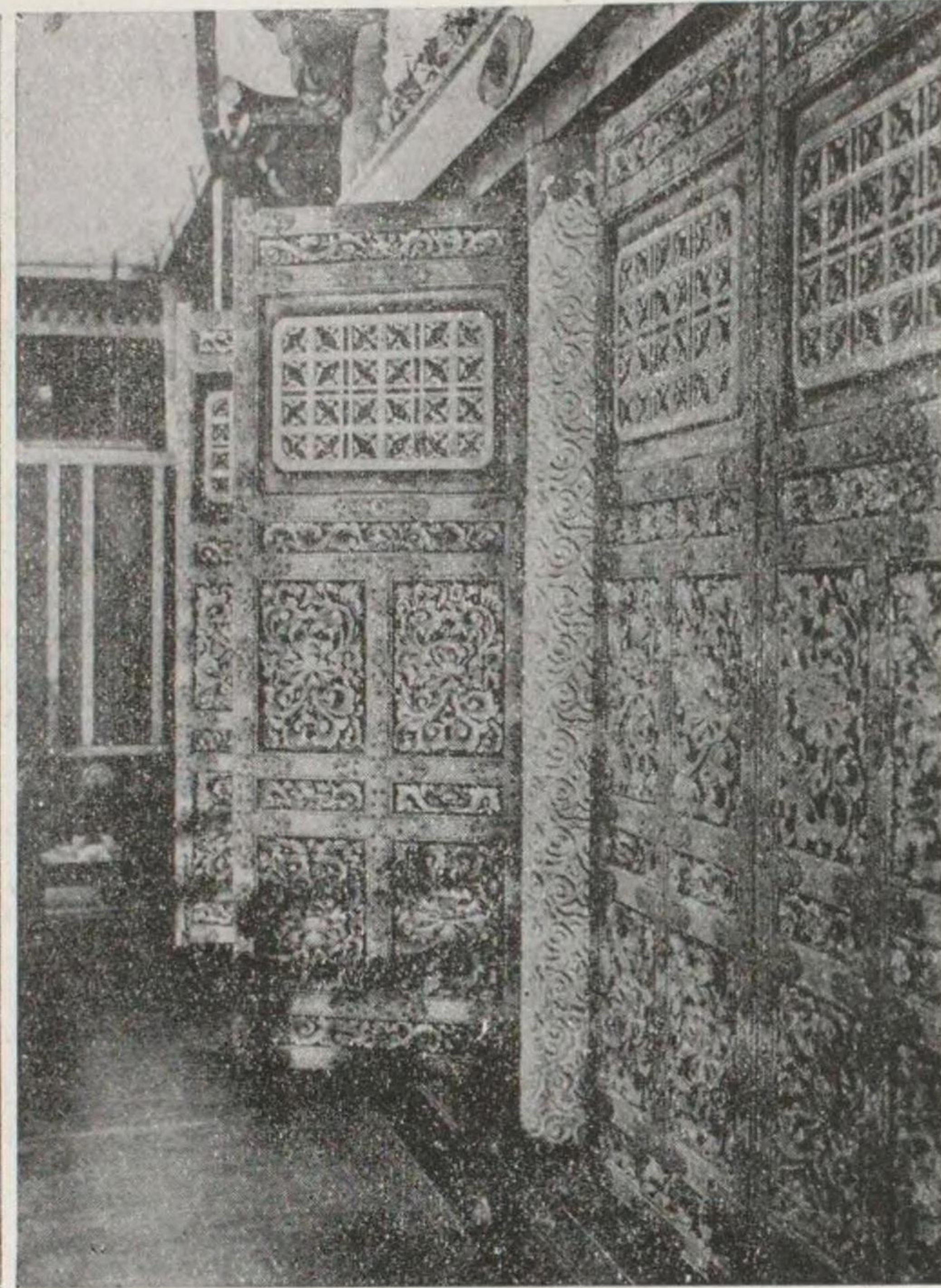


同上 總門 (漢門) 桁行三間 梁間二間 切妻造 本瓦葺

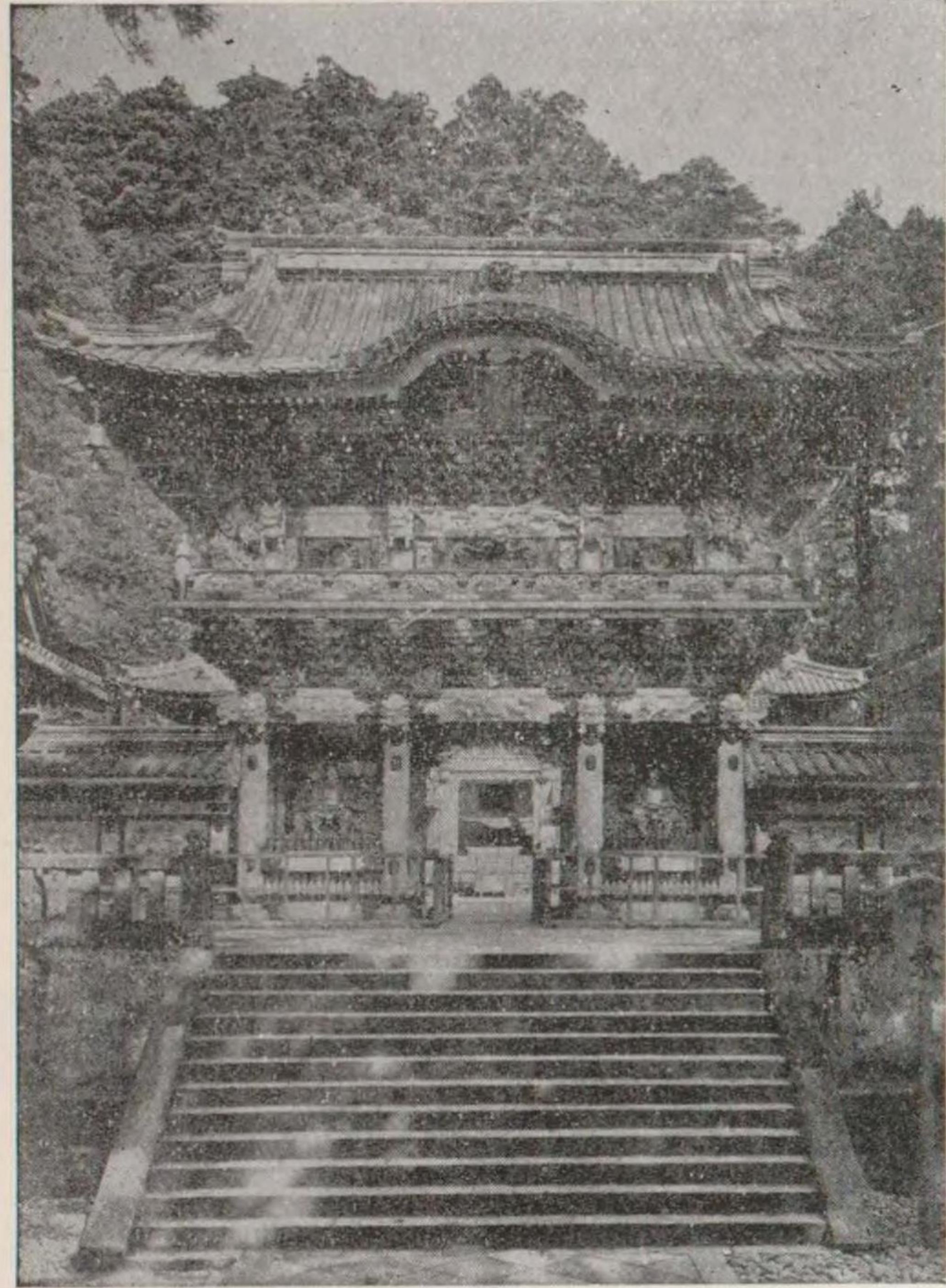


長崎市長福寺三門
三門三戸 重層屋根入母屋造 本瓦葺 (所謂龍宮造)

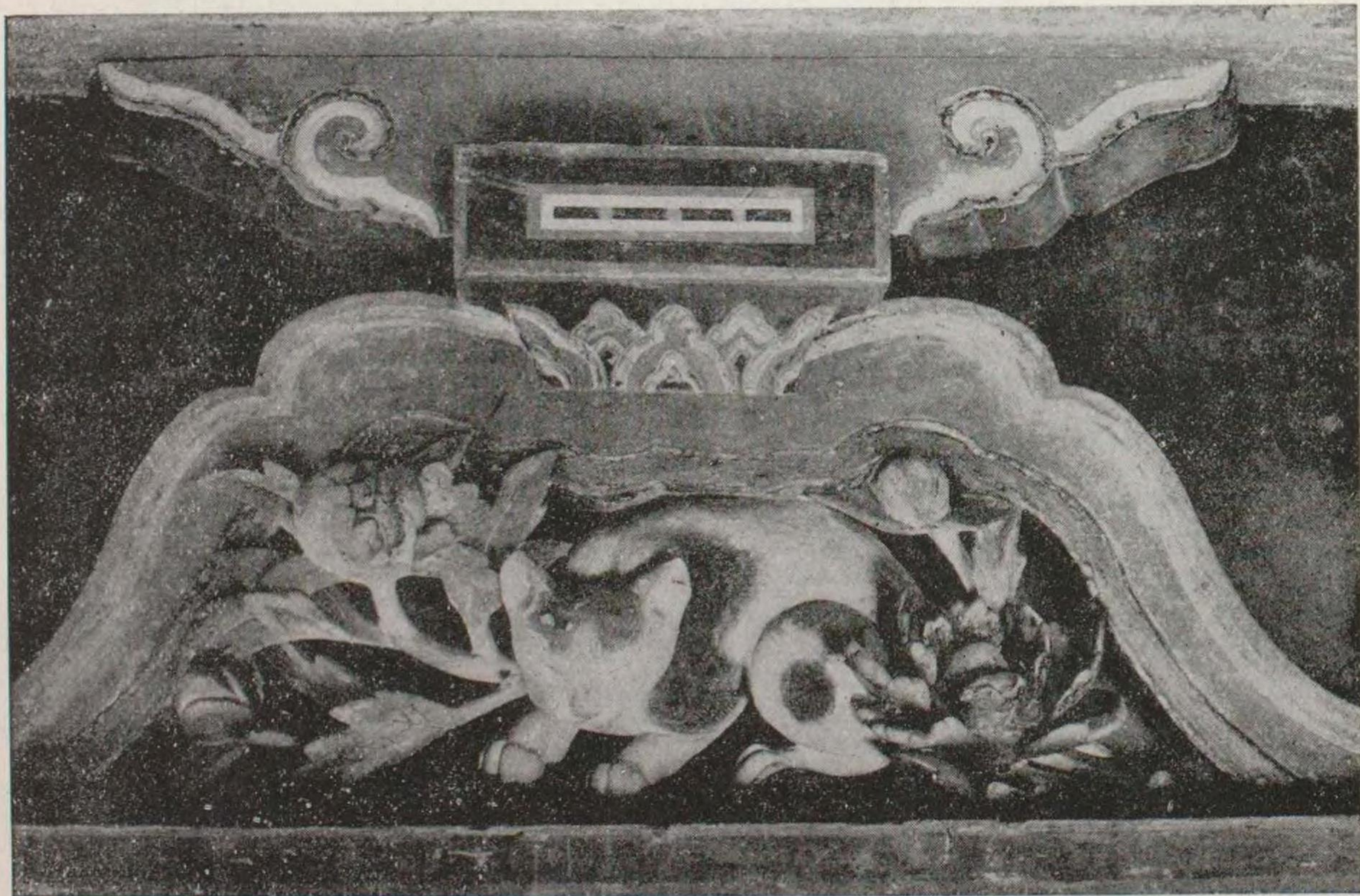
(昭和十二年一月十九日長崎警察司全部撮影)



東照宮本殿 東側面唐戸



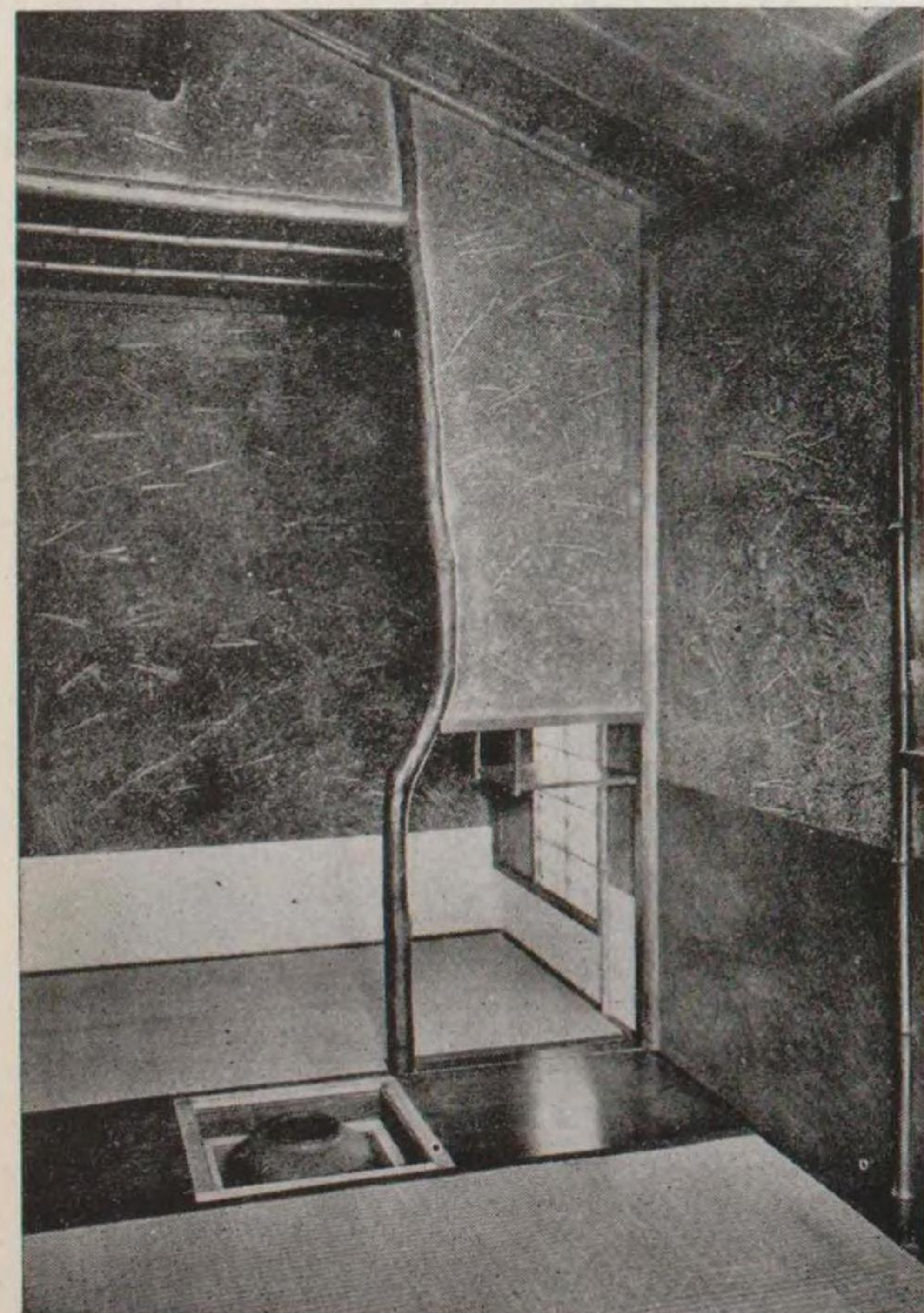
栃木縣日光町 東照宮陽明門



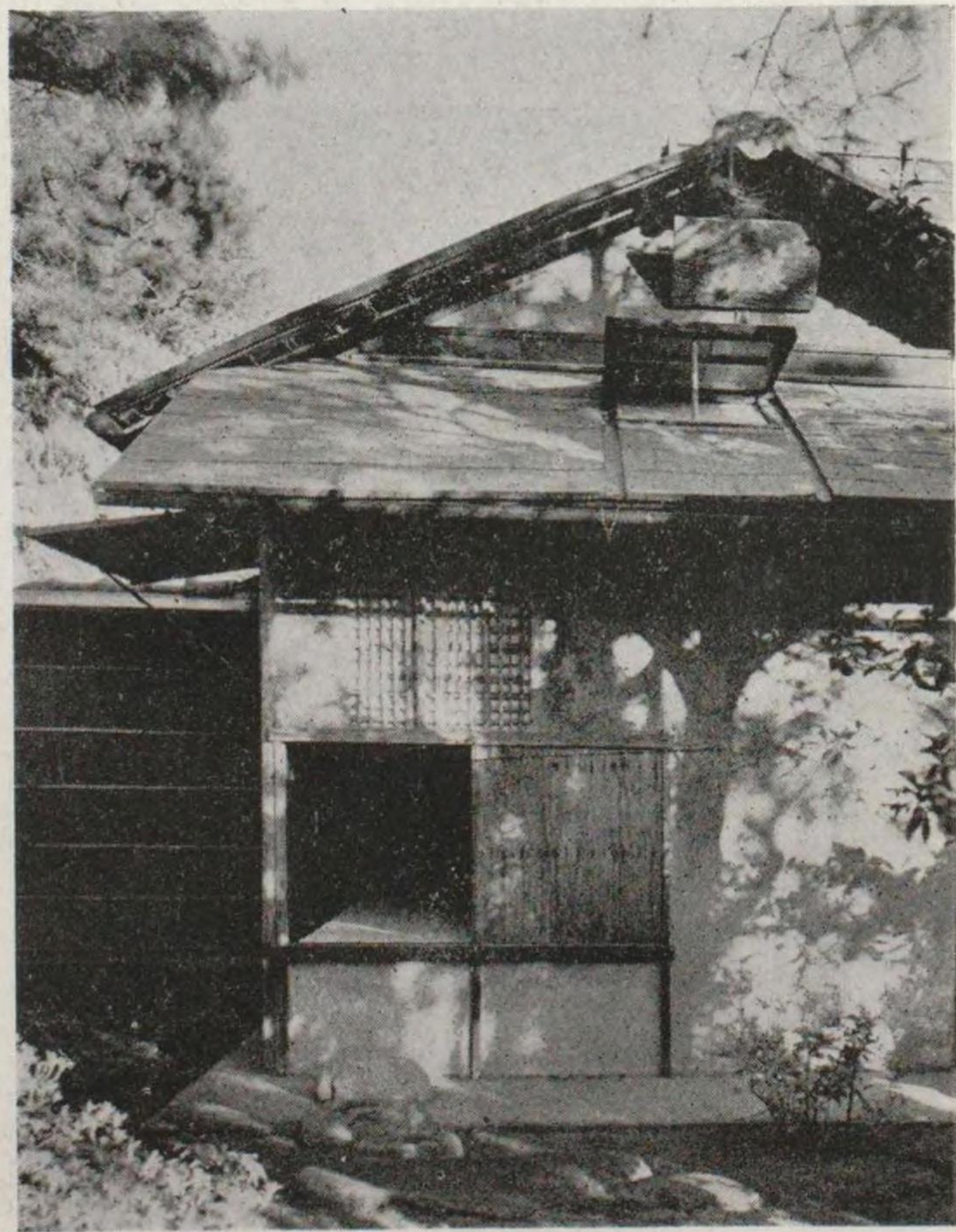
東照宮廻廊墓段彫刻「眠猫」 傳左甚五郎作



京都市桂川畔 桂離宮茶室松琴亭



同上 内部



京都市紫野大徳寺内 玉林院茶室篋庵



紙地墨畫 枯木鳴鶴圖 宮本二天筆
四尺二寸×一尺八寸二分 京都市 長尾家藏



雪汀水禽圖 屏風一雙の内 狩野山雪筆 紙地彩色 五尺一寸×一尺九寸九分 京都市 細辻家藏



盤谷圖部分 狩野山雪筆 紙地墨畫 一尺五分 京都市 薄男藏

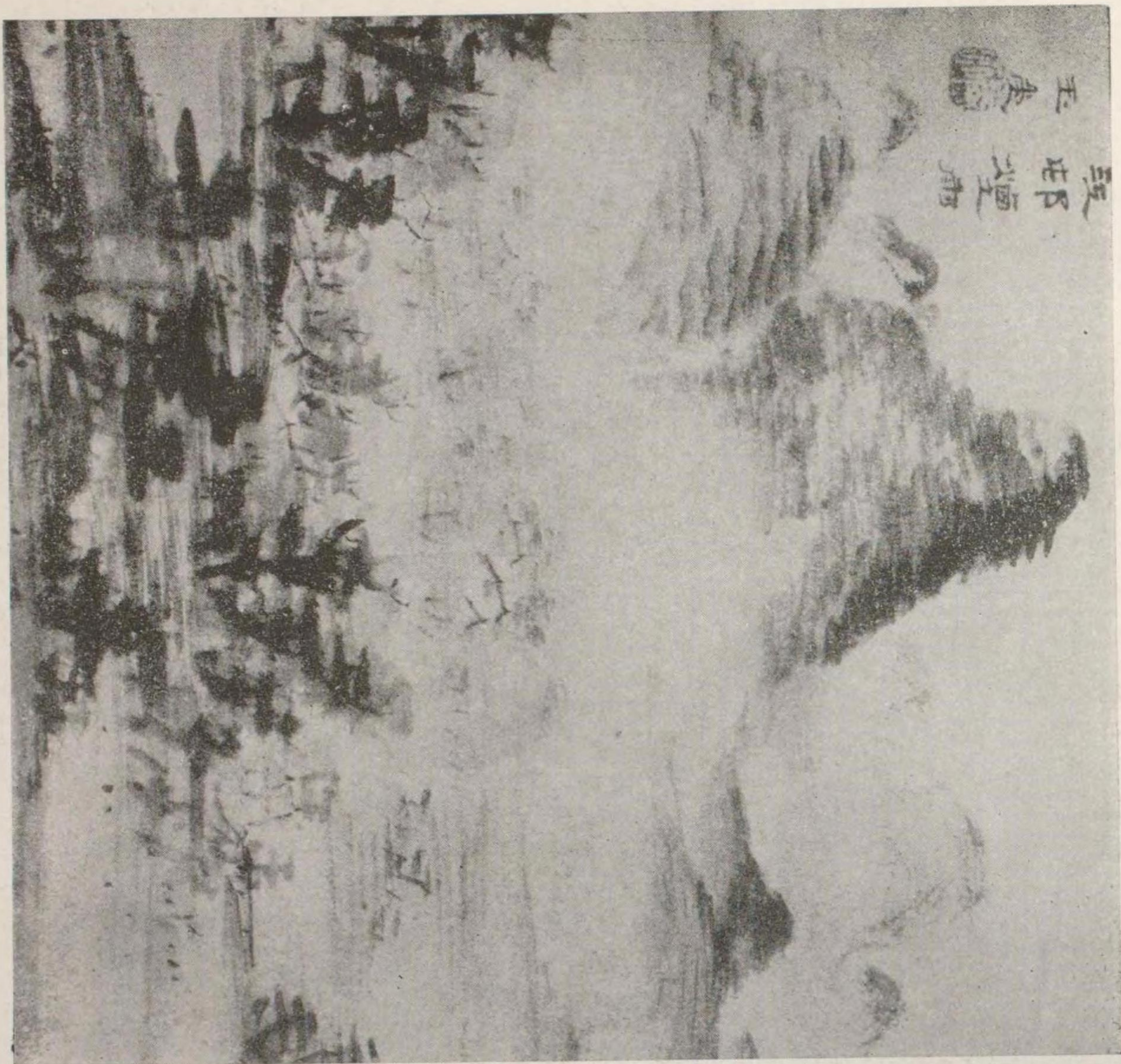


十 便 圖 (樵郎)
池 大 雅 筆

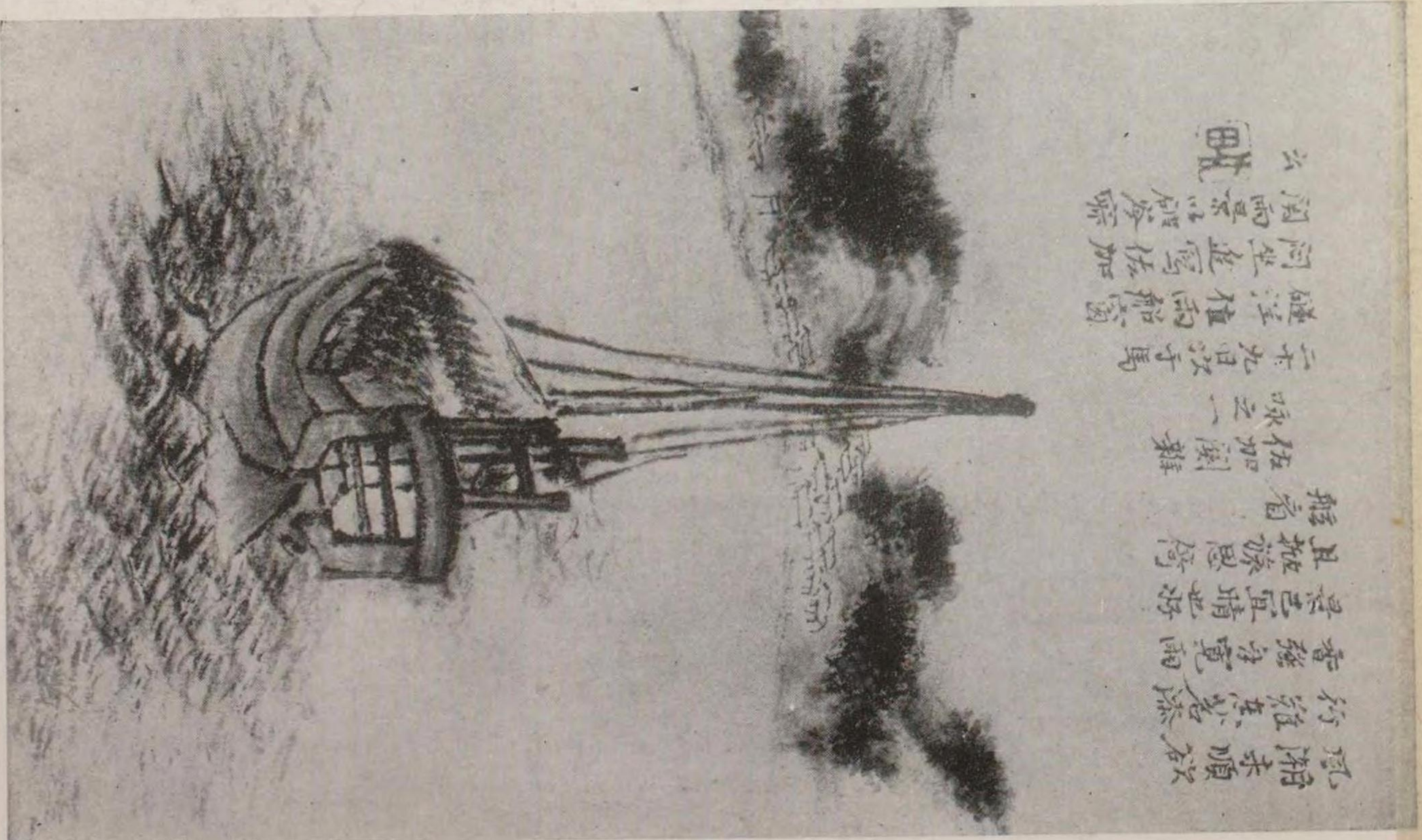
册子装二册全二十幅 / 内十九分
紙地彩色 各五十九分 × 五寸
下欄市 樹 家 鑑



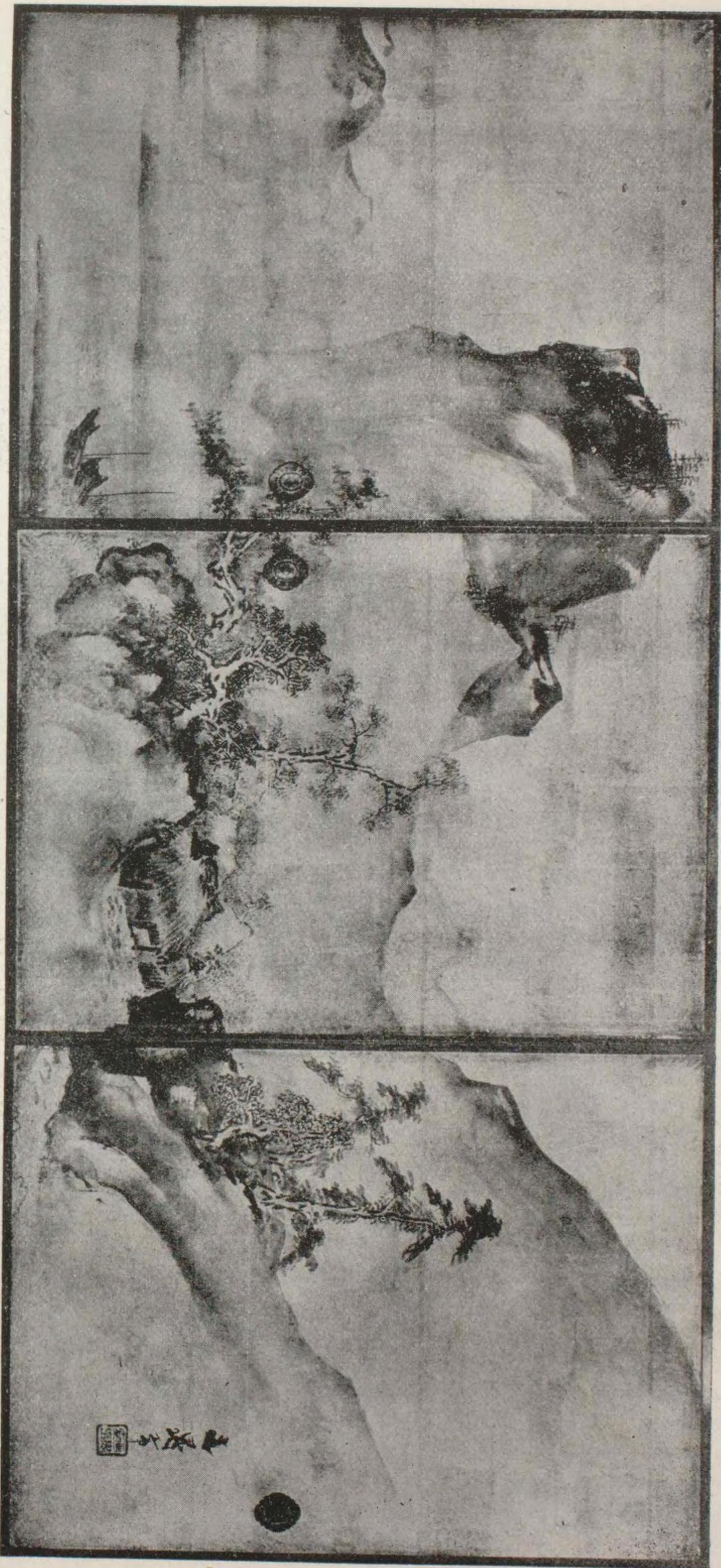
十 宣 圖 (宣観)
與 謝 蕪 村 筆



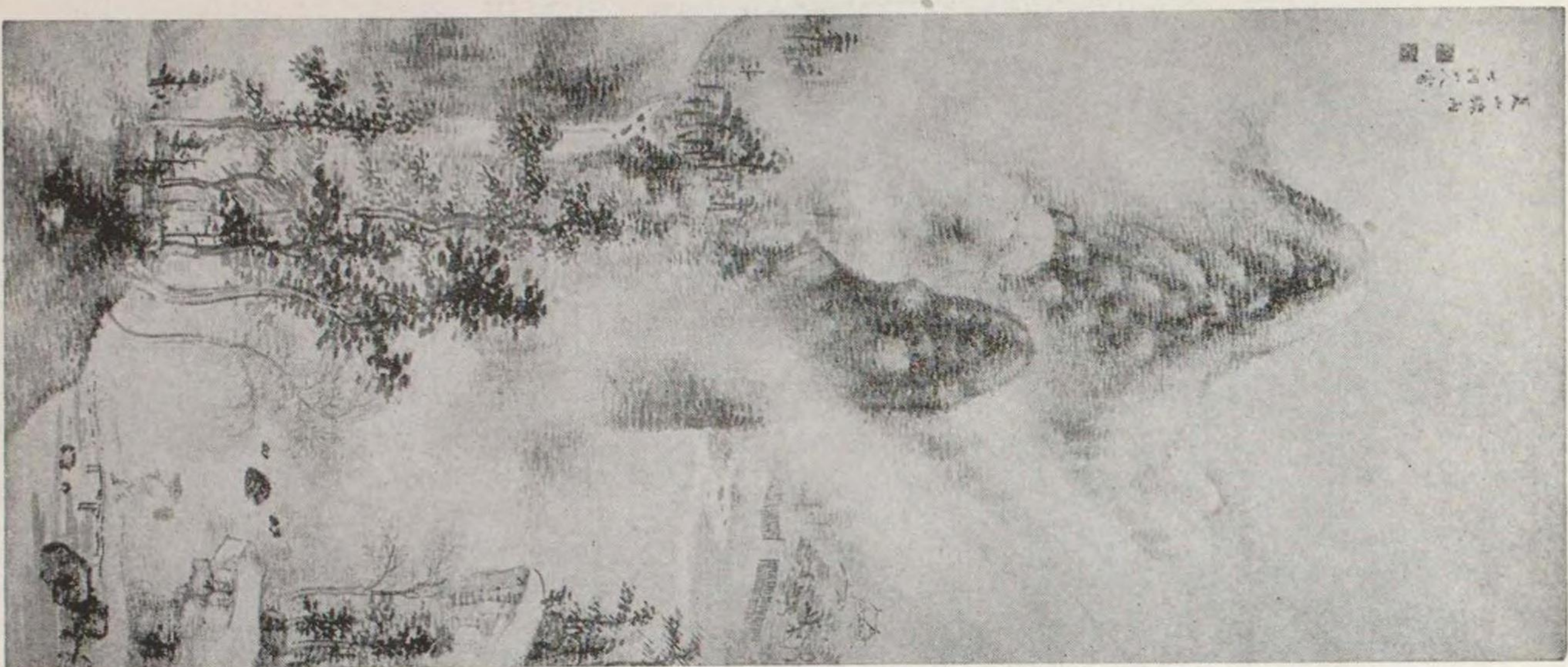
江 煙 雨 圖
紙地墨畫 四寸七分 × 四寸四分
浦 上 玉 堂 筆
大 阪 市 松 本 家 舊 藏



船 窓 少 戩 帖
紙地淡彩 各七寸 × 四寸三分
全六帖 / 内第五及第三
田 能 村 竹 田 筆
大 阪 市 水 原 家 藏



山 水 圖 横四面ノ内 谷 文 晁 筆 紙地墨畫 各五尺七寸×四尺・廿五分 靜 岡 縣 本 興 寺



夏山驟雨圖 中林竹洞筆 絹地淡彩 四尺三三分×二尺八寸一分 東京市 菊本家藏



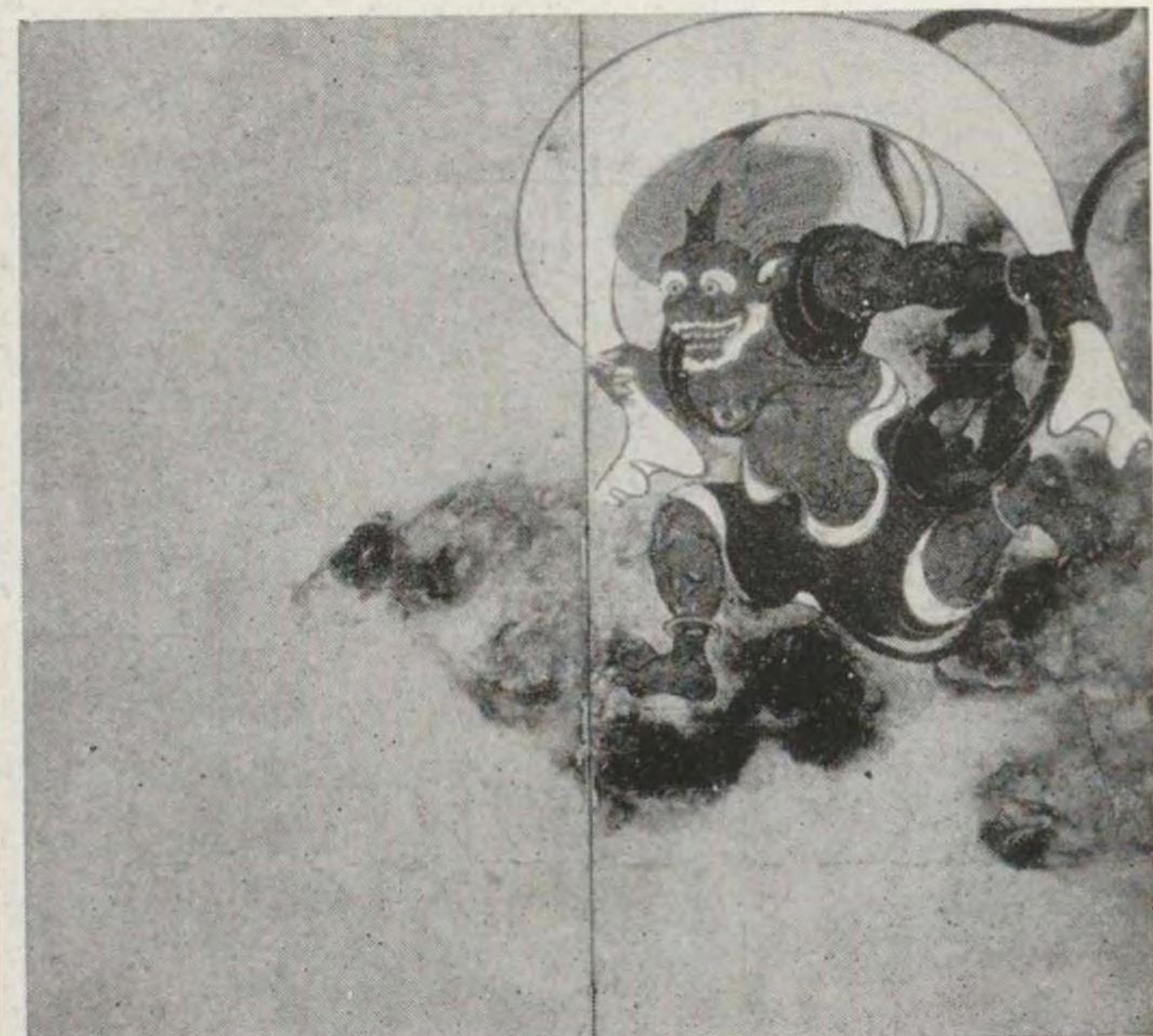
櫻 圖 山本梅逸筆 絹地彩色 二尺九六分×一尺二寸一分 東京市 蛸須賀侯舊藏



溪流瀑布圖 貫名海屋筆 紙地彩色 四尺四寸×二尺一寸 大阪府 北村家藏



百人一首残缺 本阿彌光悦筆 紙地金銀泥 一尺一寸×二尺六寸二分 東京市 別府家舊藏



風神雷神圖 屏風一雙 依屋宗達筆 金地彩色 各五尺〇八分×五尺六寸一分 京都市 建仁寺



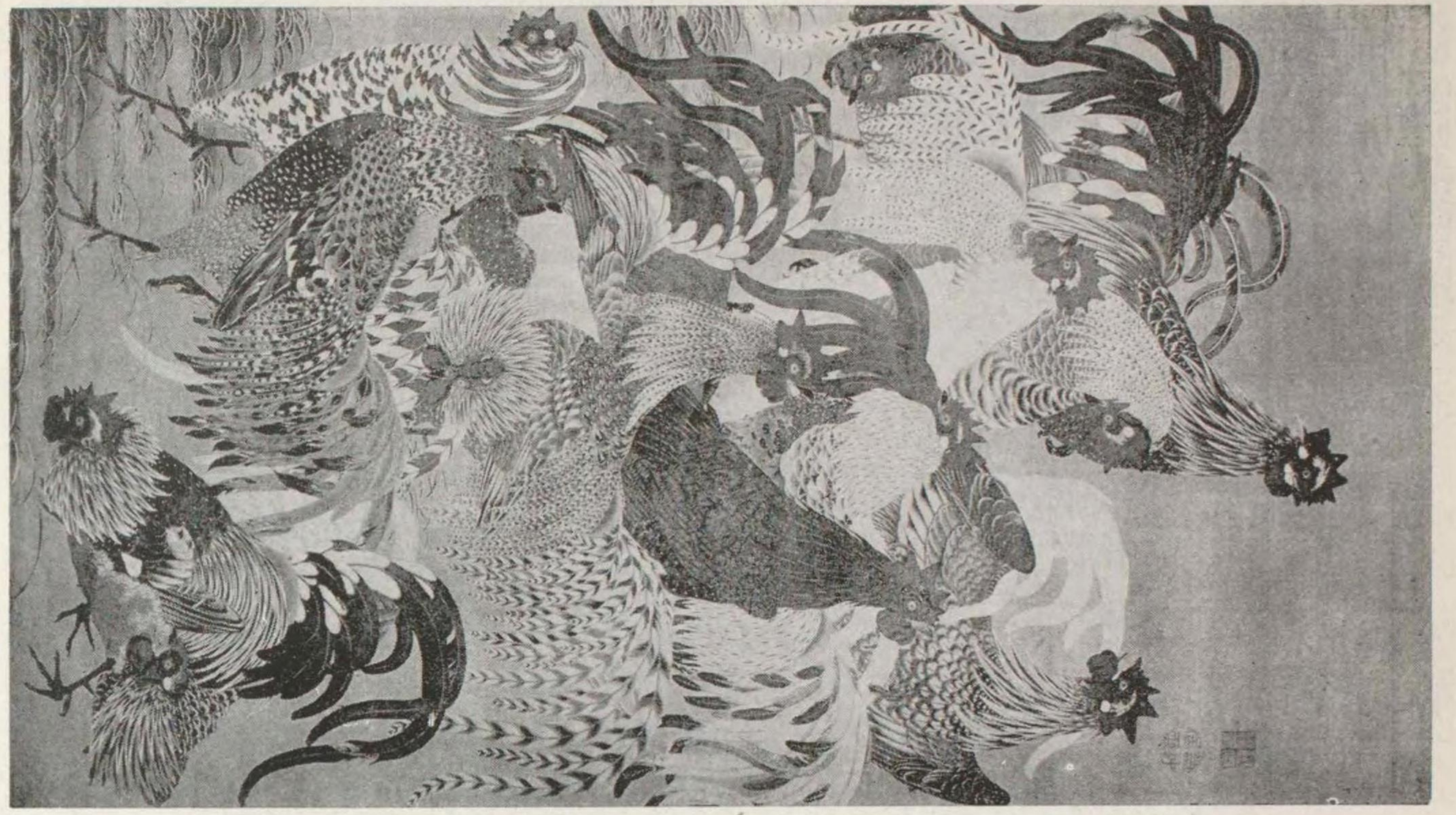
風神雷神圖 屏風一雙 尾形光琳筆 金地彩色 各五尺四寸五分×六尺〇四分 東京市 徳川伯藏



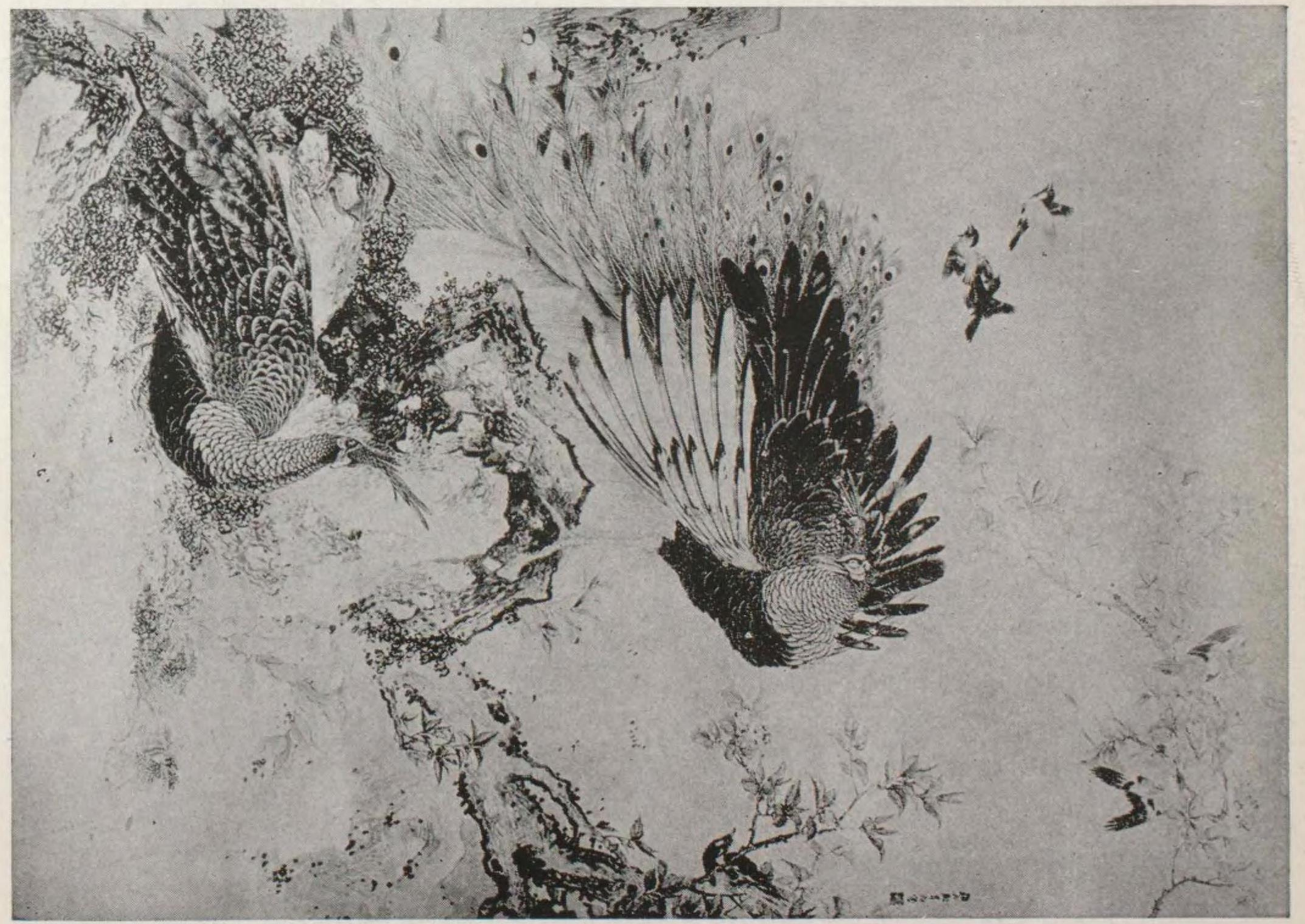
梅 圖 尾形光琳筆 屏風一雙 金地彩色 五尺一寸五分×五尺七寸 東京市 津輕伯藏



風雨草花圖 酒井抱一筆 屏風一雙ノ内 銀地彩色 五尺四寸五分×六尺 東京市 徳川伯藏



鶏 圖 伊藤若冲筆 絹地墨畫 三尺四寸×九寸八分 東京市中村家藏



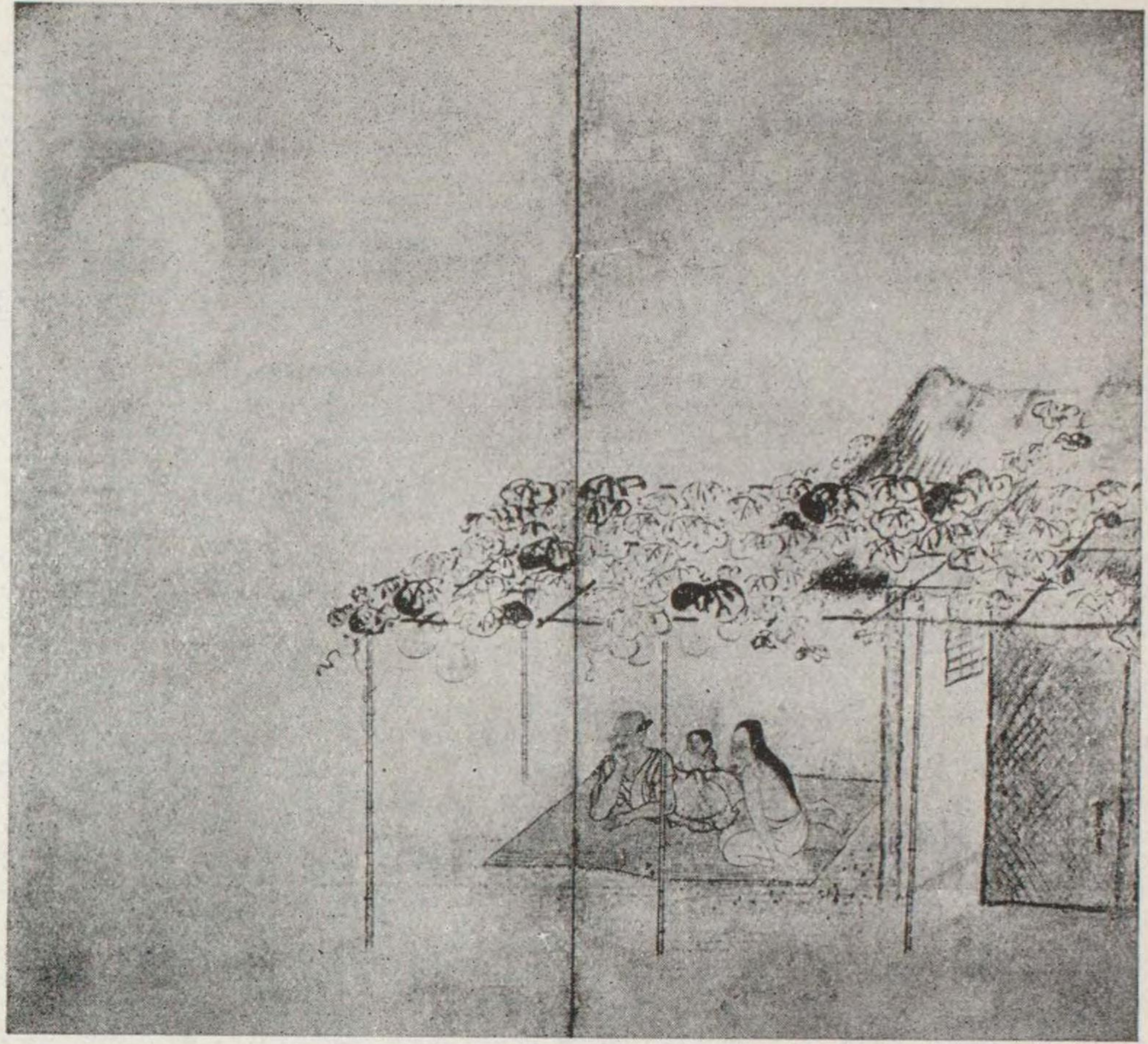
孔雀圖 岸駒筆 絹地彩色 五尺二寸六分×四尺六寸五分 京都市西村家藏



四知更寅仲春寫原真
猿三
惣身法畫是淡墨
黄玉水
月堡
年丙乙

寫生圖卷 三卷ノ内 圓山應舉筆 紙地彩色 各一尺四寸六分×一尺〇五分 京都市 西村家藏

紙地淡彩 五尺×五尺五寸 東京市 牧野伯藏



夕顔棚納涼圖 屏風半雙 久隅守景筆



同上部分



鷹見泉石像 渡邊華山筆 絹地彩色 三尺八寸二分×二尺八寸九分 茨城縣 鷹見家藏



猿仙圖 森垣仙筆 絹地彩色 九寸七分×八寸二分 帝室博物館藏



官女觀菊圖 岩佐又兵衛勝以筆 紙地彩色
四尺三寸二分×一尺八寸四分 東京市 保阪家藏



紀貫之像 岩佐又兵衛勝以筆 紙地墨畫
三尺一寸二分×一尺一寸七分 神戸市 武岡家藏



布晒舞圖 英一蝶筆 紙地彩色 九寸八分×一尺八寸三分 東京市 神田男藏



彦根屏風 屏風半雙 上全景 下部分

金地彩色 三尺一寸×八尺五寸九分 東京市 井伊伯藏



風俗畫卷 菱川師宣筆 絹地彩色 竪一尺〇六分 帝室博物館藏



婦女圖 鳥居清信筆 紙地彩色 一尺七寸一分×八寸九分 帝室博物館藏



松風村雨圖 西川祐信筆 絹地彩色 三尺一寸二分×一尺二寸五分 神戸市 武岡家藏



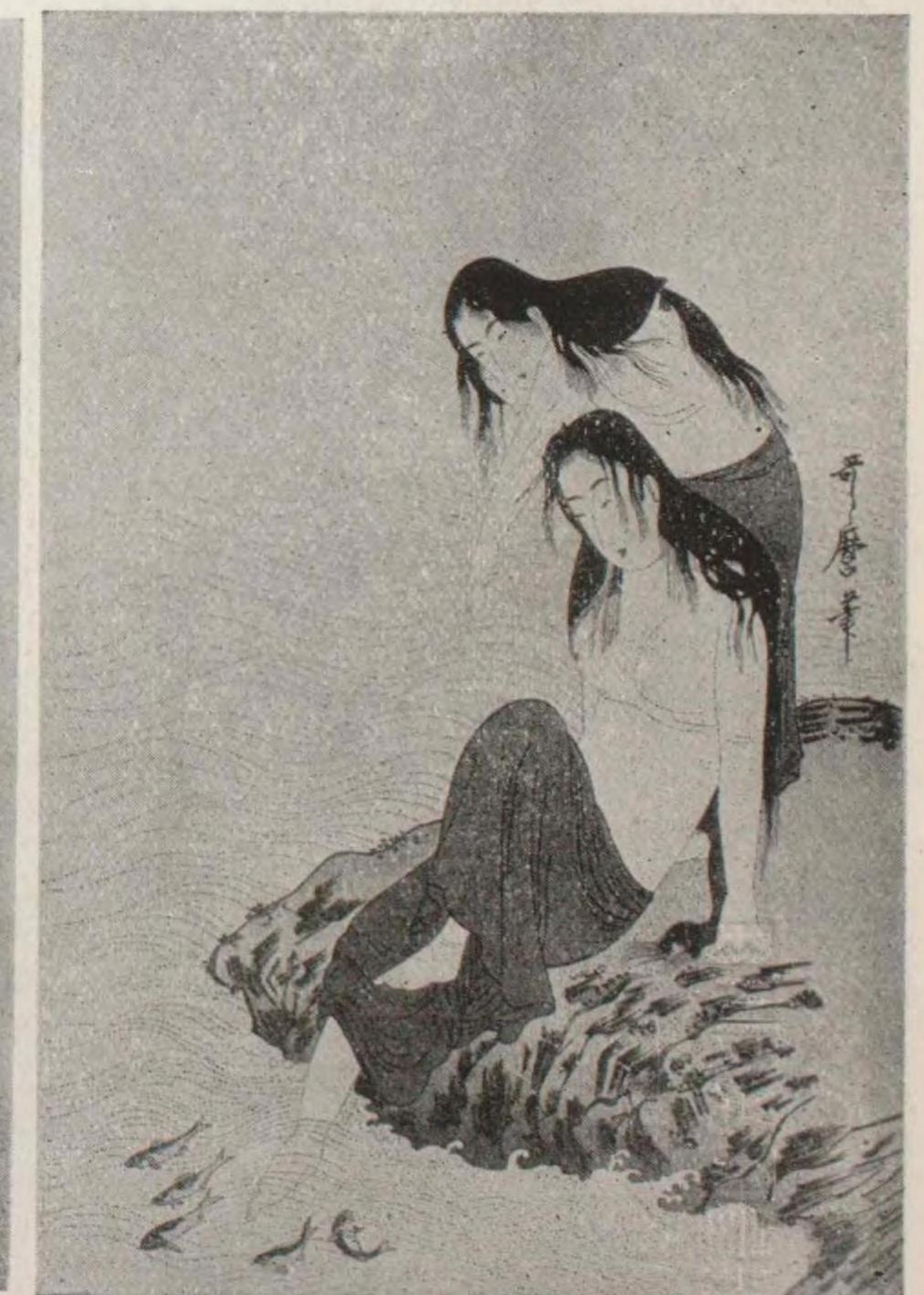
役者繪 錦繪 勝川春章筆



江の島詣 錦繪 鳥居清長筆



役者繪 錦繪 歌川豊國筆



あはび取り 錦繪 喜多川歌麿筆



淺間山圖 屏風半雙 亞歐堂田善筆 紙地彩色 四尺九寸二分×十一尺三寸二分 帝室博物館藏

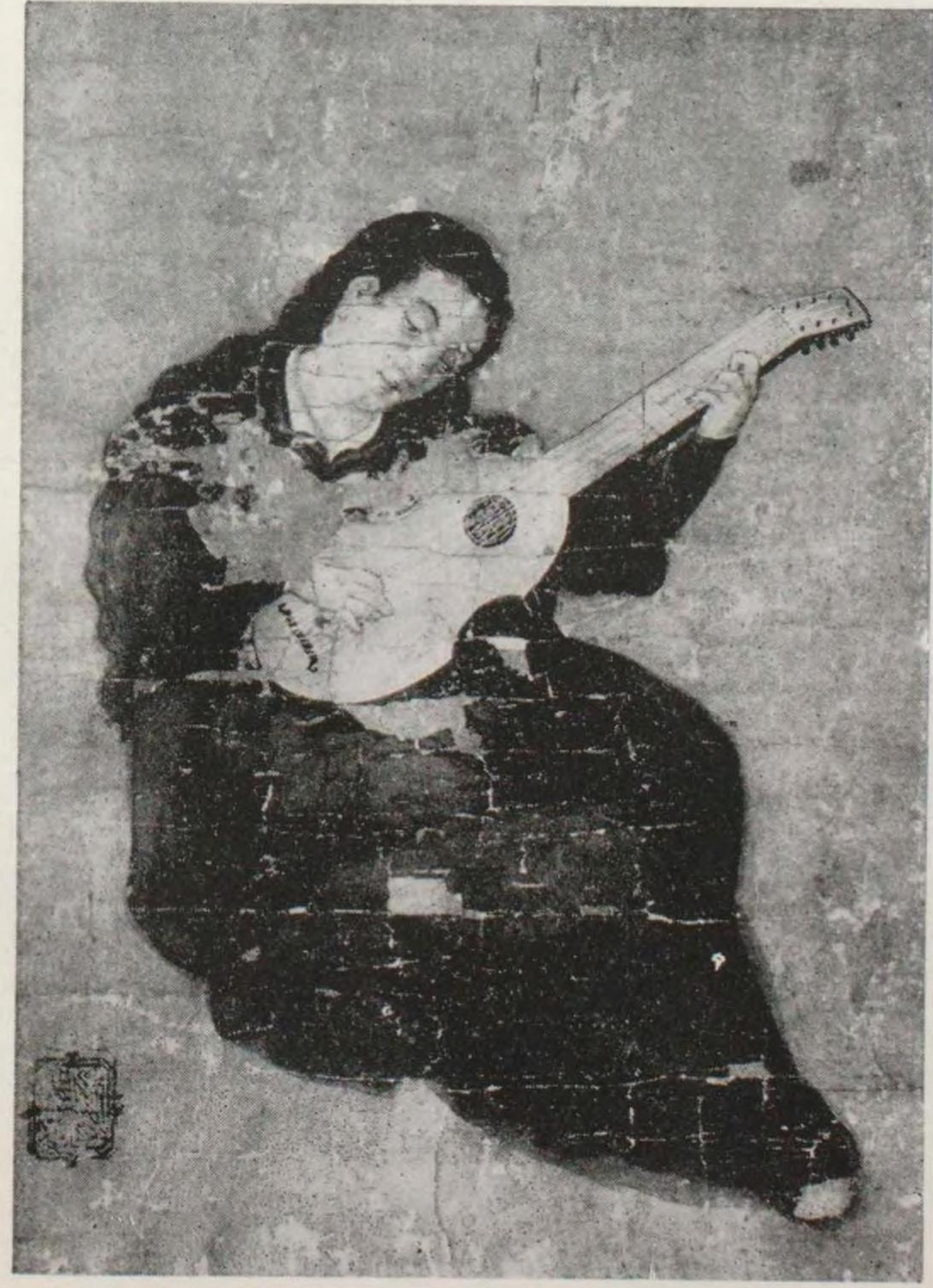


郊外遊樂圖 屏風一雙ノ内 紙地油繪 三尺六寸×十尺三寸五分 東京市 松平子藏

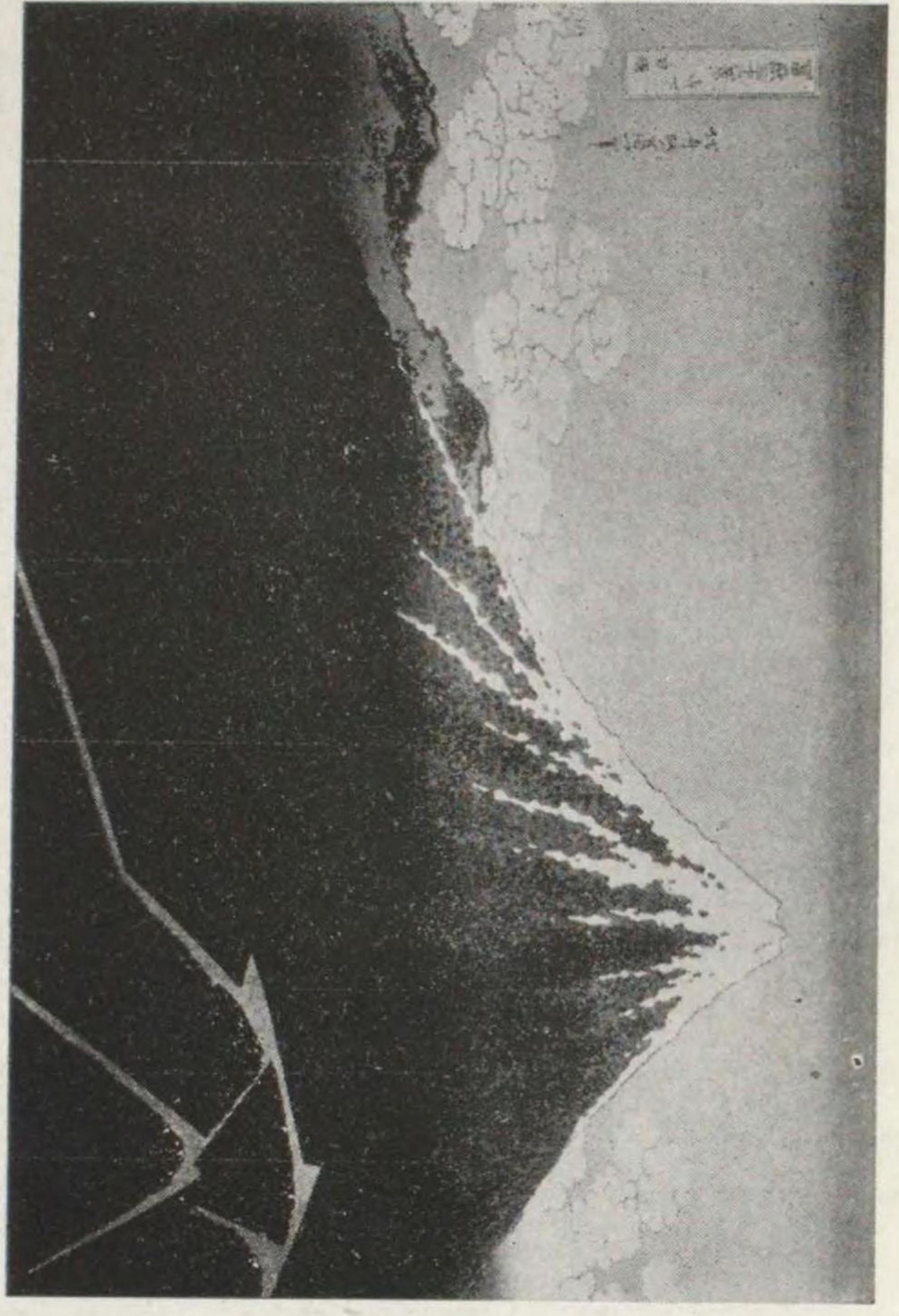


西洋風俗圖 双幅 司馬江漢筆 絹地油繪 神戶市 池長家藏

三尺八寸×一尺八寸五分



彈琴圖 信方筆 紙地油繪 一尺八寸二分×一尺二寸二分 神戶市 池長家藏



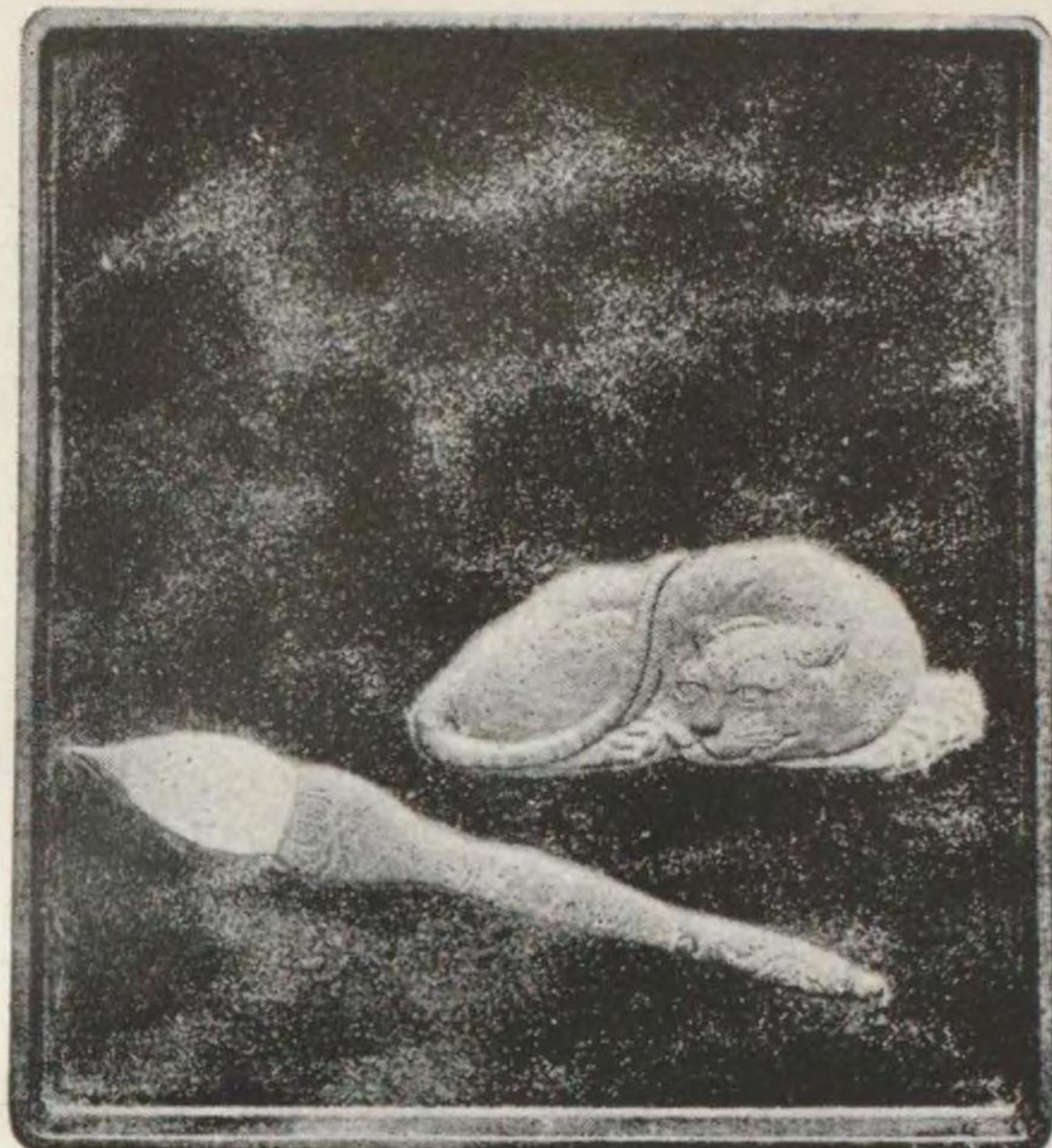
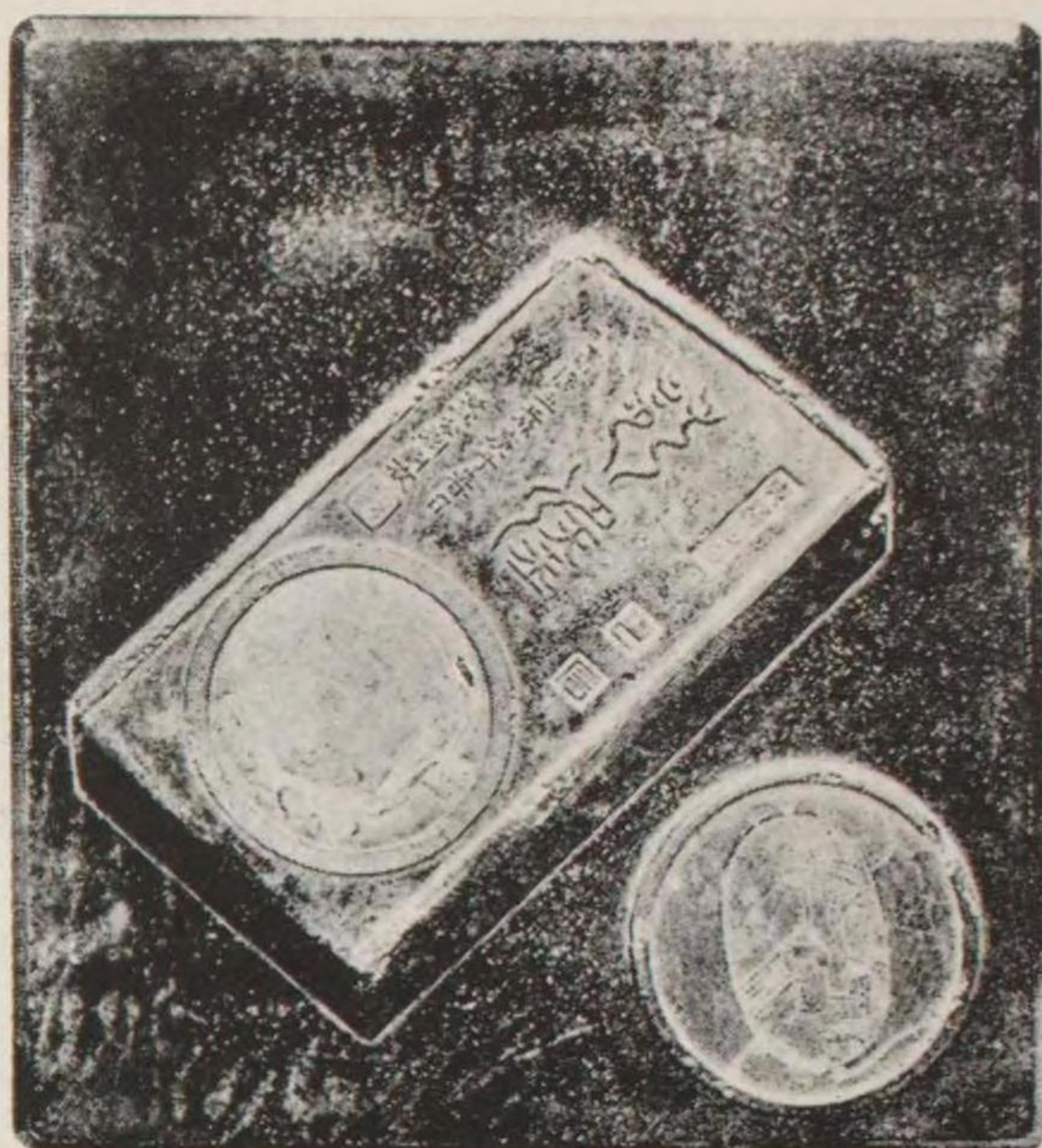
富嶽三十六景 (山下白雨) 錦繪 葛飾北齋筆



東海道五十三次 (庄野) 錦繪 安藤廣重筆



役者繪 錦繪 雲母刷 東洲齋寫樂筆



文具蒔繪硯箱 小川破笠作 七寸八分×七寸一分×一寸四分 帝室博物館藏



牡丹鳥浮文土瓶 木米作



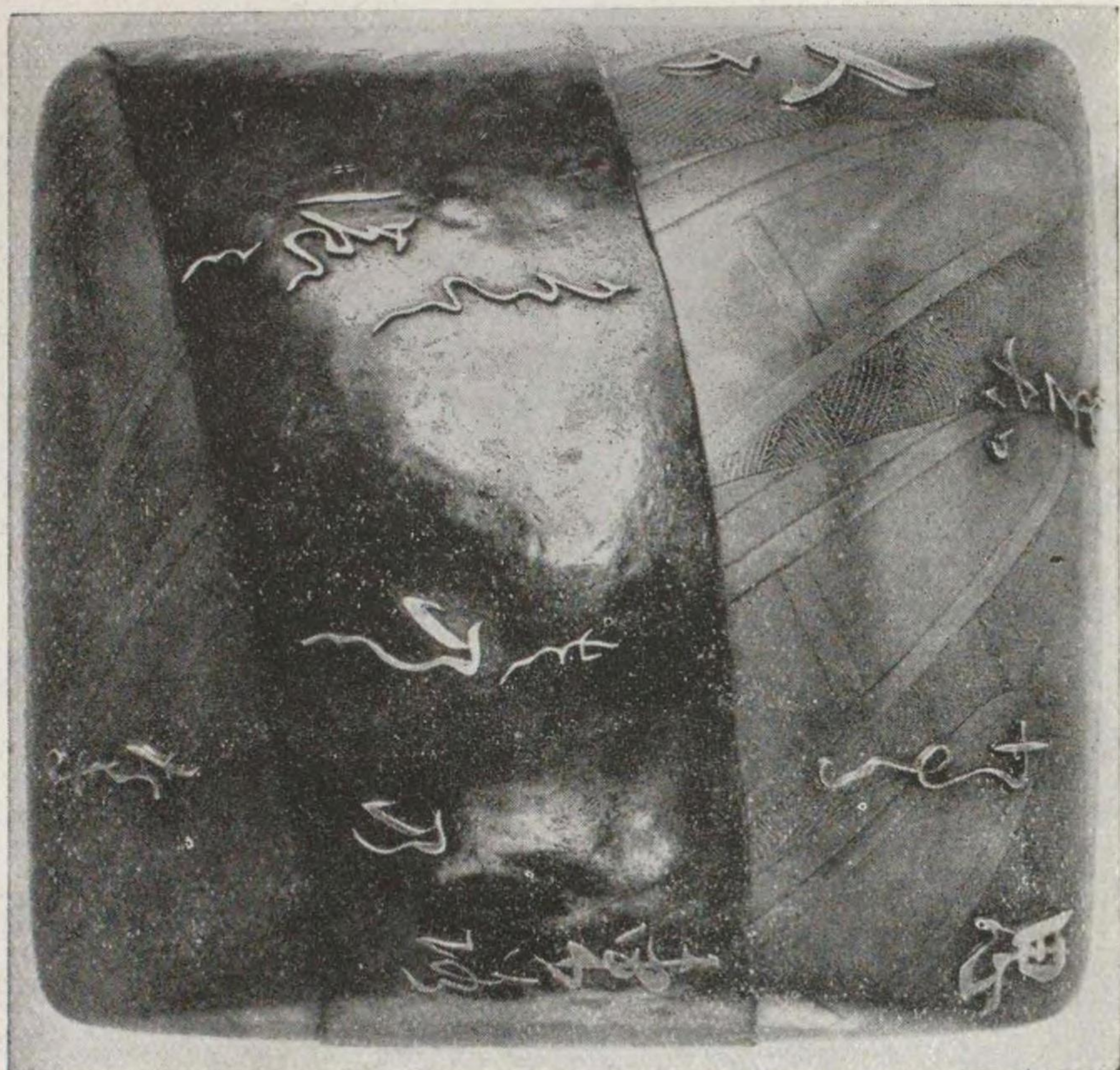
色繪蓮華式香爐 仁清作



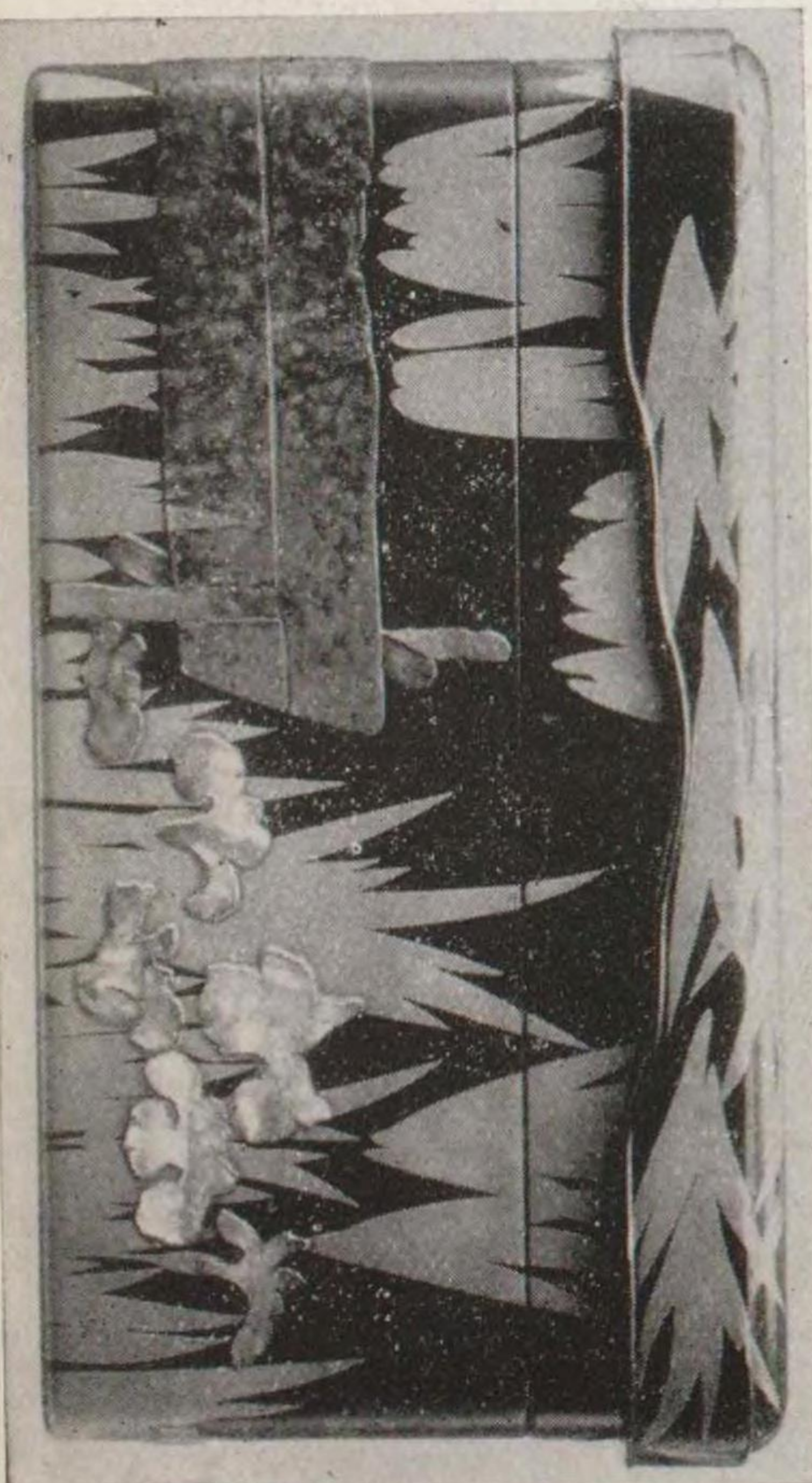
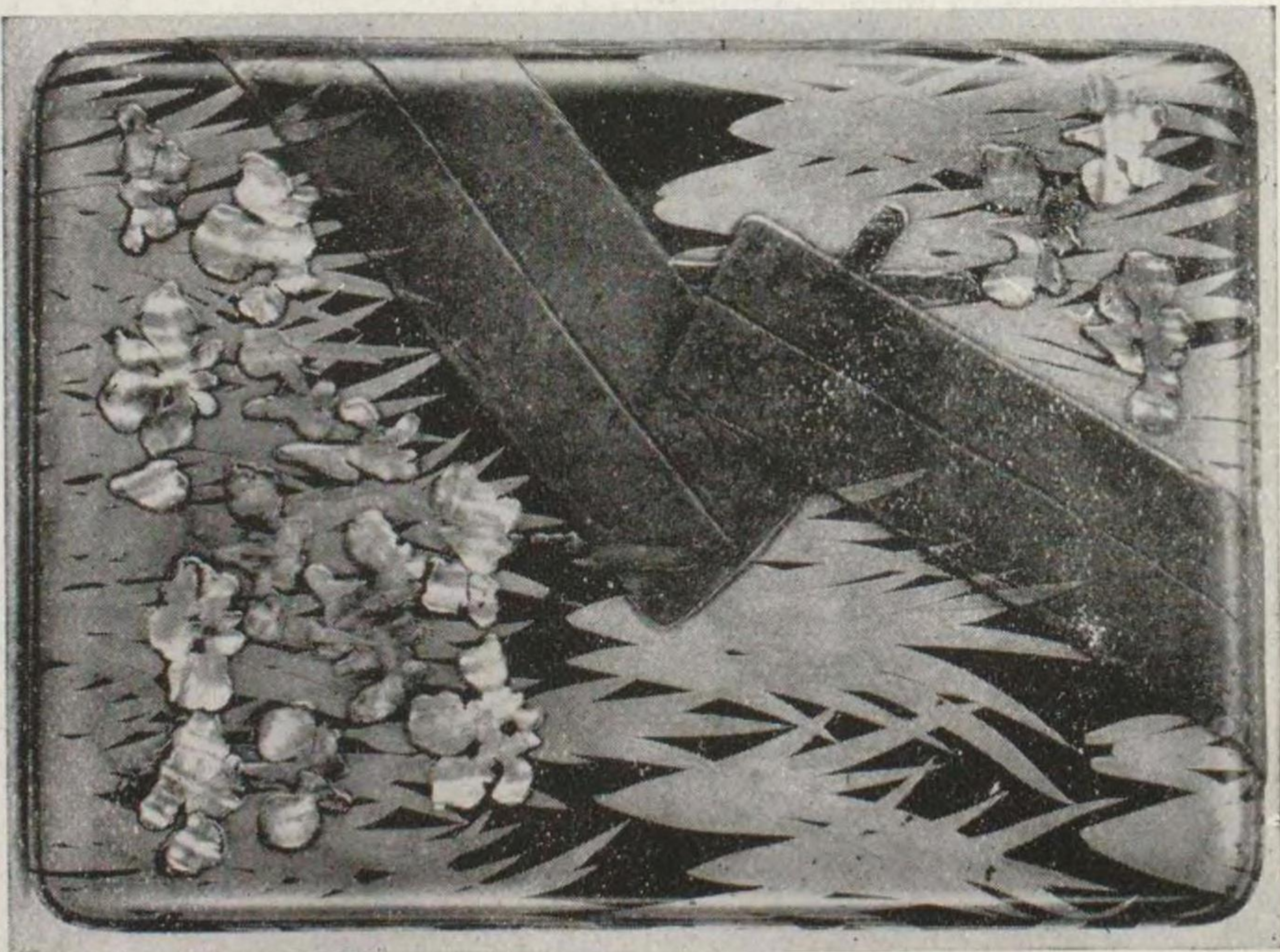
黒樂釉鶴龜茶壺 道八作



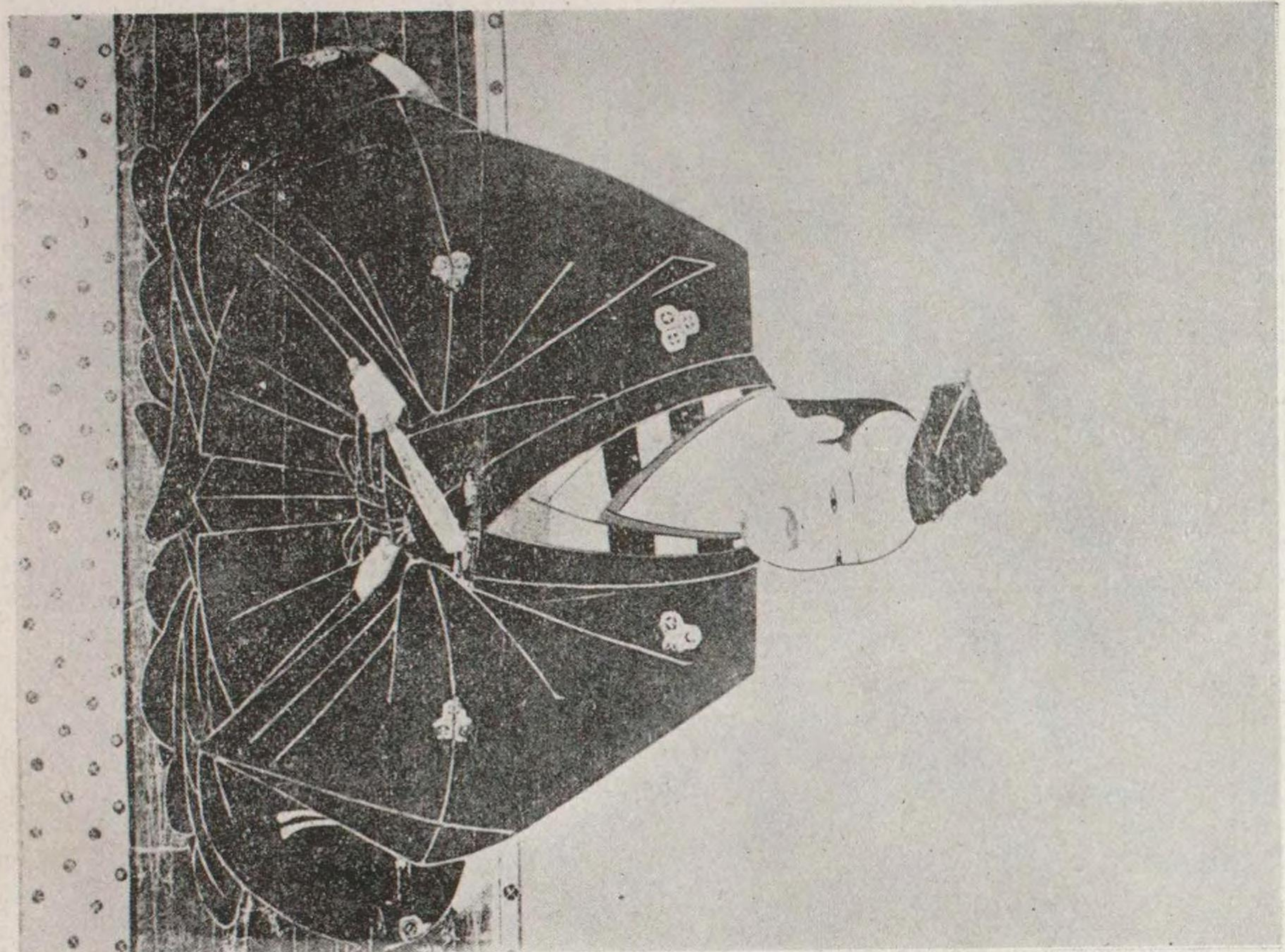
繪變向付 乾山作



船橋蒔繪硯箱 傳本阿彌光悦作 八寸×七寸五分×三寸九分 帝室博物館藏



八橋蒔繪硯箱 傳尾形光琳作 九寸二分×六寸六分×四寸七分 帝室博物館藏



直垂姿 (淺井長政像) 高野山持明院藏

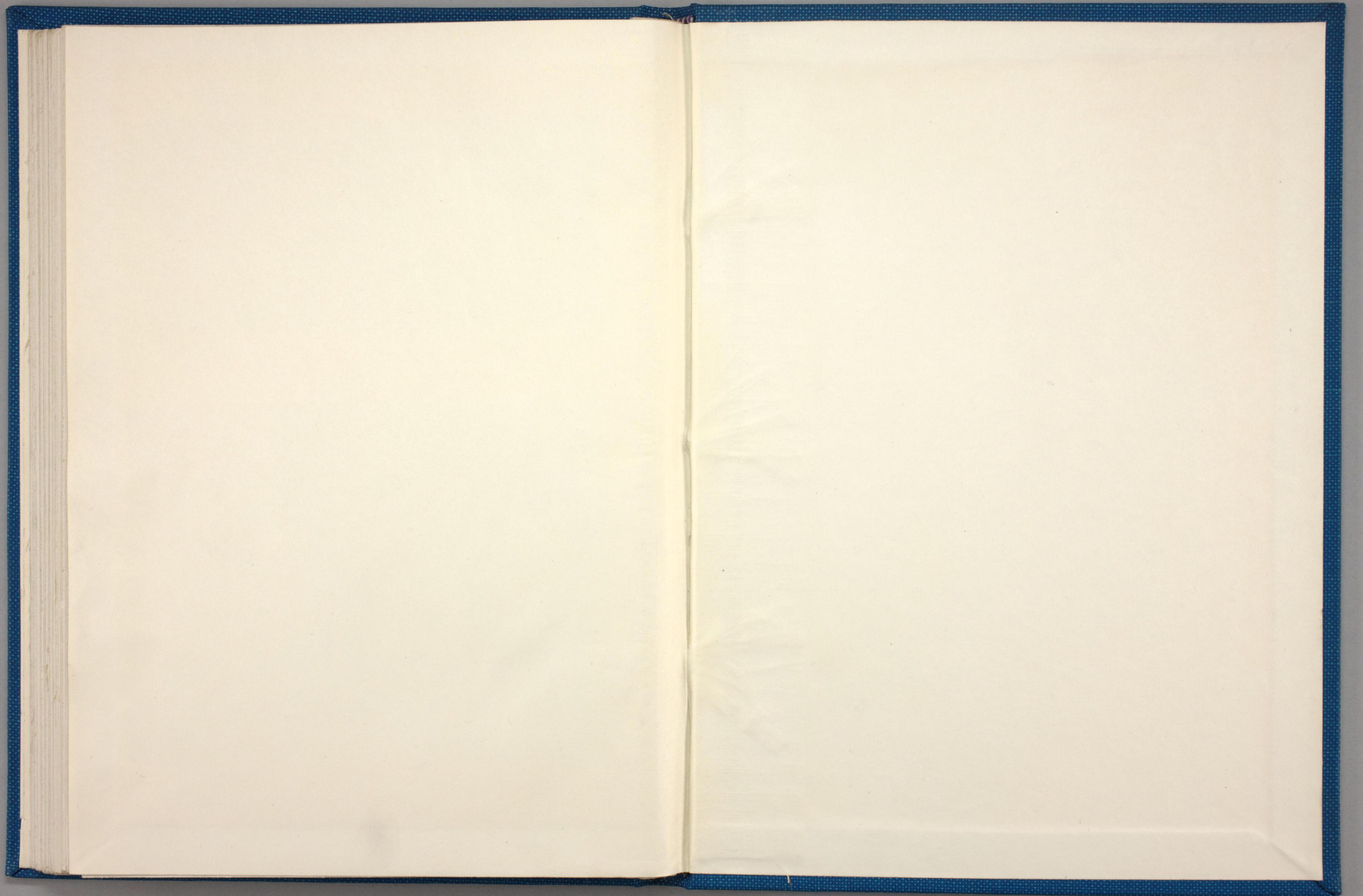


肩衣姿 (織田信長像) 狩野元秀筆 長興寺藏



茶屋染衣服 滋賀縣 柴田家藏

茶屋染は江戸時代中期に盛に行われたもので、特に上流婦人の間に用ひられた。
尾州家、紀州家より將軍家に献上されたこともあつた。



210.1

210.1
0264n



00247243

2
0